

科学技術政策研究所  
調査研究資料  
調査資料—28

# 工学部卒業生の進路と職業意識に 関する日米比較

平成5年3月

科学技術庁 科学技術政策研究所

第1調査研究グループ

石 井 正 道

横 尾 淑 子

平 野 千 博

Comparative Study on Career Distribution and Job Consciousness of  
Engineering Graduates in Japan and the U.S.

March 1993

Masanichi ISHII, Yoshiko YOKOO, Yukihiro HIRANO

1st Policy-oriented Research Group  
National Institute of Science and Technology Policy  
(NISTEP)  
Science and Technology Agency

## 目 次

1	目的	1
2	調査方法	1
	(1) アンケート調査の内容	
	(2) 調査方法	
	(3) 回収結果	
3	調査結果	5
3-1	東大・東工大及びMIT工学部卒業生就業実態比較	
	(1) 組織種類別分布	5
	A 現状	
	B 卒業年次別傾向	
	C 防衛産業に関連している割合	
	(2) 仕事種類別分布	10
	A 技術者の仕事に従事している割合	
	B 生産現場の仕事に従事している割合	
	(3) その他	15
	A 現在就職している組織規模	
	B 転職回数	
3-2	東大・東工大及びMIT卒業生就業実態の違いに関する要因の考察	
	(1) 個人の職業に関する意識	17
	A 職業における目標	
	B 仕事の好み	
	C 会社の命令に対する許容度	
	(2) 組織経営における技術者の処遇（年収）	25
	(3) 技術者の社会的地位	30
4	結論	31
	<参考文献>	37
	<謝辞>	38
	－ 表リスト －	
表 2-1	東大・東工大のアンケート調査対象数及び回答数	2
表 2-2	MITのアンケート調査対象者数及び回答者数	2
表 2-3	東大・東工大回収票の工学部卒業年次別学科割合	3
表 2-4	MIT回収票の工学部卒業年次別学科割合	3
表 3-1-1	東大・東工大及びMIT卒業生現在就職している組織種類別割合分布	7

表 3-1-2	東大・東工大及びMIT卒業生防衛産業関連仕事に従事している割合	9
表 3-1-3	東大・東工大及びMIT卒業生現在の仕事種類別割合分布	10
表 3-2-1	東大・東工大及びMIT工学部卒業生職業における最終目標分布	18
表 3-2-2	東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在望んでいるキャリアパス分布	19
表 3-2-3	東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在希望している仕事分布	21
表 3-2-4	東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在の仕事への希望度割合分布	23
表 3-2-5	現在生産現場関連仕事に従事している人の同仕事の希望度割合分布	23
表 3-2-6	東大・東工大及びMIT工学部卒業生修士及び博士取得状況	25
表 3-2-7	東大・東工大及びMIT学位別現在技術関連仕事に従事している割合	26
表 3-2-8	東大・東工大及びMIT工学部卒業生による生産現場の技術者と 研究開発の技術者のステイタス比較に関する認識の分布	30
表 4-1	東大・東工大とMIT工学部卒業生就業実態の比較まとめ	31
表 4-2	「個人の職業に関する意識の違い」「企業経営における技術者の処遇」 「技術者の社会的地位」における東大・東工大とMITの違い	33

－ 図リスト －

図 3-1-1	東大・東工大及びMIT工学部卒業生組織種類別割合	5
図 3-1-2	東大・東工大及びMIT工学部卒業生卒業年次別製造業就業率	8
図 3-1-3	東大・東工大及びMIT工学部卒業生技術関連仕事就業割合	11
図 3-1-4	東大・東工大及びMIT工学部卒業生卒業年次別技術関連仕事就業率	13
図 3-1-5	東大・東工大及びMIT工学部卒業生卒業年次別生産現場関連就業率	14
図 3-1-6	東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在就業している組織規模	15
図 3-1-7	東大・東工大及びMIT工学部卒業生転職回数分布	16
図 3-1-8	東大・東工大及びMIT工学部卒業生転職したことがない人の割合	16
図 3-2-1	東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在技術関連の仕事を希望 している比率	20
図 3-2-2	東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在生産現場を希望している比率	22
図 3-2-3	MIT工学部卒業生卒業年次別学位別年収	27
図 3-2-4	東大・東工大工学部卒業生卒業年次別学位別別年収	27
図 3-2-5	東大・東工大工学部卒業生卒業年次別組織種類別年収	29
図 3-2-6	MIT工学部卒業生卒業年次別組織種類別年収	29

<資料>

資料1	アンケート調査の構成と仮説	39
資料2	アンケート票（東大・東工大卒業生用）	43
資料3	アンケート票（MIT卒業生用）<英文>	57
資料4	東大・東工大及びMITアンケート票の構成	67
資料5	全体及び卒業年次別アンケート集計結果	71
資料6	統計的検定	113

<補足分析>

1.	就業状況及び就業していない理由	120
2.	就業している組織の規模	120
3.	仕事における最終目標	121
4.	現在希望するキャリアパス	122
	－ 卒業年次別、組織種類別、仕事種類別、学位別、性別	

5. 学部卒業時に希望したキャリアパス	-----	125
6. 現在希望する仕事 — 卒業年次別	-----	125
7. 学部卒業時に希望した仕事 — 卒業年次別	-----	126
8. 「現在希望する仕事」を選んだ理由 — 卒業年次別、性別	-----	126
9. 現在の仕事に対する希望度	-----	127
— 卒業年次別、学科別、組織種類別、仕事種類別、学位別、 職業における目標別、望んでいるキャリアパス別、性別		
10. 組織を選択した理由 — 卒業年次別、組織種類別	-----	128
11. 学位レベルが経営に責任のある地位への昇進に及ぼす影響	-----	130
— 卒業年次別、組織種類別		
12. 学位レベルの給料への影響 — 卒業年次別、組織種類別	-----	131
13. 理科系、文科系のステイタス比較	-----	133
— 卒業年次別、組織種類別、組織規模別		
14. 現場・研究開発のステイタス比較	-----	134
— 卒業年次別、組織種類別、仕事種類別		
15. 地位 — 卒業年次別	-----	135
16. 部下の数 — 卒業年次別	-----	136
17. 学位レベル別分布 — 卒業年次別、性別	-----	137
18. 満足度 — 卒業年次別、性別	-----	138

— 表リスト —

表1-2 現在組織種類別分布（東大、東工大）（MIT）
表3-4 現在組織種類別分布（東大、東工大）（MIT）
表5 現在従事している会社は何社目か（東大、東工大）
表6 転職回数（MIT）
表7-8 現在の就業状況（東大、東工大）（MIT）
表9-10 現在就業していない理由（東大、東工大）（MIT）
表11 性別現在の就業状況（MIT）
表12 性別就業していない理由（MIT）
表13 性別現在の就業状況（東大、東工大）
表14 性別就業していない理由（東大、東工大）
表15-16 会社規模別工学部卒業生分布（東大、東工大）（MIT）
表17-18 会社規模別組織種類別工学部卒業生分布（東大、東工大）（MIT）
表19-20 仕事における最終目標（東大、東工大）（MIT）
表21-22 現在の仕事種類別仕事における最終目標（東大、東工大）（MIT）
表23-24 性別仕事における最終目標（東大、東工大）（MIT）
表25-26 現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）

表27-28	現在組織種類別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
表29-30	現在仕事種類別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
表31-32	学位別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
表33-34	性別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
表35-36	学部卒業時に希望したキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
表37-38	現在希望する仕事（東大、東工大）（MIT）
表39-40	学部卒業時に希望した仕事（東大、東工大）（MIT）
表41-42	現在希望の仕事の選択理由（東大、東工大）（MIT）
表43-44	性別現在希望する仕事の選択理由（東大、東工大）（MIT）
表45-46	現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
表47-48	学科別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
表49-50	組織種類別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
表51-52	仕事種類別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
表53-54	学位別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
表55-56	職業目標別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
表57-58	望んでいるキャリアパス別現在の仕事に対する希望度 （東大、東工大）（MIT）
表59-60	性別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
表61-62	現在組織選択理由（東大、東工大）（MIT）
表63-64	組織種類別現在組織選択理由（東大、東工大）（MIT）
表65-70	昇進に及ぼす学位の影響（東大、東工大） 一工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
表71-76	昇進に及ぼす学位の影響（MIT） 一工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
表77-82	組織種類別昇進に及ぼす学位の影響（東大、東工大） 一工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
表83-88	組織種類別昇進に及ぼす学位の影響（MIT） 一工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
表89-94	給料に及ぼす学位の影響（東大、東工大） 一工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
表95-100	給料に及ぼす学位の影響（MIT） 一工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
表101-106	組織種類別給料に及ぼす学位の影響（東大、東工大） 一工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
表107-112	組織種類別給料に及ぼす学位の影響（MIT） 一工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
表113-114	理工系出身者の地位（東大、東工大）（MIT）
表115-116	組織種類別理工系出身者の地位（東大、東工大）（MIT）
表117-118	会社規模別理工系出身者の地位（東大、東工大）（MIT）
表119-120	生産現場技術者の社会的地位（東大、東工大）（MIT）
表121-122	組織種類別生産現場技術者の社会的地位（東大、東工大）（MIT）
表123-124	仕事種類別生産現場技術者の社会的地位（東大、東工大）（MIT）
表125-126	会社規模別生産現場技術者の社会的地位（東大、東工大）（MIT）
表127-128	組織における地位（東大、東工大）（MIT）
表129-130	部下の数（東大、東工大）（MIT）
表131-132	学位別分布（東大、東工大）（MIT）
表133-134	性別学位別分布（東大、東工大）（MIT）
表135-138	性別学位別分布—1960年卒、1970年卒、1980年卒、1985年卒（MIT）
表139-140	現在の仕事に対する満足度（東大、東工大）（MIT）
表141-142	性別現在の仕事に対する満足度（東大、東工大）（MIT）

## 1. 目的

近年、我が国では理工系卒業生の製造業離れが起こり[1]、この現象は将来のわが国の製造業の競争力を弱めるものとして憂慮された。米国においても理工系卒業生の量の劣位が製造業の競争力の衰退の原因の一つとして議論されている[2]。さらに、米国では製造現場の軽視、またそれによって日本等に比較して優秀な技術やマネジメントの人材が製造現場に配置されていないことが製造業の競争力の衰退の原因の一つとして指摘されている[3]。

これらの問題に適切に対処するためには、この理工系人材の就業実態を正しく把握するとともに、これらの現象がどうして起こるのか、原因を明らかにしなければならない。しかし、現時点ではこれらの就業状態に関する現象の原因の所在が、個人の職業に対する考え方にあるのか、企業の経営にあるのか、社会構造等にあるのか、さらには相互の関連を含め、必ずしも明らかになってはいない。これらの原因を考察するためには、個人の職業に対する考え方、経営のあり方、社会の仕組みが違う国における理工系人材の就業実態を比較することが効果的な調査方法の一つと考えられる。

本研究はこの第1段階として、理工系人材の問題が製造業の競争力の衰退の要因として議論されている米国と最近理工系卒業生の製造業離れが問題となった日本を対象とするものである。具体的には日米の代表的な工学部を持つ大学として東京大学及び東京工業大学（以下東大・東工大）とマサチューセッツ工科大学（以下MIT）を抽出し研究対象とした。本研究の目的はこれらの工学部卒業生の就業活動の実態を比較し卒業後の進路に影響する要因について考察することである。なお、補足分析として、本文では触れていないいくつかの事項（就業状況、仕事選択理由等）を巻末に示した。

## 2. 調査方法

東大・東工大卒業生とMIT卒業生の比較ができる既存のデータが無いため、上述の目的を達成するために新たにアンケート調査を実施した。

### （1）アンケート調査の内容

本アンケート調査は次の2点に留意して作成されている。（詳細は資料1「アンケート調査の構成と仮説」参照のこと。アンケート票の設計はこれを基に行った。）

- A 卒業生の就業実態を比較し違いを把握する。特に、「製造業に従事している割合」、「技術者の仕事に従事している割合」、「生産現場に従事している割合」について注目する。
- B 卒業後の進路に影響する要因についての考察  
東大・東工大とMIT卒業生の就業実態の違いを生じさせる要因を考察することをベースに行う。具体的には、三つの観点①個人の職業に関する意識、②組織経営における技術者の処遇、③技術者の社会的地位、から探ってみる。

アンケート票は資料2（東大・東工大）、資料3（MIT）を参照のこと。さらに、東大・東工大及びMITのアンケートの構成については資料4を参照のこと。

## (2) 調査方法

日本は東大と東工大、米国はMITの1960、1970、1980、及び1985年の全工学部卒業生を対象にしてアンケート調査を行った。東大・東工大の対象者数は4,639名である。この数は1991年夏時点で入手できた東大及び東工大工学部のそれぞれの学科の卒業生名簿に住所が記載されているすべての卒業生である。

MITの対象者数は2,021名である。これは工学部卒業生名簿の米国住所が明記されている該当する卒業生全員の1,957、及び他の学部の名簿に乗っているが工学士の学位を取得したものの64名の合計である。

東大・東工大及びMITで使用したアンケート票の内容は基本的に同じものである(資料4「東大・東工大及びMITのアンケートの構成」参照)。アンケート調査は日本では1991年2月、米国では同年4月に実施した。回収期間はそれぞれ約一か月である。

## (3) 回収結果

① 回収されたアンケート票の数は東大・東工大が1,162、MITは925である(表2-1、表2-2参照)。それぞれ対象とした数に対する比率は東大・東工大25.0%、MIT45.8%となっている。アンケートの回収期間は東大・東工大とMITは同じであるがMITの回収率のほうが高い。工学部卒業年次別にみると東大・東工大は1960年265票(22.9%)、1970年299票(25.8%)、1980年282票(24.3%)、1985年313票(27.0%)、工学部卒業年不明3票である。MITは1960年175票(18.9%)、1970年168票(18.2%)、1980年277票(30.0%)、1985年304票(32.9%)、工学部卒業年不明1票である。

表 2-1 東大・東工大のアンケート調査対象数及び回答数

工学部 卒業年	対 象			回答数 (2)	(2) / (1)
	東大	東工大	計(1)		
1960	418	280	698	265	0.380
1970	702	476	1,178	299	0.254
1980	818	549	1,367	282	0.206
1985	844	552	1,396	313	0.224
不明				3	
計	2,782	1,587	4,639	1,162	0.250

表 2-2 MITのアンケート調査対象数及び回答数

工学部 卒業年	対 象 (1)	回答数 (2)	(2) / (1)
1960	408	175	0.429
1970	326	168	0.515
1980	588	277	0.471
1985	699	304	0.435
不明		1	
計	2,021	925	0.458

② 回収されたアンケート票を工学部卒業学科別にみる。MITのほうが卒業学科分類の数が少ないため、比較しやすいようにMITの分類にあわせてその分布をみた（表 2-3、表 2-4 参照）。

MITは航空・宇宙工学107（11.6%）、化学工学161（17.4%）、土木工学51（5.5%）、電気工学・コンピューターサイエンス356（38.5%）、材料・金属工学51（5.5%）、機械工学166（17.9%）、原子力工学8（0.9%）、海洋工学15（1.6%）、その他10（1.1%）。東大・東工大は航空工学35（3.0%）、化学工学系（注1）134（11.5%）、土木工学系（注2）190（16.4%）、電気工学・コンピューターサイエンス系（注3）263（22.6%）、材料・金属工学系（注4）123（10.6%）、機械工学系（注5）257（22.1%）、原子力工学29（2.5%）、船舶海洋工学48（4.1%）、その他系（注6）83（7.1%）。

- （注1）化学工学系とは高分子工学、化学工学、工業化学、合成化学、反応化学の合計である。
- （注2）土木工学系とは資源開発工学、土木工学、建築学の合計である。
- （注3）電気工学・コンピューターサイエンス系とは電気・電子工学、電子物理工学、情報工学、物理工学、計数工学、制御工学の合計である。
- （注4）材料・金属工学系とは金属工学、金属材料、無機材料、有機材料の合計である。
- （注5）機械工学系とは機械工学、生産機械工学、産業機械工学、船用機械工学、精密機械工学、機械物理工学の合計である。
- （注6）その他系とは社会工学、都市工学、経営工学、その他の合計である。

表 2-3 東大・東工大回収票の工学部卒業年次別学科別割合<%表示>

工学部卒業学科	工学部卒業年次				合計
	1960	1970	1980	1985	
航空・宇宙工学	3.0	3.3	3.9	1.9	3.0
化学工学系	16.2	9.0	9.6	11.5	11.5
土木工学系	21.1	17.1	16.0	12.1	16.4
電気工学・コンピューターサイエンス系	17.7	25.4	20.9	25.9	22.6
材料・金属工学系	7.9	7.0	12.4	14.1	10.6
機械工学系	23.8	21.1	20.9	23.0	22.1
原子力工学	0	3.3	3.5	2.9	2.5
海洋工学	6.4	4.3	3.9	2.2	4.1
その他系	3.8	9.4	8.9	6.4	7.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表 2-4 MIT回収票の工学部卒業年次別学科別割合<%表示>

工学部卒業学科	工学部卒業年次				合計
	1960	1970	1980	1985	
航空・宇宙工学	13.7	13.7	6.5	13.8	11.6
化学工学	21.7	11.3	22.4	13.8	17.4
土木工学	5.1	6.5	9.4	1.6	5.5
電気工学・コンピューターサイエンス	33.7	45.2	32.1	43.1	38.5
材料・金属工学	7.4	6.0	4.3	5.3	5.5
機械工学	14.9	14.9	19.1	20.4	17.9
原子力工学	0	0	1.8	1.0	0.9
海洋工学	1.1	1.2	3.2	0.7	1.6
その他	2.3	1.2	1.1	0.3	1.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 男女分布は東大・東工大は男性1,152票（99.4%）、女性7票（0.6%）、不明3票、MITは男性807票（87.3%）、女性117票（12.7%）、不明1票となっている。

女性票を工学部卒業年次別にみると東大・東工大は1960年、1970年、1980年は0票で1985年に全7票があり、同年の2.2%を占めている。MITは1960年2票（同年に占める割合：1.1%）、1970年6票（3.6%）、1980年44票（15.9%）、1985年65票（21.4%）となっている。

MITについて女性票を工学部卒業学科別にみると、航空・宇宙工学7票（同学科に占める割合：6.5%）、化学工学31票（19.3%）、土木工学13票（25.5%）、電気工学・コンピューターサイエンス25票（7.0%）、材料・金属工学11票（21.6%）、機械工学26票（15.7%）、原子力工学1票（12.5%）、海洋工学1票（6.7%）、その他2票（20.0%）。

### 3 調査結果

#### 3-1 東大・東工大及びMIT工学部卒業生就業実態比較

##### (1) 組織種類別分布

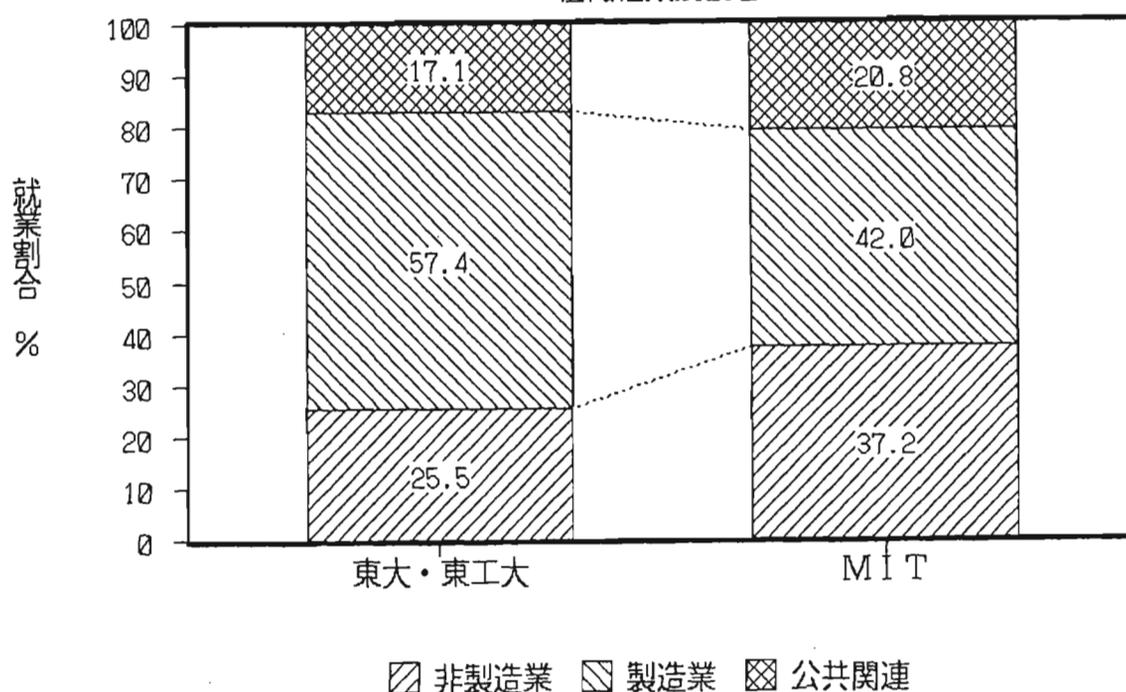
###### A 現状

最初に調査対象となった卒業生が現在どのような産業や組織に従事しているのかみてみよう。これによって「製造業に従事している割合」を把握することができる。

まず、東大・東工大及びMITの全サンプルを比較してみよう。ここでは「製造業に従事している割合」に注目するため、現在働いている組織種類を公共関連、製造業、非製造業の3つに分類して（分類の内容に関しては表3-1-1、7ページ参照）卒業生の分布をみる（図3-1-1参照）。

東大・東工大は公共関連17.1%、製造業57.4%、非製造業25.5%となっている。一方、MITは公共関連20.8%、製造業42.0%、非製造業37.2%となっており製造業に従事している割合が50%以下となっている。東大・東工大のほうがMITより製造業に従事している分布の割合が15.4%多く、その分公共関連及び非製造業でMITよりもそれぞれ3.7%、11.7%ずつ割合が小さくなっている。統計的検定は資料6参照のこと。

図 3-1-1 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
組織種類別割合



これらの公共関連、製造業、非製造業における割合の違いについて組織種類レベルにブレイクダウンして分析してみよう（表3-1-1、次ページ参照）。

## 公共関連

まず、公共関連を組織種類レベルでみると、

- ・国公立試験研究機関では東大・東工大（2.6%）に比較してMIT（6.7%）の方が2倍以上の割合を占めている。
- ・MIT全体に占める軍事サービスの割合（2.1%）は他の組織分類（例：行政機関3.3%）と比較して小さくない。なお、東大・東工大卒業生に対するアンケート調査の回答項目には軍事サービスはない。

となっており、これらが東大・東工大がMITより公共関連の分布の割合が小さい要因になっている。ただし、行政機関については東大・東工大（5.7%）がMIT（3.3%）の分布の割合より大きい。

## 製造業

製造業全体では東大・東工大のほうがMITより大きいですが、すべての組織種類で東大・東工大が大きいのではない。東大・東工大の分布の割合が高いのは9つの組織種類であり、MITが大きいのは4つである。東大・東工大の割合が大きいのは金属素材・金属製品製造、非電気機械製造、自動車・関連機器製造、家電製品製造以外の電気機械製造、等である。これらは日本の競争力の強い産業と一致している。

MITの分布の割合の方が大きい組織種類はコンピュータ・付属機器、航空・宇宙関連産業、医療品製造、その他の製造業である。特に航空宇宙関連産業は東大・東工大0.4%、MIT7.4%とその割合の差が大きい。これらの産業はその他の製造業以外は米国の競争力の強い産業と一致している。

## 非製造業

非製造業について全体ではMITの分布の割合の方が大きいですが、組織種類レベルではMITの割合の大きいもの、東大・東工大の方が大きいものがそれぞれある。MITが東大・東工大より分布が大きい主なものは、コンピュータソフト・情報処理、技術コンサルタント、法律、医療、経営コンサルタント、金融・保険である。特に、コンピュータソフト・情報処理はMIT8.3%、東大・東工大1.4%であり大きな違いがある。これは米国はコンピュータソフトの競争力は日本に勝っていることと一致する。さらに、法律、医療については東大・東工大ではほとんどゼロにちかひのに比べ、MITでは自動車・関連機器製造1.0%や家電製品製造1.0%よりはるかに大きい割合（法律3.5%、医療3.1%）の卒業生が従事している。これらの状況が非製造業への就業の割合でMITが東大・東工大より大きい要因となっている。東大・東工大がMITよりも割合が大きいもので特にその差が大きいのは建設業（東大・東工大6.9%、MIT1.2%）、公共関連事業（東大・東工大4.3%、MIT1.2%）が揚げられる。

表3-1-1 東大・東工大及びM I T卒業生現在就業している組織種類別割合分布(%) (注1)

組織種類	(1)東大・東工大	(2)M I T	(1)-(2) (注2)
1)行政機関	5.7	3.3	2.4
2)国公立試験研究機関	2.6	6.7	-4.1
3)大学(注3)	7.6	7.4	0.2
4)その他の公益法人	1.1	1.3	-0.2
5)軍事サービス(注4)		2.1	-2.1
公共関連小計:1)~5)の合計	17.1	20.8	-3.7
6)コンピュータ・付属機器	9.5	12.7	-3.2
7)家電製品製造	2.1	1.0	1.1
8)上記以外の電気機械製造	7.7	4.2	3.5
9)非電気機械製造	6.3	0.9	5.4
10)自動車・関連機器製造	4.5	1.0	3.5
11)航空・宇宙関連産業	0.4	7.4	-7.0
12)その他の輸送機器	1.8	0.1	1.7
13)金属素材・金属製品製造	8.5	0.4	8.1
14)非鉄金属製造	2.6	0.4	2.2
15)食品工業	0.6	0.5	0.1
16)化学製品	9.9	5.6	4.3
17)医療品製造 (注5)	0.2	1.7	-1.5
18)その他の製造業	3.2	6.1	-2.9
製造業小計:6)~18)の合計	57.4	42.0	15.4
19)鉱業(注6)	0.7		0.7
20)建設業	6.9	1.2	5.7
21)通信業	2.3	1.8	0.5
22)公共関連事業(電気・ガス等)	4.3	1.2	3.1
23)運輸業	1.4	1.1	0.3
24)金融・保険	1.1	3.4	-2.3
25)不動産業	0.7	0.7	0.0
26)コンピュータソフト・情報処理	1.4	8.3	-6.9
27)技術コンサルタント	1.8	6.7	-4.9
28)経営コンサルタント	0.4	2.9	-2.5
29)医療	0.2	3.1	-2.9
30)法律	0.1	3.5	-3.4
31)その他の非製造業	4.3	3.3	1.0
非製造業小計:19)~31)の合計	25.5	37.2	-11.7
合計	100.0	100.0	0.0

(注1)調査票の中で現在就業している組織の種類について東大・東工大は単数選択になっているが、M I Tは複数選択が可能になっている。このため、M I Tについては比較を行えるように補正を行った。その補正方法は例えば「組織の種類を2つ選択した場合はそれぞれを2分の1としてカウントする。3つ選択した場合はそれぞれを3分の1としてカウントする。」というように、ひとり合計1点となるようにした。なお、東大・東工大の調査票で組織種類は組織の種類と所属部署の組織種類の2つを質問しているが、この表は組織の種類についての集計結果をまとめたものである。

(注2)各組織別に東大・東工大卒業生の分布の割合からM I Tのそれを差し引いたもの。

(注3)M I Tの調査票の現在組織種類の選択肢では大学に関するものでは「大学(教育及び研究)」と「大学(研究のみ)」があるが、この二つを合計して「大学」とした。これは東大・東工大と比較するために行った。

(注4)「軍事サービス」はM I Tだけの選択肢であり、東大・東工大にはない。(注5)東大・東工大調査票では防衛関連産業が選択肢としてあるがその割合はゼロであった。ただし、所属部署の組織種類のデータでは防衛関連産業に従事している人がいる。これについては表3-1-2参照のこと。M I Tは違った方法で防衛関連について質問しているため本表では比較表示ができないため除いた。M I T調査票では現在従事している仕事と防衛の関連性についての設問はあるが東大・東工大の調査票のように「防衛関連産業」を他の組織種類選択肢と同列に位置づけて選択させるといった方法はとっていない。

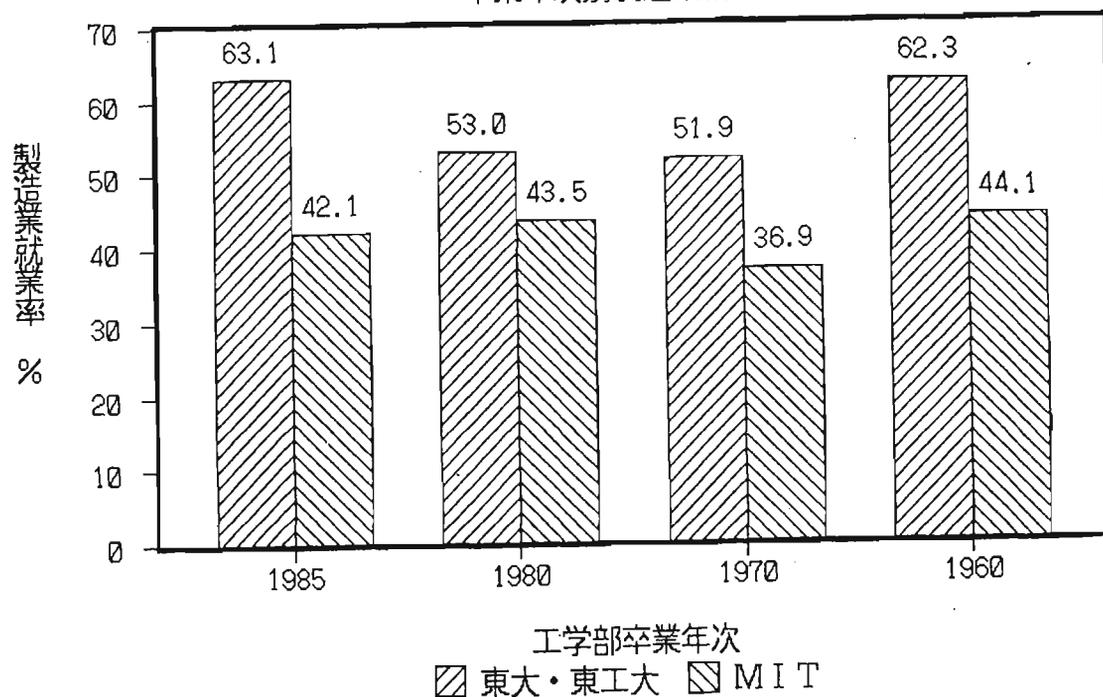
(注6)「鉱業」は東大・東工大だけの選択肢であり、M I Tには「鉱業」はない。

(注7)数値は小数点以下第2位を四捨五入したが、合計を100%とするために若干の調整を行った。

## B 卒業年次別傾向

卒業年次別に分布をみてみる（図3-1-2参照）。「製造業」に焦点を当ててみると、東大・東工大は1960年62.3%、1970年51.9%、1980年53.0%、1985年63.1%、となっている。一方、MITは1960年44.1%、1970年36.9%、1980年43.5%、1985年42.1%、となっている。1985年卒業生のみと比較では約20%の違いがある。各卒業年で東大・東工大のほうがMITよりも大きな割合の卒業生が製造業に従事している。

図 3-1-2 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
卒業年次別製造業就業率



### C 防衛産業に関連している割合

M I T工学部卒業生が現在防衛産業に関連している割合は14.9%で東大・東工大の0.9%に比較して非常に大きい(表3-1-2参照)。また、14.9%という数値はM I T卒業生の一番大きな割合が従事しているコンピュータ産業12.7%よりも大きい割合である。さらに、卒業年次別にみると1960年次M I T卒業生のうち約5人に一人が防衛産業の関連の仕事に従事しており、防衛産業の工学部卒業生の就職に与える影響の大きさを示している。

表 3-1-2 東大・東工大及びM I T卒業生防衛産業関連仕事に従事している割合(%)

	全体	1985	1980	1970	1960(年)
東大・東工大(注1)	0.9	0.3	0.7	0.7	1.2
M I T(注2)	14.9	15.5	10.8	16.3	19.5

(注1) 東大・東工大のデータは質問11の「現在所属している部署の組織または産業種類」の中で答えられたものより作成した。

(注2) M I Tのデータは質問11の「従事している仕事が軍事に関係あるか」という質問に答えた割合。

## (2) 仕事種類分布

卒業生が現在どのような仕事をしているかみてみよう。東大・東工大及びMITに同じ仕事種類の選択肢で現在の仕事種類を尋ねている。まず、ここでは卒業生が技術者として働いているか、さらにどのぐらいの割合の人が生産現場で働いているか注目して分析してみた(表3-1-3参照)。

表 3-1-3 東大・東工大及びMIT卒業生現在の仕事種類別割合分布(%) (注1)

仕事種類	(1)東大・東工大	(2)MIT	(1)-(2)(注2)
1)基礎研究	6.3	3.5	2.8
2)応用研究	10.3	6.1	4.2
3)製品開発	9.4	7.2	2.2
4)工程・プロセスの開発	3.3	3.5	-0.2
研究開発実務小計：1)～4)の合計	29.3	20.3	9.0
5)研究開発の企画・管理	6.4	5.3	1.1
研究開発小計：1)～5)の合計	35.7	25.6	10.1
6)設計(製品)	7.7	4.2	3.5
7)設計(工程・プロセス)	3.0	1.4	1.6
8)生産管理・運営(生産現場)	7.0	3.0	4.0
9)生産管理・運営(生産現場以外)	5.1	2.0	3.1
生産管理小計：8)と9)の合計	12.1	5.0	7.1
10)コンピューターソフトの作成	3.5	11.3	-7.8
11)インフォメーションシステム作成	1.9	2.0	-0.1
12)技術コンサルティング	4.1	5.3	-1.2
技術関連仕事小計：1)～12)の合計	67.8	54.8	13.0
13)経営に関する調査・企画	4.8	4.3	0.5
14)営業・マーケティング	3.9	5.8	-1.9
15)財務・経理	0.2	3.3	-3.1
16)長期研修	0.6	0.0	0.6
17)会社経営	5.2	5.5	-0.3
18)会社のオーナー	0.4	6.2	-5.8
19)行政事務・政策策定	5.1	1.2	3.9
20)教育(大学)	5.6	3.1	2.5
21)教育(高校以下)	0.2	0.1	0.1
22)医療	0.2	3.0	-2.8
23)法律	0.4	4.3	-3.9
24)その他	5.6	8.4	-2.8
非技術関連仕事小計：13)～24)の合計	32.2	45.2	-13.0
合計	100.0	100.0	0.0

(注1)調査票の中で現在就業している仕事の種類について東大・東工大は単数選択になっているが、MITは複数選択が可能になっている。このため、MITについては比較を行えるように補正を行った。その補正方法は例えば「仕事の種類を2つ選択した場合はそれぞれを2分の1としてカウントする。3つ選択した場合はそれぞれを3分の1としてカウントする。」というように、ひとり合計1点となるようにした。

(注2)数値は小数点以下第2位を四捨五入したが、合計の割合を100%とするため若干の調整を行った。

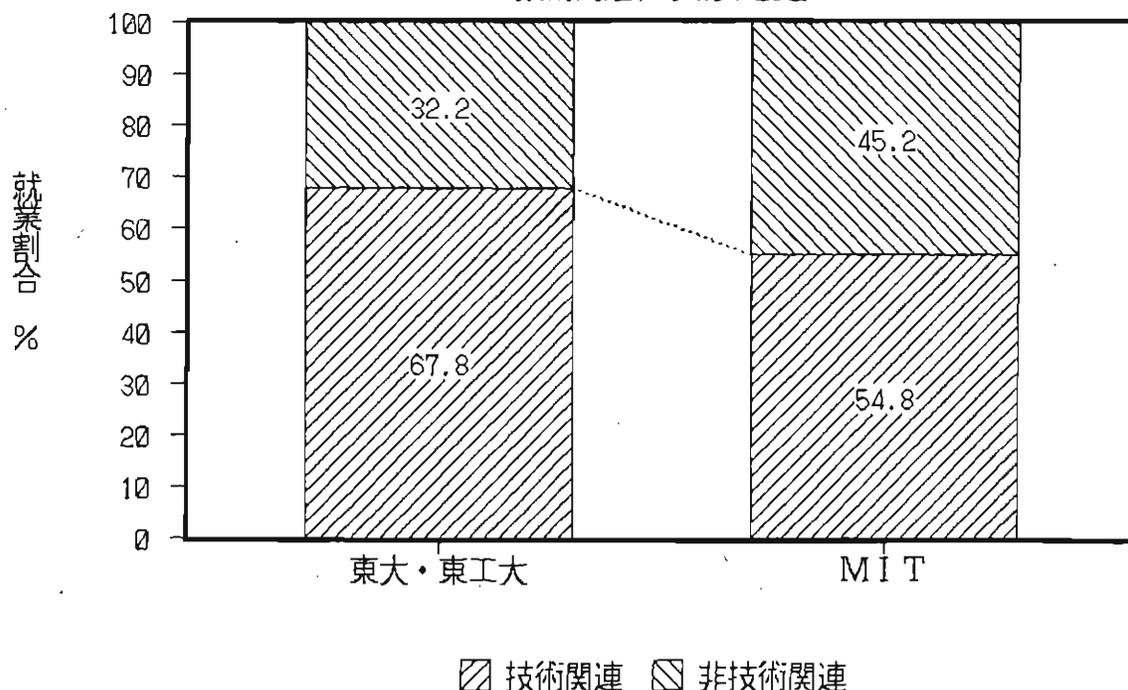
(注3)各仕事別に東大・東工大卒業生の分布の割合からMITのそれを差し引いたもの。

## A 技術者の仕事に従事している割合

卒業生がどれだけ技術者の仕事に従事しているかみてみよう。技術者の仕事を定義をしなければならないが、本報告書ではアンケート票の仕事種類の間の選択肢（表3-1-3、前ページの仕事種類欄参照）について基礎研究、応用研究、製品開発、工程・プロセスの開発、研究開発の企画・管理、設計、製造・生産の管理・運営、コンピュータプログラム及びソフトの作成、インフォメーションシステムの作成・マネジメント、技術コンサルティングのことを本報告書の中では技術者の仕事と定義し、便宜上「技術関連の仕事」と呼ぶ。「非技術関連の仕事」とは「技術関連の仕事」以外の全ての仕事を示す。

全サンプルを比較すると東大・東工大は技術関連の仕事に従事している人が67.8%、MITのそれは54.8%となっている。東大・東工大のほうがMITより技術関連の仕事に従事している割合が大きいことがわかる（図3-1-3参照）。統計的検定については資料6参照のこと。

図 3-1-3 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
技術関連仕事就業割合



この「技術関連の仕事」及び「非技術関連の仕事」の内容を仕事種類レベルにブレイクダウンして分析する（表3-1-3、10ページ参照）。

「技術関連の仕事」では東大・東工大がMITより分布割合が大きいですが、仕事種類レベルでもほとんどの項目について東大・東工大の割合の方が大きいことがわかる。具体的には基礎研究、応用研究、製品開発、研究開発の企画管理、設計（製品）、設計（工程・プロセス）、生産管理（生産現場）、生産管理（生産現場以外）について東大・東工大の方がMITよりも割合が大きい。MITの割合の方が大きいのは工程・プロセス開発、コンピュータソフトの作成、インフォメーションシステムの作成、技術コンサルティングである。

これらを便宜上、それぞれ小項目にまとめて比較すると、東大・東工大の方がMITよりも分布割合が大きいのは次のとおりである。

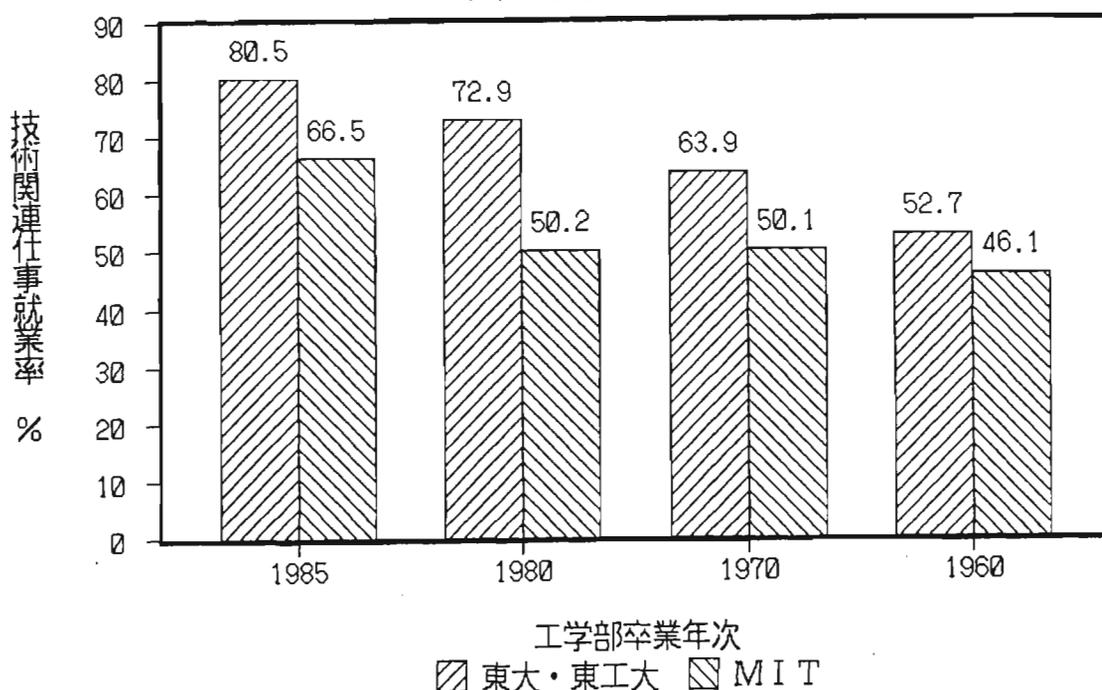
- 研究開発関連＜基礎研究、応用研究、製品開発、工程・プロセス開発、研究開発の企画管理の合計＞（東大・東工大35.7%、MIT25.6%）
- 設計関連＜設計（製品）と設計（工程・プロセス）の合計＞（東大・東工大10.7%、MIT5.6%）
- 生産現場関連＜生産管理（生産現場）と生産管理（生産現場以外）の合計＞（東大・東工大12.1%、MIT5.0%）

ただし「コンピュータソフトの作成」ではMITの方が分布の割合は大きい（東大・東工大3.5%、MIT11.3%）。

「非技術関連の仕事」全体ではMITが東大・東工大より割合が大きいですが、仕事種類レベルではMITの割合の大きいもの、東大・東工大の方が大きいものがそれぞれある。MITが東大・東工大と比較して割合が大きいのは会社のオーナー、法律、財務・経理、医療である。例えば、会社のオーナーは東大・東工大0.4%、MIT6.2%となっている。さらに、法律、財務・経理、医療については東大・東工大卒業生はほぼゼロに近いが、MIT卒業生は法律4.3%、財務・経理3.3%、医療3.0%が従事しており、これらの割合は同じMIT卒業生の設計（製品）4.2%や生産管理（生産現場）3.0%に匹敵する。東大・東工大の割合の方が大きいのは行政・政策策定、経営に関する調査・企画、長期研修、教育（大学）、教育（高校以下）である。特に行政・政策策定についてはその違いは大きい（東大・東工大5.1%、MIT1.2%）。

さらに卒業年次別に傾向をみてみよう（図3-1-4参照）。技術関連の仕事に従事している人の割合は、東大・東工大は1985年80.5%、1980年72.9%、1970年63.9%、1960年52.7%となっている。一方、MITは1985年66.5%、1980年50.2%、1970年50.1%、1960年46.1%となっている。全ての卒業年次において東大・東工大のほうがMITよりも技術関連の仕事に従事している割合が大きい。東大・東工大及びMITとも卒業年次が古くなるにつれて技術関連の仕事に従事する割合が小さくなっているのがわかる。とくにMITは卒業後約12年しか経ていない1980年卒業生で、既にほぼ半数しか技術関連の仕事をしていない。一方東大・東工大の同年卒業生は72.9%が技術関連の仕事に従事している。すなわち、工学部卒業生を比べるとMITのほうが東大・東工大よりも技術者離れの現象が起きているといえる。統計的検定は資料6参照のこと。

図 3-1-4 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
卒業年次別技術関連就業率



こうした中で生産現場に従事している割合をさらに分析してみよう。

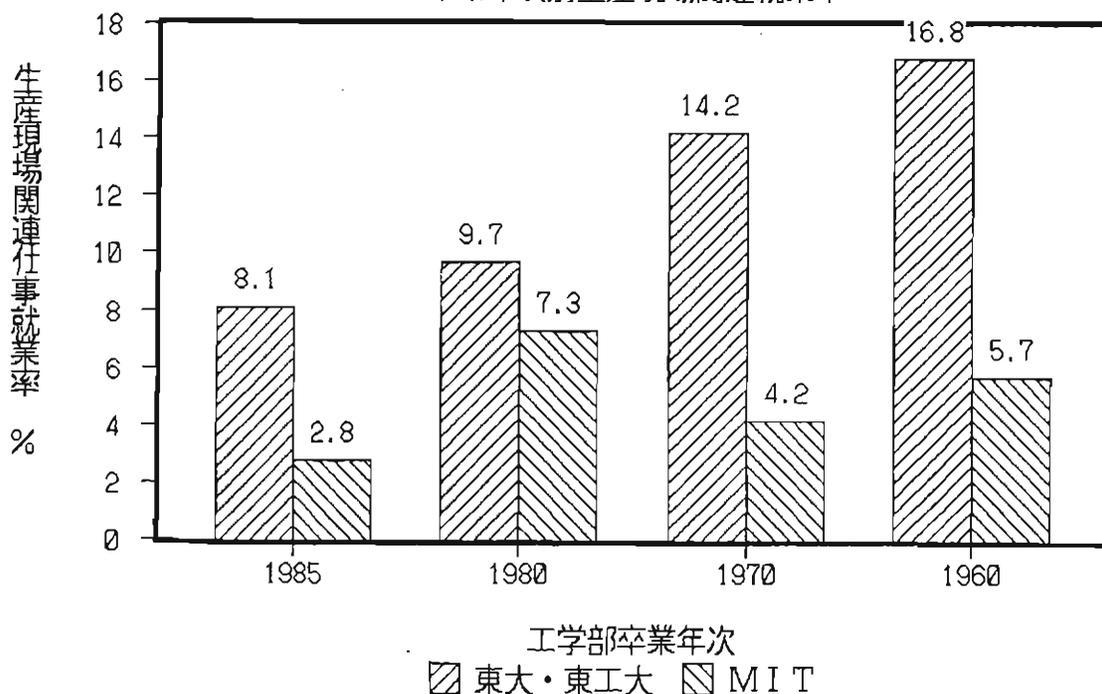
## B 生産現場関連の仕事に従事している割合

上述のように東大・東工大卒業生の中では現在生産現場関連の仕事（注）に従事している人の割合が12.1%、MITのそれは5.0%となっている（表3-1-3、10ページ参照）。東大・東工大のほうがMITより生産現場関連に従事している割合が2倍以上である。

（注）製造・生産の管理・運営（生産現場）及び製造・生産の管理・運営（生産現場以外）を「生産現場関連の仕事」としている。

さらに、卒業年次別に「生産現場関連の仕事」に従事している割合を比べてみると、東大・東工大は1985年8.1%、1980年9.7%、1970年14.2%、1960年16.8%となっている（図3-1-5参照）。卒業年次が現在に近づくにつれて「生産現場関連の仕事」に従事する割合が小さくなっているのがわかる。一方、MITは1985年2.8%、1980年7.3%、1970年4.2%、1960年5.7%となっており、卒業年次別の割合には特定の傾向はみられない。このように卒業年次比較においても東大・東工大のほうがMITよりも生産現場関連の仕事に従事している割合が大きい。すなわち工学部卒業生を比べるとMITのほうが東大・東工大よりも生産現場関連に従事している割合が少ないことがわかる。東大・東工大はその生産現場関連に従事している割合が卒業年次が現在に近づくにつれて少なくなりつつある。

図 3-1-5 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
卒業年次別生産現場関連就業率



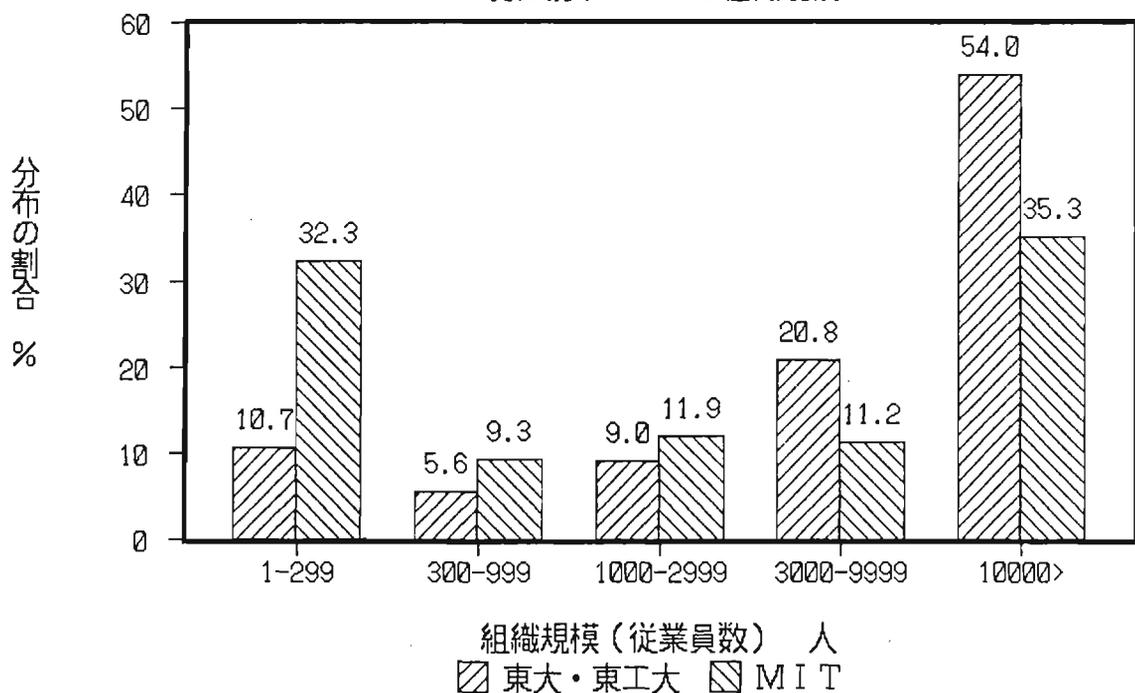
(3) その他

ここでは組織種類、仕事種類以外のデータで職歴に関連すると考えられる「現在就職している組織規模」及び「転職回数」のデータを示す。

A 現在就職している組織規模（図3-1-6参照）

回答した全サンプル（アンケートの設問は政府関係者以外の人に行った）を比較すると、東大・東工大は「10,000人以上」が54.0%であり、「3,000~9,999人」の20.8%を含めると、74.8%となり大企業に勤めていることがわかる。一方、MITも「10,000人以上」が35.3%と一番大きな割合を示しているが、「1~299人」も32.3%と同程度に大きく大企業と小企業に偏る二極現象が起きている。

図 3-1-6 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
現在就業している組織規模



## B 転職回数

全サンプルを比較すると、東大・東工大は「転職をしていない」が83.8%、1回12.7%、2回2.4%、3回0.4%、4回以上16.2%となっている。MITは「転職をしていない」が29.8%、1回26.5%、2回16.0%、3回11.5%、4回以上16.2%となっている（図3-1-7参照）。

卒業年次別に傾向をみってみる。「転職をしていない」人に焦点を当ててみると、東大・東工大は1985年96.0%、1980年85.0%、1970年80.8%、1960年73.4%となっており終身雇用制の様子を示している（図3-1-8参照）。一方、MITは1985年45.8%、1980年27.1%、1970年17.3%、1960年18.9%となっている。さらに、「4回以上変更した」人の割合を比べてみると、東大・東工大は1985年及び1980年は0%、1970年1.0%、1960年0.4%となっているのに対し、MITは1985年6.4%、1980年10.5%、1970年26.8%、1960年32.0%となっている。

この転職回数の大きな違いは職業に対する考え方の違いや、組織と個人の関係の違いを示唆していると考えられる。

図 3-1-7 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
転職回数別分布

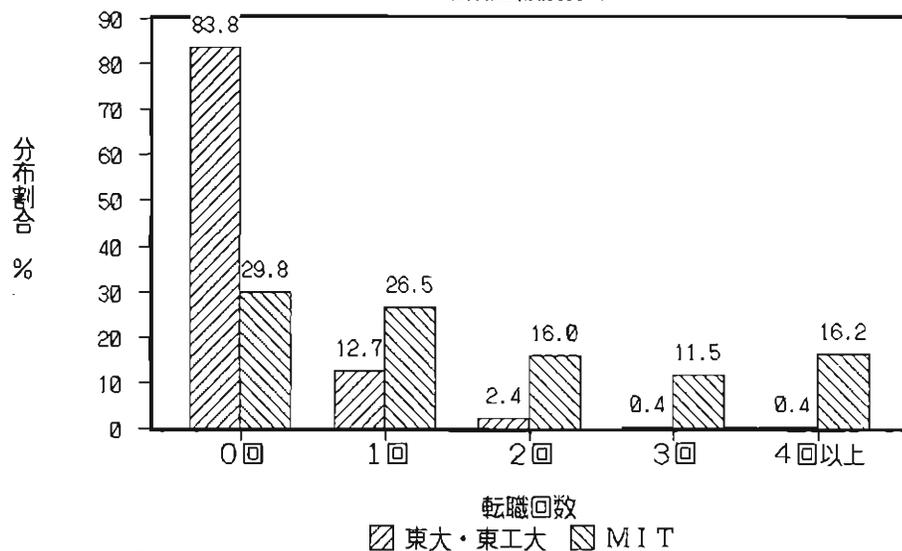
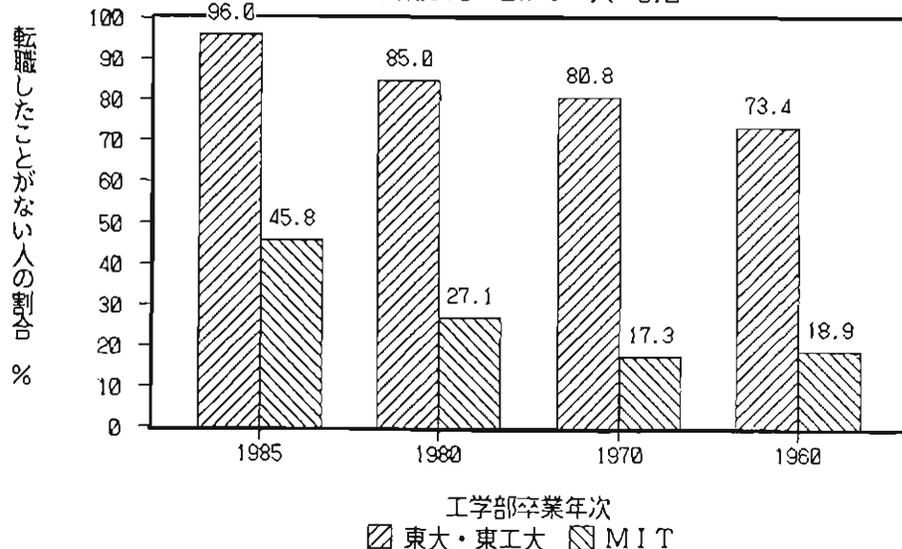


図 3-1-8 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
転職したことがない人の割合



東大・東工大及びMITの工学部卒業生の現在の就業実態の違いをまとめると、次のとおりである。

- ・製造業で働いている割合は東大・東工大の方がMITよりも大きい。ただし、産業分野別にみると航空・宇宙産業、コンピューター産業、等ではMITの割合の方が大きい。
- ・技術者として働いている割合は東大・東工大の方がMITよりも大きい。MITは工学士取得後12年経た時点で約半分の人しか技術者として働いていない。
- ・生産現場関連に働いている割合は東大・東工大の方がMITより2倍以上も大きい。

ではどうしてこのような違いが生じるか要因について考察してみよう。

### 3-2 東大・東工大及びMIT卒業生就業実態の違いに関する要因の考察

アンケート調査の内容で述べたように、東大・東工大及びMIT卒業生就業実態の違いを生じさせる要因を、三つの観点①個人の職業に関する意識、②組織経営における技術者の処遇、③技術者の社会的地位、から考察する。

#### (1) 個人の職業に関する意識

個人の職業に関する意識を三つの項目によって調査を試みた。それらは「職業における目標」、「仕事の好み」、及び「会社の命令に対する許容度」である。技術者自身の「職業における目標」、及び「仕事の好み」は企業や仕事の選択に強い影響を与えると考えられる。さらに「会社の命令に対する許容度」は企業内の仕事の選択に影響を与えるであろう（詳細は資料1「アンケートの構成と仮説」参照）。これらの三つの項目は個人によって異なると考えられ、職業に関する選考特性といえることができる。

ここではこれらの三つの項目から個人の職業選択の仕方について東大・東工大卒業生とMIT卒業生の比較をし、就業状況の違いの原因を探ってみる。

#### A 職業における目標

「職業における目標」とは、例えば、自分の会社をもちたい、既存企業の経営トップになりたい、方法は問わないからとにかく金持ちになりたい、一流の技術者になりたい、等であり、これらの目標のとり方によって、キャリアの積み方が変わってくると考えられる。

この「職業における目標」を比較するためにアンケート票では「職業における最終目標」と「希望するキャリアパス」の二つを質問している。

## 1) 職業における最終目標

東大・東工大卒業生が仕事の最終目標として選んだもの（三つ以内複数選択）は「仕事そのものを楽しむ」（回答者のうち50.0%の人が選んだ）、「世の中のためになる」（45.0%）、「仕事と家庭のバランスのとれた生活を送る」（36.1%）、「安定した生活を送る」（34.5%）、「より高い収入を得る」（26.1%）の順になっている（表3-2-1参照）。一方、MITの卒業生はトップは「仕事そのものを楽しむ」で同じだが、以下の順序はかなり違っており、「良い家庭を築く」（37.0%）、「より高い収入を得る」（35.9%）、「仕事と家庭のバランスのとれた生活を送る」（29.0%）である。これらは東大・東工大とMIT卒業生の「職業における最終目標」に関する価値観の違いを示している。

表 3-2-1 東大・東工大及びMIT工学部卒業生職業における最終目標分布(%)

職業における最終目標	(1)東大・東工大	(2)MIT	(1)-(2)(注1)
1) より高い収入を得る。	26.1	35.9	-9.8
2) 良い家庭を築く。	13.6	37.0	-23.4
3) 安定した生活を送る。	34.5	19.6	14.9
4) 名声を得る。	6.8	11.9	-5.1
5) 世の中のためになる。	45.0	17.3	27.7
6) 自分の事業を拡大する。	6.0	17.3	-11.3
7) 余暇活動を楽しむ。	10.5	12.2	-1.7
8) 社会的に大きな影響力を持つ。	20.3	16.6	3.7
9) 人格形成を行う。	16.2	21.2	-5.0
10) 仕事そのものを楽しむ。	50.0	56.5	-6.5
11) 仕事と家庭のバランスのとれた生活を送る。	36.1	29.0	7.1
12) その他	3.9	1.3	2.6
13) 特に無し。	0.9	1.1	-0.2

(注1) 各目標別に東大・東工大卒業生の分布の割合からMITのそれを差し引いたもの。

(注2) 回答は三つ以内の複数選択である。

## 2) 希望するキャリアパス

現在希望するキャリアパスの分布では東大・東工大及びMITにおいて大きな違いが現れている(表3-2-2参照)。東大・東工大卒業生は分布の大きい順に「既存企業や組織で出世」が40.2%、「技術者・技術エキスパート」26.1%、「大学教授になる」11.0%、「自分の会社を設立する」10.4%となっている。一方、MIT卒業生は「自分で会社を設立する」が25.7%とトップになり、「既存企業や組織で出世」が22.0%、「技術者・技術エキスパート」21.9%、「大学教授になる」13.2%、となっており東大・東工大と大きく異なった分布を示している。これらは相対的に、日本の大企業出世志向、米国の企業家志向を反映していると考えられる。

表 3-2-2 東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在望んでいるキャリアパス分布(%)

現在望んでいるキャリアパス	(1)東大・東工大	(2)MIT	(1)-(2)(注1)
1) 既存企業や組織で出世する。	40.2	22.0	18.2
2) 自分の会社を設立し、発展させる。	10.4	25.7	-15.3
3) 大学の教授等になり、教育や研究を行う。	11.0	13.2	-2.2
4) 独立した技術者・技術エキスパート	26.1	21.9	4.2
5) その他	4.4	8.0	-3.6
6) 特に無し。	7.8	9.2	-1.4
合計	100.0	100.0	0.0

(注1) 各仕事別に東大・東工大卒業生の分布の割合からMITのそれを差し引いたもの。

以上にみられるように「職業における最終目標」及び「希望するキャリアパス」において東大・東工大とMITは違っている。これは東大・東工大とMITの工学部卒業生の間では職業に対する価値観の違いを示していると言える。

これら二つの項目にみられる「職業における目標」の違いが仕事種類の選択についてある程度影響すると考えられる。例えば、MITの仕事種類で会社のオーナーになっている割合(6.2%)が東大・東工大(0.4%)に比べて大きいのは「希望するキャリアパス」における東大・東工大とMITの違い(「自分で会社を設立する」が東大・東工大10.4%、MIT25.7%)がある程度反映したものと考えられる。

「職業における目標」はさらに組織の選択に何らかの影響を与えると考えられる。一つの例として、前述のように現在就職している組織規模の分布は東大・東工大は大企業中心の分布、MITは大企業と小企業と両極分布になっており、希望するキャリアにおける東大・東工大の大企業出世志向とMITの企業家志向が反映されていると考えられる。

## B 仕事の好み

どの様な仕事をやりたいか、「希望する仕事」を尋ねた。現在希望する仕事の分布では東大・東工大及びMITにおいて大きな違いが表れている（表3-2-3、次ページ参照）。

まず、技術関連と非技術関連の分類で比較すると、東大・東工大卒業生は「技術関連」が64.8%、「非技術関連」35.2%、一方MIT卒業生は「技術関連」が48.1%、「非技術関連」51.9%となっており東大・東工大のほうが技術関連を希望する割合がかなり大きいといえる。

「研究開発」（注1）を希望する割合は東大・東工大39.3%、MIT26.9%となり大きな違いがある。「生産現場関連」（注2）は東大・東工大8.0%、MIT3.9%となっており、東大・東工大のほうが希望している割合がかなり大きいことがわかる。

（注1）ここにおいて「研究開発」とは基礎研究、応用研究、製品開発、工程・プロセスの開発、研究開発の企画・管理の合計を示す。

（注2）ここにおいて「生産現場関連」とは生産管理・運営（生産現場）と生産管理・運営（生産現場以外）の合計を示す。

さらに、「会社のオーナー」については、MITは東大・東工大よりも11.1%も希望する割合が大きく、「非技術関連の仕事」を希望する両者の違い16.7%の約7割弱の大きさである。これらは、東大・東工大とMITの卒業生ではその希望する仕事種類が基本的に違っていることを示している。この違いは仕事種類選択に大きな影響を与えると考えられ、そのまま現在の仕事の種類の分布を反映している（表3-1-3、10ページ参照）。

卒業年次ごとの「技術関連」を希望する割合をみると、MITについては卒業した後6年しか経っていない1985年卒業生の中で52.3%しか技術関連の仕事我希望しなくなってしまう（図3-2-1参照）。これは東大・東工大の同年卒業生の72.8%よりはるかに小さい。

図 3-2-1 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
現在技術関連の仕事希望している比率

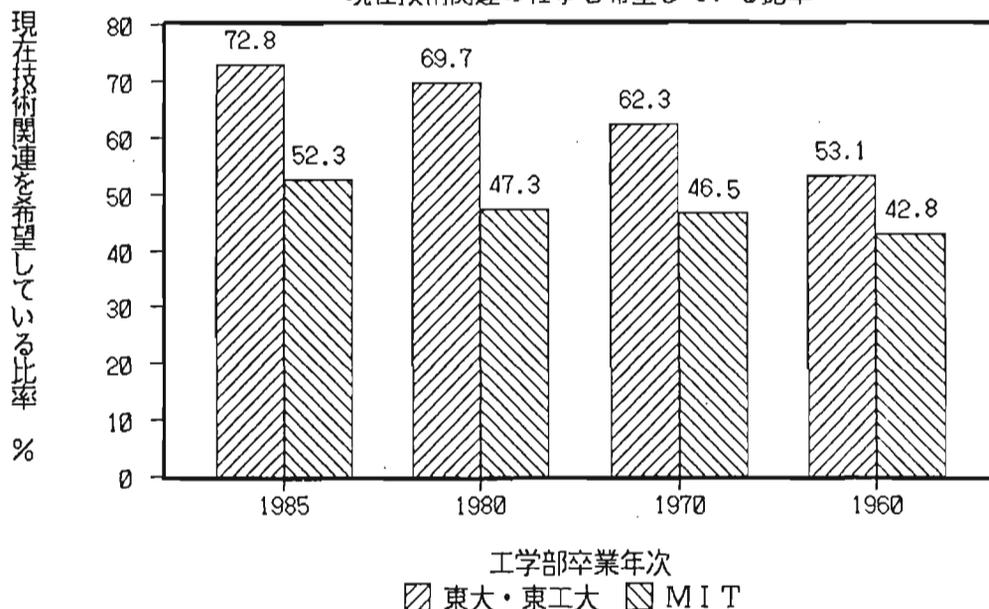


表 3-2-3 東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在希望している仕事分布(%)

仕事種類	(1)東大・東工大	(2)MIT	(1)-(2)(注1)
1)基礎研究	8.3	5.0	3.3
2)応用研究	11.2	8.1	3.1
3)製品開発	9.3	6.1	3.2
4)工程・プロセスの開発	3.1	2.0	1.1
研究開発実務小計：1)～4)の合計	31.9	21.2	10.7
5)研究開発の企画・管理	7.4	5.7	1.7
研究開発小計：1)～5)の合計	39.3	26.9	12.4
6)設計(製品)	4.8	4.4	0.4
7)設計(工程・プロセス)	1.2	0.5	0.7
8)生産管理・運営(生産現場)	3.1	2.4	0.7
9)生産管理・運営(生産現場以外)	4.9	1.5	3.4
生産管理小計：8)と9)の合計	8.0	3.9	4.1
10)コンピューターソフトの作成	1.7	7.0	-5.3
11)インフォメーションシステム	2.6	0.9	1.7
12)技術コンサルティング	7.2	4.5	2.7
技術関連仕事小計：1)～12)の合計	64.8	48.1	16.7
13)経営に関する調査・企画	8.7	3.4	5.3
14)営業・マーケティング	2.5	2.9	-0.4
15)財務・経理	0.3	2.1	-1.8
16)長期研修	0.5	0.0	0.5
17)会社経営	8.4	9.9	-1.5
18)会社のオーナー	1.9	13.0	-11.1
19)行政事務・政策策定	4.1	1.1	3.0
20)教育(大学)	4.7	6.4	-1.7
21)教育(高校以下)	0.4	1.1	-0.7
22)医療	0.4	3.2	-2.8
23)法律	0.4	3.2	-2.8
24)その他	2.9	5.6	-2.7
非技術関連仕事小計：13)～24)の合計	35.2	51.9	-16.7
合計	100.0	100.0	0.0

(注1)各仕事別に東大・東工大卒業生の分布の割合からMITのそれを差し引いたもの。

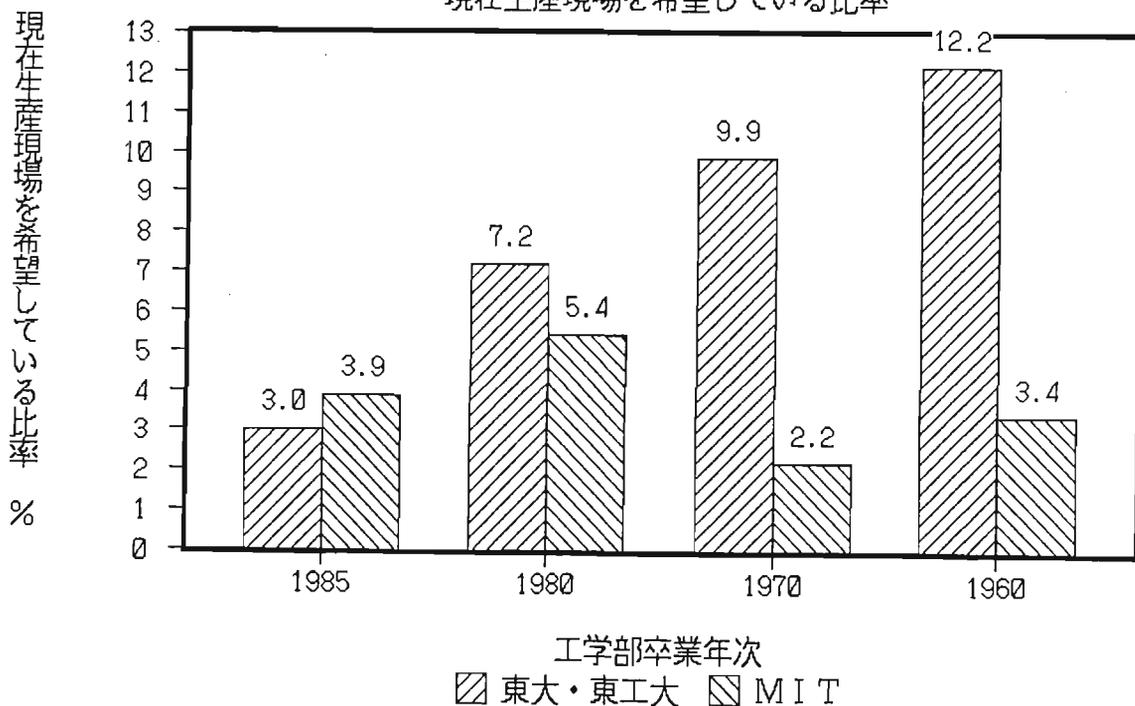
(注2)調査票の中で現在希望している仕事の種類について東大・東工大は単数選択になっているが、MITは複数選択が可能になっている。このため、MITについては比較を行えるように補正を行った。その補正方法は例えば「仕事の種類を2つ選択した場合はそれぞれを2分の1としてカウントする。3つ選択した場合はそれぞれ3分の1としてカウントする。」というように、ひとり合計1点となるようにした。

(注3)数値は小数点以下第2位を四捨五入したが、合計を100%にするため若干の調整を行った。

「生産現場関連」については東大・東工大は減少し、1960年の12.2%から1985年は3.0%となりMITの1985年の3.9%より少なくなっている（図3-2-2参照）。

MITの生産性レポート”Made in America”において米国の製造業の競争力の減退は製造工程の軽視であると指摘されており[2]、この東大・東工大の急激な減少は注目に値する。

図 3-2-2 東大・東工大及びMIT工学部卒業生  
現在生産現場を希望している比率



(注)調査票の中で現在希望する仕事種類においては東大・東工大は単数選択、MITは複数選択が可能のため、MITは補正を行った後上図を作成した。その補正方法は、例えば「希望する仕事種類を2つ選択した場合はそれぞれを2分の1としてカウントする。」というようにひとり合計1点となるようにした。

## C 会社の命令に対する許容度

日本では従来終身雇用制を背景（図3-1-7、16ページ参照）として、会社からの命令に対して比較的従順であると考えられる。仕事が決まる際の組織と個人の意向の関係について東大・東工大とMITの卒業生について調べてみた。具体的には「現在の仕事に対する希望度」について質問した。

これによると（表3-2-4参照）、MIT卒業生では現在の仕事に対しては「大変希望していた」が60.2%と過半数以上を占め、「希望していた」も33.6%となっており、「他に選択肢がなかった」が3.2%と非常に少ない。これに比べて、東大・東工大は「大変希望していた」が17.1%と少ない。ただし、「希望していた」は58.0%と多い。さらに、「他に選択肢がなかった」は17.1%でMITに比べ非常に大きい値になっている。この全体比較では、東大・東工大と比べMITのほうが仕事を決める際個人の希望が受け入れられている、または個人が希望を受け入れられるところを選ぶと考えられる。

表3-2-4 東大・東工大及びMIT工学部卒業生現在の仕事への希望度割合分布(%)

	東大・東工大（注1）	MIT（注2）
大変希望していた	17.1	60.2
希望していた	58.0	33.6
他に選択肢がなかった	17.1	3.2
その他	7.8	3.0
合計	100.0	100.0

（注1）東大・東工大の回答者数 1137

（注2）MITの回答者数 913

さて具体的にこのような「仕事が決まる際の組織と個人の意向の関係」の違いが仕事種類の分布にどのような影響を与えるかを考察するために生産現場関連の仕事に注目してさらに分析してみよう。まず、その希望度を比較してみると全体の傾向と同様にMITの「大変希望していた」が65.9%と非常に高く、それに比べて東大・東工大は「大変希望していた」が14.0%で、その割合は少ない。前表とほぼ同じ傾向を示している。

表3-2-5 現在生産現場関連仕事に従事している人の同仕事の希望度割合分布(%)

	東大・東工大	MIT
大変希望していた	14.0	65.9
希望していた	55.1	29.5
他に選択肢がなかった	23.5	4.6
その他	7.4	0.0
合計	100.0	100.0

さらに現在生産現場関連の仕事に就業している比率（表3-1-3、10ページ参照）と現在生産現場関連の仕事我希望している比率（表3-2-3、21ページ参照）を比較する。東大・東工大は生産現場関連の仕事に現在就業している割合は12.1%で、現在希望している割合は8.0%である。MITのそれは順に5.0%、3.9%となっている。これは東大・東工大の現在就業している割合と希望する割合との差がMITと比較して非常に大きいことを示している。また、1985年東大・東工大卒業生を抽出すると、現在生産現場関連の仕事に就業している比率は8.1%（図3-1-5、14ページ参照）と現在生産現場関連の仕事我希望している比率3.0%（図3-2-2、22ページ参照）を比較するとその差が大きいことがわかる。

すなわち東大・東工大では生産現場関連の仕事が第一希望でなくても組織の指示により従事している割合がMITと比較して高いと推定される。また、これは日本社会における我々の認識と一致している。

日本の組織では一般的に本人が希望しなくても組織の命令で配置されることはよくある事で、「大変希望していた」仕事に従事することは比較的運がよいと考えられる。日本の終身雇用制のため組織の命令には反対しにくいという事情がある。日本において組織は本人の意向を汲みつつも組織の都合の良いところに配置しやすい。

これらにみられるように仕事が決まる際の組織と個人の意向の関係は仕事の選択にある程度影響を及ぼすと考えられる。

以上、「個人の職業に関する意識」においては三つの項目の「職業における目標」、「仕事の好み」、及び「会社の命令に対する許容度」において比較したが、東大・東工大とMITでは大きな違いがあり、またそれらの違いは「技術関連の仕事に従事している割合」や「生産現場関連の仕事に従事している割合」に影響する要因の一つになる可能性があることがわかった。

## (2) 組織経営における技術者の処遇

ここでは東大・東工大卒業生及びMIT卒業生がどう処遇されているかを分析し、それがこれら卒業生の組織種類別分布、仕事種類別分布にどう影響するか考察する。ここでは処遇のされ方をみるために年収を分析した。

### A 学位レベル別処遇

まず、学位レベルの分布をみてみよう。

工学士取得後の学位取得状況を比較すると、全体ではMITが70.6%の人が修士及び博士を保有しており東大・東工大の47.5%よりも大きな割合を占めている。技術系学位（修士及び博士）では東大・東工大とMITはその傾向は変わらないが、非技術系学位においてはMITは24.3%、東大・東工大は1.4%でMITはより大きな割合の人が取得している。これら非技術系学位を取得した人の多くは「非技術関連の仕事」に従事している（表3-2-7,次ページ参照）。

表3-2-6 東大・東工大及びMIT工学部卒業生修士及び博士取得状況

	東大・東工大	MIT
<技術系学位>		
技術系修士	31.6 %	30.3
技術系博士	14.4	17.0
小計	46.0	47.3
<非技術系学位>		
MBA	0.5	14.4
非技術系修士	0.6	1.4
法学位	0	3.6
医学博士	0.2	3.4
非技術系博士	0.2	1.5
小計	1.5	24.3
合計	47.5	70.6

(注1) 工学士取得後修士及び博士を取得している状況を示した。

(注2) 博士と修士を取得している者は博士としてカウントした。複数の修士を取得している者は工学以外の修士としてカウントした。

(注3) 示されている数値はアンケート回答者全体に占める割合（パーセント）である。

表3-2-7 東大・東工大及びMIT学位別現在技術関連仕事に従事している割合(%)

	東大・東工大	MIT
＜技術系学位＞		
工学士	65.6	60.5
技術系修士	78.9	76.9
技術系博士	57.7	70.2
＜非技術系学位＞		
MBA	--	25.2
法学位	--	3.1
医学博士	--	15.4

(注1) 非技術系博士及び非技術系修士はサンプル数が少ないため割愛した。

(注2) 東大・東工大のMBA、法学位、医学博士についてはサンプル数がゼロまたは少ないので割愛した。

それでは実際に取得学位別の収入分布をみてみよう(図3-2-3、次ページ参照)。

これによるとMIT卒業生の間では2つの群に分かれている。収入が高い群は、最終学位が医学博士、法学位、MBAであり、収入が低い群は工学士、技術系修士、技術系博士である。

以上のことは、「米国においては技術系学位と比較してより高い収入が期待できる学位が存在し、また工学部卒業後これらの学位をとる道が開かれている。」ということを示唆している。米国では日本に比べ工学部卒業後再度他分野の学科で新たに学位をとることは珍しいことではなく、工学士取得後その専門分野を変えることは日本に比べて特殊なケースではないことが背景にあると考えられる。米国におけるこのしくみは技術関連の仕事に従事する人の割合を減らす要因の一つになる可能性があると考えられる。

一方、東大・東工大卒業生ではやはり工学士、技術系修士、技術系博士の平均が、多少博士が低いがほぼ同一の分布内にある(図3-2-4、次ページ参照)。ただし、MBA、医学博士、法学位はサンプル数がゼロまたは少数のため除いた。

図 3-2-4

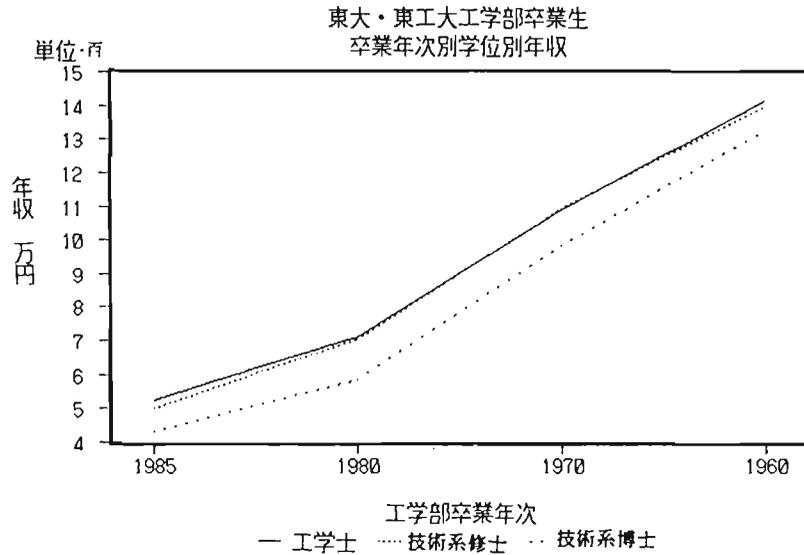
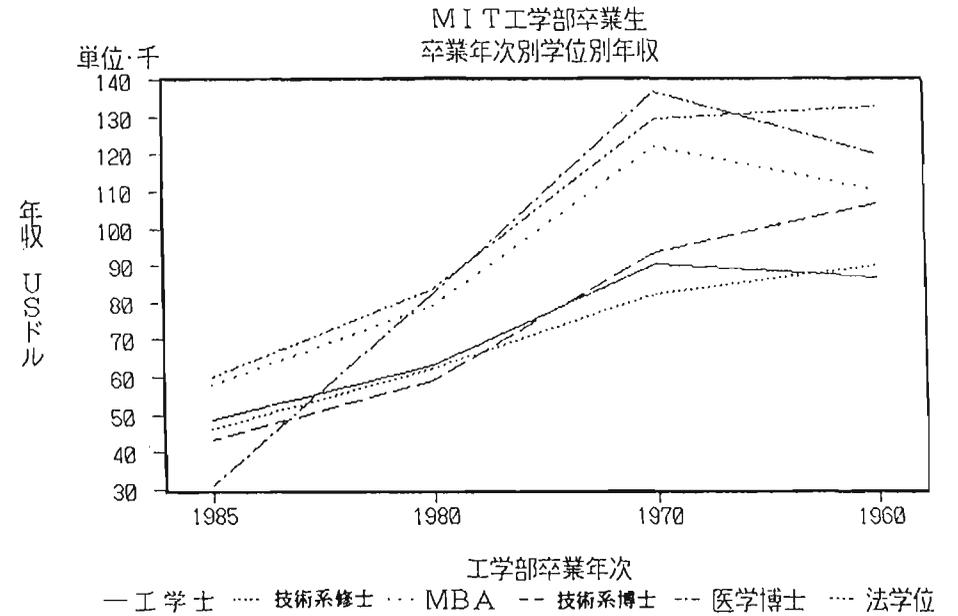


図 3-2-3



MIT 学位種類別別年収データ (単位: USドル)

<学位種類 (注) >	<工学部卒業年>			
	1985	1980	1970	1960
工学士	48,689 (122)	63,163 (83)	90,300 (25)	86,944 (27)
技術系修士	47,234 (94)	61,656 (77)	81,196 (46)	87,981 (52)
MBA	58,056 (27)	79,265 (51)	122,143 (28)	110,455 (22)
技術系博士	42,065 (23)	56,250 (36)	94,875 (40)	106,029 (51)
医学博士	31,250 (12)	82,500 (9)	136,875 (8)	120,000 (2)
法学	60,000 (8)	83,750 (12)	129,643 (7)	132,500 (6)

(注1) ( )内は集計人員 (人) を示す。  
 (注2) 本グラフは回答者の年収をその属する年収階層 (15,000US\$毎に区分) の中央値と仮定して工学部卒業年毎に平均をとったもの。  
 (注3) 学位種類は「工学士」は修士及び博士の学位を保有していないことを示す。博士と修士を保有している場合は博士として分類した。

東大・東工大 学位種類別別年収データ (単位: 万円)

<学位種類 (注) >	<工学部卒業年>			
	1985	1980	1970	1960
工学士	526 (114)	713 (121)	1,090 (159)	1,416 (185)
技術系修士	500 (160)	705 (111)	1,093 (57)	1,400 (12)
技術系博士	433 (18)	585 (33)	986 (56)	1,325 (47)

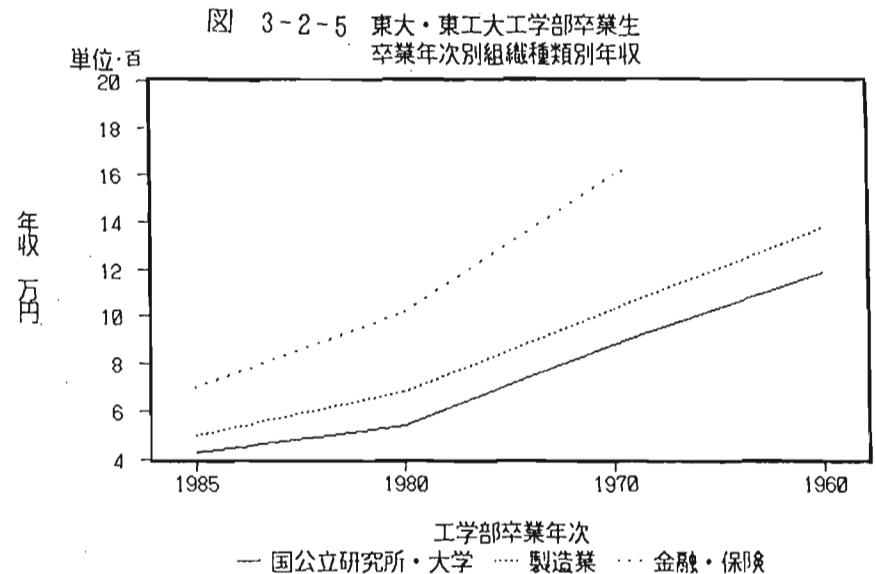
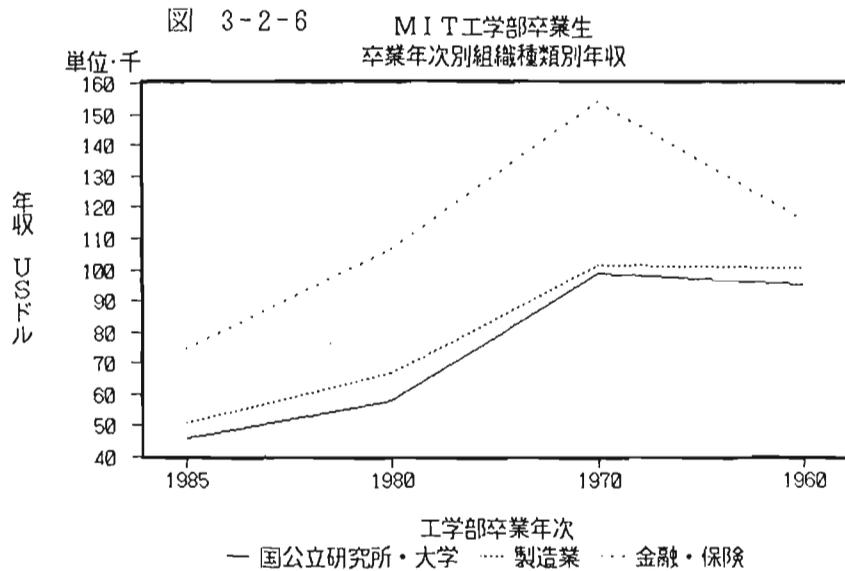
(注1) ( )内は集計人員 (人) を示す。  
 (注2) 本グラフは回答者の年収をその属する年収階層 (200万円毎に区分) の中央値と仮定して工学部卒業年毎に平均をとったもの。  
 (注3) 学位種類は「工学士」は修士及び博士の学位を保有していないことを示す。博士と修士を保有している場合は博士として分類した。  
 (注4) MBA、医学博士、法学位についてはサンプル数がゼロまたは非常に少ないため除いた。

## B 組織種類別処遇

対象となった卒業生が就業している組織の種類によってどの様に処遇されているか年収の観点からみる。

製造業、金融・保険、国公立研究所・大学の年収の分布を見ると東大・東工大及びMITはその順位においてほぼ同じ傾向を示している（図3-2-5及び図3-2-6次ページ参照）。すなわち、順位は両者とも収入の高い順に金融・保険、製造業、国公立研究所となっている。

この産業間賃金格差の現象は東大・東工大及びMIT卒業生同じ状況のため「製造業に従事している割合」における両者の違いを説明する要因とはなり得ないが、日本ではこの産業間の賃金格差が近年問題となった製造業離れの原因の一つと考えられており[1]、米国においても製造業に従事している割合を減少させる一つの要因になっている可能性がある。



MIT 組織種類別年収データ (単位: USドル)

<組織種類>	<工学部卒業年>			
	1985	1980	1970	1960
国立研究所・大学	45,776 (29)	57,917 (36)	98,125 (24)	94,688 (32)
製造業	50,573 (109)	67,500 (113)	100,250 (60)	99,239 (69)
金融・保険	74,318 (11)	106,500 (10)	153,750 (4)	115,500 (5)

(注1) ( )内は集計人員 (人) を示す。

(注2) 本グラフは回答者の年収をその属する年収階層 (15,000US\$毎に区分) の中央値と仮定して工学部卒業年毎に平均をとったもの。

東大・東工大 組織種類別年収データ (単位: 万円)

<組織種類>	<工学部卒業年>			
	1985	1980	1970	1960
国立研究所・大学	426 (19)	552 (31)	882 (33)	1,180 (30)
製造業	491 (188)	688 (148)	1,035 (154)	1,433 (161)
金融・保険	700 (5)	1,020 (5)	1,600 (2)	- (-)

(注1) ( )内は集計人員 (人) を示す。

(注2) 本グラフは回答者の年収をその属する年収階層 (200万円毎に区分) の中央値と仮定して工学部卒業年毎に平均をとったもの。

### (3) 技術者の社会的地位

日本と米国の技術者の社会的地位を比較した。ここでは生産現場で働く技術者の地位に関して東大・東工大及びMIT卒業生がどのように認識しているかを示す。

生産現場の技術者と研究開発の技術者の地位の比較において、東大・東工大は「現場技術者のほうが地位が高い」が15.9%、「現場技術者のほうが地位が低い」が27.6%、「同じ」が42.9%、「わからない」11.4%としている(表3-2-8参照)。MITは「現場技術者のほうが地位が高い」が8.8%、「現場技術者の地位が低い」が58.3%、「同じ」が18.1%、「わからない」11.3%となっている。これは東大・東工大では現場技術者と研究開発従事者との間に大きな違いがないとしているのに対し、MITでは生産現場技術者の地位が低いと認識されていることを示している。

これらの認識の違いは何らかの形で現在の仕事種類の分布に影響している可能性がある。特に、生産現場の東大・東工大及びMIT卒業生が現在就業している割合に影響していると考えられる。

卒業年次別にみると(補足分析表119-120、218頁参照)、東大・東工大は1960年は「現場の技術者の地位が高い」が22.3%と、「現場の技術者のほうが地位が低い」の18.5%より大きい。1970年以降逆転し近年になるほど「現場の地位が低い」の割合が大きくなっている。1985年では「現場の技術者の地位が高い」が12.4%、「現場の技術者のほうが地位が低い」が31.5%となり、時代の流れと共に現場技術者に対する認識が変わってきており、MITに近づきつつある。この傾向は生産現場への就業割合に影響すると考えられる。

表3-2-8 東大・東工大及びMIT工学部卒業生による生産現場の技術者と研究開発の技術者のステータス比較に関する認識の分布

	東大・東工大	MIT
現場技術者のほうが地位が高い	15.9%	8.8%
現場技術者のほうが地位が低い	27.6%	58.3%
同じ	42.9%	18.1%
わからない	11.4%	11.3%
その他	2.2%	3.5%
合計	100.0%	100.0%

(注)MITについて合計100.0%にするために、「その他」の小数点第1位を調整した。

## 4 結論

### (1) まとめと考察

本報告書の目的①東大・東工大とMIT工学部卒業生就業実態の比較、これらの結果をもとに②卒業後進路に影響する要因の考察、に沿ってまとめと考察を述べる。

#### A. 東大・東工大及びMIT卒業生就業実態比較

表4-1に示すように東大・東工大工学部卒業生は「製造業に従事している割合」、「技術者の仕事に従事している割合」、及び「生産現場関連に従事している割合」についてMITの工学部卒業生よりも大きいことがわかった。統計的検定は資料6参照のこと。

表4-1 東大・東工大とMIT工学部卒業生就業実態の比較まとめ

a. 製造業に従事している割合	東大・東工大(57.4%) > MIT(42.0%)
b. 技術者の仕事に従事している割合	東大・東工大(67.8%) > MIT(54.8%) 1980年工学部卒業のみ: 東大・東工大(72.9%) > MIT(50.2%)
c. 生産現場関連に従事している割合	東大・東工大(12.1%) > MIT(5.0%)

#### <表4-1の主な説明>

a. 「製造業に従事している割合」では（東大・東工大57.4%、MIT 42.0%）となっており、東大・東工大工学部卒業生のほうがその割合が大きい。ただし、産業別にブレイクダウンしてみると米国の競争力の強い産業、コンピュータ、航空・宇宙、医療品製造ではMIT卒業生に従事している割合のほうが大きくなっている。また「防衛産業に関連した仕事に従事している割合」においてはMIT工学部卒業生は14.9%で東大・東工大0.9%よりもはるかに大きいことがわかった。14.9%という数値はMIT卒業生の一番大きな割合に従事しているコンピュータ産業12.7%よりも大きい割合である。さらに、MIT1960年卒業生のみ抽出するとその19.5%もが現在防衛産業関連の仕事に従事していることがわかる。

b. 「技術者の仕事に従事している割合」では（東大・東工大67.8%、MIT 54.8%）となっており、技術者として活躍する割合は東大・東工大の工学部卒業生卒業生のほうが大きい。MITは工学部卒業後12年（1980年工学部卒業生）で半分50.2%しか技術者をしていない。東大・東工大の1980年工学部卒業生は72.9%が技術者として活躍している。各仕事種類別にみると大きな違いがみられるのは会社のオ

ーナーについてMIT 6.2%と東大・東工大0.4%、またコンピュータソフトの作成についてはMIT 11.3%で東大・東工大3.5%等がある。

c. 「生産現場関連に従事している割合」では（東大・東工大12.1%、MIT 5.0%）となっている。ただし、近年においては東大・東工大卒業生が生産現場に従事している割合が少なくなっている。また、東大・東工大は研究開発に従事している割合についてもMITより大きい（東大・東工大35.7%、MIT 25.6%）。

## B. 卒業後の進路に影響する要因の考察

本調査では卒業後の進路に影響する要因について①個人の職業に関する意識、②企業経営における技術者の処遇（年収）、③技術者の社会的地位の三つの要素から探った。最初にこの三つの要素についてまず東大・東工大とMITの違いを把握した（表4-2参照）。その違いを基に東大・東工大やMITの卒業後の進路に影響をあたえる要因についてまとめた。

a. 個人の職業に関する意識について比較するために、職業における目標（職業の最終目標・希望するキャリアパス）、仕事の好み、及び会社の命令に対する許容度についてデータを分析した。これらの項目について東大・東工大とMITには違いがみられ、個人の職業に関する意識が違うことがわかった。この違いは進路の選択に影響すると考えられ両者の就業実態の違いを生じさせている要因の一つになっている可能性がある。

・希望しているキャリアパスでは東大・東工大は大企業志向であり一方MITは企業家志向が強い。これはオーナーになっている割合においてMITのほうが東大・東工大より圧倒的に多いことと関係があると考えられる。これはそのまま「技術関連の仕事に従事している割合」を減らす要因になっていると考えられる。さらに従事している企業規模にも反映していると考えられ、東大・東工大は大企業に大きく片寄っているがMITは小企業と大企業に二分されている。

・会社の命令に対する許容度において東大・東工大は約25%が希望していなかった仕事に従事している。一方、MITではほとんどが希望していた仕事に従事している。これは終身雇用をベースとしている日本社会では第一希望でなくても会社の命令で従事している割合が高いことを示している。これによって希望していない人でも生産現場の仕事に従事させることができる。これは「生産現場関連に従事している割合」の違いの要因の一つになり得る。このように会社と従業員の関係は東大・東工大とMITでは大きく異なっている。さらに、日本の終身雇用の状況を示すデータとして転職回数があり、今回の調査結果は東大・東工大はMITに比べて極端に少ないことを示している。

b. 企業経営における技術者の処遇について年収によって考察を試みた。

### ・組織種別別収入分布

国立研究所・大学、製造業、金融・保険の三つの分野に従事している人のそれぞれの平均年収は東大・東工大とMITともその順位は変わらず、年収の高い順に金融・保険、製造業、国立研究所・大学となっている。このような産業別の収入格差はそれぞれの国において工学部卒業生の進路に影響をあたえている可能性がある。

### ・学位別収入分布

MIT工学士取得者の間において卒業後の非技術系学位を取得した人の収入は技術系学位取得者と比較して非常に高い。この収入格差も進路に影響をあたえていると考えられる。MITにおける工学士取得者は卒業後、技術系以外の学科で修士や博士を取得している割合は24パーセントある。一方、東大・東工大のそれは全体の2パーセント以下である。MITの非技術系学位の主なものはMBA、法学、医学である。これら非技術系学位の取得者の多くは技術者の仕事に従事しておらず、「技術関連の仕事に従事する割合」を減少させる要因の一つになっている可能性がある。

### c. 社会的地位

現場技術者の地位について違いがはっきりしており、MITは現場技術者の地位を低くみているが東大・東工大では両者の地位は同じとしている。この違いは「生産現場関連に従事している割合」における違いの要因の一つになる可能性がある。社会的地位の認識は進路選択に影響すると考えられる。

表4-2 「個人の職業に関する意識の違い」「企業経営における技術者の処遇」「技術者の社会的地位」における東大・東工大とMITの違い

項 目		東大・東工大とMITの主な違い
①個人の職業に関する意識の違い	職業における目標	<東大・東工大>大企業志向 <MIT>企業家志向
	仕事の好み	<MIT>比較的技術者の仕事や生産現場関連仕事を希望する割合が比較的小さい。
	会社の命令に対する許容度	<東大・東工大>会社の命令に比較的従いやすい。
②企業経営における技術者の処遇(年収)		<MIT>非技術系学位の収入が技術系学位より大きい。MITの24%が非技術系学位を取得している。
③技術者の社会的地位		<MIT>生産現場に従事している技術者の地位が低い。
④その他	就業のしくみ・習慣	<MIT>工学部卒業後もプロフェッショナルスクール(ロースクール、ビジネススクール等)を通して他の職業分野・産業分野へ行くルートが確立されている。転職も多い。
	防衛産業	<MIT>防衛産業が大きく影響している。

## C. 考 察

以上まで個人の職業に対する考え方、経営のあり方、社会の仕組みの違う日本と米国の大学の工学部卒業生を対象に就業実態調査を行った。これによって得た結果をもとに進路に影響する要因を考察した。本報告書の「目的」で述べたように工学部卒業生就業状態に関する現象を起こす要因の所在がどこにあるか今まで明確にされていない。今回の調査結果はアンケート調査のアウトプットに限られており必ずしもこれらの要因全体を指摘しているとは考えられないが、その要因が個人の職業に対する考え方、経営のあり方、社会構造レベルの複数のレベルに存在する可能性があることを示している。

さらに今回の調査結果は次のことを示唆している。

a 国によって工学部卒業生の使われ方が違う可能性がある。

科学技術人材を製造業競争力の一つのファクターとみたとき、同一量の科学技術人材を育成し社会に出しても、国によってそれら人材の活用の仕方が違う。例えば技術者として働く割合や、技術者が多く配分されている産業等は国によって違う。よって製造業の競争力への貢献度も違ってくると思われる。

b 国によって違ってくる要因は個人の職業に対する考え方、経営のあり方、社会構造レベルのそれぞれにあると考えられる。製造業競争力のための科学技術人材供給を検討するとき、これらの要因をもとに適切な対策をとることにより効率的な供給ができる可能性がある。

今まで科学技術人材の供給は科学技術人材の育成について議論が多かったが、本調査結果は育成された科学技術人材をどのようにすればより効率的に活用できるかについての検討も重要であることを示している。

## (2) 今後の課題について

### 1) 本調査結果の一般化のための研究の必要性

今回、東大・東工大とMITの工学部卒業生の就業実態を比較分析することにより就業状態に関する現象（製造業に従事する人の割合の増減、技術者に従事する人の割合の増減、生産現場に従事する人の割合の増減）を起こす要因の手がかりをつかめたが、因果関係を明確にするには大学の数を増やすこと等を含めたより多くの研究が必要である。

### 2) 科学技術人材の産業競争力貢献指標の検討

同一量の工学部卒業生を供給しても、その活用のされかた（産業別分布、仕事種類分布等）が各国によって違うと考えられる。本指標を確立することは産業競争力に関する政策立案に役立つと考えられる。

### 3) わが国における生産現場離れの実態調査と対応策の検討

今回の調査結果で東大・東工大卒業生の間では生産現場に希望する割合が近年減少傾向にあり、1985年次卒業生では3.0%となりMITの3.9%よりも少なくなっていることがわかった（図3-2-2参照）。このような現象が他の大学にも現れているか、また実際に製造業の生産現場にどのような影響をあたえているかを調査し、問題がある場合には対応策を検討する必要がある。

### 4) 製造業の競争力と科学技術人材供給の関係の時系列的研究

米国では現在競争力の強い産業にはMIT卒業生は東大・東工大よりも大きな割合に従事している。現在競争力が弱い以前競争力の強かった米国の家電メーカー、製鉄メーカー等の産業への科学技術人材の供給はどう変化したのであろうか。十分な供給が行われていたのであろうか。また、それはどうして変化したのか。特定の産業の競争力と科学技術人材供給の関係を時系列を踏まえて研究する必要がある。

### (3) その他

今回の調査結果について興味あるものについてコメントした。

1) MIT 卒業生にみられるように米国において生産現場に従事している技術者の地位が低いことが推定され、日本等に比較して優秀な技術者が製造現場に配置されていない[3]原因の一つと考えられる。生産現場の職場環境の改善、処遇の向上などを通しての生産現場に従事している技術者の地位を向上させるよう努める必要があると考える。

2) MIT 工学部卒業生にみられるように、防衛産業は優秀な工学系人材を多く吸収する。米国では理工系人材が防衛産業に多く行くということは、他方で民生用製造業に人材がその分だけ行かないことを意味する。米国の民生用製造業においては防衛産業と人材の獲得競争をするという意味から、技術者に対する処遇の改善などを図り、技術者からみてより魅力的になる必要がある。また、米国政府が防衛産業に対する政策を検討する場合は民生用製造業への理工系人材の分配の影響、ひいてはその競争力に影響することを考慮すべきであると考えられる。

3) 今回の調査結果は個人の職業に対する意識や価値観というものが国によってかなり違う可能性があることを示している。個人の職業観やその目的が違えば、経営の基本の一つである仕事への動機付け（どうやったらやる気を出させるか）の方法が違ってくると考えられる。今回の調査結果が示している東大・東工大とMIT 卒業生の職業意識の違いは日本的経営の米国人への適応の難しさを示唆していると考えられる。日本企業における外国人の雇用は増加していくと予測されるので、このような企業は職業観の違いを考慮に入れて経営方法等を改善することが必要であろう。

< 参考文献 >

[1] 西瀉千明、中西顯宏、平野千博、「理工系学生の就職動向について」  
科学技術政策研究所 NISTEP REPORT1 平成元年6月

[2] Leonard Hlynn, Henry R. Piehler, Walter P. Zahray. 'Engineering Graduates in the United States and Japan: A comparison of their Numbers, and an Empirical Study of Their Careers and Methods of Information Transfer' December 1988

[3] Michael L. Dertouzos, Richard K. Lester, Robert M. Solow. 'Made in America' 1989

## 謝 辞

本調査研究はハーバード大学ケネディ政治行政大学院科学技術政策プログラムの研究協力を得て行ったものである。調査研究の課程では同プログラムのルイス・ブランドスコム教授、ハービィ・ブルックス教授、ドロシー・ジンバーグ講師、ジェラルド・エプスタイン博士、及びジョーシャ・レーナー大学院生（現在ハーバードビジネススクール準教授）からアドバイスをいただいた。マサチューセッツ工科大学エレノア・ウエスティニ教授（スローンマネジメントスクール）、ロバート・ウエザロール氏（キャリアサービス室長）にはアメリカのエンジニアの経験に適したアンケート票の作成を手伝っていただき、さらにMIT卒業生へアンケート票の配布をアレンジしていただいた。また、MIT Alumni Associationの副社長であるウィリアム・ヘクト氏にはMIT卒業生の郵送リストの使用を許可していただいた。東大・東工大卒業生へのアンケート実施においては（社）科学技術と経済の会にご協力をいただいた。また、東大・東工大の卒業生名簿の収集には各大学の教授の方々及び卒業生の方々にご協力いただいた。これらの方々に深く感謝申し上げます。

資料 1

「アンケート調査の構成と仮説」



## 「アンケート調査の構成と仮説」

- <ねらい> (1) 「製造業離れ」、「技術者離れ」、及び「生産現場離れ」を中心に理工系卒業生の職業選択の日米の違いを把握する。  
(2) その違いを生じさせる要因を分析する。

<実施方法> 日本は東大と東工大、米国はMITの1960、1970、1980、及び1985年の工学部卒業生を対象として行う。アンケート対象者の数は日本約4,000、米国約3,000になる。

### <ポイントとアンケートの設計>

ねらい(1) に関しアンケートは卒業生の産業間分布、企業内分布(役割)、卒業生のキャリアについてデータを得られるように設計されている。

日米の理工系卒業生の主な違いとしてつぎのことが得られることが推定される。

- a. 民生分野の製造業に従事する割合は日本の大学卒業生のほうが大きい。
  - ・ MIT卒業生は兵器産業へ従事する割合は無視できない。
  - ・ 米国では技術者を辞めてビジネススクールへ行く割合が少なくない。等。
- b. 製造業内において工場へ行く割合は少ない(米国)。
- c. さらにこれらの違いについて年次別(1960、1970、1980、1985)、産業別、企業規模別、出身学科別、等の違いを把握することができる。

ねらい(2) の部分は上記の推定される日米間の違いが生じる原因を探る手がかりを得るために質問項目をセットする。ここではこの原因を三つの観点: ①個人の職業に関する選好特性、②企業経営における技術者の処遇、③技術者の社会的地位、から探ってみる。これら三つの観点からの問題意識は下記のとうりである。

① 個人の職業に関する選好特性: 技術者自身の「職業における目標」、及び「仕事の好み」は企業や仕事の選択に強い影響を与えると考えられる。さらには「会社の命令に対する許容度」は企業内の仕事の選択に影響を与えるであろう。これらの項目は個人によって違うと考えられ、職業に関する選考特性といえることができる。

「職業における目標」とは、例えば、自分の会社をもちたい、既存企業の経営トップになりたい、方法は問わないからとにかく金持ちになりたい、一流の技術者になりたい、等でありこれらの目標のとり方によって、キャリアの積み方が変わってくると考えられる。

「仕事の好み」とは、例えば、現場では働きたくない、研究職をやりたい、等であり、これらの仕事の好みは仕事の選択に強い影響を与える。

「会社の命令に対する許容度」とは、例えば、会社が現場が嫌いな技術者に対して工場現場勤務を命じたとき、その技術者が会社の命令に従うか否かがその技術者の工場勤務を決める。

② 企業経営における技術者の処遇: 企業経営が技術者をどのように処遇するかが技術者の企業選択や仕事(役割)選択に影響してくると考えられる。ここにおける処遇とは主に「給与」及び「昇進」である。

例えば現場技術者の処遇が研究従事者よりも低ければ現場技術者の成り手は少なくなるであろう。経営トップになりたいと考えている技術者はその道が不利な場合、他の有利な道(例えばビジネススクール)へ行くであろう。

さらに、その処遇について産業間に違いがある場合は産業間分布に影響を与えると考えられる。

③ 技術者の社会的地位: 技術者の社会的ステイタスはかれらの給与や地位に影響されるし、またこのステイタスは優秀な人材の吸引力に影響するであろう。以上



資料 2

「アンケート票（東大・東工大卒業生用）」



# 工学部卒業生の職歴と職業意識に関する アンケート調査

## 調査のご協力へのお願い

このアンケートは東京大学及び東京工業大学の工学部をご卒業された方を対象に、職歴や職業意識をお伺いし、科学技術人材に関する政策を検討するための、貴重な資料とするものです。

回答していただいたことでご迷惑をおかけするようなことはございません。新春、何かと慌ただしい時期に誠に恐れ入りますが、何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

なお、ご記入されたアンケート票は平成3年 2月25日までに  
ご投函下さいようお願い申し上げます。

アンケート票は、

**1991年 2月25日までに**

ご投函下さい。

★回答は特に指定が無い場合には枠内の選択肢の番号の中から、あてはまるものにひとつだけ○を付けて下さい。

Q 1. あなたの性別は？

1. 男

2. 女

Q 2. あなたの工学部卒業年次は？

1. 昭和35年  
(1960年)

2. 昭和45年  
(1970年)

3. 昭和55年  
(1980年)

4. 昭和60年  
(1985年)

Q 3. あなたの工学部卒業時のご専攻は？

- |          |             |            |          |
|----------|-------------|------------|----------|
| 1. 金属工学  | 10. 機械工学    | 19. 物理工学   | 28. 社会工学 |
| 2. 金属材料  | 11. 生産機械工学  | 20. 計数工学   | 29. 都市工学 |
| 3. 無機材料  | 12. 産業機械工学  | 21. 制御工学   | 30. 経営工学 |
| 4. 有機材料  | 13. 船用機械工学  | 22. 船舶海洋工学 | 31. その他  |
| 5. 高分子工学 | 14. 精密機械工学  | 23. 航空工学   | (具体的に：   |
| 6. 化学工学  | 15. 機械物理工学  | 24. 原子力工学  | )        |
| 7. 工業化学  | 16. 電気・電子工学 | 25. 資源開発工学 |          |
| 8. 合成化学  | 17. 電子物理工学  | 26. 土木工学   |          |
| 9. 反応化学  | 18. 情報工学    | 27. 建築学    |          |

Q 4. あなたの国籍は？

1. 日本

2. 日本以外：具体的に国名は\_\_\_\_\_

Q 5. 工学部卒業後あなたは他の学士号を取得しましたか？

1. 取得している

2. 取得していない

↓他の学士号を取得している方は次の問にお答え下さい。

Q. その専攻分野はなんですか。

- |                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| 1. 学部時代に学んだ学科以外の理工系学科     | 4. 法学・経済以外の文科系学科 |
| 2. 法学部                    | 3. 経済学部          |
| 5. その他(具体的に述べて下さい。：_____) |                  |

Q. 取得したのはいつですか。

昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年

Q 6. あなたは修士号(外国で授与されたものを含む)を取得していますか？

1. 取得している

2. 取得していない

↓修士号を取得している方は次の問にお答え下さい。

Q. その専攻分野はなんですか。

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 学部時代に学んだ学科             | 2. 学部時代に学んだ学科以外の理工系学科 |
| 3. 経営学修士(MBA)             | 4. 経営学修士以外の文科系学科      |
| 5. その他(具体的に述べて下さい。：_____) |                       |

Q. 取得したのはいつですか。

昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年

ふたつ修士号を取得している方はふたつめを次にご記入下さい。

Q. その専攻分野はなんですか。	
1. 学部時代に学んだ学科	2. 学部時代に学んだ学科以外の理工系学科
3. 経営学修士(MBA)	4. 経営学修士以外の文科系学科
5. その他(具体的に述べて下さい。 : )	
Q. 取得したのはいつですか。	昭和・平成 _____ 年

Q 7. あなたは博士号(外国で授与されたものを含む)を取得していますか?

1. 取得している	2. 取得していない
-----------	------------

↓博士号を取得している方は次の間にお答え下さい。

Q. その専攻分野はなんですか。	
1. 学部時代に学んだ学科	2. 学部時代に学んだ学科以外の理工系学科
3. 経営学	4. 経営学以外の文科系学科
5. 医学	6. その他(具体的に : )
Q. 種類はなんですか。	
1. 課程博士	2. 論文博士
Q. 取得したのはいつですか。	昭和・平成 _____ 年

Q 8. あなたは現在就職していますか。

1. 就職している。	
2. 就職していない。 —————→	1. 大学院在学中 2. その他(具体的に : )

以下の質問は就職経験のある方をお願いします。就職経験のない方はここで終了です。ご協力ありがとうございました。

Q 9. 現在、あなたの年収(税引き前)はどのくらいですか?

1.	400万円未満		
2.	400万円	~	600万円未満
3.	600万円	~	800万円未満
4.	800万円	~	1,000万円未満
5.	1,000万円	~	1,200万円未満
6.	1,200万円	~	1,400万円未満
7.	1,400万円	~	1,600万円未満
8.	1,600万円	~	1,800万円未満
9.	1,800万円	~	2,000万円未満
10.	2,000万円以上		

Q10. あなたは、学部卒業後に就職した会社または組織を変更しましたか。(社命による出向は会社を変更したことに含めません。)

1. 変更していない。	
2. 変更した。 —————→	現在の会社は何社めですか。
	1. 2社め    2. 3社め    3. 4社め    4. 5社め以上

Q11. あなたが学部卒業後から現在まで就職した組織の種類と勤続年数についてお尋ねします。複数の組織に就職した経験のある方は経験した順番にそれぞれの組織についてお答え下さい。

経験した組織が民間企業の場合は、その会社の産業分野（注1.）について次ページの<組織の種類及び産業分野>から該当する番号を選択し回答欄（Ⅰ）に、またあなたの所属する部門が属する産業分野（注2.）に該当する番号を回答欄（Ⅱ）に記入し、その部門での勤続年数を回答欄の（Ⅲ）にお書き下さい。

経験した組織が民間企業でない場合は、その種類を次ページのリストから選びその番号を回答欄（Ⅰ）に、また勤務年数を回答欄（Ⅲ）にご記入下さい。

（注1.）複数の産業にかかわっている民間企業については、売上の最も大きな事業の属する産業分野を会社の産業分野として答えて下さい。

（注2.）あなたの所属部門が企画のように全社の事業に関係する部署の場合や、基礎研究のように特定の事業を示せない場合は会社の売上の最も大きな事業の属する産業分野を所属部門の産業分野として答えて下さい。出向は所属部門の変更とお考え下さい。

〔記入例〕

順 番	組 織 の 種 類 ま た は 産 業 分 野	所 属 部 門 の 産 業 分 野 ( 民 間 企 業 の み )	勤 続 年 数
	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)
Xさん(1960年工学部卒) ・1967年 博士課程修了 A重工に入社 造船部門に配属 ・1972年 技術開発本部に配属 ・1985年 D建設会社に出向 ・1988年 A重工退職 技術系コンサルタント会社に入社 現在に至る。	1 → 8	11	5年
	2 →	8	13年
	3 →	20	3年
現在	27	27	2年

	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)
Yさん(1980年工学部卒) ・1980年 A国立研究所勤務 ・1987年 B大学助教授に奉職 現在に至る。	1 → 2		7年
現在	3		3年

<組織の種類及び産業分野>

<回答欄>

1. 行政機関（付属研究機関を除く） 2. 国公立試験研究機関 （特殊法人の研究機関を含む） 3. 大学（大学付属研究所・ 大学共同利用機関を含む） 4. 公益法人（財団法人、社団法人等）  民間企業 〔製造業〕	順 番	組 織 の 種 類 ま た は 産 業 分 野  (I)	所 属 部 門 の 産 業 分 野 (民間 企 業 の み)  (II)	勤 続 年 数  (III)
5. コンピューター並びにその附属機器製造 6. 家電製品製造業	1			年
7. 上記以外の電気機械製造 （電気モーター、通信機器、発電機を含む） 8. 非電気機械製造（エンジン、タービン、 建設用機械、産業用機械・ロボットを含む）	2			年
9. 自動車並びに関連機器製造 10. 航空・宇宙関連産業 11. その他の輸送用機器 （造船、鉄道関連を含む）	3			年
12. 金属素材生産・金属製品製造業 （鉄鋼業を含む）	4			年
13. 非鉄金属製造業 14. 食品工業 15. 化学製品（石油製品、石油精製 、石炭製品を含む）の製造	5			年
16. 医療品製造業 17. 防衛関連産業（注3. 参照） 18. その他の製造業 （具体的に：	6			年
）  〔非製造業〕	7			年
19. 鉱業 20. 建設業 21. 通信業 22. 公共関連事業 （電気・ガス・熱供給・水道業）	8			年
23. 運輸業 24. 金融・保険業（証券を含む） 25. 不動産業	9			年
26. コンピューターサービス・ソフト及び情報処理サービス 27. 技術コンサルタント 28. 経営コンサルタント （経済動向分析を含む）	10			年
29. 医療 30. 法律 31. その他 （具体的に：	現在			年
）	（注3.） 「防衛関連産業」とは武器、戦車、艦船、軍事レーダー等、専ら防衛のために用いられる製品やシステムの研究開発、設計、製造に携わっている場合を指します。同一期間に他の民生部門の業務にも携わっていた場合には、業務の中心がどちらにあったかによってご回答下さい。			

Q12. あなたが現在就職されている組織を選択した理由は何でしたか。下記の選択肢の中から該当するものを3つまで選んで下さい。

1. 仕事の内容がおもしろいから
2. 仕事の内容が創造的だから
3. 将来、自分のやりたいことをやるために良い経験になるから
4. 給料が良いから
5. 昇進しやすいから
6. 学校で学んだことが生かせるから
7. 労働条件（休日、就業時間）が良いから
8. 職場の立地が良いから
9. 社会に貢献できるから
10. 自分の仕事の結果がよく見える仕事だから
11. より多くの人とかかわることができるから
12. より独立した仕事ができるから
13. 組織の文化・経営姿勢が好きだから
14. 組織の工学部出身者の処遇が良いから
15. 組織がその技術分野で先端を走っているから
16. 組織に安定性あるいは将来性があるから
17. 組織が有名だから
18. 大学の指導教授に勧められたから
19. 組織内の教育・訓練プログラムが充実している等により、自分の能力向上に適しているから
20. 組織が新しいアイデアを出させ、それを育てる環境を持っているから
21. その組織以外に選択の余地が無かったから
22. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

Q13. あなたは学部卒業後、現在までにどのような仕事を経験されましたか。経験された順番に下記の選択肢の中から該当するものを選びその番号と経験年数をお書き下さい。

1. 基礎研究 2. 応用研究 3. 製品開発 4. 工程・プロセスの開発 5. 研究開発の企画・管理 6. 設計（製品） 7. 設計（工程・プロセス） 8. 製造・生産の管理・運営（生産現場） 9. 製造・生産の管理・運営 （本社オフィス等の生産現場以外） 10. コンピュータープログラム及びソフトの作成 11. インフォメーションシステムの作成・ マネジメント 12. 技術コンサルティング 13. 経営に関する調査・企画・計画 （経営コンサルティングを含む） 14. 営業・マーケティング 15. 財務・経理 16. 長期研修 17. 会社経営 18. 会社のオーナー 19. 一般行政事務・政策策定 20. 教育（大学） 21. 教育（高校以下） 22. 医療関係 23. 法律関係 24. その他（具体的に： )	順 番	仕 事 の 内 容	経 験 年 数
	1		年
	2		年
	3		年
	4		年
	5		年
	6		年
	7		年
	現在		年
	記入例	3	5 年

Q14. 現在、あなたの担当している仕事に対してどの程度希望していましたか。

1. 大変希望していた。 2. 希望していた。 3. 他に選択肢がなかった。 4. その他（具体的に述べて下さい。 : )
--

Q15. 現在、あなたの担当している仕事に対してどの程度満足していますか。

1. 大変満足している。 2. 満足している。 3. どちらでもない。 4. 満足していない。 5. 大変不満である。現在の職務を変わりたい。 6. その他（具体的に述べて下さい。 : )
---

Q16. あなたは現在、どの仕事を希望されますか。また学部卒業時ではどれでしたか。それぞれひとつずつ選んでその番号を回答欄にご記入下さい。

1. 基礎研究
2. 応用研究
3. 製品開発
4. 工程・プロセスの開発
5. 研究開発の企画・管理
6. 設計（製品）
7. 設計（工程・プロセス）
8. 製造・生産の管理・運営（生産現場）
9. 製造・生産の管理・運営  
（本社オフィス等の生産現場以外）
10. コンピュータープログラム及びソフトの作成
11. インフォメーションシステムの作成・  
マネジメント
12. 技術コンサルティング
13. 経営に関する調査・企画・計画  
（経営コンサルティングを含む）
14. 営業・マーケティング
15. 財務・経理
16. 長期研修
17. 会社経営
18. 会社のオーナー
19. 一般行政事務・政策策定
20. 教育（大学）
21. 教育（高校以下）
22. 医療関係
23. 法律関係
24. その他（具体的に述べて下さい。：                    ）

	現 在	学 部 卒 業 時
回 答 欄		

Q17. 上記の質問であなたが「現在希望する仕事」を選んだ理由は何ですか。下記の選択肢の中から該当するものを3つまで選んで下さい。

1. 仕事の内容がおもしろいから
2. 仕事の内容が創造的だから
3. 将来、自分のやりたいことをやるために良い経験になるから
4. 給料が良いから
5. 昇進しやすいから
6. 学校で学んだことが生かせるから
7. 労働条件（休日、就業時間）が良いから
8. 職場の立地が良いから
9. 社会に貢献できるから
10. 自分の仕事の結果がよく見える仕事だから
11. より多くの人とかかわることができるから
12. より独立した仕事ができるから
13. その他（具体的に述べて下さい。：                    ）

Q18. あなたにとって仕事における最終目標は何ですか。下記の選択肢の中から最も類似しているものを3つまで選んで下さい。

- |   |
|---|
| 1. より高い収入を得る。<br>2. 良い家庭を築く。<br>3. 安定した生活を送る。<br>4. 名声を得る。<br>5. 世の中のためになる。<br>6. 自分の事業拡大をする。<br>7. 余暇活動を楽しむ。<br>8. 社会的に大きな影響力を持つ。<br>9. 人格形成を行う。<br>10. 仕事そのものを楽しむ。<br>11. 仕事と家庭のバランスのとれた生活を送る。<br>12. その他（具体的に述べて下さい。： )<br>13. 特に無い。 |
|---|

Q19. あなたは現在どのようなキャリアパスを望んでいますか。また、学部卒業時のそれは何でしたか。最も類似しているものをそれぞれひとつずつ選んで、その番号を回答欄にご記入下さい。

1. 既存企業や組織で出世する。 2. 自分の会社を設立し、発展させる。 3. 大学の教授等になり、教育や研究を行う。 4. 独立した技術者・技術エキスパートになる。 5. その他（具体的に： ) 6. 特に無い。	現	在	学	部
	回	答	卒	業
	欄		時	

Q20. あなたの組織では取締役以上またはそれに準ずる経営に責任のある地位になる際、学歴はどのように影響しますか。次の6つの学歴タイプの有利・不利についてあなたの得ている感触に最も近いものをひとつずつ選び各学歴ごとに該当する番号に○を付けて下さい。

学歴タイプ	影響度	大変有利	有利	影響無し	不利	その他
工学士		1	2	3	4	5
工学修士		1	2	3	4	5
工学博士		1	2	3	4	5
工学士+MBA 注1)		1	2	3	4	5
文系学士 注2)+MBA		1	2	3	4	5
法学士		1	2	3	4	5
【記入例】 工学士		1	2	3	④	5
工学修士		1	②	3	4	5

注1) MBAとは経営学修士のことです。

注2) 文系学士とは法学士、経済学士、経営学士等を指します。

Q21. あなたの組織では給料の面で学歴がどのように影響しますか。次の6つの学歴タイプの有利・不利についてあなたの得ている感触に最も近いものをひとつずつ選び各学歴ごとに該当する番号に○を付けて下さい。

学歴タイプ	影響度	大変有利	有利	影響無し	不利	その他
工学士		1	2	3	4	5
工学修士		1	2	3	4	5
工学博士		1	2	3	4	5
工学士+MBA		1	2	3	4	5
文系学士+MBA		1	2	3	4	5
法学士		1	2	3	4	5

Q22. あなたが現在、勤務している組織において、理工系出身者の地位は文科系出身者のそれと比較して、どのように考えられていますか？

1. 理工系出身者の方が地位が高い。
2. 理工系出身者の方が地位が低い。
3. 同じ。
4. わからない。
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

Q23. 生産現場で働いている技術者の社会的な地位は研究開発を行っている技術者と比較してどのように考えますか。

1. 生産現場で働いている技術者の方が地位が高い。
2. 生産現場で働いている技術者の方が地位が低い。
3. 同じ。
4. わからない。
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

Q24. 現在、あなたが勤務している組織において、あなたの地位は次のうちどれに当てはまりますか。

1. 一般社員・職員・所員・研究員等の部下のいない地位
2. 中間管理職等の部下のいる地位
3. 企業における取締役以上等の、組織の事業経営に対する責任を保有する地位
4. 会社のオーナー（自営業含む）
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

↓ 部下のいる方はお答え下さい。

Q. 現在、あなたの部下は何人いますか。（部下とはパートタイム、アルバイトを除いた社員）

1. 1 ~ 9人
2. 10 ~ 99人
3. 100 ~ 999人
4. 1,000人以上





資料 3

「アンケート票（MIT 卒業生用）」



# Massachusetts Institute of Technology

April, 1991

Dear Alumnus or Alumna:

## CAREER PATHS OF MIT ENGINEERS

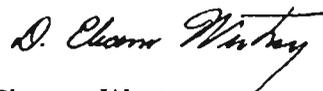
We would like you to help us in a study of the career paths of MIT engineers. We lack information on the paths of engineering alumni as their careers progress. An MIT degree can take one in many directions - that we know - but no one has collected solid data. We hope the study will throw light on a number of topical questions - the versatility of an engineering education, the additional qualifications graduates think desirable or useful, the industries and organizational settings in which graduates finally make their careers, the aspirations which guide the choices they make, and the value which different parts of the economy place on their technical training and experience.

A government study group in Japan has given a similar questionnaire to engineering graduates of the University of Tokyo and the Tokyo Institute of Technology. We think our parallel study will add significantly to our understanding of the deployment of engineering talent in the two countries. It will build on earlier studies at Sloan comparing the career paths of engineers in American and Japanese computer companies.

We are sending the questionnaire to everyone who received an SB degree in engineering in 1960, 1970, 1980, or 1985. We hope very much that you will complete it for us. Your participation, of course, is entirely voluntary. If particular questions pose difficulty, feel free to skip them and answer the rest. The higher the response rate overall, the more finely-grained the picture we will get.

Please complete and return the questionnaire in the envelope provided in the next two weeks. The questionnaire does not ask you to identify yourself. Individual responses will not be divulged. Only aggregate data will be reported.

Thank you for your help!



Eleanor Westney  
Associate Professor in  
International Management  
Sloan School of Management



William J. Hecht  
Executive Vice President  
Alumni Association



Robert K. Weatherall  
Director  
Office of Career Services

## CAREER PATH QUESTIONNAIRE

1. Sex (Please circle the appropriate number)  
 Male.....1 Female .....2
2. Year of SB degree (Please circle the appropriate number)  
 1960 1 1970 2 1980 3 1985 4
3. Field in which you received the SB degree Please circle the appropriate number. If you double-majored in engineering, indicate both engineering majors.
- |   |   |
|---|---|
| Aeronautics & Astronautics (Course 16)                  | 1 |
| Chemical engineering (Course 10)                        | 2 |
| Civil engineering (Course 1)                            | 3 |
| Electrical engineering & computer science (Course 6)    | 4 |
| Materials science & engineering, metallurgy (Course 3)  | 5 |
| Mechanical engineering (Course 2)                       | 6 |
| Nuclear engineering (Course 22)                         | 7 |
| Ocean engineering, naval architecture, etc. (course 13) | 8 |
| Other   | 9 |

4. Citizenship at time of SB degree  
 U.S. citizen..... Other.....  
(name of country)
5. Have you subsequently earned a master's degree? (Circle appropriate number)  
 Yes 1 No 2

If "yes", please indicate field of (each) master's degree by circling the appropriate number in the column(s) below, and enter name of college or university:

<u>First master's degree</u>	<u>Second master's</u>	<u>Third master's</u>
1. Same field as SB	1. Same field as SB	1. Same field as SB
2. Master's in another field of science or engineering	2. Master's in another field of science or engineering	2. Master's in another field of science or engineering
_____	_____	_____
(name of field)	(name of field)	(name of field)
3. MBA, or equivalent	3. MBA, or equivalent	3. MBA, or equivalent
4. Other field _____	4. Other field _____	4. Other field _____
_____	_____	_____
(name of field)	(name of field)	(name of field)
5. _____	5. _____	5. _____
(name of institution)	(Name of institution)	(name of institution)

6. Have you subsequently earned a doctorate? (Please circle appropriate number)  
 Yes 1 No 2

If "yes", please indicate field of doctorate by circling the appropriate number below, and enter the name of the university

1. Same field as SB
2. Doctorate in another field of science or engineering  
 \_\_\_\_\_  
 (name of field)
3. Humanities or social sciences \_\_\_\_\_  
 (name of field)
4. DBA, or equivalent
5. Medical doctorate (MD, DDS, etc.)
6. Law degree
7. Other \_\_\_\_\_  
 (name of field)

7. Are you currently employed? (Please circle the appropriate number)  
 Yes 1 No 2

- If "no", circle the appropriate number below
- |  |   |
|--|---|
| Between jobs, looking for new employment | 1 |
| Staying home with children, etc.         | 2 |
| Taking a "sabbatical", travelling, etc.  | 3 |
| Retired                                  | 4 |
| Full-time student                        | 5 |
| Other (please explain)                   | 6 |

8. Your annual earned income before taxes (Circle the appropriate number)

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| Less than \$30,000    | 1  |
| \$30,000 - \$45,000   | 2  |
| \$45,000 - \$60,000   | 3  |
| \$60,000 - \$75,000   | 4  |
| \$75,000 - \$90,000   | 5  |
| \$90,000 - \$105,000  | 6  |
| \$105,000 - \$120,000 | 7  |
| \$120,000 - \$135,000 | 8  |
| \$135,000 - \$150,000 | 9  |
| More than \$150,000   | 10 |

9. How many times have you changed employ. (Do not include changes in company ownership or other changes resulting from a company or agency reorganization). Please circle the appropriate number below:

Never 0 Once 1 Twice 2 Three times 3 More often 4

10. Do you have supervisory responsibilities? (Please circle the appropriate number below to indicate the extent of your supervisory responsibility)

- No supervisory responsibilities 1
- Team leader, first-line manager 2
- Middle manager 3
- Senior manager 4
- Owner, co-owner of company, or self-employed 5
- Other (please explain) 6

If you have supervisory responsibilities, please indicate the number of your subordinates by circling the appropriate number below:

- 1 - 9 1
- 10 - 99 2
- 100 - 999 3
- 1,000 or more 4

11. Sectors of the econom which you have held full-time jobs since your SB degree (or when you subsequently started working full-time). Please check the appropriate boxes below to indicate the sectors in which you have worked

	First job	Intervening jobs (if in other sectors)	Present job
1. Government (not including government laboratories)	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
2. Government labs, government-funded labs, contract laboratories	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
3a. Academia - teaching, teaching & research	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
3b. Academia - full-time research	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
4. Other non-profit employment	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
5. Military service	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
<u>Sectors in private industry</u>			
6. Computers, components, & peripherals	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
7. Consumer electronics, household appliances	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
8. Other electrical equipment (electric motors, communication equipment, etc.)	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
9. Non-electric equipment & machinery (turbines, industrial machines, etc.)	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
10. Automobiles & associated equipment	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
11. Aircraft, spacecraft, & propulsion	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
12. Other transportation equipment	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
13. Iron & steel, iron & steel products	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
14. Non-ferrous metal products	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
15. Food products, beverages	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
16. Oil, chemicals, glass, paper, etc.	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
17. Pharmaceuticals, biotechnology	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
18. Other manufacturing (please name industry)	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
19. Construction, construction engineering	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
20. Telephone services, communications	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
21. Electricity, gas, water utilities	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
22. Transportation services	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
23. Financial services, banking, insurance	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
24. Real estate	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
25. Software, data services, MIS	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
26a. Engineering consulting, environmental consulting, technical services	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
26b. Management & economics consulting	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
27. Medical care	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
28. Legal services	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
29. Other non-manufacturing (please name)	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]
<u>Please check boxes if jobs were defense-related</u>	[ ]	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	[ ] [ ]

12. What kinds of work have you done since your SB degree (or since you subsequently started working full time)? Please use the grid below to list the activities in which you have been engaged and how long you have spent in each; simply write the number of years you have spent in each activity in the appropriate time box in the grid. If you have been engaged in only one activity, enter the number of years (e.g. 5, 8.5, etc.) in the appropriate box in the first column.

	History of work activities and years spent in each					
	First activity (years)	Second activity (years)	Third activity (years)	Fourth activity (years)	Fifth activity (years)	Sixth activity (years)
1. Basic research	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
2. Applied research	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
3. Product development	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4. Process development, manufacturing systems development	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
5. Management of R&D	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
6. Product design	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
7. Process design, design of manufacturing systems	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
8. Manufacturing management, operations management, <u>on site</u>	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
9. Responsible for planning or managing operations, but not at a specific site	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
10. Software development, programming (& management thereof)	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
11. Information systems, information systems management	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
12. Technical consulting	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
13. Management consulting, strategic planing, economics consulting, etc.	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
14. Sales and marketing, sales and marketing management	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
15. Finance, accounting, insurance, actuarial work, etc.	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
16. Rotational training program	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
17. General management	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
18. Owner, co-owner of your own firm	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
19. Public administration, public policy	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
20. Teaching at college or university	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
21. School teaching	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
22. Medical care	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
23. Law	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
24. Other (please name) _____	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

13. What you most wanted to do when you received your bachelor's degree, and what you would most like to do now. Please indicate the activity in each case by entering the appropriate code number(s) from the list above:

When I received the bachelor's degree \_\_\_\_\_  
 (# from list above)

Now \_\_\_\_\_  
 (# from list above)

14. In question 13 above we asked you to indicate what kind of work you would most like to do now. What is the most important reason for your preference, and what other reasons are significant?:

	Most important (Choose one)	Also significant (Not more than 2)
1. The work interests me	[    ]	[    ]
2. I want a creative job	[    ]	[    ]
3. A good experience for what I want to do eventually	[    ]	[    ]
4. Good income	[    ]	[    ]
5. Good prospects of advancement	[    ]	[    ]
6. A good fit with my academic training	[    ]	[    ]
7. Good working conditions (hours, vacations, etc.)	[    ]	[    ]
8. Geographic location	[    ]	[    ]
9. I want to contribute to society	[    ]	[    ]
10. I want to see the results of my work	[    ]	[    ]
11. More involvement with people	[    ]	[    ]
12. More independence	[    ]	[    ]
13. Other (please explain)	[    ]	[    ]

15. Before you started to do the kind of work you are doing now how interested were you in it? Please circle the appropriate number below:

I wanted to be doing it	1
I was willing to try it	2
I had no choice	3
Other (please explain)	4

16. How satisfied are you with the kind of work you are doing now? (Please circle the appropriate number below)

I am very satisfied	1
I am reasonably satisfied	2
I am neutral about it	3
I am not happy with it	4
I am very unsatisfied - in fact eager to make a change	5
Other (please explain)	6

17. What were your reasons for choosing your present employer? Please indicate your main reasons by circling the appropriate numbers (not more than 3) in the list below. Use a double circle to indicate the most important reason. Skip this question if you are self-employed

The job I was offered was interesting to me	1
The job was creative	2
I thought the job they offered me would be a good stepping stone to what I want (or wanted then) to do eventually	3
The salary I was offered	4
The job I was offered held out good prospects of advancement	5
The job fitted well with my academic training	6
Good working conditions and benefits (hours, vacations, etc.)	7
Geographic location	8
The opportunity to contribute to society	9
I want to see the results of my work	10
I want involvement with people	11
I want independence	12
The positive organizational culture and management style	13
The organization treats engineers well	14
The organization is in the front rank professionally	15
Job security, organizational stability	16
It is a prestigious place to work	17
My professor(s) recommended it as a good place for me	18
The organization offers good educational benefits, allows me to continue my education	19
The entrepreneurial environment	20
It was the only organization which offered me a job	21
Other (please explain)	22

18. Your primary career goal(s). Please indicate your primary career goal(s) by circling the appropriate number(s) below (not more than three):

Earn a good income	1
Have a good family life	2
Economic stability	3
Acquire a reputation in my field	4
To contribute to society	5
Build the business (or institution) with which I am associated	6
To have an impact on society, change the way things are done	7
To develop myself to the fullest	8
To enjoy my work	9
Have time for my own activities	10
To lead a balanced life	11
Other (please explain)	12
I cannot specify my primary goal(s)	13

19. What career path did you want to follow when you received the SB degree, and what career path attracts you today? Please circle the appropriate numbers below:

	At time of SB degree (circle one)	Today (circle one)
Climb the organizational ladder	1	1
Have my own company	2	2
Academic work - teaching & research	3	3
Independent practitioner or expert	4	4
Other (please explain)	5	5
It is hard for me to say	6	6

20. Degree background and the chances of becoming a senior manager in your organization. Please indicate whether it helps or not to have the following degrees, by checking the appropriate boxes below:

	An SB degree in engrg.	An SM degree in engrg.	A PhD degree in engrg.	A technical degree & an MBA	A non- technical degree & an MBA	A law degree
It helps a lot	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
It helps	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
Makes no difference	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
It's a disadvantage	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
Other (please explain)	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

21. Degree background and the difference it makes in terms of salary prospects. Please indicate the value placed on the following degrees in your organization as reflected in an individual's salary prospects. Please check the appropriate boxes below:

	An SB degree in engrg.	An SM degree in engrg.	A PhD degree in engrg.	A technical degree & an MBA	A non- technical degree & an MBA	A law degree
It helps a lot	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
It helps	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
Makes no difference	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
It's a disadvantage	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
Other (please explain)	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

22. How highly regarded are science and engineering graduates in your organization, compared with employees with humanities and social science backgrounds?  
Please circle the appropriate number below:

Science & engineering graduates are more highly regarded	1
Science & engineering graduates are less highly regarded	2
They are on the same footing	3
It is hard to say	4
Other (please explain)	5

**THE REMAINING QUESTIONS ARE ONLY FOR GRADUATES IN PRIVATE INDUSTRY**

23. In your opinion, how highly regarded is the engineer working in manufacturing or operations, compared with an engineer working in R&D? Please circle the appropriate number below:

The engineer working in manufacturing or operations is:

More highly regarded	1
Less highly regarded	2
They are on the same footing	3
It's hard to say	4
Other (please explain)	5

24. Which of the following career paths in your company gives one the best chance of becoming president? Please circle the appropriate number below:

A career on the sales side, or in marketing	1
Finance	2
Law	3
Strategic planning	4
R&D	5
Manufacturing, operations	6
Engineering	7
Management information systems	8
Other (please explain)	9
No particular path	10

25. How big is the company you work for, in terms of number of employees? Please circle the appropriate number below:

1 - 299 employees	1
300 - 999	2
1,000 - 2,999	3
3,000 - 9,999	4
10,000 or more	5

**Thank you very much for your cooperation !**



資料 4

「東大・東工大及びMITアンケート票の構成」



東大・東工大とMITアンケート票の質問項目の構成を述べる。

MITアンケート票の質問の中に「他学士取得・取得年」は入っていない。その他の質問は全て東大・東工大と同じである。ただし、その順序は多少違っており東大・東工大及びMITはそれぞれ下記のようにになっている。

### 東大・東工大及びMITアンケート票の質問項目の構成

<東大・東工大>		<MIT>	
質問番号	質問内容	質問番号	質問内容
1	性別	1	性別
2	工学部卒業年次	2	工学部卒業年次
3	工学部卒業時の専攻	3	工学部卒業時の専攻
4	国籍	4	国籍
5	他学士取得・取得年	5	修士取得
6	修士取得・取得年	6	博士取得
7	博士取得・取得年	7	就職状況
8	就職状況	8	年収
9	年収	9	転職回数
10	転職回数	10	地位
11	組織の種類（過去の経験と現状）	11	組織の種類（過去の経験と現状）
12	組織を選択した理由	12	仕事の種類（過去の経験と現状）と経験年数
13	仕事の種類（過去の経験と現状）と経験年数	13	仕事の好み（卒業時と現状）
14	現在の仕事に関する希望度（会社の命令に対する許容度）	14	現在希望する仕事を選んだ理由
15	満足度	15	現在の仕事に関する希望度（会社の命令に対する許容度）
16	仕事の好み（卒業時と現状）	16	満足度
17	現在希望する仕事を選んだ理由	17	組織を選択した理由
18	仕事における最終目標	18	仕事における最終目標
19	望んでいるキャリアパス	19	望んでいるキャリアパス
20	昇進における学歴の影響	20	昇進における学歴の影響
21	給与における学歴の影響	21	給与における学歴の影響
22	理科系と文科系のステータス比較	22	理科系と文科系のステータス比較
23	現場と研究開発のステータス比較	23	現場と研究開発のステータス比較
24	地位（部下の数含む）	24	社長になるために有利な経験部署
25	従業員数	25	従業員数
26	社長になるために有利な経験部署		



資料 5

「全体及び卒業年次別アンケート集計結果」



本資料は東大・東工大及びMITのアンケート結果を全体及び工学部卒業年次別の集計結果を示すものである。具体的な質問内容は資料2アンケート票（東大・東工大用）、資料3アンケート票（MIT用）を参照のこと。

集計結果は東大・東工大の1番目の質問項目より番号順に提示してある。東大・東工大とMITの質問の順序は必ずしも同じではない（資料4参照）のでMITのデータは東大・東工大の質問の順に並び変えた。

その他のデータの見方は下記に示す。

- 1) 各表の左側が東大・東工大、右側がMITである。
- 2) 数値によって回答するものは本集計結果から除かれている。

### 表の見方の具体例

これは各データは上は実数値、下は割合(%)のセットになっていることを示している。ただし、この割合は縦の合計(各工学部卒業年次ごとの合計または全合計)を分母としている。回答方法が単数選択及び複数選択の場合、この割合は全体または各卒業年回答者のうち何割の人がそれぞれの選択肢を選んだかを示すものである。

東大・東工大アンケート票内の質問番号を示す。  
↑  
東大・東工大質問9

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表例(SA): 9年取

表頭(SA): 2工学部卒業年次

SAは回答方法が単数選択を示す。  
MAの場合は回答方法が複数選択を示す。

質問の概要を示す。←

表例とはこの部分のこと →

回答の選択肢が並べられている。

	合計	1960	1970	1980	1985
全体	1143 100.0	262 100.0	298 100.0	280 100.0	300 100.0
400万円未満	41 3.6	1 0.4	1 0.3	2 0.7	36 12.0
400～600万円	311 27.2	1 0.4	2 0.7	81 28.9	226 75.3
600～800万円	199 17.4	4 1.5	22 7.4	139 49.6	34 11.3
800～1000万円	172 15.0	15 5.7	106 35.6	48 17.1	3 1.0
1000～1200万円	169 14.8	57 21.8	106 35.6	5 1.8	1 0.3
1200～1400万円	96 8.4	55 21.0	37 12.4	3 1.1	-
1400～1600万円	80 7.0	66 25.2	13 4.4	1 0.4	-
1600～1800万円	37 3.2	34 13.0	3 1.0	-	-
1800～2000万円	17 1.5	13 5.0	3 1.0	1 0.4	-
2000万円以上	21 1.8	16 6.1	5 1.7	-	-

表頭とはこの部分のこと ←

工学部卒業年次が表示されている。

東大・東工大質問1

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 1性別

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1159 100.0	264 100.0	298 100.0	282 100.0	312 100.0
男	1152 99.4	264 100.0	298 100.0	282 100.0	305 97.8
女	7 0.6	-	-	-	7 2.2

MIT質問1

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 1性別

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	924 100.0	175 100.0	167 100.0	277 100.0	304 100.0
男	807 87.3	173 98.9	161 96.4	233 84.1	239 78.6
女	117 12.7	2 1.1	6 3.6	44 15.9	65 21.4

東大・東工大質問2

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 2工学部卒業年次

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1159 100.0	265 100.0	299 100.0	282 100.0	313 100.0
1960	265 22.9	265 100.0	-	-	-
1970	299 25.8	-	299 100.0	-	-
1980	282 24.3	-	-	282 100.0	-
1985	313 27.0	-	-	-	313 100.0

MIT質問2

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 2工学部卒業年次

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	924 100.0	175 100.0	168 100.0	277 100.0	304 100.0
1960	175 18.9	175 100.0	-	-	-
1970	168 18.2	-	168 100.0	-	-
1980	277 30.0	-	-	277 100.0	-
1985	304 32.9	-	-	-	304 100.0

東大・東工大質問3

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 3工学部卒業次の専攻

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1162 100.0	265 100.0	299 100.0	282 100.0	313 100.0
金属工学	60 5.2	15 5.7	9 3.0	19 6.7	17 5.4
金属材料	21 1.8	-	3 1.0	8 2.8	10 3.2
無機材料	21 1.8	4 1.5	6 2.0	5 1.8	6 1.9
有機材料	21 1.8	2 0.8	3 1.0	3 1.1	11 3.5
高分子工学	3 0.3	2 0.8	-	1 0.4	-
化学工学	68 5.9	29 10.9	12 4.0	12 4.3	15 4.8
工業化学	32 2.8	12 4.5	9 3.0	5 1.8	6 1.9
合成化学	13 1.1	-	3 1.0	2 0.7	8 2.6
反応化学	18 1.5	-	3 1.0	7 2.5	7 2.2
機械工学	137 11.8	55 20.8	33 11.0	22 7.8	27 8.6
生産機械工学	20 1.7	-	6 2.0	7 2.5	7 2.2
産業機械工学	21 1.8	-	7 2.3	5 1.8	9 2.9
船用機械工学	20 1.7	-	8 2.7	3 1.1	9 2.9
精密機械工学	39 3.4	8 3.0	9 3.0	13 4.6	9 2.9
機械物理工学	20 1.7	-	-	9 3.2	11 3.5
電気・電子工学	134 11.5	36 13.6	35 11.7	28 9.9	35 11.2
電子物理工学	15 1.3	1 0.4	7 2.3	-	7 2.2
情報工学	14 1.2	-	1 0.3	3 1.1	10 3.2
物理工学	25 2.2	4 1.5	7 2.3	6 2.1	8 2.6

MIT質問3

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 3工学部卒業時の専攻

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	925 100.0	175 100.0	168 100.0	277 100.0	304 100.0
航空・宇宙工学	107 11.6	24 13.7	23 13.7	18 6.5	42 13.8
化学工学	161 17.4	38 21.7	19 11.3	62 22.4	42 13.8
土木工学	51 5.5	9 5.1	11 6.5	26 9.4	5 1.6
電気工学・コンピュー タサイエンス	356 38.5	59 33.7	76 45.2	89 32.1	131 43.1
材料・金属工学	51 5.5	13 7.4	10 6.0	12 4.3	16 5.3
機械工学	166 17.9	26 14.9	25 14.9	53 19.1	62 20.4
原子力工学	8 0.9	-	-	5 1.8	3 1.0
海洋工学	15 1.6	2 1.1	2 1.2	9 3.2	2 0.7
その他	10 1.1	4 2.3	2 1.2	3 1.1	1 0.3

東大・東工大質問3の続き

<< 併記表 実数・割合表 >>

表側(SA): 3工学部卒業次の専攻

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
計数工学	37 3.2	4 1.5	12 4.0	10 3.5	11 3.5
制御工学	38 3.3	2 0.8	14 4.7	12 4.3	10 3.2
船舶海洋工学	48 4.1	17 6.4	13 4.3	11 3.9	7 2.2
航空工学	35 3.0	8 3.0	10 3.3	11 3.9	6 1.9
原子力工学	29 2.5	-	10 3.3	10 3.5	9 2.9
資源開発工学	20 1.7	7 2.6	4 1.3	6 2.1	3 1.0
土木工学	83 7.1	22 8.3	23 7.7	25 8.9	13 4.2
建築学	87 7.5	27 10.2	24 8.0	14 5.0	22 7.0
社会工学	36 3.1	-	15 5.0	11 3.9	10 3.2
都市工学	34 2.9	-	11 3.7	13 4.6	10 3.2
経営工学	1 0.1	-	-	1 0.4	-
その他	12 1.0	10 3.8	2 0.7	-	-

東大・東工大質問4

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 4国籍

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1162 100.0	265 100.0	299 100.0	282 100.0	313 100.0
日本	1161 99.9	265 100.0	299 100.0	282 100.0	312 99.7
日本以外	1 0.1	-	-	-	1 0.3

MIT質問4

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 4国籍

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	924 100.0	175 100.0	167 100.0	277 100.0	304 100.0
米 国	890 96.3	172 98.3	158 94.6	265 95.7	294 96.7
米 国 以 外	34 3.7	3 1.7	9 5.4	12 4.3	10 3.3

東大・東工大質問5

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 5他学士取得

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1145 100.0	263 100.0	290 100.0	280 100.0	310 100.0
取得している	18 1.6	4 1.5	7 2.4	6 2.1	1 0.3
取得していない	1127 98.4	259 98.5	283 97.6	274 97.9	309 99.7

東大・東工大質問5の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 専攻分野

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	12 100.0	1 100.0	6 100.0	5 100.0	- 100.0
工学部時代以外の理 工学部	8 66.7	1 100.0	3 50.0	4 80.0	-
法学部	-	-	-	-	-
経済学部	-	-	-	-	-
法学・経済以外の 文系系	-	-	-	-	-
その他	4 33.3	-	3 50.0	1 20.0	-

東大・東工大質問6

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 6修士取得

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1147 100.0	258 100.0	294 100.0	280 100.0	312 100.0
取得している	518 45.2	48 18.6	116 39.5	154 55.0	198 63.5
取得していない	629 54.8	210 81.4	178 60.5	126 45.0	114 36.5

MIT質問5

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 6修士取得

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	924 100.0	174 100.0	168 100.0	277 100.0	304 100.0
取得している	586 63.4	132 75.9	129 76.8	168 60.6	157 51.6
取得していない	338 36.6	42 24.1	39 23.2	109 39.4	147 48.4

東大・東工大質問6の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 専攻分野

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	518 100.0	48 100.0	116 100.0	154 100.0	198 100.0
学部時代に学んだ	427 82.4	42 87.5	93 80.2	120 77.9	170 85.9
学部時代以外の理 工学部	80 15.4	5 10.4	18 15.5	30 19.5	27 13.6
経営学修士(MB 入)	6 1.2	1 2.1	3 2.6	2 1.3	-
経営学修士以外の 経営学	1 0.2	-	0.9	-	-
その他	4 0.8	-	1 0.9	2 1.3	1 0.5

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 専攻分野2

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	14 100.0	2 100.0	4 100.0	6 100.0	2 100.0
学部時代に学んだ	4 28.6	1 50.0	-	2 33.3	1 50.0
学部時代以外の理 工学部	6 42.9	1 50.0	2 50.0	3 50.0	-
経営学修士(MB 入)	1 7.1	-	1 25.0	-	-
経営学修士以外の 経営学	-	-	-	-	-
その他	3 21.4	-	1 25.0	1 16.7	1 50.0

MIT質問5の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 専攻分野

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	584 100.0	132 100.0	128 100.0	168 100.0	156 100.0
学部時代に学んだ	401 68.7	91 68.9	87 68.0	107 63.7	116 74.4
学部時代以外の理 工学部	64 11.0	18 13.6	16 12.5	16 9.5	14 9.0
経営学修士(MB 入)	101 17.3	17 12.9	20 15.6	43 25.6	21 13.5
その他	18 3.1	6 4.5	5 3.9	2 1.2	5 3.2

表側(SA): 専攻分野2

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	77 100.0	18 100.0	23 100.0	20 100.0	16 100.0
学部時代に学んだ	9 11.7	3 16.7	3 13.0	1 5.0	2 12.5
学部時代以外の理 工学部	15 19.5	3 16.7	3 13.0	6 30.0	3 18.8
経営学修士(MB 入)	49 63.6	12 66.7	17 73.9	12 60.0	8 50.0
その他	4 5.2	-	-	1 5.0	3 18.8

表側(SA): 専攻分野3

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1 100.0	-	1 100.0	-	-
学部時代に学んだ	-	-	-	-	-
学部時代以外の理 工学部	-	-	-	-	-
経営学修士(MB 入)	1 100.0	-	1 100.0	-	-
その他	-	-	-	-	-

東大・東工大質問7

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 7博士取得

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全体	1108 100.0	247 100.0	281 100.0	272 100.0	306 100.0
取得している	164 14.8	49 19.8	58 20.6	34 12.5	21 6.9
取得していない	944 85.2	198 80.2	223 79.4	238 87.5	285 93.1

MIT質問6

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 7博士取得

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全体	912 100.0	170 100.0	167 100.0	276 100.0	298 100.0
取得している	233 25.5	64 37.6	64 38.3	59 21.4	46 15.4
取得していない	679 74.5	106 62.4	103 61.7	217 78.6	252 84.6

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 専攻分野

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全体	164 100.0	49 100.0	58 100.0	34 100.0	21 100.0
学業時代に学んだ	139 84.8	42 85.7	51 87.9	25 73.5	19 90.5
学業時代以外の理 工学部学科	21 12.8	7 14.3	5 8.6	8 23.5	1 4.8
経営学	-	-	-	-	-
経営学以外の文科 系学科	1 0.6	-	1 1.7	-	-
医学	2 1.2	-	1 1.7	2 2.9	-
その他	1 0.6	-	-	-	1 4.8

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 専攻分野

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全体	233 100.0	64 100.0	64 100.0	59 100.0	46 100.0
学業時代に学んだ	109 46.8	36 56.3	30 46.9	25 42.4	18 39.1
学業時代以外の理 工学部学科	46 19.7	17 26.6	12 18.8	11 18.6	6 13.0
文科系学科	4 1.7	-	1 1.6	1 1.7	2 4.3
経営学	7 3.0	2 3.1	4 6.3	1 1.7	-
医学	31 13.3	2 3.1	8 12.5	9 15.3	12 26.1
法学	33 14.2	6 9.4	7 10.9	12 20.3	8 17.4
その他	3 1.3	1 1.6	2 3.1	-	-

東大・東工大質問7の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 種類

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	144 100.0	39 100.0	52 100.0	33 100.0	18 100.0
課程博士	86 59.7	17 43.6	28 53.8	23 69.7	16 88.9
論文博士	58 40.3	22 56.4	24 46.2	10 30.3	2 11.1

東大・東工大質問8

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 8現在の就職の有無

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1158 100.0	265 100.0	298 100.0	281 100.0	311 100.0
就職している	1141 98.5	264 99.6	297 99.7	280 99.6	297 95.5
就職していない	17 1.5	1 0.4	1 0.3	1 0.4	14 4.5

MIT質問7

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 8就職状況

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	924 100.0	174 100.0	168 100.0	277 100.0	304 100.0
就職している	848 91.8	161 92.5	163 97.0	261 94.2	262 86.2
就職していない	76 8.2	13 7.5	5 3.0	16 5.8	42 13.8

東大・東工大質問8の続き

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA): 就職していない人

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	17 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	14 100.0
大学院在学中	10 58.8	-	-	-	10 71.4
その他	7 41.2	1 100.0	1 100.0	1 100.0	4 28.6

MIT質問7の続き

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA): 就職者していない人

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	75 100.0	13 100.0	5 100.0	15 100.0	42 100.0
仕事を探している	9 12.0	4 30.8	1 20.0	4 26.7	-
育児等で在宅	9 12.0	-	1 20.0	3 20.0	5 11.9
長期休暇	3 4.0	2 15.4	-	-	1 2.4
引退	3 4.0	2 15.4	1 20.0	-	-
学生	43 57.3	-	1 20.0	8 53.3	34 81.0
その他	8 10.7	5 38.5	1 20.0	-	2 4.8

東大・東工大質問9

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 9年取

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1143 100.0	262 100.0	298 100.0	280 100.0	300 100.0
400万円未満	41 3.6	1 0.4	1 0.3	2 0.7	36 12.0
400～600万円	311 27.2	1 0.4	2 0.7	81 28.9	226 75.3
600～800万円	199 17.4	4 1.5	22 7.4	139 49.6	34 11.3
800～1000万円	172 15.0	15 5.7	106 35.6	48 17.1	3 1.0
1000～1200万円	169 14.8	57 21.8	106 35.6	5 1.8	1 0.3
1200～1400万円	96 8.4	55 21.0	37 12.4	3 1.1	-
1400～1600万円	80 7.0	66 25.2	13 4.4	1 0.4	-
1600～1800万円	37 3.2	34 13.0	3 1.0	-	-
1800～2000万円	17 1.5	13 5.0	3 1.0	1 0.4	-
2000万円以上	21 1.8	16 6.1	5 1.7	-	-

MIT質問8

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 9年取

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	908 100.0	172 100.0	164 100.0	273 100.0	298 100.0
3万ドル未満	81 8.9	5 2.9	6 3.7	19 7.0	51 17.1
3万ドル～4万5千ドル	110 12.1	5 2.9	2 1.2	24 8.8	78 26.2
4万5千ドル～6万ドル	211 23.2	14 8.1	5 3.0	83 30.4	109 36.6
6万ドル～7万5千ドル	183 20.2	27 15.7	35 21.3	77 28.2	44 14.8
7万5千ドル～9万ドル	106 11.7	32 18.6	37 22.6	30 11.0	7 2.3
9万ドル～10万5千ドル	68 7.5	22 12.8	24 14.6	18 6.6	4 1.3
10万5千ドル～12万ドル	33 3.6	20 11.6	7 4.3	4 1.5	2 0.7
12万ドル～13万5千ドル	19 2.1	8 4.7	3 1.8	5 1.8	3 1.0
13万5千ドル～15万ドル	19 2.1	7 4.1	8 4.9	4 1.5	-
15万ドル以上	78 8.6	32 18.6	37 22.6	9 3.3	-

東大・東工大質問10

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 10転職回数

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1147 100.0	265 100.0	298 100.0	281 100.0	300 100.0
変更していない	961 83.8	193 72.8	240 80.5	238 84.7	287 95.7
変更した	186 16.2	72 27.2	58 19.5	43 15.3	13 4.3

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 何社めですか

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	181 100.0	70 100.0	57 100.0	42 100.0	12 100.0
2社め	145 80.1	53 75.7	43 75.4	37 88.1	12 100.0
3社め	27 14.9	14 20.0	10 17.5	3 7.1	-
4社め	5 2.8	2 2.9	1 1.8	2 4.8	-
5社め以上	4 2.2	1 1.4	3 5.3	-	-

MIT質問9

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 10転職回数

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	920 100.0	175 100.0	168 100.0	277 100.0	299 100.0
転職していない	274 29.8	33 18.9	29 17.3	75 27.1	137 45.8
1回	244 26.5	35 20.0	32 19.0	93 33.6	83 27.8
2回	147 16.0	29 16.6	29 17.3	47 17.0	42 14.0
3回	106 11.5	22 12.6	33 19.6	33 11.9	18 6.0
4回以上	149 16.2	56 32.0	45 26.8	29 10.5	19 6.4

東大・東工大質問11

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA)：11組織の種類(現在)

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1137 100.0	260 100.0	297 100.0	279 100.0	298 100.0
行政機関	65 5.7	4 1.5	20 6.7	24 8.6	17 5.7
国公立試験研究機関	30 2.6	3 1.2	8 2.7	11 3.9	7 2.3
大学	86 7.6	28 10.8	25 8.4	20 7.2	12 4.0
公益法人	13 1.1	4 1.5	5 1.7	2 0.7	2 0.7
コンピューター及び付属 機器製造	108 9.5	11 4.2	20 6.7	32 11.5	45 15.1
家電製品製造	24 2.1	1 0.4	6 2.0	8 2.9	9 3.0
上記以外の電器製 造	88 7.7	21 8.1	20 6.7	20 7.2	27 9.1
非電気機械製造	72 6.3	19 7.3	23 7.7	19 6.8	11 3.7
自動車並びに関連 機器製造	51 4.5	10 3.8	6 2.0	16 5.7	19 6.4
航空・宇宙関連産 業	5 0.4	-	2 0.7	2 0.7	1 0.3
その他の輸送用機 器	20 1.8	7 2.7	8 2.7	3 1.1	2 0.7
窯業・土石製品製造	97 8.5	33 12.7	25 8.4	20 7.2	19 6.4
非鉄金属製造業	30 2.6	6 2.3	11 3.7	4 1.4	9 3.0
食品工業	7 0.6	2 0.8	2 0.7	-	3 1.0
化学製品の製造	113 9.9	35 13.5	24 8.1	19 6.8	34 11.4
医薬品製造	2 0.2	-	1 0.3	1 0.4	-
防衛産業	-	-	-	-	-
その他の製造業	36 3.2	17 6.5	6 2.0	4 1.4	9 3.0
鉱業	8 0.7	2 0.8	3 1.0	2 0.7	1 0.3

MIT質問11

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA)：11組織の種類(現在)

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	824 100.0	160 100.0	160 100.0	250 100.0	253 100.0
行政機関	29 3.5	4 2.5	6 3.8	8 3.2	11 4.3
国公立試験研究機関	59 7.2	14 8.8	9 5.6	17 6.8	19 7.5
大学(教育、教育 及び研究)	58 7.0	19 11.9	13 8.1	17 6.8	9 3.6
大学(研究のみ)	6 0.7	-	2 1.3	2 0.8	2 0.8
その他の公益法人	13 1.6	-	3 1.9	5 2.0	5 2.0
軍用サービス	19 2.3	1 0.6	-	4 1.6	14 5.5
コンピューター及び付属 機器製造	111 13.5	17 10.6	19 11.9	34 13.6	41 16.2
家電製品製造	8 1.0	1 0.6	1 0.6	3 1.2	3 1.2
上記以外の電器製 造	37 4.5	5 3.1	4 2.5	17 6.8	10 4.0
非電気機械製造	9 1.1	1 0.6	4 2.5	2 0.8	2 0.8
自動車並びに関連 機器製造	10 1.2	2 1.3	2 1.3	2 0.8	4 1.6
航空・宇宙関連産 業	62 7.5	17 10.6	12 7.5	17 6.8	16 6.3
その他の輸送用機 器	1 0.1	-	-	1 0.4	-
窯業・土石製品製造	3 0.4	1 0.6	1 0.6	-	1 0.4
非鉄金属製造業	3 0.4	-	1 0.6	1 0.4	1 0.4
食品工業	5 0.6	1 0.6	-	1 0.4	3 1.2
化学製品の製造	48 5.8	10 6.3	6 3.8	19 7.6	13 5.1
医薬品製造	15 1.8	4 2.5	2 1.3	3 1.2	6 2.4
その他の製造行	52 6.3	13 8.1	9 5.6	18 7.2	12 4.7

東大・東工大質問11の続き

<< 併記表 火数・縦%表 >>

表側(SA): 11組織の種類(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
建設業	79 6.9	19 7.3	31 10.4	14 5.0	15 5.0
通信業	26 2.3	3 1.2	8 2.7	6 2.2	9 3.0
公共関連事業	49 4.3	8 3.1	13 4.4	15 5.4	13 4.4
運輸業	16 1.4	-	5 1.7	7 2.5	4 1.3
金融・保険	12 1.1	-	2 0.7	5 1.8	5 1.7
不動産業	8 0.7	3 1.2	1 0.3	2 0.7	2 0.7
コンピュータサービス及び 情報処理	16 1.4	3 1.2	6 2.0	3 1.1	4 1.3
技術コンサルタント	20 1.8	12 4.6	5 1.7	2 0.7	1 0.3
経営コンサルタント	4 0.4	-	-	2 0.7	2 0.7
医療	2 0.2	-	2 0.7	-	-
法律	1 0.1	1 0.4	-	-	-
その他	49 4.3	8 3.1	9 3.0	16 5.7	16 5.4

MIT質問11の続き

<< 併記表 火数・縦%表 >>

表側(MA): 組織の種類(現在)-2

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
建設業	10 1.2	1 0.6	1 0.6	6 2.4	2 0.8
通信業	16 1.9	5 3.1	5 3.1	1 0.4	5 2.0
公共関連事業	10 1.2	-	3 1.9	6 2.4	1 0.4
運輸業	10 1.2	1 0.6	1 0.6	4 1.6	4 1.6
金融・保険	30 3.6	5 3.1	4 2.5	10 4.0	11 4.3
不動産業	6 0.7	2 1.3	2 1.3	2 0.8	-
コンピュータサービス及び 情報処理	77 9.3	7 4.4	16 10.0	22 8.8	32 12.6
技術コンサルタント	59 7.2	15 9.4	19 11.9	16 6.4	9 3.6
経営コンサルタント	25 3.0	3 1.9	7 4.4	8 3.2	7 2.8
医療	27 3.3	2 1.3	8 5.0	10 4.0	7 2.8
法律	30 3.6	6 3.8	5 3.1	12 4.8	7 2.8
その他の非製造業	31 3.8	8 5.0	2 1.3	7 2.8	14 5.5
防衛にかかわって 防衛もあ	123 14.9	31 19.4	26 16.3	27 10.8	39 15.4

東大・東工大質問11の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 11-2組織の種類-部署レベル\*現在

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1135 100.0	260 100.0	296 100.0	278 100.0	298 100.0
行政機関	65 5.7	4 1.5	20 6.8	24 8.6	17 5.7
国公立試験研究機関	31 2.7	3 1.2	8 2.7	11 4.0	8 2.7
大学	86 7.6	28 10.8	25 8.4	20 7.2	12 4.0
公益法人	17 1.5	7 2.7	5 1.7	3 1.1	2 0.7
コンピュータ及び附属 機器製造	114 10.0	8 3.1	25 8.4	37 13.3	44 14.8
家電製品製造	20 1.8	1 0.4	5 1.7	5 1.8	9 3.0
上記以外の電器製 造	82 7.2	17 6.5	21 7.1	15 5.4	29 9.7
非電気機械製造	67 5.9	17 6.5	16 5.4	19 6.8	15 5.0
自動車並びに関連 機器製造	44 3.9	11 4.2	5 1.7	15 5.4	13 4.4
航空・宇宙関連産 業	17 1.5	2 0.8	5 1.7	6 2.2	4 1.3
その他の輸送用機 器	16 1.4	7 2.7	5 1.7	3 1.1	1 0.3
金属材料・金属製 品製造業	66 5.8	22 8.5	17 5.7	13 4.7	14 4.7
非鉄金属製造業	23 2.0	3 1.2	8 2.7	3 1.1	9 3.0
食品工業	2 0.2	1 0.4	-	1 0.4	-
化学製品の製造	93 8.2	28 10.8	17 5.7	15 5.4	32 10.7
医薬品製造	8 0.7	2 0.8	2 0.7	1 0.4	3 1.0
防衛産業	10 0.9	4 1.5	3 1.0	3 1.1	-
その他の製造業	39 3.4	16 6.2	9 3.0	6 2.2	8 2.7
鉱業	8 0.7	3 1.2	2 0.7	2 0.7	1 0.3

東大・東工大質問11の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側 (SA) : 11-2組織の種類 - 部署レベル \* 現在

表頭 (SA) : 工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
建設業	88 7.8	26 10.0	31 10.5	17 6.1	14 4.7
通信業	23 2.0	5 1.9	5 1.7	4 1.4	9 3.0
公共関連事業	37 3.3	6 2.3	8 2.7	12 4.3	11 3.7
運輸業	12 1.1	-	4 1.4	4 1.4	4 1.3
金融・保険	9 0.8	-	2 0.7	4 1.4	3 1.0
不動産業	12 1.1	4 1.5	3 1.0	2 0.7	3 1.0
コンピュータサービス及び 情報処理	51 4.5	6 2.3	20 6.8	11 4.0	14 4.7
技術コンサルタン ト	41 3.6	17 6.5	13 4.4	6 2.2	5 1.7
経営コンサルタン ト	8 0.7	-	1 0.3	3 1.1	4 1.3
医療	2 0.2	-	2 0.7	-	-
法律	2 0.2	2 0.8	-	-	-
その他	42 3.7	10 3.8	9 3.0	13 4.7	10 3.4

東大・東工大質問12

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(MA)：12組織を選択した理由

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1141 100.0	264 100.0	295 100.0	279 100.0	300 100.0
仕事の内容が面白	472 41.4	102 38.6	120 40.7	118 42.3	131 43.7
仕事の内容が創造	274 24.0	68 25.8	75 25.4	76 27.2	54 18.0
環境に恵まれた	93 8.2	15 5.7	17 5.8	22 7.9	38 12.7
給料が良いから	118 10.3	26 9.8	29 9.8	29 10.4	34 11.3
昇進しやすいから	27 2.4	5 1.9	7 2.4	5 1.8	10 3.3
学校で学んだ事が	349 30.6	80 30.3	101 34.2	86 30.8	82 27.3
労働条件が良いか	75 6.6	2 0.8	12 4.1	21 7.5	40 13.3
職場の立地が良い	191 16.7	42 15.9	39 13.2	52 18.6	58 19.3
社会に貢献できる	239 20.9	63 23.9	62 21.0	62 22.2	52 17.3
仕事の結果がよく	111 9.7	20 7.6	43 14.6	23 8.2	25 8.3
やりあえる人とか	75 6.6	10 3.8	19 6.4	16 5.7	30 10.0
やりきった仕事	85 7.4	28 10.6	24 8.1	19 6.8	13 4.3
組織の文化・経営	71 6.2	12 4.5	21 7.1	25 9.0	13 4.3
工務部出身者の処	53 4.6	15 5.7	11 3.7	16 5.7	11 3.7
技術分野で先端を	177 15.5	39 14.8	43 14.6	40 14.3	55 18.3
組織の定性的な	322 28.2	75 28.4	89 30.2	69 24.7	89 29.7
組織が有名だから	55 4.8	9 3.4	9 3.1	18 6.5	19 6.3
大学の指導教授の	149 13.1	51 19.3	33 11.2	40 14.3	23 7.7
教育が能力向上に	9 0.8	-	-	3 1.1	6 2.0
人を育てる環境	55 4.8	14 5.3	20 6.8	7 2.5	14 4.7
選んだ余地がなか	41 3.6	15 5.7	11 3.7	6 2.2	8 2.7
その他	81 7.1	25 9.5	20 6.8	13 4.7	22 7.3

MIT質問17

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：組織を選択した最大理由

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	573 100.0	93 100.0	92 100.0	185 100.0	202 100.0
仕事の内容が面白	213 37.2	37 39.8	28 30.4	67 36.2	80 39.6
仕事の内容が創造	24 4.2	7 7.5	4 4.3	9 4.9	4 2.0
環境に恵まれた	62 10.8	7 7.5	9 9.8	21 11.4	25 12.4
給料が良いから	14 2.4	1 1.1	3 3.3	5 2.7	5 2.5
昇進しやすいから	17 3.0	4 4.3	2 2.2	8 4.3	3 1.5
学校で学んだ事が	11 1.9	3 3.2	2 2.2	3 1.6	3 1.5
労働条件がよいか	6 1.0	2 2.2	1 1.1	-	3 1.5
職場の立地がよい	40 7.0	6 6.5	5 5.4	14 7.6	15 7.4
社会に貢献できる	9 1.6	2 2.2	3 3.3	3 1.6	1 0.5
仕事の結果がよく	8 1.4	1 1.1	1 1.1	2 1.1	4 2.0
やりあえる人とか	2 0.3	1 1.1	-	-	1 0.5
やりきった仕事	6 1.0	3 3.2	1 1.1	1 0.5	1 0.5
組織の文化・経営	24 4.2	2 2.2	5 5.4	6 3.2	11 5.4
工務部出身者の処	2 0.3	-	2 2.2	-	-
技術分野で先端を	20 3.5	5 5.4	4 4.3	6 3.2	5 2.5
組織の定性的な	6 1.0	1 1.1	3 3.3	2 1.1	-
組織が有名だから	4 0.7	1 1.1	1 1.1	2 1.1	-
大学の指導教授の	-	-	-	-	-
教育が能力向上に	11 1.9	2 2.2	-	-	9 4.5
人を育てる環境	22 3.8	2 2.2	7 7.6	10 5.4	3 1.5
選んだ余地がなか	30 5.2	6 6.5	4 4.3	10 5.4	10 5.0
その他	42 7.3	-	7 7.6	16 8.6	19 9.4

M I T質問17の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA)：12組織を選択した理由

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	755 100.0	124 100.0	128 100.0	244 100.0	258 100.0
仕事の内容が面白い	427 56.6	82 66.1	65 50.8	137 56.1	142 55.0
仕事の肉味が創造的だから	121 16.0	23 18.5	28 21.9	36 14.8	34 13.2
経験にむけ良い経路がある	175 23.2	17 13.7	27 21.1	57 23.4	74 28.7
給料が良いから	109 14.4	21 16.9	19 14.8	33 13.5	36 14.0
昇進しやすいから	88 11.7	16 12.9	14 10.9	33 13.5	25 9.7
学校で学んだ事が役に立つ	87 11.5	15 12.1	15 11.7	32 13.1	25 9.7
労働条件が良いから	73 9.7	9 7.3	11 8.6	23 9.4	30 11.6
職場の立地が良いから	211 27.9	29 23.4	41 32.0	77 31.6	63 24.4
社会に貢献できる	50 6.6	10 8.1	10 7.8	14 5.7	16 6.2
仕事の結果がよく見える	48 6.4	8 6.5	7 5.5	15 6.1	17 6.6
より多くの人とかがりあえる	27 3.6	5 4.0	1 0.8	7 2.9	14 5.4
より独立した仕事ができる	27 3.6	6 4.8	7 5.5	5 2.0	9 3.5
組織の文化・経営が面白い	97 12.8	10 8.1	14 10.9	40 16.4	33 12.8
工学部出身者の処遇が良い	37 4.9	3 2.4	10 7.8	12 4.9	12 4.7
技術分野で先端を走っている	112 14.8	21 16.9	17 13.3	36 14.8	38 14.7
組織の確率性が高い	44 5.8	10 8.1	9 7.0	12 4.9	13 5.0
組織が有名だから	70 9.3	10 8.1	13 10.2	24 9.8	23 8.9
大学の指導教授の勧め	9 1.2	2 1.6	2 1.6	2 0.8	3 1.2
教育が能力向上に適している	28 3.7	3 2.4	-	8 3.3	17 6.6
人を育てる環境がある	69 9.1	10 8.1	14 10.9	27 11.1	18 7.0
選択の余地がなかった	58 7.7	10 8.1	11 8.6	16 6.6	21 8.1
その他	64 8.5	2 1.6	8 6.3	27 11.1	27 10.5

(注)最大理由を含んでいる。

東大・東工大質問13

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 13仕事の種類(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全体	1135 100.0	262 100.0	296 100.0	277 100.0	297 100.0
基礎研究	71 6.3	10 3.8	10 3.4	21 7.6	29 9.8
応用研究	117 10.3	6 2.3	17 5.7	40 14.4	54 18.2
製品開発	107 9.4	13 5.0	24 8.1	25 9.0	45 15.2
工程・プロセスの 開発	37 3.3	4 1.5	5 1.7	10 3.6	18 6.1
研究開発の企画・ 管理	73 6.4	27 10.3	27 9.1	13 4.7	5 1.7
設計(製品)	87 7.7	8 3.1	22 7.4	28 10.1	29 9.8
設計(工程・プロ セス)	34 3.0	4 1.5	10 3.4	10 3.6	10 3.4
製造場の管理・運営	79 7.0	22 8.4	23 7.8	18 6.5	16 5.4
製造場の管理・運営 (製外)	58 5.1	22 8.4	19 6.4	9 3.2	8 2.7
コンピュータプログラム・ソ フトの作成	40 3.5	2 0.8	9 3.0	13 4.7	16 5.4
インフォメーションシステムの 作成	21 1.9	2 0.8	10 3.4	6 2.2	3 1.0
技術コンサルティ	46 4.1	18 6.9	13 4.4	9 3.2	6 2.0
経営に関する調査	54 4.8	16 6.1	18 6.1	13 4.7	7 2.4
営業・マーケティ	44 3.9	14 5.3	13 4.4	7 2.5	10 3.4
財務・経理	2 0.2	-	-	1 0.4	1 0.3
長期研修	7 0.6	-	1 0.3	4 1.4	2 0.7
会社経営	59 5.2	39 14.9	14 4.7	4 1.4	2 0.7
会社のオーナー	5 0.4	3 1.1	1 0.3	1 0.4	-
一般行政事務	58 5.1	7 2.7	16 5.4	21 7.6	14 4.7

M I T質問12

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA): 13仕事の種類(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全体	794 100.0	148 100.0	149 100.0	239 100.0	257 100.0
基礎研究	36 4.5	6 4.1	4 2.7	10 4.2	16 6.2
応用研究	59 7.4	5 3.4	10 6.7	12 5.0	32 12.5
製品開発	72 9.1	12 8.1	6 4.0	18 7.5	35 13.6
工程・プロセスの開 発	33 4.2	3 2.0	5 3.4	8 3.3	17 6.6
研究開発の企画・ 管理	46 5.8	15 10.1	14 9.4	8 3.3	9 3.5
製品設計	43 5.4	3 2.0	7 4.7	12 5.0	20 7.8
工程・プロセス設計	17 2.1	2 1.4	1 0.7	3 1.3	11 4.3
製造場の管理・運営	27 3.4	4 2.7	5 3.4	12 5.0	6 2.3
製造場の管理・運営 (製外)	17 2.1	5 3.4	2 1.3	7 2.9	3 1.2
コンピュータソフトの作 成	100 12.6	8 5.4	19 12.8	30 12.6	43 16.7
情報システムの作 成	16 2.0	5 3.4	2 1.3	2 0.8	7 2.7
技術コンサルティ	51 6.4	10 6.8	11 7.4	15 6.3	15 5.8
経営に関する調査	38 4.8	12 8.1	9 6.0	9 3.8	8 3.1
営業・マーケティ	48 6.0	7 4.7	7 4.7	23 9.6	11 4.3
財務・経理	27 3.4	3 2.0	7 4.7	9 3.8	8 3.1
長期研修	-	-	-	-	-
会社経営	46 5.8	12 8.1	13 8.7	15 6.3	6 2.3
会社のオーナー	63 7.9	25 16.9	18 12.1	10 4.2	10 3.9
一般行政事務・政 策決定	10 1.3	3 2.0	1 0.7	4 1.7	2 0.8

東大・東工大質問13の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA)：13仕事の種類(現在)

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
教育(大学)	64 5.6	20 7.6	21 7.1	13 4.7	9 3.0
教育(高校以下)	2 0.2	-	1 0.3	-	1 0.3
医療関係	2 0.2	-	2 0.7	-	-
法律関係	4 0.4	2 0.8	-	1 0.4	1 0.3
その他	64 5.6	23 8.8	20 6.8	10 3.6	11 3.7

MIT質問12の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA)：13仕事の種類(現在)

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
教育(大学)	31 3.9	8 5.4	11 7.4	9 3.8	3 1.2
教育(高校以下)	1 0.1	-	-	1 0.4	-
医療関係	27 3.4	2 1.4	7 4.7	9 3.8	9 3.5
法律関係	35 4.4	5 3.4	7 4.7	13 5.4	10 3.9
その他	67 8.4	10 6.8	6 4.0	24 10.0	27 10.5

東大・東工大質問14

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA)：14現在の仕事への希望度

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1137 100.0	261 100.0	294 100.0	279 100.0	300 100.0
大変希望していた	194 17.1	47 18.0	47 16.0	51 18.3	48 16.0
希望していた	660 58.0	126 48.3	186 63.3	167 59.9	180 60.0
他に選択肢がなかった	194 17.1	60 23.0	45 15.3	42 15.1	46 15.3
その他	89 7.8	28 10.7	16 5.4	19 6.8	26 8.7

MIT質問15

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA)：14現在の仕事への希望度

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	913 100.0	174 100.0	164 100.0	274 100.0	300 100.0
大変希望していた	550 60.2	113 64.9	101 61.6	155 56.6	180 60.0
希望していた	307 33.6	51 29.3	53 32.3	100 36.5	103 34.3
他に選択肢がなかった	29 3.2	6 3.4	5 3.0	8 2.9	10 3.3
その他	27 3.0	4 2.3	5 3.0	11 4.0	7 2.3

東大・東工大質問15

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA)：15満足度

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1140 100.0	262 100.0	296 100.0	279 100.0	300 100.0
大変満足している	139 12.2	51 19.5	32 10.8	28 10.0	28 9.3
満足している	645 56.6	140 53.4	202 68.2	161 57.7	141 47.0
どちらでもない	199 17.5	41 15.6	40 13.5	49 17.6	68 22.7
満足していない	117 10.3	23 8.8	15 5.1	31 11.1	48 16.0
大変不満である	27 2.4	4 1.5	4 1.4	6 2.2	12 4.0
その他	13 1.1	3 1.1	3 1.0	4 1.4	3 1.0

MIT質問16

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA)：15満足度

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	915 100.0	174 100.0	166 100.0	275 100.0	299 100.0
大変満足している	394 43.1	87 50.0	79 47.6	105 38.2	122 40.8
満足している	407 44.5	72 41.4	71 42.8	136 49.5	128 42.8
どちらでもない	54 5.9	7 4.0	9 5.4	13 4.7	25 8.4
満足していない	30 3.3	4 2.3	4 2.4	11 4.0	11 3.7
大変不満である	20 2.2	4 2.3	2 1.2	7 2.5	7 2.3
その他	10 1.1	-	1 0.6	3 1.1	6 2.0

東大・東工大質問16

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA)：16仕事の好み(卒業時)

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1133 100.0	264 100.0	293 100.0	277 100.0	296 100.0
基礎研究	150 13.2	20 7.6	38 13.0	37 13.4	55 18.6
応用研究	197 17.4	36 13.6	44 15.0	54 19.5	63 21.3
製品開発	149 13.2	39 14.8	35 11.9	34 12.3	39 13.2
工程・プロセスの 開発	55 4.9	18 6.8	19 6.5	10 3.6	8 2.7
研究開発の企画・ 管理	26 2.3	2 0.8	3 1.0	7 2.5	14 4.7
設計(製品)	131 11.6	44 16.7	33 11.3	29 10.5	25 8.4
設計(工程・プロ セス)	51 4.5	19 7.2	15 5.1	9 3.2	8 2.7
製造・管理・運営 (現場)	92 8.1	40 15.2	22 7.5	20 7.2	10 3.4
製造・管理・運営 (管理以外)	32 2.8	9 3.4	11 3.8	10 3.6	2 0.7
コンピュータプログラム・ソ フトの作成	25 2.2	1 0.4	10 3.4	6 2.2	8 2.7
インフォメーションシステムの 作成	9 0.8	-	3 1.0	3 1.1	3 1.0
技術コンサルティ	23 2.0	4 1.5	9 3.1	4 1.4	6 2.0
経営に関する調査 企画	31 2.7	4 1.5	8 2.7	13 4.7	6 2.0
営業・マーケティ	18 1.6	1 0.4	2 0.7	4 1.4	11 3.7
財務・経理	-	-	-	-	-
長期研修	1 0.1	-	-	-	1 0.3
会社経営	25 2.2	15 5.7	7 2.4	2 0.7	1 0.3
会社のオーナー	3 0.3	1 0.4	1 0.3	1 0.4	-
一般行政事務	58 5.1	4 1.5	13 4.4	23 8.3	18 6.1

MIT質問13

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA)：16仕事の好み(卒業時)

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	869 100.0	160 100.0	159 100.0	257 100.0	292 100.0
基礎研究	67 7.7	11 6.9	9 5.7	22 8.6	25 8.6
応用研究	171 19.7	43 26.9	36 22.6	30 11.7	62 21.2
製品開発	116 13.3	31 19.4	16 10.1	36 14.0	32 11.0
工程・プロセスの 開発	55 6.3	6 3.8	7 4.4	22 8.6	20 6.8
研究開発の企画・ 管理	23 2.6	9 5.6	3 1.9	8 3.1	3 1.0
設計(製品)	102 11.7	17 10.6	18 11.3	22 8.6	45 15.4
設計(工程・プロ セス)	33 3.8	10 6.3	2 1.3	11 4.3	10 3.4
製造・管理・運営 (現場)	27 3.1	4 2.5	3 1.9	12 4.7	8 2.7
製造・管理・運営 (管理以外)	7 0.8	2 1.3	2 1.3	3 1.2	-
コンピュータプログラム・ソ フトの作成	63 7.2	2 1.3	12 7.5	22 8.6	27 9.2
インフォメーションシステムの 作成	6 0.7	-	1 0.6	4 1.6	1 0.3
技術コンサルティ	30 3.5	2 1.3	9 5.7	13 5.1	6 2.1
経営に関する調査 企画	22 2.5	-	5 3.1	9 3.5	8 2.7
営業・マーケティ	8 0.9	2 1.3	1 0.6	2 0.8	3 1.0
財務・経理	9 1.0	-	3 1.9	2 0.8	4 1.4
長期研修	3 0.3	-	-	1 0.4	2 0.7
会社経営	24 2.8	5 3.1	5 3.1	10 3.9	4 1.4
会社のオーナー	35 4.0	9 5.6	6 3.8	8 3.1	12 4.1
一般行政事務	12 1.4	1 0.6	3 1.9	4 1.6	4 1.4

東大・東工大質問16の続き

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：16仕事の好み(卒業時)

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
教育(大学)	23 2.0	2 0.8	9 3.1	5 1.8	6 2.0
教育(高校以下)	3 0.3	-	-	1 0.4	2 0.7
医療関係	1 0.1	-	-	-	1 0.3
法律関係	-	-	-	-	-
その他	30 2.6	5 1.9	11 3.8	5 1.8	9 3.0

MIT質問13の続き

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(MA)：16仕事の好み(卒業時)

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
教育(大学)	29 3.3	5 3.1	11 6.9	5 1.9	8 2.7
教育(高校以下)	8 0.9	2 1.3	4 2.5	-	2 0.7
医療関係	21 2.4	1 0.6	-	10 3.9	10 3.4
法律関係	20 2.3	3 1.9	4 2.5	5 1.9	8 2.7
その他	37 4.3	6 3.8	6 3.8	9 3.5	16 5.5

東大・東工大質問16の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 仕事の好み(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1134 100.0	262 100.0	293 100.0	279 100.0	297 100.0
基礎研究	94 8.3	11 4.2	13 4.4	25 9.0	45 15.2
応用研究	127 11.2	12 4.6	24 8.2	42 15.1	49 16.5
製品開発	105 9.3	14 5.3	25 8.5	32 11.5	33 11.1
工程・プロセスの 開発	35 3.1	4 1.5	7 2.4	13 4.7	11 3.7
研究開発の企画・ 管理	84 7.4	24 9.2	23 7.8	19 6.8	17 5.7
設計(製品)	54 4.8	11 4.2	14 4.8	12 4.3	17 5.7
設計(工程・プロ セス)	14 1.2	-	5 1.7	2 0.7	7 2.4
製現場管理・運営	35 3.1	14 5.3	10 3.4	6 2.2	5 1.7
製現場管理・運営 (製品)	55 4.9	18 6.9	19 6.5	14 5.0	4 1.3
コンピュータログラム・ソ フトの作成	19 1.7	1 0.4	5 1.7	6 2.2	7 2.4
インフォメーションシステムの 作成	30 2.6	1 0.4	15 5.1	11 3.9	3 1.0
技術コンサルティ	82 7.2	29 11.1	23 7.8	12 4.3	18 6.1
経営に関する調査	99 8.7	21 8.0	27 9.2	24 8.6	27 9.1
営業・マーケティ	28 2.5	7 2.7	6 2.0	6 2.2	9 3.0
財務・経理	3 0.3	-	1 0.3	1 0.4	1 0.3
長期研修	6 0.5	-	-	1 0.4	5 1.7
会社経営	95 8.4	55 21.0	23 7.8	12 4.3	5 1.7
会社のオーナー	22 1.9	10 3.8	6 2.0	4 1.4	2 0.7
一般行政事務	46 4.1	3 1.1	11 3.8	20 7.2	12 4.0

M I T質問13の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA): 仕事の好み(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	880 100.0	164 100.0	159 100.0	261 100.0	295 100.0
基礎研究	52 5.9	9 5.5	9 5.7	18 6.9	16 5.4
応用研究	84 9.5	12 7.3	16 10.1	19 7.3	37 12.5
製品開発	65 7.4	14 8.5	10 6.3	15 5.7	25 8.5
工程・プロセスの 開発	21 2.4	2 1.2	3 1.9	7 2.7	9 3.1
研究開発の企画・ 管理	55 6.3	17 10.4	12 7.5	12 4.6	14 4.7
設計(製品)	44 5.0	8 4.9	7 4.4	9 3.4	20 6.8
設計(工程・プロ セス)	8 0.9	2 1.2	-	3 1.1	3 1.0
製現場管理・運営	24 2.7	6 3.7	1 0.6	7 2.7	10 3.4
製現場管理・運営 (製品)	15 1.7	2 1.2	3 1.9	7 2.7	3 1.0
コンピュータログラム・ソ フトの作成	68 7.7	9 5.5	10 6.3	18 6.9	31 10.5
インフォメーションシステムの 作成	12 1.4	2 1.2	1 0.6	4 1.5	5 1.7
技術コンサルティ	47 5.3	9 5.5	12 7.5	13 5.0	13 4.4
経営に関する調査	37 4.2	10 6.1	8 5.0	8 3.1	11 3.7
営業・マーケティ	30 3.4	3 1.8	1 0.6	12 4.6	14 4.7
財務・経理	21 2.4	4 2.4	5 3.1	7 2.7	5 1.7
長期研修	1 0.1	1 0.6	-	-	-
会社経営	94 10.7	31 18.9	21 13.2	27 10.3	15 5.1
会社のオーナー	126 14.3	24 14.6	22 13.8	42 16.1	38 12.9
一般行政事務	13 1.5	5 3.0	1 0.6	2 0.8	5 1.7

東大・東工大質問16の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 仕事の好み(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
教育(大学)	53 4.7	16 6.1	16 5.5	12 4.3	8 2.7
教育(高校以下)	5 0.4	-	3 1.0	1 0.4	1 0.3
医療関係	5 0.4	-	4 1.4	-	1 0.3
法律関係	4 0.4	1 0.4	1 0.3	-	2 0.7
その他	34 3.0	10 3.8	12 4.1	4 1.4	8 2.7

MIT質問13の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA): 仕事の好み(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
教育(大学)	66 7.5	16 9.8	16 10.1	12 4.6	22 7.5
教育(高校以下)	13 1.5	3 1.8	2 1.3	3 1.1	5 1.7
医療関係	33 3.8	3 1.8	5 3.1	12 4.6	13 4.4
法律関係	30 3.4	6 3.7	7 4.4	8 3.1	9 3.1
その他	52 5.9	12 7.3	4 2.5	16 6.1	20 6.8

東大・東工大質問17

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA)：17現在希望する仕事を選んだ理由

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1131 100.0	263 100.0	292 100.0	275 100.0	298 100.0
仕事の内容が面白 から	663 58.6	152 57.8	162 55.5	166 60.4	182 61.1
仕事の内容が創造 的だから	607 53.7	125 47.5	154 52.7	151 54.9	175 58.7
環境に 適している	181 16.0	30 11.4	31 10.6	55 20.0	65 21.8
給料が良いから	44 3.9	10 3.8	13 4.5	14 5.1	7 2.3
昇進しやすいから	24 2.1	2 0.8	11 3.8	6 2.2	5 1.7
学校で学んだ事が 役立つ	132 11.7	19 7.2	29 9.9	35 12.7	49 16.4
労働条件が良いか ら	46 4.1	7 2.7	9 3.1	14 5.1	16 5.4
職場の立地が良い から	46 4.1	10 3.8	14 4.8	13 4.7	9 3.0
社会に貢献できる から	311 27.5	95 36.1	79 27.1	76 27.6	61 20.5
仕事の結果がよく 見える	350 30.9	79 30.0	103 35.3	81 29.5	86 28.9
より多くの人とか かわれる	218 19.3	56 21.3	61 20.9	49 17.8	52 17.4
より独立した仕事 が出来る	213 18.8	69 26.2	54 18.5	47 17.1	42 14.1
その他	55 4.9	23 8.7	14 4.8	8 2.9	10 3.4

MIT質問14

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA)：17現在希望の仕事の最大選択理由

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	901 100.0	170 100.0	164 100.0	267 100.0	299 100.0
仕事の内容が面白 から	461 51.2	91 53.5	80 48.8	142 53.2	147 49.2
仕事の内容が創造 的だから	98 10.9	27 15.9	18 11.0	22 8.2	31 10.4
環境に 適している	23 2.6	-	1 0.6	9 3.4	13 4.3
給料が良いから	33 3.7	5 2.9	9 5.5	7 2.6	12 4.0
昇進しやすいから	16 1.8	2 1.2	1 0.6	3 1.1	10 3.3
学校で学んだ事が 役立つ	6 0.7	1 0.6	1 0.6	1 0.4	3 1.0
労働条件がよい から	13 1.4	1 0.6	5 3.0	2 0.7	5 1.7
職場の立地がよい から	4 0.4	2 1.2	1 0.6	-	1 0.3
社会に貢献できる から	44 4.9	8 4.7	8 4.9	13 4.9	15 5.0
仕事の結果がよく 見える	65 7.2	10 5.9	16 9.8	18 6.7	21 7.0
より多くの人とか かわれる	31 3.4	5 2.9	3 1.8	11 4.1	12 4.0
より独立した仕事 が出来る	84 9.3	15 8.8	17 10.4	30 11.2	22 7.4
その他	23 2.6	3 1.8	4 2.4	9 3.4	7 2.3

MIT質問14の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(MA): 現在希望の仕事の選択理由

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	881 100.0	166 100.0	158 100.0	266 100.0	290 100.0
仕事の内容が面白 いから	216 24.5	42 25.3	40 25.3	66 24.8	68 23.4
仕事の内容が創造 的だから	229 26.0	41 24.7	53 33.5	64 24.1	70 24.1
環境に 向 け 良 い 経 験 に な る	39 4.4	-	-	14 5.3	25 8.6
給料が良いから	248 28.1	46 27.7	59 37.3	78 29.3	64 22.1
昇進しやすいから	86 9.8	8 4.8	14 8.9	28 10.5	36 12.4
学校で学んだ事が 生かせる	77 8.7	16 9.6	14 8.9	25 9.4	22 7.6
労働条件がよいか ら	122 13.8	19 11.4	14 8.9	43 16.2	46 15.9
職場の立地がよ い か ら	43 4.9	13 7.8	5 3.2	10 3.8	15 5.2
社会に貢献でき る か ら	147 16.7	26 15.7	28 17.7	44 16.5	49 16.9
仕事の結果がよく 見える	153 17.4	32 19.3	24 15.2	48 18.0	49 16.9
より多くの人と か わ い あ う こ と が あ る	108 12.3	17 10.2	15 9.5	34 12.8	42 14.5
より独立した仕事 が あ る	130 14.8	27 16.3	32 20.3	30 11.3	41 14.1
その他	22 2.5	7 4.2	1 0.6	5 1.9	9 3.1

(注)最大理由は含んでいない。

東大・東工大質問18

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(MA): 18仕事における最終目標

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1140 100.0	264 100.0	295 100.0	279 100.0	299 100.0
より高い収入を得	298 26.1	53 20.1	79 26.8	79 28.3	87 29.1
良い家庭を築く	155 13.6	20 7.6	34 11.5	56 20.1	45 15.1
安定した生活を送	393 34.5	114 43.2	107 36.3	85 30.5	86 28.8
名声を得る	77 6.8	13 4.9	14 4.7	24 8.6	26 8.7
世の中のためにな	513 45.0	140 53.0	137 46.4	128 45.9	108 36.1
自分の事業を拡大	68 6.0	22 8.3	18 6.1	18 6.5	9 3.0
余暇活動を楽しむ	120 10.5	14 5.3	22 7.5	34 12.2	49 16.4
社会的に大きな影	231 20.3	54 20.5	68 23.1	60 21.5	49 16.4
人格形成を行う	185 16.2	34 12.9	52 17.6	42 15.1	57 19.1
仕事そのものを楽し	570 50.0	148 56.1	147 49.8	128 45.9	146 48.8
仕事と家庭の調和	412 36.1	83 31.4	112 38.0	110 39.4	107 35.8
その他	44 3.9	9 3.4	9 3.1	13 4.7	13 4.3
特に無い	10 0.9	5 1.9	1 0.3	1 0.4	3 1.0

MIT質問18

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(MA): 18仕事における最終目標

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	913 100.0	169 100.0	165 100.0	275 100.0	303 100.0
より高い収入を得	328 35.9	63 37.3	79 47.9	99 36.0	86 28.4
良い家庭を築く	338 37.0	55 32.5	69 41.8	106 38.5	108 35.6
安定した生活を送	179 19.6	35 20.7	31 18.8	50 18.2	63 20.8
名声を得る	109 11.9	17 10.1	27 16.4	32 11.6	33 10.9
世の中のためにな	158 17.3	27 16.0	34 20.6	48 17.5	49 16.2
自分の事業を拡大	158 17.3	41 24.3	40 24.2	40 14.5	36 11.9
社会的に大きな影	152 16.6	24 14.2	17 10.3	46 16.7	65 21.5
人格形成を行う	194 21.2	28 16.6	31 18.8	57 20.7	78 25.7
仕事そのものを楽し	516 56.5	99 58.6	86 52.1	152 55.3	179 59.1
余暇活動を楽しむ	111 12.2	18 10.7	13 7.9	33 12.0	46 15.2
仕事と家庭の調和	265 29.0	37 21.9	42 25.5	86 31.3	100 33.0
その他	12 1.3	2 1.2	-	5 1.8	5 1.7
特に無い	10 1.1	1 0.6	1 0.6	6 2.2	2 0.7

東大・東工大質問19

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 19望んでいる キャリアパス(卒業時)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1131 100.0	260 100.0	292 100.0	279 100.0	297 100.0
既存企業や組織で 職責を認め立し、発 展させる教育や研究 本を営む技術エキスパー ツ	578 51.1	158 60.8	142 48.6	141 50.5	136 45.8
独立した技術エキスパー ツ	292 25.8	67 25.8	77 26.4	71 25.4	77 25.9
その他	16 1.4	3 1.2	5 1.7	4 1.4	4 1.3
特に無い	94 8.3	10 3.8	22 7.5	30 10.8	32 10.8

MIT質問19

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 19望んでいる キャリアパス(卒業時)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	908 100.0	170 100.0	164 100.0	272 100.0	301 100.0
既存企業や組織で 職責を認め立し、発 展させる教育や研究 本を営む技術エキスパー ツ	338 37.2	75 44.1	54 32.9	106 39.0	102 33.9
独立した技術エキスパー ツ	100 11.0	20 11.8	19 11.6	32 11.8	29 9.6
その他	45 5.0	7 4.1	8 4.9	13 4.8	17 5.6
特に無い	176 19.4	27 15.9	34 20.7	62 22.8	53 17.6

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 望んでいる キャリアパス(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1124 100.0	257 100.0	288 100.0	279 100.0	297 100.0
既存企業や組織で 職責を認め立し、発 展させる教育や研究 本を営む技術エキスパー ツ	452 40.2	92 35.8	132 45.8	113 40.5	114 38.4
独立した技術エキスパー ツ	293 26.1	60 23.3	63 21.9	78 28.0	92 31.0
その他	50 4.4	13 5.1	13 4.5	12 4.3	12 4.0
特に無い	88 7.8	26 10.1	20 6.9	21 7.5	21 7.1

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 望んでいる キャリアパス(現在)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	900 100.0	171 100.0	160 100.0	269 100.0	299 100.0
既存企業や組織で 職責を認め立し、発 展させる教育や研究 本を営む技術エキスパー ツ	198 22.0	28 16.4	42 26.3	62 23.0	65 21.7
独立した技術エキスパー ツ	100 11.0	20 11.8	19 11.6	32 11.8	29 9.6
その他	72 8.0	18 10.5	9 5.6	20 7.4	25 8.4
特に無い	83 9.2	11 6.4	16 10.0	31 11.5	25 8.4

東大・東工大質問20

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 20昇進への影響 工学士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1111 100.0	255 100.0	283 100.0	275 100.0	295 100.0
大変有利	53 4.8	19 7.5	17 6.0	10 3.6	7 2.4
有利	252 22.7	77 30.2	73 25.8	56 20.4	45 15.3
影響無し	728 65.5	143 56.1	182 64.3	185 67.3	216 73.2
不利	69 6.2	14 5.5	10 3.5	21 7.6	24 8.1
その他	9 0.8	2 0.8	1 0.4	3 1.1	3 1.0

MIT質問20

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 20昇進への影響 工学士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	798 100.0	151 100.0	146 100.0	238 100.0	262 100.0
大変有利	415 52.0	84 55.6	76 52.1	130 54.6	125 47.7
有利	213 26.7	46 30.5	34 23.3	60 25.2	73 27.9
影響無し	150 18.8	19 12.6	32 21.9	41 17.2	57 21.8
不利	10 1.3	2 1.3	2 1.4	3 1.3	3 1.1
その他	10 1.3	-	2 1.4	4 1.7	4 1.5

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学修士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1104 100.0	248 100.0	282 100.0	276 100.0	295 100.0
大変有利	28 2.5	13 5.2	5 1.8	5 1.8	5 1.7
有利	266 24.1	63 25.4	64 22.7	73 26.4	66 22.4
影響無し	753 68.2	158 63.7	203 72.0	183 66.3	206 69.8
不利	47 4.3	13 5.2	9 3.2	12 4.3	13 4.4
その他	10 0.9	1 0.4	1 0.4	3 1.1	5 1.7

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学修士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	768 100.0	142 100.0	142 100.0	229 100.0	254 100.0
大変有利	229 29.8	52 36.6	37 26.1	59 25.8	81 31.9
有利	300 39.1	56 39.4	52 36.6	94 41.0	97 38.2
影響無し	223 29.0	33 23.2	51 35.9	71 31.0	68 26.8
不利	10 1.3	1 0.7	2 1.4	3 1.3	4 1.6
その他	6 0.8	-	-	2 0.9	4 1.6

東大・東工大質問20の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学博士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1105 100.0	250 100.0	282 100.0	275 100.0	295 100.0
大変有利	81 7.3	24 9.6	20 7.1	18 6.5	19 6.4
有利	288 26.1	65 26.0	66 23.4	78 28.4	78 26.4
影響無し	619 56.0	136 54.4	171 60.6	146 53.1	164 55.6
不利	94 8.5	22 8.8	22 7.8	27 9.8	23 7.8
その他	23 2.1	3 1.2	3 1.1	6 2.2	11 3.7

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学士 + M B A

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1079 100.0	236 100.0	278 100.0	271 100.0	292 100.0
大変有利	62 5.7	15 6.4	13 4.7	18 6.6	16 5.5
有利	300 27.8	60 25.4	73 26.3	82 30.3	84 28.8
影響無し	646 59.9	144 61.0	177 63.7	152 56.1	172 58.9
不利	33 3.1	9 3.8	7 2.5	9 3.3	8 2.7
その他	38 3.5	8 3.4	8 2.9	10 3.7	12 4.1

MIT質問20の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学博士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	772 100.0	145 100.0	144 100.0	230 100.0	252 100.0
大変有利	170 22.0	35 24.1	32 22.2	54 23.5	49 19.4
有利	217 28.1	48 33.1	36 25.0	55 23.9	78 31.0
影響無し	305 39.5	51 35.2	62 43.1	98 42.6	94 37.3
不利	71 9.2	10 6.9	13 9.0	21 9.1	26 10.3
その他	9 1.2	1 0.7	1 0.7	2 0.9	5 2.0

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学士 + M B A

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	751 100.0	134 100.0	145 100.0	226 100.0	245 100.0
大変有利	270 36.0	41 30.6	49 33.8	86 38.1	93 38.0
有利	279 37.2	58 43.3	59 40.7	81 35.8	81 33.1
影響無し	174 23.2	30 22.4	34 23.4	52 23.0	58 23.7
不利	21 2.8	5 3.7	3 2.1	5 2.2	8 3.3
その他	7 0.9	-	-	2 0.9	5 2.0

東大・東工大質問20の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 文系学士+MBA

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1076 100.0	236 100.0	276 100.0	271 100.0	291 100.0
大変有利	64 5.9	17 7.2	14 5.1	19 7.0	13 4.5
有利	282 26.2	66 28.0	71 25.7	66 24.4	78 26.8
影響無し	647 60.1	136 57.6	171 62.0	163 60.1	177 60.8
不利	44 4.1	10 4.2	10 3.6	12 4.4	12 4.1
その他	39 3.6	7 3.0	10 3.6	11 4.1	11 3.8

MIT質問20の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 文系学士+MBA

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	713 100.0	124 100.0	133 100.0	216 100.0	239 100.0
大変有利	46 6.5	9 7.3	7 5.3	11 5.1	19 7.9
有利	251 35.2	38 30.6	46 34.6	80 37.0	86 36.0
影響無し	246 34.5	49 39.5	45 33.8	68 31.5	84 35.1
不利	159 22.3	28 22.6	34 25.6	53 24.5	44 18.4
その他	11 1.5	-	1 0.8	4 1.9	6 2.5

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 法学士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1070 100.0	234 100.0	275 100.0	270 100.0	289 100.0
大変有利	58 5.4	15 6.4	18 6.5	13 4.8	12 4.2
有利	218 20.4	67 28.6	57 20.7	52 19.3	40 13.8
影響無し	709 66.3	141 60.3	181 65.8	181 67.0	206 71.3
不利	46 4.3	6 2.6	11 4.0	14 5.2	15 5.2
その他	39 3.6	5 2.1	8 2.9	10 3.7	16 5.5

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 法学士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	701 100.0	120 100.0	132 100.0	213 100.0	235 100.0
大変有利	47 6.7	11 9.2	6 4.5	15 7.0	15 6.4
有利	110 15.7	17 14.2	22 16.7	34 16.0	37 15.7
影響無し	366 52.2	58 48.3	65 49.2	104 48.8	139 59.1
不利	150 21.4	33 27.5	33 25.0	50 23.5	34 14.5
その他	28 4.0	1 0.8	6 4.5	10 4.7	10 4.3

東大・東工大質問21

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 21給与への影響 工学士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1128 100.0	257 100.0	292 100.0	278 100.0	299 100.0
大変有利	30 2.7	11 4.3	9 3.1	5 1.8	5 1.7
有利	233 20.7	80 31.1	69 23.6	47 16.9	36 12.0
影響無し	808 71.6	153 59.5	205 70.2	213 76.6	236 78.9
不利	48 4.3	11 4.3	8 2.7	10 3.6	19 6.4
その他	9 0.8	2 0.8	1 0.3	3 1.1	3 1.0

MIT質問21

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 21給与への影響 工学士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	777 100.0	136 100.0	145 100.0	238 100.0	257 100.0
大変有利	310 39.9	67 49.3	55 37.9	97 40.8	91 35.4
有利	259 33.3	48 35.3	45 31.0	80 33.6	85 33.1
影響無し	180 23.2	19 14.0	37 25.5	51 21.4	73 28.4
不利	13 1.7	2 1.5	5 3.4	4 1.7	2 0.8
その他	15 1.9	-	3 2.1	6 2.5	6 2.3

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学修士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1118 100.0	251 100.0	289 100.0	278 100.0	298 100.0
大変有利	15 1.3	4 1.6	5 1.7	3 1.1	3 1.0
有利	319 28.5	85 33.9	74 25.6	71 25.5	88 29.5
影響無し	739 66.1	153 61.0	200 69.2	193 69.4	193 64.8
不利	36 3.2	7 2.8	9 3.1	8 2.9	11 3.7
その他	9 0.8	2 0.8	1 0.3	3 1.1	3 1.0

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学修士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	756 100.0	132 100.0	140 100.0	233 100.0	250 100.0
大変有利	210 27.8	42 31.8	36 25.7	55 23.6	77 30.8
有利	329 43.5	51 38.6	64 45.7	111 47.6	102 40.8
影響無し	202 26.7	38 28.8	37 26.4	62 26.6	65 26.0
不利	6 0.8	1 0.8	2 1.4	2 0.9	1 0.4
その他	9 1.2	-	1 0.7	3 1.3	5 2.0

東大・東工大質問21の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学博士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1120 100.0	253 100.0	288 100.0	278 100.0	298 100.0
大変有利	63 5.6	20 7.9	15 5.2	11 4.0	17 5.7
有利	351 31.3	87 34.4	77 26.7	84 30.2	101 33.9
影響無し	652 58.2	137 54.2	185 64.2	168 60.4	162 54.4
不利	38 3.4	7 2.8	8 2.8	11 4.0	11 3.7
その他	16 1.4	2 0.8	3 1.0	4 1.4	7 2.3

MIT質問21の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学博士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	760 100.0	139 100.0	144 100.0	228 100.0	248 100.0
大変有利	230 30.3	45 32.4	38 26.4	67 29.4	80 32.3
有利	276 36.3	54 38.8	54 37.5	74 32.5	93 37.5
影響無し	224 29.5	34 24.5	48 33.3	76 33.3	66 26.6
不利	19 2.5	5 3.6	2 1.4	8 3.5	4 1.6
その他	11 1.4	1 0.7	2 1.4	3 1.3	5 2.0

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学士 + M B A

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1089 100.0	238 100.0	282 100.0	273 100.0	294 100.0
大変有利	28 2.6	9 3.8	8 2.8	4 1.5	7 2.4
有利	241 22.1	60 25.2	60 21.3	58 21.2	62 21.1
影響無し	750 68.9	155 65.1	197 69.9	194 71.1	203 69.0
不利	23 2.1	7 2.9	4 1.4	5 1.8	7 2.4
その他	47 4.3	7 2.9	13 4.6	12 4.4	15 5.1

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 工学士 + M B A

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	727 100.0	122 100.0	141 100.0	224 100.0	239 100.0
大変有利	216 29.7	32 26.2	35 24.8	68 30.4	80 33.5
有利	272 37.4	54 44.3	62 44.0	85 37.9	71 29.7
影響無し	213 29.3	32 26.2	39 27.7	64 28.6	78 32.6
不利	14 1.9	4 3.3	4 2.8	3 1.3	3 1.3
その他	12 1.7	-	1 0.7	4 1.8	7 2.9

東大・東工大質問21の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 文系学士+MBA

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1089 100.0	238 100.0	282 100.0	273 100.0	294 100.0
大変有利	28 2.6	9 3.8	9 3.2	4 1.5	6 2.0
有利	213 19.6	58 24.4	53 18.8	51 18.7	50 17.0
影響無し	780 71.6	160 67.2	202 71.6	202 74.0	215 73.1
不利	21 1.9	5 2.1	6 2.1	4 1.5	6 2.0
その他	47 4.3	6 2.5	12 4.3	12 4.4	17 5.8

MIT質問21の続き

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 文系学士+MBA

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	698 100.0	115 100.0	133 100.0	214 100.0	235 100.0
大変有利	39 5.6	5 4.3	6 4.5	12 5.6	15 6.4
有利	270 38.7	48 41.7	47 35.3	83 38.8	92 39.1
影響無し	257 36.8	31 27.0	53 39.8	83 38.8	90 38.3
不利	115 16.5	30 26.1	23 17.3	31 14.5	31 13.2
その他	17 2.4	1 0.9	4 3.0	5 2.3	7 3.0

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 法学士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1078 100.0	238 100.0	276 100.0	272 100.0	290 100.0
大変有利	28 2.6	10 4.2	9 3.3	4 1.5	5 1.7
有利	176 16.3	62 26.1	49 17.8	33 12.1	31 10.7
影響無し	820 76.1	158 66.4	206 74.6	222 81.6	233 80.3
不利	18 1.7	3 1.3	6 2.2	4 1.5	5 1.7
その他	36 3.3	5 2.1	6 2.2	9 3.3	16 5.5

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 法学士

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	685 100.0	114 100.0	131 100.0	210 100.0	229 100.0
大変有利	81 11.8	12 10.5	11 8.4	32 15.2	26 11.4
有利	141 20.6	26 22.8	24 18.3	48 22.9	43 18.8
影響無し	333 48.6	49 43.0	69 52.7	90 42.9	125 54.6
不利	94 13.7	25 21.9	19 14.5	26 12.4	24 10.5
その他	36 5.3	2 1.8	8 6.1	14 6.7	11 4.8

東大・東工大質問22

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：22理科系と文科系のステイタス比較

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1141 100.0	262 100.0	297 100.0	280 100.0	299 100.0
理工系出身者の地 位が高い	306 26.8	61 23.3	81 27.3	80 28.6	84 28.1
理工系出身者の地 位が低い	242 21.2	58 22.1	64 21.5	60 21.4	58 19.4
同じ	478 41.9	130 49.6	126 42.4	102 36.4	119 39.8
わからない	82 7.2	3 1.1	22 7.4	23 8.2	34 11.4
その他	33 2.9	10 3.8	4 1.3	15 5.4	4 1.3

MIT質問22

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：22理科系と文科系のステイタス比較

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	882 100.0	164 100.0	156 100.0	265 100.0	296 100.0
理工系出身者の地 位が高い	663 75.2	126 76.8	120 76.9	211 79.6	205 69.3
理工系出身者の地 位が低い	22 2.5	5 3.0	3 1.9	7 2.6	7 2.4
同じ	124 14.1	19 11.6	23 14.7	35 13.2	47 15.9
わからない	53 6.0	8 4.9	7 4.5	10 3.8	28 9.5
その他	20 2.3	6 3.7	3 1.9	2 0.8	9 3.0

東大・東工大質問23

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：23現場と研究開発のステイタス比較

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	1134 100.0	260 100.0	293 100.0	280 100.0	298 100.0
現場の技術者の地 位が高い	180 15.9	58 22.3	42 14.3	42 15.0	37 12.4
現場の技術者の地 位が低い	313 27.6	48 18.5	81 27.6	90 32.1	94 31.5
同じ	487 42.9	131 50.4	138 47.1	102 36.4	114 38.3
わからない	129 11.4	21 8.1	25 8.5	39 13.9	44 14.8
その他	25 2.2	2 0.8	7 2.4	7 2.5	9 3.0

MIT質問23

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：23現場と研究開発のステイタス比較

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	645 100.0	128 100.0	119 100.0	196 100.0	201 100.0
現場の技術者の地 位が高い	57 8.8	19 14.8	10 8.4	18 9.2	10 5.0
現場の技術者の地 位が低い	376 58.3	65 50.8	78 65.5	117 59.7	116 57.7
同じ	117 18.1	24 18.8	20 16.8	35 17.9	37 18.4
わからない	73 11.3	17 13.3	7 5.9	19 9.7	30 14.9
その他	22 3.4	3 2.3	4 3.4	7 3.6	8 4.0

東大・東工大質問24

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 24地位(部下の数含む)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
企 体	1138 100.0	262 100.0	294 100.0	280 100.0	299 100.0
一般社員等部下の いかなる地位	459 40.3	30 11.5	26 8.8	123 43.9	278 93.0
中間管理職等部下 のいかなる地位	507 44.6	120 45.8	232 78.9	139 49.6	155 5.0
経営に關し責任を 擔當する地位	104 9.1	86 32.8	12 4.1	4 1.4	2 0.7
合営のオーナー(を含む)	20 1.8	8 3.1	8 2.7	4 1.4	-
その他	48 4.2	18 6.9	16 5.4	10 3.6	4 1.3

MIT質問10

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 24地位(部下の数含む)

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
企 体	899 100.0	173 100.0	162 100.0	272 100.0	291 100.0
一般社員等部下の いかなる地位	282 31.4	25 14.5	27 16.7	86 31.6	143 49.1
中間管理職等部下 のいかなる地位	358 39.8	48 27.7	60 37.0	133 48.9	117 40.2
経営に關し責任を 擔當する地位	98 10.9	47 27.2	34 21.0	14 5.1	3 1.0
合営のオーナー(を含む)	116 12.9	47 27.2	30 18.5	22 8.1	17 5.8
その他	45 5.0	6 3.5	11 6.8	17 6.3	11 3.8

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 部下の数

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
企 体	646 100.0	222 100.0	255 100.0	147 100.0	21 100.0
1~ 9人	343 53.1	72 32.4	124 48.6	128 87.1	19 90.5
9~ 99人	224 34.7	89 40.1	115 45.1	17 11.6	2 9.5
100~ 999人	72 11.1	54 24.3	16 6.3	2 1.4	-
1000人以上	7 1.1	7 3.2	-	-	-

<< 併記表 実数・縦%表 >>

表側(SA): 部下の数

表頭(SA): 2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
企 体	578 100.0	138 100.0	126 100.0	175 100.0	139 100.0
1~ 9人	358 61.9	62 44.9	52 41.3	129 73.7	115 82.7
10~ 99人	179 31.0	54 39.1	60 47.6	41 23.4	24 17.3
100~ 999人	35 6.1	17 12.3	13 10.3	5 2.9	-
1000人以上	6 1.0	5 3.6	1 0.8	-	-

東大・東工大質問25

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：25従業員数（民間企業のみ）

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	949 100.0	223 100.0	240 100.0	224 100.0	261 100.0
1～ 299人	102 10.7	42 18.8	32 13.3	17 7.6	11 4.2
300～ 999人	53 5.6	19 8.5	10 4.2	10 4.5	14 5.4
1000～ 2999人	85 9.0	29 13.0	19 7.9	20 8.9	16 6.1
3000～ 9999人	197 20.8	49 22.0	49 20.4	43 19.2	56 21.5
10000人以上	512 54.0	84 37.7	130 54.2	134 59.8	164 62.8

MIT質問25

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：25従業員数（民間企業のみ）

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	679 100.0	134 100.0	128 100.0	206 100.0	210 100.0
1～ 299人	219 32.3	52 38.8	41 32.0	58 28.2	68 32.4
300～ 999人	63 9.3	7 5.2	14 10.9	21 10.2	20 9.5
1000～ 2999人	81 11.9	18 13.4	13 10.2	23 11.2	27 12.9
3000～ 9999人	76 11.2	17 12.7	12 9.4	23 11.2	24 11.4
10000人以上	240 35.3	40 29.9	48 37.5	81 39.3	71 33.8

東大・東工大質問26

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(MA)：26社長になるために有利な経験部署

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	803 100.0	174 100.0	201 100.0	199 100.0	228 100.0
営業	121 15.1	25 14.4	33 16.4	22 11.1	40 17.5
財務	43 5.4	12 6.9	6 3.0	17 8.5	8 3.5
法務	15 1.9	2 1.1	4 2.0	5 2.5	4 1.8
企画	61 7.6	10 5.7	16 8.0	13 6.5	22 9.6
研究開発	42 5.2	4 2.3	7 3.5	11 5.5	20 8.8
生産現場	112 13.9	18 10.3	35 17.4	20 10.1	39 17.1
設計	77 9.6	16 9.2	26 12.9	20 10.1	15 6.6
その他	82 10.2	15 8.6	16 8.0	29 14.6	22 9.6
特に無い	250 31.1	72 41.4	58 28.9	62 31.2	58 25.4

(注)複数選択をしたサンプルは除いた。

MIT質問24

<< 併記表 実数・縦％表 >>

表側(SA)：26社長になるために有利な経験部署

表頭(SA)：2工学部卒業年次

	合計	1960	1970	1980	1985
全 体	621 100.0	122 100.0	119 100.0	185 100.0	194 100.0
営業	181 29.1	35 28.7	41 34.5	52 28.1	52 26.8
財務	53 8.5	8 6.6	7 5.9	20 10.8	18 9.3
法務	11 1.8	2 1.6	3 2.5	2 1.1	4 2.1
企画	34 5.5	4 3.3	6 5.0	8 4.3	16 8.2
研究開発	34 5.5	9 7.4	6 5.0	9 4.9	10 5.2
生産現場	43 6.9	11 9.0	6 5.0	15 8.1	11 5.7
エンジニアリング	117 18.8	25 20.5	22 18.5	33 17.8	37 19.1
マネジメント情報システム	5 0.8	-	2 1.7	2 1.1	1 0.5
その他	60 9.7	14 11.5	11 9.2	19 10.3	16 8.2
特になし	83 13.4	14 11.5	15 12.6	25 13.5	29 14.9

(注)複数選択をしたサンプルは除いた。



資料 6

「統計的検定」



## 統計的検定

下記の項目についてカイ2乗検定を行った。すべての項目の検定において次のように東大・東工大とMITは差が認められないと仮定した（帰無仮説）。

（帰無仮説）東大・東工大とMITでは（下記の各項目について）母比率は差がない。

### 1 製造業に従事している割合

東大・東工大の製造業に従事している割合は57.4%、MITは42.0%である。

	製造業サンプル	非製造業サンプル	合計
東大・東工大	653 (57.4%)	484 (42.6)	1137 (100.0)
MIT	346 (42.0)	477 (58.0)	823 (100.0)
合計	999	961	1960

このカイ2乗値は44.66でありこれはカイ2乗分布1%点である6.635よりも大きい。よって東大・東工大とMITに差がないという仮説自体が誤りである。すなわち製造業に従事している割合においては東大・東工大とMITは有意差があるといえることができる。

### 2 技術関連に従事している割合

（1）東大・東工大の技術関連に従事している割合は67.8%、MITは54.7%である。

	技術関連サンプル	非技術関連サンプル	合計
東大・東工大	770 (67.8%)	365 (32.2)	1135 (100.0)
MIT	435 (54.8)	358 (45.2)	793 (100.0)
合計	1205	723	1928

このカイ2乗値は34.01でありこれはカイ2乗分布1%点である6.635よりも大きい。よって東大・東工大とMITに差がないという仮説自体が誤りである。すなわち、技術関連に従事している割合においては東大・東工大とMITは有意差があるといえることができる。

（2）工学部卒業時電気工学科系であった人を抽出して技術に関連している割合をみてみよう。東大・東工大は73.9%でMITは62.7%である。

	技術関連サンプル	非技術関連サンプル	合計
東大・東工大	190 (73.9%)	67 (26.1)	257 (100.0)
MIT	192 (62.7)	114 (37.3)	306 (100.0)
合計	382	181	563

このカイ2乗値は8.01でありこれはカイ2乗分布1%点である6.635よりも大きい。よって東大・東工大とMITに差がないという仮説自体が誤りである。すなわち、工学部卒業時電気工学科系であった人の間では技術関連に従事している割合において東大・東工大とMITは有意差があるといえることができる。

(3) 工学部卒業年次が1980年であった人を抽出して技術に関連している割合をみてみよう。東大・東工大は72.9%でMITは50.2%である。

	技術関連サンプル	非技術関連サンプル	合計
東大・東工大	202(72.9%)	75(27.1)	277(100.0)
MIT	120(50.2)	119(49.8)	239(100.0)
合計	322	194	516

このカイ2乗値は28.22でありこれはカイ2乗分布1%点である6.635よりも大きい。よって東大・東工大とMITに差がないという仮説自体が誤りである。すなわち、工学部卒業年次が1980年であった人の中では技術関連に従事している割合において東大・東工大とMITは有意差があるといえることができる。

### 3 製造現場関連

(1) 製造現場関連に従事している割合をみてみよう。東大・東工大は12.1%でMITは5.0%である。

	製造現場関連サンプル	製造現場関連サンプル	合計
東大・東工大	137(12.1%)	998(87.9)	1135(100.0)
MIT	40(5.0)	753(95.0)	793(100.0)
合計	177	1751	1928

このカイ2乗値は27.96でありこれはカイ2乗分布1%点である6.635よりも大きい。よって東大・東工大とMITに差がないという仮説自体が誤りである。すなわち、製造現場関連に従事している割合において東大・東工大とMITは有意差があるといえることができる。

(2) 工学部卒業時電気工学科系であった人を抽出して製造現場関連に従事している割合をみてみよう。東大・東工大は9.3%でMITは2.8%である。

	製造現場関連サンプル	製造現場関連サンプル	合計
東大・東工大	24(9.3%)	233(90.7)	257(100.0)
MIT	9(2.8)	297(97.2)	306(100.0)
合計	33	530	563

このカイ2乗値は10.36でありこれはカイ2乗分布1%点である6.635よりも大きい。よって東大・東工大とMITに差がないという仮説自体が誤りである。すなわち、工学部卒業時電気工学科系であった人の中では製造現場関連に従事している割合において東大・東工大とMITは有意差があるといえることができる。

## ○補足分析

本レポート作成に当たっては、多くのクロス集計による分析を行った。ここでは本文に使用されていないが日米比較研究等に有用だと思われるものについて紹介する。

1. 就業状況及び就業していない理由 — 卒業年次別、性別
2. 就業している組織の規模 — 卒業年次別、組織種類別
3. 仕事における最終目標 — 卒業年次別、仕事種類別、性別
4. 現在希望するキャリアパス  
— 卒業年次別、組織種類別、仕事種類別、学位別、性別
5. 学部卒業時に希望したキャリアパス
6. 現在希望する仕事 — 卒業年次別
7. 学部卒業時に希望した仕事 — 卒業年次別
8. 「現在希望する仕事」を選んだ理由 — 卒業年次別、性別
9. 現在の仕事の対する希望度  
— 卒業年次別、学科別、組織種類別、仕事種類別、学位別、  
職業における目標別、望んでいるキャリアパス別、性別
10. 組織を選択した理由 — 卒業年次別、組織種類別
11. 学位レベルが経営に責任のある地位への昇進に及ぼす影響  
— 卒業年次別、組織種類別
12. 学位レベルの給料への影響 — 卒業年次別、組織種類別
13. 理科系、文科系のステイタス比較  
— 卒業年次別、組織種類別、組織規模別
14. 現場・研究開発のステイタス比較  
— 卒業年次別、組織種類別、仕事種類別

- 15. 地位 — 卒業年次別
- 16. 部下の数 — 卒業年次別
- 17. 学位レベル別分布 — 卒業年次別、性別
- 18. 満足度 — 卒業年次別、性別

— 表リスト —

- 表1-2 現在組織種類別分布（東大、東工大）（MIT）
- 表3-4 現在組織種類別分布（東大、東工大）（MIT）
- 表5 現在従事している会社は何社目か（東大、東工大）
- 表6 転職回数（MIT）
- 表7-8 現在の就業状況（東大、東工大）（MIT）
- 表9-10 現在就業していない理由（東大、東工大）（MIT）
- 表11 性別現在の就業状況（MIT）
- 表12 性別就業していない理由（MIT）
- 表13 性別現在の就業状況（東大、東工大）
- 表14 性別就業していない理由（東大、東工大）
- 表15-16 会社規模別工学部卒業生分布（東大、東工大）（MIT）
- 表17-18 会社規模別組織種類別工学部卒業生分布（東大、東工大）（MIT）
- 表19-20 仕事における最終目標（東大、東工大）（MIT）
- 表21-22 現在の仕事種類別仕事における最終目標（東大、東工大）（MIT）
- 表23-24 性別仕事における最終目標（東大、東工大）（MIT）
- 表25-26 現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
- 表27-28 現在組織種類別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
- 表29-30 現在仕事種類別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
- 表31-32 学位別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
- 表33-34 性別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
- 表35-36 学部卒業時に希望したキャリアパス（東大、東工大）（MIT）
- 表37-38 現在希望する仕事（東大、東工大）（MIT）
- 表39-40 学部卒業時に希望した仕事（東大、東工大）（MIT）
- 表41-42 現在希望の仕事の選択理由（東大、東工大）（MIT）
- 表43-44 性別現在希望する仕事の選択理由（東大、東工大）（MIT）
- 表45-46 現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
- 表47-48 学科別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
- 表49-50 組織種類別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
- 表51-52 仕事種類別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
- 表53-54 学位別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）

- 表55-56 職業目標別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
- 表57-58 望んでいるキャリアパス別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
- 表59-60 性別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）（MIT）
- 表61-62 現在組織選択理由（東大、東工大）（MIT）
- 表63-64 組織種類別現在組織選択理由（東大、東工大）（MIT）
- 表65-70 昇進に及ぼす学位の影響（東大、東工大）  
 ー工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
- 表71-76 昇進に及ぼす学位の影響（MIT）  
 ー工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
- 表77-82 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響（東大、東工大）  
 ー工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
- 表83-88 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響（MIT）  
 ー工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
- 表89-94 給料に及ぼす学位の影響（東大、東工大）  
 ー工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
- 表95-100 給料に及ぼす学位の影響（MIT）  
 ー工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
- 表101-106 組織種類別給料に及ぼす学位の影響（東大、東工大）  
 ー工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
- 表107-112 組織種類別給料に及ぼす学位の影響（MIT）  
 ー工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士
- 表113-114 理工系出身者の地位（東大、東工大）（MIT）
- 表115-116 組織種類別理工系出身者の地位（東大、東工大）（MIT）
- 表117-118 会社規模別理工系出身者の地位（東大、東工大）（MIT）
- 表119-120 生産現場技術者の社会的地位（東大、東工大）（MIT）
- 表121-122 組織種類別生産現場技術者の社会的地位（東大、東工大）（MIT）
- 表123-124 仕事種類別生産現場技術者の社会的地位（東大、東工大）（MIT）
- 表125-126 会社規模別生産現場技術者の社会的地位（東大、東工大）（MIT）
- 表127-128 組織における地位（東大、東工大）（MIT）
- 表129-130 部下の数（東大、東工大）（MIT）
- 表131-132 学位別分布（東大、東工大）（MIT）
- 表133-134 性別学位別分布（東大、東工大）（MIT）
- 表135-138 性別学位別分布ー1960年卒、1970年卒、1980年卒、1985年卒（MIT）
- 表139-140 現在の仕事に対する満足度（東大、東工大）（MIT）
- 表141-142 性別現在の仕事に対する満足度（東大、東工大）（MIT）

## 1. 就職状況及び就業していない理由

### ☆卒業年次別（表7,8,9,10）

就職していない者の割合は、東大・東工大卒業生は1.5%であるのに対し、MIT卒業生では8.2%と比較的多い。

就職していない理由については、東大・東工大卒業生は、「大学院在学中」が58.8%、「その他」41.2%となっている。MIT卒業生についても、同様に「学生」（大学院在学中とほぼ同意であると考えられる。）が57.3%と最も多い理由となっている。

これを卒業年次別に見ると、東大・東工大卒業生では、1985年卒業生の割合が4.5%と他年次に比べ高い。1980年、1970年、1960年はそれぞれ0.4%、0.3%、0.4%である。就職していない理由については、1985年卒業生の71%が「大学院在学中」としている。1985年卒業生の残り、1980年、1970年、1960年卒業生の就業していない理由は、全て「その他」となっている。

MIT卒業生も、1985年卒業生の就職していない者の割合が13.8%と最も高い。1980年、1970年、1960年は、それぞれ5.8%、3.0%、7.5%である。その就業していない理由の主なものは、1985年は「学生」が81.0%、1980年も「学生」が53.3%であり、東大・東工大卒業生と比べ学部卒業後も学んでいる人が多いことがわかる。

### ☆性別（表11,12,13,14）

MIT卒業生では、性別による大きな違いがみられる。男性の就職していない者の割合が7.1%であるのに対し、女性は16.2%と多い。さらに、その理由をみると、男性の最大の理由は「学生」（62.5%）であるが、女性のそれは「育児等で在宅」（47.4%）となっている。「学生」以外の理由で就職していない者は、男性で37.5%、女性で57.9%である。

なお、東大・東工大卒業生は、女性の回答者数が7名と極めて少ないため、このような分析をすることはむずかしいが、就職していない者は7名中4名にのぼり（男性では、1148名中13名）、そのうち3名が大学院在学中以外の理由を挙げている（男性では、13名中4名）ことは、日本では米国以上に女性の就業がむずかしい状況にあることを推測させるものといえよう。

## 2. 就業している組織の規模

### ☆卒業年次別（表15,16）

東大・東工大卒業生が勤務している企業の従業員数を見ると、全体では74.8%が従業員3,000人以上の企業に勤めており、大企業指向がうかがえる。

卒業年次別では、1985年卒業生では「10,000人以上」が62.8%と大きな割合を占めているが、卒業年次を遡るにつれてその割合は小さくなり、1960年卒業生では37.7%となっている。逆に、従業員数「1-299人」の企業に勤めている者の割合は、卒業年次を遡るにつれて、1985年卒業生の4.2%から1960年卒業生の18.8%へと、その割合が大きくなっている。

一方、MIT卒業生については、卒業年次別に大きな違いはみられず、大企業(10,000以上)と小企業(1-299人)の両極に偏っている。

#### ☆組織種類別(表17,18)

東大・東工大卒業生が就職している企業の規模は、製造業と非製造業との間で違いがみられる。製造業では「10,000人以上」が59.8%で大きな割合を占めているが、非製造業では、通信業、公共関連事業、運輸業では60%を超えているものの、非製造業全体では低く42.0%にとどまっている。「1-299人」の割合をみると、逆に、製造業では6.1%であるのに対し、非製造業では21.0%と高い値を示している。

MIT卒業生においても、製造業、非製造業の間に違いがみられる。製造業では「10,000人以上」が49.9%で最も大きな割合を占めているが、非製造業では「10,000人以上」は17.7%と低い値にとどまっている。逆に、従業員数「1-299人」の企業に勤めている者の割合は、製造業では24.1%、非製造業では45.3%となっている。

### 3. 仕事における最終目標

#### ☆卒業年次別(表19,20)

東大・東工大卒業生の「仕事における最終目標」は、卒業年次によって違いがみられる。1960年卒業生のトップ3は「仕事そのものを楽しむ」(56.1%)、「世の中のためになる」(53.0%)、「安定した生活を送る」(43.2%)であるのに対し、1985年卒業生のそれは「仕事そのものを楽しむ」(48.8%)、「世の中のためになる」(36.1%)、「仕事と家庭のバランスのとれた生活を送る」(35.8%)となっている。

「仕事における最終目標」のうち、1960年卒業生と1985年卒業生の間で傾向が大きく異なるものは、次のとおりである。

○増加傾向のみられる目標。

- ・「余暇活動を楽しむ」：5.3%(1960年)→16.4%(1985年)
- ・「良い家庭を築く」：7.6%(1960年)→15.1%(1985年)

○減少傾向のみられる目標。

- ・「世の中のためになる」：53.0%(1960年)→36.1%(1985年)
- ・「安定した生活をおくる」：43.2%(1960年)→28.8%(1985年)
- ・「自分の事業を拡大する」：8.3%(1960年)→3.0%(1985年)

MIT卒業生の「仕事における最終目標」の分布については、卒業年次別には、東大・東工大卒業生ほど大きな変化はみられない。1960年のトップ3は「仕事そのものを楽しむ」(58.6%)、「より高い収入を得る」(37.3%)、「良い家庭を築く」(32.5%)、1985年のそれは「仕事そのものを楽しむ」(59.1%)、「良い家庭を築く」(35.6%)、「仕事と家庭のバランスのとれた生活を送る」(33.0%)となっている。

1960年卒業生と1985年卒業生の間で傾向が大きく異なるものは、次のとおりである。

○増加傾向のみられる目標。

- 「仕事・家庭のバランスのある生活」：21.9%(1960年)→33.0%(1985年)
- 「人格形成を行う」：16.6%(1960年)→25.7%(1985年)

○減少傾向のみられる目標。

- 「自分の事業を拡大する」：24.3%(1960年)→11.9%(1985年)
- 「より高い収入を得る」：37.3%(1960年)→28.4%(1985年)

#### ☆仕事種類別（表21,22）

東大・東工大の卒業生では、「技術関連の仕事」に従事する人の目標トップ3は「仕事そのものを楽しむ」(50.6%)、「世の中のためになる」(42.6%)、「仕事と家庭のバランス」(36.9%)である。これに対して、「技術関連の仕事」以外に従事している者の「仕事の目標」のトップ3は、「世の中のためになる」(49.6%)、「仕事そのものを楽しむ」(49.3%)、「仕事と家庭のバランス」(34.3%)と順番が変わる。

個々の仕事別に見ると、ほとんどの仕事で「仕事そのものを楽しむ」の割合が多いが、研究開発に従事する者はその他「世の中のためになる」が多いのに対し、「製造・生産管理」では、「仕事そのものを楽しむ」の他「安定した生活を送る」、「仕事と家庭のバランス」も大きな割合を占めている。特に「生産管理（現場）」の人は「仕事と家庭のバランス」が第一の理由となっている。

MITの卒業生では、「技術関連の仕事」に従事する人のトップ3は「仕事そのものを楽しむ」(58.2%)、「良い家庭を築く」(37.1%)、「より高い収入を得る」(35.6%)である。「技術関連の仕事」以外に従事する人のトップ3も、「仕事そのものを楽しむ」(55.1%)、「より高い収入を得る」(38.0%)、「良い家庭を築く」(36.9%)と同様である。

個々の仕事別でも、ほとんどの仕事で「仕事そのものを楽しむ」が50%を超え、一番大きな割合を占めている。

#### ☆性別（表23,24）

MIT卒業生の仕事における最終目標には、性別による違いがみられる。男性の「仕事における最終目標」のベスト3は「仕事そのものを楽しむ」55.5%、「良い収入を得る」37.4%、「良い家庭を築く」37.1%であり、女性のベスト3はトップは同じ「仕事そのものを楽しむ」63.2%であるが、次は、「仕事・家庭のバランスのある生活」40.2%、「良い家庭を築く」35.9%となっている。

なお、東大・東工大卒業生については、女性の回答者が5人と極めて少ないため、このような分析はしなかった。

## 4. 現在希望するキャリアパス

#### ☆卒業年次別（表25,26）

東大・東工大卒業生の現在希望するキャリアパスは、「既存企業や組織で出世する」が40.2%と最も大きいですが、卒業年次別により違いがみられる。例えば、1985年と1970年を比較

すると、「既存企業や組織で出世する」の割合は、1985年の38.4%に比べ1970年は45.8%と大きく、また、「独立した技術者・技術エキスパートになる」は、1985年は31.0%と1970年の21.9%より大きい。

MIT卒業生の「現在希望するキャリアパス」は、全体では「既存企業で出世」「会社設立」「独立技術者」の3者がほぼ同じ割合となっているが、やはり卒業年次により違いがみられる。1985年と1970年を比較してみると、「既存企業や組織で出世する」は、1985年の21.7%に比べ1970年は26.3%と大きい。ちなみに、1970年では「既存企業や組織で出世する」が「自分で会社を設立し、発展させる」(20.6%)より大きく最も大きな割合を占めている。また、その「自分で会社を設立し、発展させる」については1985年は29.1%と1970年の20.6%より大きい。

東大・東工大では、古い年次ほど「会社設立」が多く、「独立した技術者」が少なくなる。一方MITでは、逆に年次を遡るにつれ「会社設立」が減少し、「独立した技術者」が多くなる。各卒業年次別の違いはそれぞれの立場でのキャリア選択の可能性を反映しているのではないかと思われる。

#### ☆組織種類別（表27,28）

東大・東工大卒業生の「現在希望するキャリアパス」は所属する組織によって違いがみられる。製造業では、「既存企業や組織において出世する」(46.8%)を選んだ者が最も多く、次に多いのが「独立した技術者・技術エキスパートになる」(30.6%)であった。行政機関に所属する者から最も頻繁に選ばれたのは「既存企業や組織で出世する」(42.9%)である。国公立試験研究機関では「大学教授等になり、教育や研究を行う」(28.6%)をあげた者が「既存企業や組織において出世する」(25.0%)と並んでおり、国公立試験研究機関研究者の大学指向を示唆する結果となっている。

MIT卒業生についても組織種類別に現在希望するキャリアの分布について違いがみられる。多く選ばれたものは、公共関連では「大学教授等になり、教育や研究を行う」(40.9%)、製造業では「既存企業や組織で出世する」(31.3%)、「自分で会社を設立し、発展させる」(27.5%)、非製造業では「自分で会社を設立し、発展させる」(33.0%)、「独立した技術者・技術エキスパートになる」(27.9%)である。

さらに、各組織間でも分布の違いがみられる。例えば、製造業のうち「コンピューター並びにその付属機器」「家電製品」「医薬品」は「自分で会社を設立し、発展させる」が「既存企業や組織で出世する」を上回っているが、「非電気機械」「自動車並びに関連機器」「航空・宇宙関連産業」「化学製品」では「既存企業や組織で出世する」が最も多くなっている。

公共関連では、行政機関で多く選ばれたものは「既存企業や組織で出世する」(37.0%)、国公立試験研究機関では「独立した技術者・エキスパートになる」(28.6%)、「大学教授等になり、教育や研究を行う」(25.0%)となっている。

#### ☆仕事種類別（表29,30）

東大・東工大卒業生の「現在希望するキャリアパス」は、現在就いている仕事の種類により違いがみられる。「既存企業や組織で出世する」が最も多い割合を占めているのは、製造生産・管理(現場)(70.5%)、製造生産・管理(現場以外)(56.9%)、営業・マーケティング(54.8%)、経営に関する調査企画(50.9%)等である。「独立した技術者・技術エキスパート」が最も多い割合を占めているのは、技術コンサルティング(60.9%)、コンピュータプログラム・ソフト(47.5%)、工程・プロセスの開発(40.5%)等である。「大学教授等になり、教育や研究を行う」が最も多い割合を占めているのは、教育(大学)(74.2%)及び基礎研究(37.1%)である。

MIT卒業生の「現在希望するキャリアパス」は、現在就いている仕事の種類により違いがみられる。「既存企業や組織で出世する」が最も大きい割合を占めているのは、やはり、製造生産・管理(現場)(42.3%)、製造生産・管理(現場以外)(41.2%)、営業・マーケティング(38.3%)、製品開発(29.0%)、研究開発の企画管理(29.3%)等である。「独立した技術者・技術エキスパート」が最も大きい割合を占めているのは、技術コンサルティング(32.0%)、コンピュータプログラム・ソフト(30.6%)、経営に関する調査・企画(33.3%)であるが、これらは「自分で会社設立」も大きな割合を占めている。「自分で会社を設立し、発展させる」が最も大きい割合を占めているのは、財務・経理(40.7%)、製品設計(39.0%)、工程・プロセス設計(35.3%)、経営に関する企画・調査(36.1%)である。

#### ☆学位別（表31,32）

東大・東工大卒業生について、学士、修士（博士号未取得）、博士を比較した。学士、及び修士の「現在希望するキャリアパス」のトップ3は両者とも「既存企業や組織で出世する」、「独立した技術者・技術エキスパートになる」、「自分で会社を設立し、発展させる」の順になっており大きな違いはみられない。しかし、博士のそれは「大学教授等になり、教育や研究を行う」、「既存企業や組織で出世する」、「独立した技術者・技術エキスパートになる」となっており、学士、修士とは違う。

MITでも、学士及び修士は、「自分で会社を設立し発展させる」「既存企業や組織で出世する」「独立した技術者・技術エキスパートになる」が大きい割合を示すが、博士では、「大学教授等になり、教育や研究を行う」と「独立した技術者・技術エキスパートになる」の割合が大きくなっている。

#### ☆性別（表33,34）

MIT卒業生において、男性が希望する主なキャリアパスは「自分の会社を設立する」27.7%、「既存企業や組織で出世する」22.1%、「独立した技術者・技術エキスパートになる」21.2%、「大学教授等になり、教育や研究を行う」13.0%となっている。女性のそれは「独立した技術者・技術エキスパートになる」28.3%、「既存企業や組織で出世する」が21.2%、「大学教授等になり、教育や研究を行う」15.0%となっている。

なお、東大・東工大卒業生については、女性回答者が5人と極めて少ないため、このような分析をすることはむずかしいが、中でも「既存企業や組織で出世する」あるいは、

「大学教授等になり、教育や研究を行う」のように組織に帰属することを前提とするキャリアを希望するものが皆無で、「独立した技術者・技術エキスパートになる」や「自分の会社を設立し、発展させる」のように独立志向のキャリアを希望するものが4人と多数を占めていることは、日本の社会では組織が女性からみて魅力に欠ける傾向を持っていることを推測させるものといえよう。

## 5. 学部卒業時に希望したキャリアパス (表35,36)

東大・東工大卒業生が「学部卒業時に希望したキャリアパス」の主なものは、「既存企業や組織で出世する」51.1%、「独立した技術者・技術エキスパートになる」25.8%、「大学教授等になり、教育や研究を行う」8.2%、「自分の会社を設立し、発展させる」5.1%となっている。さらにこれを卒業年次別にみると、「既存企業や組織で出世する」は最近卒業した者ほどその割合が小さくなり(1960年:60.8%、1985年:45.8%)、一方「自分の会社を設立し、発展させる」は、その割合が大きくなっている(1960年:3.5%、1985年:7.1%)。これは、世代間で卒業時点での目指すキャリアパスの傾向が異なっていることを示している。学部卒業時と比較して、現在のキャリアパスは「既存企業や組織で出世する」が減少し、「自分の会社を設立し、発展させる」が増加している。

MIT卒業生の「学部卒業時に希望したキャリアパス」は「既存企業や組織で出世する」が37.2%で最も多く、「現在希望しているキャリアパス」の傾向(「自分で会社を設立し、発展させる」が25.7%でトップ)との違いを示している。これに続いて「自分で会社を設立し、発展させる」が14.4%と「大学教授等になり、教育や研究を行う」13.0%、「独立した技術者・技術エキスパートになる」が11.0%、となっている。卒業年次別では分布にあまり大きな違いはみられない。卒業時と現在のキャリアパスの変化は、東大・東工大と同様である。

## 6. 現在希望する仕事

### ☆卒業年次別 (表37,38)

東大・東工大卒業生については卒業年次別に現在希望する仕事の分布について違いがみられ、年次が最近であるほど「技術関連の仕事」を希望する者の割合が大きくなる(1960年53.1%→1985年72.8%)。また、「研究開発」を現在希望する者の割合は、卒業年次が最近である程増大し(1960年15.6%→1985年46.5%)、他方、「生産の管理運営」は減少する。(1960年12.2%→1985年3.0%)

MIT卒業生が「現在希望する仕事」も、卒業年次により違いがみられ、年次が最近である程「技術関連の仕事」を希望する者の割合が大きくなる(1960年42.7%→1985年52.4%)。現在、「研究開発」を希望する者の占める割合は、卒業年次が最近であるほど増大する傾

向がみられ（1960年16.8%→1985年24.5%）、「生産の管理運営」を希望する者の割合は、卒業年次による一定の傾向はみいだせない。

## 7. 学部卒業時に希望した仕事

### ☆卒業年次別（表39,40）

学部卒業時に「技術関連の仕事」を希望した者の割合については、東大・東工大卒業生では83.0%、MIT卒業生では75.3%となっている。「研究開発の仕事」を希望した者の占める割合は、東大・東工大卒業生48.6%、MIT卒業生43.8%となり大きな違いはみられない。「生産の管理運営」は東大・東工大卒業生では10.9%、MIT卒業生では3.7%となっており、東大・東工大卒業生の方が希望する傾向が強い。

東大・東工大卒業生のうち学部卒業時に「技術関連の仕事」を希望した者の割合は卒業年次が違ってても大きな違いはみられないが、それでも卒業年次が最近になるほど「技術関連の仕事」を希望した者の割合がやや小さくなる傾向がみられる（1960年87.9%→1985年81.4%）。「研究開発の仕事」を希望した者の割合は、卒業年次が最近になる程大きくなる傾向がみられる（1960年42.8%→1985年55.7%）が、「生産の管理運営」を希望した者の割合は減少している（1960年18.6%→1985年4.1%）。

MIT卒業生では、学部卒業時に「技術関連の仕事」「研究開発」「生産の管理運営」を希望した者の割合と卒業年次との間に一定の関係があるようにはみえない。

## 8. 「現在希望する仕事」を選んだ理由

「現在希望する仕事」の選択理由の分布では東大・東工大卒業生及びMIT卒業生の間には大きな違いが現れている。東大・東工大卒業生のトップ3は「仕事の内容がおもしろいから」（58.6%）、「仕事の内容が創造的だから」（53.7%）、「自分の仕事の結果が良くみえる仕事だから」（30.9%）となっている。一方、MIT卒業生のトップ3は、「仕事の内容がおもしろいから」（74.6%）、「仕事の内容が創造的だから」（36.0%）、「給料が良いから」（31.0%）となっており東大・東工大卒業生と異なった割合を示している。

東大・東工大卒業生の中で、「現在希望する仕事」を選んだ理由として「給料が良いから」と回答した者の割合がMIT卒業生よりも小さいのは、一般的に終身雇用制の中では仕事の種類だけをかえても、組織をかえない限り給料はほとんど変わらないという日本の状況を反映したためと考えられる。

### ☆卒業年次別（表41,42）

東大・東工大卒業生が回答した「現在希望する仕事」を選んだ理由のトップ3は、すべての年次において1番目及び2番目は、それぞれ「仕事の内容がおもしろいから」、「仕事の内容が創造的だから」であるが、3番目にあげられる理由は1960年のみ「社会に貢献

できるから」となっており、1970年以降の卒業年次では「自分の仕事の結果が良くみえる仕事だから」となっている。

1985年卒業生と1960年卒業生との間で傾向に大きな違いのみられる選択理由の主なものは、次のとおりである。

○増加傾向のみられる選択理由

- ・「将来の良い経験になるから」：11.4%(1960年)→21.8%(1985年)
- ・「学校で学んだことが生かせる」：7.2%(1960年)→16.4%(1985年)

○減少傾向のみられる選択理由

- ・「社会に貢献できるから」：36.1%(1960年)→20.5%(1985年)
- ・「より独立した仕事ができるから」：26.2%(1960年)→14.1%(1985年)

M I T卒業生が回答した「現在希望する仕事」で選んだ理由のトップ3は、全ての卒業年次において変わらず、その構成にも卒業年次に依存した顕著な傾向は見いだせない。

☆性別（表43,44）

M I T卒業生について、「現在希望する仕事」を選んだ理由と性別との関係を調べてみた。男性が回答した主な理由は、「仕事の内容がおもしろいから」（74.7%）、「仕事の内容が創造的だから」（37.9%）、「給料が良いから」（33.2%）である。女性のそれは、「仕事の内容がおもしろいから」（73.7%）、「多くの人と関われる」（29.8%）、「社会に貢献できるから」（25.4%）であり、男性とは異なる傾向がみられる。

なお、東大・東工大卒業生については、回答数が少ないため分析は行わなかった。

## 9. 現在の仕事の対する希望度

☆卒業年次別（表45,46）

M I T卒業生の回答では、「大変希望していた」が60.2%と過半数を占め、「希望していた」33.6%となっており、「他に選択肢がなかった」が3.2%と非常に少ない。これに対し、東大・東工大卒業生の回答は、「希望していた」は58.0%と過半数を上回るものの、「大変希望していた」は17.1%と少なく、「他に選択肢がなかった」は17.1%とM I T卒業生に比べ非常に大きい値になっている。このことは、東大・東工大卒業生よりM I T卒業生の方が仕事を決める際に個人の希望が尊重されていることを示していると考えられる。

東大・東工大卒業生、M I T卒業生ともに卒業年次別に大きな違いはみられない。

☆学科別（表47,48）

工学部卒業時の学科別に傾向をみたが、東大・東工大卒業生、M I T卒業生ともに、学科系間で大きな違いはみられなかった。

☆組織種類別（表49,50）

組織種類別に傾向をみたが、東大・東工大卒業生、M I T卒業生ともに公共部門、製造

業部門、非製造業部門の間で大きな違いはみられない。

#### ☆仕事種類別（表51,52）

仕事種類別では、東大・東工大卒業生、MIT卒業生ともに「技術関連の仕事」に従事する者とそれ以外の仕事に従事する者との間に大きな違いはみられない。

#### ☆学位別（表53,54）

東大・東工大卒業生では、学歴が高いほど「大変希望していた」が増え、「他に選択肢がなかった」が減る傾向がみられる。MIT卒業生については、学士号のみ、修士号のみに大きな違いはみられないが、博士号取得者は希望していた者（大変希望、希望）の割合がやや高い。

#### ☆職業における目標別（表55,56）

別々の「職業における目標」を持った人の中で傾向の違いをみたが、東大・東工大卒業生、MIT卒業生ともに大きな違いはみられなかった。

#### ☆望んでいるキャリアパス別（表57,58）

別々の「望んでいるキャリアパス」を持った人の中で傾向の違いをみたが、東大・東工大卒業生、MIT卒業生ともに大きな違いはみられなかった。

#### ☆性別（表59,60）

MIT卒業生について、男性と女性の傾向の違いをみたが、大きな違いはみられなかった。なお、東大・東工大卒業生については、回答者が少ないため分析しなかった。

### 10. 組織を選択した理由

現在就職している組織を選択した理由は、東大・東工大卒業生では「仕事の内容がおもしろいから」（41.4%）、「学校で学んだことが生かせるから」（30.6%）、「組織に安定性、あるいは将来性があるから」（28.2%）がトップ3である。他方、MIT卒業生のトップ3は「仕事の内容がおもしろいから」（56.6%）、「職場の立地が良いから」（27.9%）、「将来、自分のやりたいことをやるために良い経験になるから」（23.2%）と異なっている。

「組織に安定性、あるいは将来性があるから」を選んだ者が東大・東工大卒業生では28.2%いるのに対し、MIT卒業生では5.8%しかいないのは、日本における終身雇用慣行が反映されたものと推定できる。また、「将来、自分のやりたいことをやるために良い経験になるから」を選んだ者がMIT卒業生では23.2%いるのに対し、東大・東工大卒業生では8.2%しかいないのは、逆に米国における流動性の高さを反映したものと思われる。

#### ☆卒業年次別（表61,62）

東大・東工大卒業生が回答した現在就職している組織を選択した理由は、卒業年次によ

って違いがみられる。例えば、1985年と1960年を比較してみると次のとおりである。

○増加傾向のみられる選択理由の主なもの

- 「将来、自分のやりたいことをやるために良い経験になるから」：  
5.7%(1960年)→12.7%(1985年)
- 「労働条件が良いから」：0.8%(1960年)→13.3%(1985年)
- 「より多くの人とかかわれるから」：3.8%(1960年)→10.0%(1985年)

○減少傾向のみられる選択理由の主なもの

- 「社会に貢献できるから」：23.9%(1960年)→17.3%(1985年)
- 「より独立した仕事ができるから」：10.6%(1960年)→4.3%(1985年)
- 「大学の指導教授に勧められたので」：19.3%(1960年)→7.7%(1985年)

MIT卒業生では、卒業年次別に一部違いがみられる。例えば、1985年と1960年を比較してみると「将来、自分のやりたいことをやるために良い経験になるから」13.7%(1960年)→28.7%(1985年)となっている。

☆組織種類別（表63,64）

東大・東工大卒業生の選択理由のトップ3を主な組織種類について列記すると、次のようになる。

- 大学（教育、教育及び研究）：
  - (1)「仕事の内容が創造的だから」(51.2%)
  - (2)「仕事の内容がおもしろいから」(41.9%)
  - (3)「より独立した仕事ができるから」(37.2%)
- コンピューター並びにその付属機器：
  - (1)「仕事の内容がおもしろいから」(53.3%)
  - (2)「組織がその技術分野で先端を走っているから」(38.3%)
  - (3)「組織に安定性、あるいは将来性があるから」(33.6%)
- 金属素材生産・金属製品製造：
  - (1)「学校で学んだことが生かせるから」(46.4%)
  - (2)「組織に安定性、あるいは将来性があるから」(40.2%)
  - (3)「仕事の内容がおもしろいから」(29.9%)
- 化学製品：
  - (1)「学校で学んだことが生かせるから」(47.8%)
  - (2)「組織に安定性、あるいは将来性があるから」(46.0%)
  - (3)「仕事の内容がおもしろいから」(36.3%)

MIT卒業生が現在就職している組織を選択した理由も、組織種類ごとに違いがみられる。主な組織種類ごとに理由のトップ3を列記してみると次のようになる。

- 国公立試験研究機関：
  - (1)「仕事の内容がおもしろいから」(57.9%)
  - (2)「職場の立地が良いから」(31.6%)

- (3)「仕事の内容が創造的だから」(21.1%)
- 大学（教育、教育及び研究）：
  - (1)「仕事の内容がおもしろいから」(64.2%)
  - (2)「仕事の内容が創造的だから」(26.4%)
  - (3)「組織がその技術分野の最先端だから」(26.4%)
- コンピューター並びにその付属機器：
  - (1)「仕事の内容がおもしろいから」(48.5%)
  - (2)「将来、自分のやりたいことをやるために良い経験になるから」(25.3%)
  - (3)「職場の立地が良いから」(22.2%)
- 航空・宇宙関連産業：
  - (1)「仕事の内容がおもしろいから」(61.7%)
  - (2)「職場の立地が良いから」(45.0%)
  - (3)「組織がその技術分野の最先端だから」(21.7%)
- コンピューターサービス・ソフト及び情報：
  - (1)「仕事の内容がおもしろいから」(62.9%)
  - (2)「職場の立地が良いから」(33.9%)
  - (3)「組織がその技術分野の最先端だから」(27.4%)

## 11. 学位レベルが経営に責任のある地位への昇進に及ぼす影響

現在所属している組織において、学位レベルが経営に責任のある地位への昇進に影響を及ぼすかどうか尋ねた。ここでは、工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士の6種類の学位をとり上げたが、比較対象が曖昧なためそれぞれの学位の影響について正確な評価はできない。

### ☆卒業年次別（表65～76）

東大・東工大卒業生はMIT卒業生と比較した場合、学位に関わらず「影響なし」が56%から68%を占め、基本的に学位レベルによる影響は少ないといえる。

MIT卒業生においては学位レベルによって地位への影響の分布が違っている。地位への影響をリストアップ（「大変有利」+「有利」）すると、

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| • 工学士 (78.7%)      | (大変有利の割合：52.0%) |
| • 工学修士 (68.9%)     | (大変有利の割合：29.8%) |
| • 工学士+MBA (73.2%)  | (大変有利の割合：36.0%) |
| • 工学博士 (50.1%)     | (大変有利の割合：22.0%) |
| • 文系学士+MBA (41.7%) | (大変有利の割合：6.5%)  |
| • 法学士 (22.4%)      | (大変有利の割合：6.7%)  |

となっている。

同じMBAでも工学士か文系学士との組み合わせかによって地位への影響が違い、工学士とMBAの組み合わせの方が高く評価されていることがわかる。

東大・東工大卒業生においては、工学士において卒業年次別の違いがみられ、卒業年次が最近になるほど「影響なし」の割合が増え、また大変有利の割合が減少している。法学士においても、工学士ほどではないが同様の傾向がみられる。

M I T卒業生においては、年次が違ってても傾向に大きな違いはみられない。

#### ☆組織種類別（表77～88）

東大・東工大卒業生においては組織の種類によって各学位の地位への影響の分布が違う。公共関連、製造業、非製造業のそれぞれの「大変有利」+「有利」分布をみてみる。

- 工学士  
公共関連(24.3%)、 製造業(26.3%)、 非製造業(31.6%)
- 工学修士  
公共関連(23.8%)、 製造業(28.0%)、 非製造業(25.7%)
- 工学博士  
公共関連(48.6%)、 製造業(31.9%)、 非製造業(28.3%)
- 工学士+M B A  
公共関連(15.1%)、 製造業(36.2%)、 非製造業(39.0%)
- 文系学士+M B A  
公共関連(17.8%)、 製造業(34.1%)、 非製造業(36.6%)
- 法学士  
公共関連(25.3%)、 製造業(25.5%)、 非製造業(27.0%)

M I T卒業生においても、組織の種類によって各学位の地位への影響の分布が違う。公共関連、製造業、非製造業のそれぞれの「大変有利」+「有利」分布をみてみる。

- 工学士  
公共関連(75.5%)、 製造業(83.1%)、 非製造業(72.7%)
- 工学修士  
公共関連(77.6%)、 製造業(71.9%)、 非製造業(61.9%)
- 工学博士  
公共関連(74.1%)、 製造業(46.4%)、 非製造業(41.1%)
- 工学士+M B A  
公共関連(53.4%)、 製造業(82.0%)、 非製造業(70.7%)
- 文系学士+M B A  
公共関連(27.2%)、 製造業(44.9%)、 非製造業(46.7%)
- 法学士  
公共関連(16.1%)、 製造業(16.8%)、 非製造業(31.6%)

## 12. 学位レベルの給料への影響

現在所属している組織において、学位レベルが給料に影響を及ぼすかどうか尋ねた。ここでは、工学士、工学修士、工学博士、工学士+MBA、文系学士+MBA、法学士の6種類の学位をとり上げたが、比較対象が曖昧なため正確な判断は下せない。

#### ☆卒業年次別（表89～100）

東大・東工大卒業生の回答では、学位に関わらず「影響なし」が58%から76%を占め、基本的に学位レベルによる影響はMIT卒業生の回答と比較して少ない。

MIT卒業生の回答では、学位レベルによって給料への影響が違っている。影響の程度（「大変有利」+「有利」）をあげると、

• 工学士 (73.2%)	(大変有利の割合：39.9%)
• 工学修士 (71.3%)	(大変有利の割合：27.8%)
• 工学士+MBA (67.1%)	(大変有利の割合：29.7%)
• 工学博士 (66.6%)	(大変有利の割合：30.3%)
• 文系学士+MBA (44.3%)	(大変有利の割合：5.6%)
• 法学士 (32.4%)	(大変有利の割合：11.8%)

となっている。

同じMBAでも工学士か文系学士との組み合わせかによって給与への影響が違い、工学士とMBAの方が高く評価されていることがわかる。総じて、文系の方が良い影響を及ぼさない。

東大・東工大卒業生の回答では、工学士において卒業年次別の違いがみられ、卒業年次が最近になるほど「影響なし」の割合が増え、また有利（「大変有利」+「有利」）の割合が減少している。法学士においても、工学士ほどではないが、同様の傾向がみられる。MIT卒業生の回答では、卒業年次が違っていても特に大きな違いはみられない。

#### ☆組織種類別（表101～112）

東大・東工大卒業生においては、MIT卒業生ほど大きな違いはないが組織の種類によって各学位の地位への影響（「大変有利」+「有利」）の分布に多少差がある。ただし、総じて学位レベルによる給与への影響はMIT卒業生と比較してかなり少ない。

- 工学士  
公共関連(18.1%)、 製造業(24.1%)、 非製造業(24.4%)
- 工学修士  
公共関連(17.0%)、 製造業(35.6%)、 非製造業(26.2%)
- 工学博士  
公共関連(36.7%)、 製造業(42.0%)、 非製造業(26.6%)
- 工学士+MBA  
公共関連(9.4%)、 製造業(29.2%)、 非製造業(24.7%)
- 文系学士+MBA  
公共関連(8.3%)、 製造業(26.3%)、 非製造業(21.9%)
- 法学士

公共関連(9.4%)、 製造業(20.9%)、 非製造業(20.7%)

M I T卒業生においては、組織の種類によって各学位の地位への影響の分布が違う。公共関連、製造業、非製造業のそれぞれの「大変有利」+「有利」分布をみてる。

- 工学士  
公共関連(63.1%)、 製造業(82.9%)、 非製造業(65.6%)
- 工学修士  
公共関連(69.1%)、 製造業(80.1%)、 非製造業(61.3%)
- 工学博士  
公共関連(76.0%)、 製造業(74.3%)、 非製造業(50.9%)
- 工学士+M B A  
公共関連(46.5%)、 製造業(76.6%)、 非製造業(64.7%)
- 文系学士+M B A  
公共関連(24.8%)、 製造業(49.5%)、 非製造業(47.6%)
- 法学士  
公共関連(20.0%)、 製造業(33.2%)、 非製造業(37.5%)

### 13. 理科系、文科系のステイタス比較

#### ☆卒業年次別(表113,114)

全体を比較すると、東大・東工大卒業生は「理工系出身の方が地位が高い」が26.8%、「理工系出身の方が地位が低い」は21.2%、「同じ」が41.9%、「わからない」が7.2%となっている。これに比べて、M I T卒業生は「理工系出身の方が地位が高い」が75.2%、「理工系出身の方が地位が低い」は2.5%、「同じ」が14.1%、「わからない」が6.0%となっており、M I T卒業生の方が圧倒的に理工系出身の方が地位が高いと考えていることがわかる。東大・東工大卒業生の方は「同じ」が一番多く、出身分野別に特に優劣意識がない日本人の意識を示していると考えられる。

卒業年次別に傾向をみたが、東大・東工大卒業生、M I T卒業生とも大きな違いはみられない。

#### ☆組織種類別(表115,116)

東大・東工大卒業生の回答では、組織種類別に理工系出身者のステイタスに対する認識に違いがある。「理工系出身の方が地位が高い」が50%を超えているところは、コンピュータ並びにその付属機器、航空・宇宙関連産業、その他輸送用機器、建設業であり、「理工系出身の方が地位が低い」が50%を超えているところは行政機関、金属素材生産・金属製品製造、食品工業、鉱業、公共関連事業、運輸業である。

M I T卒業生については大きな違いは見られなかった。

#### ☆組織規模別(表117,118)

東大・東工大卒業生では、組織規模によって理科系のステイタスに対する認識の違いがでてくる可能性がある。全体の平均では「理工系出身の方が地位が高い」の割合が「理工系出身の方が地位が低い」より多いが、1000-2999人と3000-9999人の規模の組織においては「理工系出身の方が地位が低い」の割合の方が大きくなっている。

M I T卒業生についても、組織規模によって理科系のステイタスに対する認識の違いがでてくる可能性がある。傾向としては10000人以上の規模の大きい組織において「理工系出身の方が地位が高い」という率が高く、84.4%である。規模が小さくなるとその割合は小さい。特に、300-999人の規模の組織では66.7%の人しか「理工系出身の方が地位が高い」としていない。

#### 1.4. 現場・研究開発のステイタス比較

##### ☆卒業年次別（表119, 120）

全体をみると、東大・東工大卒業生は現場技術者と研究開発従事者との間に大きな違いがないとしているが、M I T卒業生では生産現場技術者の地位が低いと認識されている。

卒業年次別では、東大・東工大卒業生は、1960年は「現場の技術者の地位が高い」が22.3%と、「現場技術者の方が地位が低い」(18.5%)を上回っているが、1970年卒以降逆転し近年になるほど「現場技術者の方が地位が低い」の割合が大きくなっている。1985年では「現場技術者の方が地位が高い」が12.4%、「現場技術者の方が地位が低い」が31.5%となり、若い年代ほど現場技術者の方が地位が低いという認識が増えている。

M I T卒業生においても「現場技術者の地位が高い」と認識している人の割合になだらかな減少傾向がみられ、14.8%(1960年)から5.0%(1985年)となっている。

##### ☆組織種類別（表121, 122）

東大・東工大卒業生についてみると組織の種類によって少し違いがあると考えられる。公共関連は製造現場が少ないためか、「わからない」が平均26.5%と非常に多い。製造業小計、非製造業小計においてはほとんど違いがみられないが、個々の組織種類では違いがみられる。「現場技術者の方が地位が高い」とする人の割合が「現場技術者の方が地位が低い」より高い産業は金属素材生産・金属製品製造、建設業、公共関連事業(電力、ガス等)である。また、家電製品製造業は「現場技術者の方が地位が低い」が45.8%となっており、研究開発に従事する技術者の地位の高いことが多くの人に認識されている。

M I T卒業生においても組織の種類によって少し違いがあると考えられる。東大・東工大卒業生と同様に、公共関連は製造現場がないためか「わからない」が平均24.4%と非常に多い。また、製造業小計、非製造業小計においてはほとんど違いがみられないが、特定の産業では違いがみられ、例えば化学製品は「現場技術者の方が地位が高い」とする人の割合が25.0%と比較的高い割合を示している（現場関連の従事者の割合も20.4%と多い）。

#### ☆仕事種類別（表123,124）

東大・東工大卒業生で「現場技術者の方が地位が高い」が「現場技術者の方が地位が低い」を上回っている仕事の種類は基礎研究、設計(工程・プロセス)、製造・生産の管理・運営：生産現場、会社経営である。

M I T卒業生では「現場技術者の方が地位が高い」が「現場技術者の方が地位が低い」を上回っている仕事はない。製造の管理・運営(現場)が「現場技術者の方が地位が高い」とする割合が25.9%ともっとも高い数値を示しているが、この場合でも「現場技術者の方が地位が低い」が51.9%と過半数を占めている。

#### ☆組織規模別（表125,126）

東大・東工大卒業生では特定の組織の規模において現場技術者の相対的地位に対する認識が違ふ。300-999人規模の組織においてのみ「現場技術者の方が地位が高い」とする人の割合が26.4%と「現場技術者の方が地位が低い」(17.0%)より高くなっている。その他の組織規模間では大きな違いはみられない。

M I T卒業生でも組織規模により多少認識が違ふ傾向がみられる。1-299人の組織では「現場技術者の方が地位が低い」とする割合が50%をきっているが、組織規模が大きくなると、この割合が大きくなり、10,000人以上の組織では63.6%の人が「現場技術者の方が地位が低い」としている。

#### 15. 地位（表127,128）

東大・東工大卒業生とM I T卒業生のアンケートの選択肢が違ひ、M I T卒業生の方が選択肢が一つ多く(チームリーダー)、客観的に比較するため、ここでは部下のいない地位、組織の事業経営に責任を有する地位(シニアマネージャー)、会社のオーナーに注目する。

全体を比較すると、東大・東工大卒業生は「部下のいない地位」が40.3%、「組織の事業経営に責任を有する地位(シニアマネージャー)」は9.1%、「会社のオーナー」が1.8%となっている。

これに比べて、M I T卒業生は「部下のいない地位」が31.4%、「組織の事業経営に責任を有する地位(シニアマネージャー)」は10.9%、「会社のオーナー」が12.9%となっており、特に会社のオーナーの比率が東大・東工大卒業生のそれよりも6倍と大きい。

卒業年次別に傾向をみると、東大・東工大卒業生とM I T卒業生とでは次の点で違ひがみられる。

- ・「部下のいない地位」の割合が、1985年卒業において東大・東工大卒業生は93.0%、一方M I T卒業生のそれは49.1%と少ない。しかし、この現象は、1970年卒と1960年卒では逆転し、例えば1970年卒の東大・東工大卒業生は8.8%、M I T卒業生は16.7%となってい

る。

・「組織の事業経営に責任を有する地位(シニアマネジャー)」に割合は、1985年、1980年、1970年について、東大・東工大卒業生は0.7%、1.4%、4.1%となり、MIT卒業生の1.0%、5.1%、21.0%と比較すると非常に小さい。しかし、これも1960年次には逆転し、東大・東工大卒業生は32.8%、MIT卒業生27.2%と東大・東工大卒業生の方が大きくなる。

・「会社のオーナー」については、基本的にMIT卒業生の方が卒業年次に関わらず東大・東工大卒業生をその割合で圧倒している。具体的には東大・東工大卒業生は1985年0%、その後少しずつ増えるが、1960年でも3.1%に留まっており、卒業後30年経ても会社のオーナーになることは少数派であるのに対し、MIT卒業生は1985年卒ですでに5.8%、1960年卒に至っては27.2%となり、「組織の事業経営に責任を有する地位(シニアマネジャー)」と並び、最多数派となっており、東大・東工大卒業生とMIT卒業生の差は歴然としている。

以上の違いは日本の終身雇用制、年功序列制と米国の能力主義、独立志向という社会体質を反映していると考えられる。

#### 16. 部下の数(表129,130)

部下を持っている人全体について比較すると、東大・東工大卒業生はその部下の数が「1-9人」の人は53.1%、「10-99人」が34.7%、「100-999人」が11.1%、「1,000人以上」は1.1%、となっている。これに比べて、MIT卒業生は「1-9人」が61.9%、「10-99人」が31.0%、「100-999人」が6.1%、「1,000人以上」は1.0%、となっている。

卒業年次別に傾向をみしてみる。

1985年卒業生をみると部下を持っている東大・東工大卒業生はその部下の数が「1-9人」の人は90.5%、「10-99人」が9.5%、「100-999人」と「1,000人以上」は0%となっている。MIT卒業生のその数は「1-9人」の人は82.7%、「10-99人」が17.3%、「100-999人」と「1,000人以上」は0%となっている。1985年卒業生の部下を持っている人の間では、MIT卒業生の方が東大・東工大卒業生よりも多くの割合の人が「10-99人」の部下を持っている。

1980年、1970年も同様にMIT卒業生の方が東大・東工大卒業生より部下の数「10-99人」、「100-999人」、「1,000人以上」において多く、「1-9人」においてMIT卒業生の方が少ない。MIT卒業生の方が卒業後早い段階で多くの部下を持っていると考えられる。

1960年卒業生をみると、部下を持っている東大・東工大卒業生はその部下の数が「1-9人」の人は32.4%、「10-99人」が40.1%、「100-999人」が24.3%、「1,000人以上」が3.2%となっている。MIT卒業生のその数は「1-9人」の人は44.9%、「10-99人」が39.1%、「100-999人」が12.3%、「1,000人以上」が3.6%となっている。東大・東工大卒業生の部下の数「1-9人」の人の割合はMIT卒業生より少なく、また、部下の数が「100-999人」の人の

割合はMIT卒業生の約2倍である。

## 17. 学位レベル別分布

ここでは基本的には学位を、学士のみ(修士号、博士号を持っていない人)、修士のみ(修士号を取得し博士号を持っていない人)、博士の三つに分類している。

全体を比較すると、東大・東工大卒業生は「学士のみ」が52.5%、「修士のみ」32.7%、「博士」14.8%となっており、「学士のみ」が過半数を占めている。MIT卒業生は「学士のみ」が28.4%、「修士のみ」46.1%、「博士」25.5%となっており、「修士のみ」が一番大きな割合を占めている。この全体の比較ではMIT卒業生の方が東大・東工大卒業生より高学歴だと考えられる。

### ☆卒業年次別 (表131,132)

卒業年次別に傾向をみると、東大・東工大卒業生は違いがみられる。1985年卒業生は「学士のみ」37.3%、「修士のみ」は55.9%と過半数を占めている。卒業年が古くなるにつれ、「学士のみ」が増え、「修士のみ」が減少している。1960年卒業生は「学士のみ」が75.3%と多い。また、「修士のみ」は4.9%と非常に少ない。これらのデータは高学歴化が進んでいることを反映していると考えられる。博士の割合は1985年卒業生は6.9%と1960年卒業生19.8%と比較すると少ないが、これは博士号を取るためには学部卒業後かなり年数を経なければ取れないことを反映していると考えられ、高学歴化を否定するものとは考えられない。

MIT卒業生も卒業年次別に違いがみられるが、その傾向は東大・東工大卒業生とは異なる。1985年卒業生は「学士のみ」41.3%、「修士のみ」は43.3%、「博士」15.4%である。卒業年が古くなるにつれ、東大・東工大卒業生とは逆に「学士のみ」が減少し、また、「修士のみ」の割合は卒業年次に関わらず一定である。さらに博士は増加している。この結果1960年卒業生は「学士のみ」が15.9%と少ない。また、「修士のみ」は46.5%と大きい。これは先ほどの東大・東工大卒業生の1960年の75.3%、4.9%と比較すればその違いが大きいことがわかる。博士号については卒業年次とその割合の増加の関係は同じで卒業年次が古くなるとその割合が大きくなる傾向がある。ただし、各卒業年次の「博士」の割合はMIT卒業生は東大・東工大卒業生の約2倍程度である。

### ☆性別 (表133~138)

前述のように、学位レベルは卒業年次によって異なるので、年次ごとにみる必要がある。女性データが十分あるMITの1980年卒業生をとりあげると、男性は「学士のみ」31.5%、「修士のみ」46.6%、「博士」22.0%、女性はそれぞれ22.7%、59.1%、18.2%となっており、女性の学位レベルの方が高い可能性もあるが、総じて言えば、MIT卒業生において男性と女性に大きな違いはないと言えよう。

なお、東大・東工大卒業生については、回答数少数のため分析しなかった。

## 18. 満足度

### ☆卒業年次別（表139,140）

全体を比較すると、東大・東工大卒業生における満足度の割合は「大変満足」が12.2%、「満足」56.6%、「どちらでもない」17.5%、「満足していない」10.3%、「大変不満」2.4%となっている。MIT卒業生は「大変満足」が43.1%、「満足」44.5%、「どちらでもない」5.9%、「満足していない」3.3%、「大変不満」2.2%となっている。これは明らかに東大・東工大卒業生とMIT卒業生に満足度の分布に違いがあると考えられる。その違いの主なポイントは次のとおりである。

- MIT卒業生の方が「大変満足」の割合が43.1%で東大・東工大卒業生の12.2%に比べ非常に高い。ただし、大変不満の割合に大差はない。
- 「大変満足」と「満足」を足した割合は東大・東工大卒業生は68.8%、MIT卒業生は87.6%、また、「満足していない」と「大変不満」を足した値は東大・東工大卒業生12.7%、MIT卒業生は5.5%となっており、MIT卒業生の方が東大・東工大卒業生より満足とする人が多く、また不満とする人が少ないことがわかる。

卒業年次別に傾向をみると、東大・東工大卒業生では卒業年次別に違いがある。「大変満足」と「満足」を足した値は東大・東工大卒業生は卒業年が古くなるにつれ1985年56.3%、1980年67.7%、1970年79.0%と増加していくが、1960年に72.9%と減少する。「満足していない」と「大変不満」を合計した値は1985年20.0%、1980年13.3%、1970年6.5%と減少していくが、1960年に10.3%と増加する。

「大変満足」に焦点を当ててみると、東大・東工大卒業生は1985年9.3%、1980年10.0%、1970年10.8%と大した違いはみられない。しかし、1960年は19.5%となって他の年次の倍近い数値を示している。

一方、MIT卒業生についてみると、卒業年別の満足度分布に大きな違いはみられない。

### ☆性別（表141,142）

性別の満足度分布をみると、MIT卒業生において男性と女性の区別による大きな違いはみられない。男性の満足度の分布は「大変満足」が43.1%、「満足」44.8%、「どちらでもない」5.9%、「満足していない」3.3%、「大変不満」2.0%となっている。女性はそれぞれ42.1%、43.0%、6.1%、3.5%、3.5%となっている。

なお、東大・東工大卒業生については、少数のため分析は行わなかった。

表1 現在組織種類別分布（東大，東工大）

組織 年次	合計	行政機関	国公立 研究機関	大学	公益法人	公共関連 小計	コンピュータ 付属機器	家電製品	その他 電気機械	非電気 機械	自動車並 関連機器	航空宇宙 関連産業	その他 輸送機器
全体	1137 100.0	65 5.7	30 2.6	88 7.6	13 1.1	194 17.1	108 9.5	24 2.1	88 7.7	72 6.3	51 4.5	5 0.4	20 1.8
1960	260 100.0	4 1.5	3 1.2	28 10.8	4 1.5	39 15.0	11 4.2	1 0.4	21 8.1	19 7.3	10 3.8	0 0.0	7 2.7
1970	297 100.0	20 6.7	8 2.7	25 8.4	5 1.7	58 19.5	20 6.7	6 2.0	20 6.7	23 7.7	6 2.0	2 0.7	8 2.7
1980	279 100.0	24 8.6	11 3.9	20 7.2	2 0.7	57 20.4	32 11.5	8 2.9	20 7.2	19 6.8	18 5.7	2 0.7	3 1.1
1985	298 100.0	17 5.7	7 2.3	12 4.0	2 0.7	38 12.8	45 15.1	9 3.0	27 9.1	11 3.7	19 6.4	1 0.3	2 0.7
不明	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

組織 年次	金属素材 金属製品	非鉄金属	食品工業	化学製品	医療品	防衛関連 産業	その他 製造業	製造業 小計	鉱業	建設業	通信業	公共関連 事業	運輸業
全体	97 8.5	30 2.8	7 0.8	113 9.9	2 0.2	0 0.0	36 3.2	653 57.4	8 0.7	79 6.9	26 2.3	49 4.3	18 1.4
1960	33 12.7	6 2.3	2 0.8	35 13.5	0 0.0	0 0.0	17 6.5	182 62.3	2 0.8	19 7.3	3 1.2	8 3.1	0 0.0
1970	25 8.4	11 3.7	2 0.7	24 8.1	1 0.3	0 0.0	8 2.0	154 51.9	3 1.0	31 10.4	8 2.7	13 4.4	5 1.7
1980	20 7.2	4 1.4	0 0.0	19 8.8	1 0.4	0 0.0	4 1.4	148 53.0	2 0.7	14 5.0	6 2.2	15 5.4	7 2.5
1985	19 6.4	9 3.0	3 1.0	34 11.4	0 0.0	0 0.0	9 3.0	188 63.1	1 0.3	15 5.0	9 3.0	13 4.4	4 1.3
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

組織 年次	金融保険 (証券含)	不動産業	コンピ ユータ ソフト	技術 コンサル タント	経営 コンサル タント	医療	法律	その他	非製造業 小計
全体	12 1.1	8 0.7	18 1.4	20 1.8	4 0.4	2 0.2	1 0.1	49 4.3	290 25.5
1960	0 0.0	3 1.2	3 1.2	12 4.6	0 0.0	0 0.0	1 0.4	8 3.1	59 22.7
1970	2 0.7	1 0.3	6 2.0	5 1.7	0 0.0	2 0.7	0 0.0	9 3.0	85 28.8
1980	5 1.8	2 0.7	3 1.1	2 0.7	2 0.7	0 0.0	0 0.0	16 5.7	74 28.5
1985	5 1.7	2 0.7	4 1.3	1 0.3	2 0.7	0 0.0	0 0.0	18 5.4	72 24.2
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(注1)現在とは1991年2月の時点のことである

(注2)調査票では、組織の組織種類と所属部署の組織種類の2つを質問しているが、ここでは組織の組織種類についてまとめた

表2 現在組織種別分布 (MIT)

組織年次	合計	行政機関	国立研究機関	大学 (教育研究)	大学 (研究)	公益法人	軍事・防衛	公共小計	コンピュータ関連機器	家電製品	その他電気機械	非電気機械	自動車関連機器
全体	824 100.0	27 3.3	55 6.7	55 6.7	8 0.7	11 1.3	17 2.1	172 20.8	105 12.7	8 1.0	34 4.2	7 0.9	8 1.0
1960	160 100.0	4 2.5	14 8.8	19 11.8	0 0.0	0 0.0	1 0.8	38 23.4	17 10.3	1 0.8	5 3.1	1 0.8	2 1.3
1970	160 100.0	6 3.8	8 4.8	12 7.7	2 1.3	2 1.4	0 0.0	30 18.9	19 11.6	1 0.8	3 1.9	4 2.2	2 1.3
1980	250 100.0	8 3.2	16 6.3	16 6.4	2 0.8	4 1.7	4 1.8	50 20.0	30 12.2	3 1.2	16 6.3	1 0.3	1 0.3
1985	253 100.0	9 3.7	18 6.9	9 3.4	2 0.8	5 1.8	12 4.7	54 21.2	40 15.6	3 1.2	10 3.8	2 0.8	4 1.4

組織年次	航空宇宙関連産業	その他輸送機器	金属材料金属製品	非鉄金属	食品工業	化学製品	医療品	その他製造業小計	製造業小計	建設業	通信業	公共関連事業	運輸業
全体	61 7.4	1 0.1	3 0.4	3 0.4	4 0.5	48 5.8	14 1.7	51 6.1	348 42.0	10 1.2	15 1.8	10 1.2	9 1.1
1960	17 10.6	0 0.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	10 5.9	4 2.2	13 8.1	71 44.1	1 0.6	4 2.7	0 0.0	1 0.6
1970	12 7.5	0 0.0	1 0.8	1 0.6	0 0.0	8 3.8	2 1.3	9 5.8	59 36.9	1 0.8	5 2.8	3 1.9	1 0.8
1980	17 6.6	1 0.4	0 0.0	1 0.4	1 0.4	19 7.6	3 1.2	17 6.7	109 43.5	8 2.2	1 0.4	6 2.4	4 1.6
1985	16 6.1	0 0.0	1 0.4	1 0.4	2 0.9	12 4.7	5 2.1	12 4.7	107 42.1	2 0.8	5 2.0	1 0.4	3 1.3

組織年次	金融保険	不動産業	コンピュータソフト	技術コンサル	経営コンサル	医療	法律	その他非製造業	非製造業小計	軍事に関わっている者
全体	28 3.4	8 0.7	69 8.3	55 6.7	24 2.9	28 3.1	29 3.5	27 3.3	307 37.2	123 14.9
1960	5 2.8	2 1.3	6 4.0	14 9.0	3 1.9	2 1.3	6 3.4	8 5.0	62 32.5	31 19.4
1970	4 2.5	2 1.3	18 9.7	19 11.9	7 4.4	7 4.5	5 3.1	2 0.9	71 44.2	28 16.3
1980	10 4.0	2 0.6	17 6.8	13 5.2	8 3.0	10 3.8	11 4.5	5 1.8	91 38.5	27 10.8
1985	9 3.7	0 0.0	30 11.8	9 3.6	7 2.8	7 2.8	7 2.8	13 5.1	93 36.7	39 15.4

(注1)現在とは1991年4月の時点のことである

(注2)調査票では、現在就業している組織の種類について東大・東工大は単数選択になっているが、MITは複数選択が可能になっている。そこで、比較のためMITについては補正を行った。その補正方法は、例えば「組織の種類を2つ選択した場合はそれぞれを2分の1としてカウントする。3つ選択した場合はそれぞれを3分の1としてカウントする。」というように、ひとり合計1点となるようにした。

表3 現在仕事種類別分布（東大，東工大）

仕事種類 卒業年次	合計	基礎研究	応用研究	製品開発	工程・ プロセス開発	研究開発 企画管理	設計 (製品)	設計 (工程)	生産管理 (現場)	生産管理 (現場外)	コンピュ タ プログラ ム	インフォ メ ーション システム 作成
全体	1135 100.0	71 6.3	117 10.3	107 9.4	37 3.3	73 6.4	87 7.7	34 3.0	79 7.0	58 5.1	40 3.5	21 1.9
1960	282 100.0	10 3.8	6 2.3	13 5.0	4 1.5	27 10.3	8 3.1	4 1.5	22 8.4	22 8.4	2 0.8	2 0.8
1970	298 100.0	10 3.4	17 5.7	24 8.1	5 1.7	27 9.1	22 7.4	10 3.4	23 7.8	19 6.4	9 3.0	10 3.4
1980	277 100.0	21 7.6	40 14.4	25 9.0	10 3.6	13 4.7	28 10.1	10 3.6	18 6.5	9 3.2	13 4.7	6 2.2
1985	297 100.0	29 9.8	54 18.2	45 15.2	18 6.1	5 1.7	29 9.8	10 3.4	18 5.4	8 2.7	16 5.4	3 1.0
不明	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

仕事種類 卒業年次	技術 コンサルタント	技術関連 小計	経営関連 調査企画	営業・ マーケティング	財務経理	長期研修	会社経営	会社ホ ウ ス	行政事務 政策策定	教育 (大学)	教育 (高校以下)	医療関係
全体	48 4.1	770 67.8	54 4.8	44 3.9	2 0.2	7 0.8	59 5.2	5 0.4	58 5.1	64 5.6	2 0.2	2 0.2
1960	18 6.9	138 52.7	16 6.1	14 5.3	0 0.0	0 0.0	39 14.9	3 1.1	7 2.7	20 7.6	0 0.0	0 0.0
1970	13 4.4	189 83.9	18 8.1	13 4.4	0 0.0	1 0.3	14 4.7	1 0.3	18 5.4	21 7.1	1 0.3	2 0.7
1980	9 3.2	202 72.9	13 4.7	7 2.5	1 0.4	4 1.4	4 1.4	1 0.4	21 7.8	13 4.7	0 0.0	0 0.0
1985	8 2.0	239 80.5	7 2.4	10 3.4	1 0.3	2 0.7	2 0.7	0 0.0	14 4.7	9 3.0	1 0.3	0 0.0
不明	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

仕事種類 卒業年次	法律関係	その他	非技術関連 小計
全体	4 0.4	64 5.6	365 32.2
1960	2 0.8	23 8.8	124 47.3
1970	0 0.0	20 8.8	107 38.1
1980	1 0.4	10 3.8	75 27.1
1985	1 0.3	11 3.7	58 19.5
不明	0 0.0	0 0.0	1 33.3
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(注1)現在とは1991年2月の時点のことである

表4 現在仕事種類別分布 (MIT)

仕事種類 卒業年次	合計	基礎研究	応用研究	製品開発	工程・ プロセス開発	研究開発 企画管理	製品設計	工程・プロ セス設計	生産管理 (現場)	生産管理 (現場外)	コンピュータ プログラム	インフォメーション システム作成
全体	794 100.0	28 3.5	48 6.1	58 7.2	28 3.5	42 5.3	33 4.2	11 1.4	24 3.0	16 2.0	90 11.3	16 2.0
1960	148 100.0	5 3.4	5 3.0	10 6.9	2 1.5	14 9.3	3 2.0	1 0.4	4 2.7	5 3.0	8 5.4	5 3.0
1970	149 100.0	3 2.0	8 5.1	5 3.2	5 3.4	14 9.1	6 3.9	0 0.2	4 2.9	2 1.3	19 12.4	2 1.3
1980	239 100.0	7 3.1	9 3.8	17 7.1	7 2.8	7 3.0	10 4.2	2 0.9	11 4.4	7 2.9	27 11.1	2 0.8
1985	257 100.0	13 5.0	27 10.5	25 9.7	14 5.4	7 2.9	14 5.3	8 3.1	5 2.0	2 0.8	37 14.4	7 2.7

仕事種類 卒業年次	技術 コンサルタント	技術関連 小計	経営関連 調査企画	営業・ マーケティング	財務経理	長期研修	会社経営	会社マネー	行政事務 政策策定	教育 (大学)	教育 (高校以下)	医療関係
全体	42 5.3	435 54.8	34 4.3	46 5.8	28 3.3	0 0.0	44 5.5	49 6.2	9 1.2	25 3.1	1 0.1	24 3.0
1960	8 5.3	88 48.1	11 7.4	7 4.4	3 2.0	0 0.0	12 8.1	21 14.4	3 2.0	7 4.4	0 0.0	2 1.4
1970	8 5.3	75 50.1	9 5.7	6 3.9	7 4.4	0 0.0	13 8.7	13 8.8	0 0.1	9 5.8	0 0.0	8 3.8
1980	14 6.0	120 50.2	8 3.4	23 9.8	9 3.8	0 0.0	14 5.7	8 3.4	4 1.7	8 3.3	1 0.4	7 3.1
1985	12 4.7	171 66.5	7 2.6	11 4.3	8 2.9	0 0.0	8 2.1	7 2.5	2 0.8	2 0.8	0 0.0	9 3.3

仕事種類 卒業年次	法律関係	その他	非技術関連 小計
全体	35 4.3	67 8.4	359 45.2
1960	5 3.0	10 6.8	80 53.9
1970	7 4.7	6 4.0	74 49.9
1980	13 5.4	24 10.0	119 49.8
1985	10 3.9	27 10.3	86 33.5

(注1)現在とは1991年4月の時点のことである

(注2)調査票では、現在就業している仕事の種類について東大・東工大は単数選択になっているが、MITは複数選択が可能になっている。そこで、比較のためMITについては補正を行った。その補正方法は、例えば「仕事の種類を2つ選択した場合はそれぞれを2分の1としてカウントする。3つ選択した場合はそれぞれを3分の1としてカウントする。」というように、ひとり合計1点となるようにした。

表5 現在従事している会社は何社目か（東大，東工大）

何社目 卒業年次	合計	2社目	3社目	4社目	5社目以上	不明	非該当
全体	181 100.0	145 80.1	27 14.9	5 2.8	4 2.2	5	978
1960	70 100.0	53 75.7	14 20.0	2 2.9	1 1.4	2	193
1970	57 100.0	43 75.4	10 17.5	1 1.8	3 5.3	1	241
1980	42 100.0	37 88.1	3 7.1	2 4.8	0 0.0	1	239
1985	12 100.0	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1	300
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	3
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)現在とは1991年2月の時点である

表6 転職回数（MIT）

転職回数 卒業年次	合計	1回	2回	3回	4回以上	0回	不明	非該当
全体	920 100.0	244 26.5	147 16.0	106 11.5	149 16.2	274 29.8	5	0
1960	175 100.0	35 20.0	29 16.6	22 12.6	56 32.0	33 18.9	0	0
1970	168 100.0	32 19.0	29 17.3	33 19.6	45 26.8	29 17.3	0	0
1980	277 100.0	93 33.6	47 17.0	33 11.9	29 10.5	75 27.1	0	0
1985	293 100.0	83 27.8	42 14.0	18 6.0	19 6.4	137 45.8	5	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)工学部卒業後1991年4月までに転職した回数を示す

表7 現在の就業状況(東大, 東工大)

状況 年次	合計	就職して いる	就職して いない	不明	非該当
全体	1158	1141	17	4	0
	100.0	98.5	1.5		
1980	265	264	1	0	0
	100.0	99.6	0.4		
1970	298	297	1	1	0
	100.0	99.7	0.3		
1980	281	280	1	1	0
	100.0	99.6	0.4		
1985	311	297	14	2	0
	100.0	95.5	4.5		
不明	3	3	0	0	0
	100.0	100.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0		

(注)現在とは1991年2月時点のことである

表8 現在の就業状況(MIT)

状況 年次	合計	就職して いる	就職して いない	不明	非該当
全体	924	848	78	1	0
	100.0	91.8	8.2		
1980	174	161	13	1	0
	100.0	92.5	7.5		
1970	168	163	5	0	0
	100.0	97.0	3.0		
1980	277	261	16	0	0
	100.0	94.2	5.8		
1985	304	282	42	0	0
	100.0	88.2	13.8		
不明	1	1	0	0	0
	100.0	100.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0		

(注)現在とは1991年4月時点のことである

表9 現在就業していない理由(東大, 東工大)

理由 年次	合計	大学院 在学中	その他	不明	非該当
全体	17	10	7	0	1145
	100.0	58.8	41.2		
1980	1	0	1	0	284
	100.0	0.0	100.0		
1970	1	0	1	0	298
	100.0	0.0	100.0		
1980	1	0	1	0	281
	100.0	0.0	100.0		
1985	14	10	4	0	299
	100.0	71.4	28.6		
不明	0	0	0	0	3
	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0		

(注)現在とは1991年2月時点のことである

表10 現在就業していない理由(MIT)

理由 年次	合計	新しい 仕事探し 在宅	育児等 で	長期 休暇	引退	学生	その他	不明	非該当
全体	75	9	9	3	3	43	8	1	849
	100.0	12.0	12.0	4.0	4.0	57.3	10.7		
1980	13	4	0	2	2	0	5	0	162
	100.0	30.8	0.0	15.4	15.4	0.0	38.5		
1970	5	1	1	0	1	1	1	0	183
	100.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0		
1980	15	4	3	0	0	8	0	1	281
	100.0	28.7	20.0	0.0	0.0	53.3	0.0		
1985	42	0	5	1	0	34	2	0	282
	100.0	0.0	11.9	2.4	0.0	81.0	4.8		
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注)現在とは1991年4月時点である

表11 性別現在の就業状況 (MIT)

就業状況 性別	合計	就職 している	就職 していない	不明	非該当
全体	924 100.0	848 91.8	76 8.2	1	0
男	808 100.0	749 92.9	57 7.1	1	0
女	117 100.0	98 83.8	19 16.2	0	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)現在とは1991年4月時点である

表12 性別就業していない理由 (MIT)

理由 性別	合計	新しい 仕事探し	育児等で 在宅	長期休暇	引退	学生	その他	不明	非該当
全体	75 100.0	9 12.0	9 12.0	3 4.0	3 4.0	43 57.3	8 10.7	1	849
男	58 100.0	9 16.1	0 0.0	2 3.8	3 5.4	35 62.5	7 12.5	1	750
女	19 100.0	0 0.0	9 47.4	1 5.3	0 0.0	8 42.1	1 5.3	0	98
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	1
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表13 性別現在の就業状況 (東大, 東工大)

就業状況 性別	合計	就職して いる	就職して いない	不明	非該当
全体	1158 100.0	1141 98.5	17 1.5	4	0
男	1148 100.0	1135 98.9	13 1.1	4	0
女	7 100.0	3 42.9	4 57.1	0	0
不明	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)現在とは1991年2月時点のことである

表14 性別就業していない理由 (東大, 東工大)

理由 性別	合計	大学院 在学中	その他	不明	非該当
全体	17 100.0	10 58.8	7 41.2	0	1145
男	13 100.0	9 69.2	4 30.8	0	1139
女	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0	3
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	3
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表15 会社規模別工学部卒業生分布（東大，東工大）

従業員数 卒業年次	合計	1-299人	300-999人	1000- 2999人	3000- 9999人	10000-	不明	非該当
全体	949 100.0	102 10.7	53 5.8	85 9.0	197 20.8	512 54.0	213	0
1960	223 100.0	42 18.8	19 8.5	29 13.0	49 22.0	84 37.7	42	0
1970	240 100.0	32 13.3	10 4.2	19 7.9	49 20.4	130 54.2	59	0
1980	224 100.0	17 7.8	10 4.5	20 8.9	43 19.2	134 59.8	58	0
1985	281 100.0	11 4.2	14 5.4	16 6.1	58 21.5	184 62.8	52	0
不明	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	2	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)会社規模は従業員数によって分類した

表16 会社規模別工学部卒業生分布（MIT）

従業員数 卒業年次	合計	1-299人	300-999人	1000- 2999人	3000- 9999人	10000-	不明	非該当
全体	879 100.0	219 24.9	83 9.3	81 9.2	78 8.9	240 27.3	248	0
1960	134 100.0	52 38.8	7 5.2	18 13.4	17 12.7	40 29.9	41	0
1970	128 100.0	41 32.0	14 10.9	13 10.2	12 9.4	48 37.5	40	0
1980	208 100.0	58 28.2	21 10.2	23 11.2	23 11.2	81 39.3	71	0
1985	210 100.0	88 41.9	20 9.5	27 12.9	24 11.4	71 33.8	94	0
不明	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)会社規模は従業員数によって分類した

表17 会社規模別組織種類別工学部卒業生分布（東大，東工大）

組織種類	従業員数 合計	従業員数					不明	非該当		組織種類	従業員数 合計	従業員数					不明	非該当									
		1~299	300~ 999	1000~ 2999	3000~ 9999	10000~						1~299	300~ 999	1000~ 2999	3000~ 9999	10000~											
全体	949	102	53	85	197	512	213	0		8	4	1	2	1	0	0	0		鉱業	8	4	1	2	1	0	0	0
	100.0	10.7	5.6	9.0	20.8	54.0				100.0	50.0	12.5	25.0	12.5	0.0				建設業	79	15	8	8	14	34	0	0
行政機関	3	0	0	2	1	0	62	0		79	19.0	10.1	10.1	17.7	43.0				通信業	26	2	0	0	2	22	0	0
	100.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0				100.0	7.7	0.0	0.0	7.7	84.6				公共関連 事業	48	1	1	1	6	39	1	0
国公立試験 研究機関	1	0	1	0	0	0	29	0		48	2.1	2.1	2.1	12.5	81.3				運輸業	18	0	0	2	3	11	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0				100.0	0.0	0.0	12.5	18.8	68.8				金融・保険 (証券含む)	12	2	0	1	3	6	0	0
大学	4	1	2	0	1	0	82	0		12	16.7	0.0	8.3	25.0	50.0				不動産業	7	1	2	3	1	0	1	0
	100.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0				100.0	14.3	28.6	42.9	14.3	0.0				コンピュータ 情報処理	18	9	2	1	2	2	0	0
公益法人	0	0	0	0	0	0	13	0		18	56.3	12.5	6.3	12.5	12.5				技術 コンサルタント	18	13	2	2	1	0	2	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				100.0	72.2	11.1	11.1	5.8	0.0				経営 コンサルタント	4	1	0	3	0	0	0	0
公共関連 小計	8	1	3	2	2	0	186	0		4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0				医療	1	1	0	0	0	0	1	0
	100.0	12.5	37.5	25.0	25.0	0.0				100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0				法律	0	0	0	0	0	0	1	0
コンピュータ並 付属機器	108	3	3	2	6	94	0	0		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				その他	48	10	8	11	13	4	3	0
	100.0	2.8	2.8	1.9	6.8	87.0				100.0	21.7	17.4	23.9	28.3	8.7				非製造業 小計	281	59	24	34	46	118	9	0
家電製品	24	0	0	0	3	21	0	0		100.0	21.0	8.5	12.1	16.4	42.0				不明	8	2	1	1	0	4	17	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5				100.0	25.0	12.5	12.5	0.0	50.0				非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
上記以外 電気機械	88	7	1	7	19	54	0	0		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	8.0	1.1	8.0	21.8	61.4																					
非電気機械	72	4	5	3	18	44	0	0																			
	100.0	5.6	6.9	4.2	22.2	61.1																					
自動車並 関連機器	50	2	1	2	9	36	1	0																			
	100.0	4.0	2.0	4.0	18.0	72.0																					
航空・宇宙 関連産業	5	0	0	0	0	5	0	0																			
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0																					
その他 輸送機器	20	2	1	0	2	15	0	0																			
	100.0	10.0	5.0	0.0	10.0	75.0																					
金属素材・ 金属製品	97	7	3	4	7	76	0	0																			
	100.0	7.2	3.1	4.1	7.2	78.4																					
非鉄金属	30	3	1	5	17	4	0	0																			
	100.0	10.0	3.3	16.7	56.7	13.3																					
食品工業	7	1	0	2	3	1	0	0																			
	100.0	14.3	0.0	28.6	42.9	14.3																					
化学製品	113	6	8	18	53	28	0	0																			
	100.0	5.3	7.1	15.9	46.9	24.8																					
医療品	2	0	1	0	1	0	0	0																			
	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0																					
防衛関連 産業	0	0	0	0	0	0	0	0																			
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																					
その他 製造業	36	5	1	5	13	12	0	0																			
	100.0	13.9	2.8	13.9	36.1	33.3																					
製造業 小計	652	40	25	48	149	390	1	0																			
	100.0	6.1	3.8	7.4	22.9	59.8																					

表18 会社規模別組織種類別工学部卒業生分布（MIT）

組織種類	従業員数 合計	1~ 299	300~ 999	1000~ 2999	3000~ 9999	10000~	不明	非該当
全体	679	219	83	81	76	240	248	0
	100.0	32.3	9.3	11.9	11.2	35.3		
行政機関	3	1	1	1	0	0	26	0
	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0		
国公立試験 研究機関	22	3	2	5	7	5	37	0
	100.0	13.6	9.1	22.7	31.8	22.7		
大学(教育, 研究)	13	1	1	3	3	5	45	0
	100.0	7.7	7.7	23.1	23.1	38.5		
大学 (研究)	0	0	0	0	0	0	8	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他 公益法人	2	1	0	0	1	0	11	0
	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0		
軍事サービス	2	0	0	0	0	2	17	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
公共関連 小計	41	6	4	9	11	11	137	0
	100.0	14.6	9.8	22.0	26.8	26.8		
コンピュータ並 付属機器	110	35	7	8	8	54	1	0
	100.0	31.8	6.4	7.3	5.5	49.1		
家電製品	7	2	1	1	1	2	1	0
	100.0	28.6	14.3	14.3	14.3	28.8		
上記以外 電気機械	37	9	6	5	7	10	0	0
	100.0	24.3	16.2	13.5	18.9	27.0		
非電気機械	9	1	2	3	0	3	0	0
	100.0	11.1	22.2	33.3	0.0	33.3		
自動車並 関連機器	10	2	0	3	1	4	0	0
	100.0	20.0	0.0	30.0	10.0	40.0		
航空・宇宙 関連産業	60	2	4	6	2	46	2	0
	100.0	3.3	6.7	10.0	3.3	76.7		
その他 輸送機器	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
金属素材・ 金属製品	3	2	0	0	0	1	0	0
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3		
非鉄金属	3	1	1	1	0	0	0	0
	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0		
食品工業	5	1	0	0	1	3	0	0
	100.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0		
化学製品	48	5	0	4	5	34	0	0
	100.0	10.4	0.0	8.3	10.4	70.8		
医薬品	15	4	0	2	1	8	0	0
	100.0	26.7	0.0	13.3	6.7	53.3		
その他 製造業	50	20	4	7	4	15	2	0
	100.0	40.0	8.0	14.0	8.0	30.0		
製造業小計	349	84	25	38	28	174	6	0
	100.0	24.1	7.2	10.9	8.0	49.9		

組織種類	従業員数 合計	1~ 299	300~ 999	1000~ 2999	3000~ 9999	10000~	不明	非該当
建設業	9	5	2	0	1	1	1	0
	100.0	55.6	22.2	0.0	11.1	11.1		
通信業	14	3	0	2	3	6	2	0
	100.0	21.4	0.0	14.3	21.4	42.9		
公共関連 事業	10	2	0	2	3	3	0	0
	100.0	20.0	0.0	20.0	30.0	30.0		
運輸業	10	2	1	1	1	5	0	0
	100.0	20.0	10.0	10.0	10.0	50.0		
金融・保険	28	11	2	2	5	6	4	0
	100.0	42.3	7.7	7.7	19.2	23.1		
不動産業	8	5	1	0	0	0	0	0
	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0		
コンピュータ サービス	78	38	9	7	7	15	1	0
	100.0	50.0	11.8	9.2	9.2	19.7		
技術 コンサルティング	53	28	2	14	6	3	6	0
	100.0	52.8	3.8	28.4	11.3	5.7		
経営 コンサルティング	21	8	4	4	3	2	4	0
	100.0	38.1	19.0	19.0	14.3	9.5		
医療	13	6	3	1	1	2	14	0
	100.0	46.2	23.1	7.7	7.7	15.4		
法律	18	9	6	1	1	1	12	0
	100.0	50.0	33.3	5.6	5.6	5.6		
その他 非製造業	24	13	4	1	3	3	7	0
	100.0	54.2	16.7	4.2	12.5	12.5		
非製造業 小計	265	120	31	34	33	47	51	0
	100.0	45.3	11.7	12.8	12.5	17.7		
合計 防衛除く	635	204	58	78	70	225	189	0
	100.0	32.1	9.1	12.3	11.0	35.4		
防衛関連	88	10	3	17	9	47	37	0
	100.0	11.8	3.5	19.8	10.5	54.7		
不明	44	15	5	3	8	15	57	
	100.0	34.1	11.4	8.8	13.8	34.1		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注)MITは組織種類選択において一部の者が複数回答を行っている。

表19 仕事における最終目標（東大，東工大）

目標 年次	合計	高い収入 を得る	良い家 庭築く	経済的 安定	名声を 得る	世の中 のため	事業 拡大	社会的 影響力	人格 形成	仕事を 楽しむ	余暇を 楽しむ	仕事と 家庭	その他	特に ない	不明	非該当
全体	1140 100.0	298 26.1	155 13.6	393 34.5	77 6.8	513 45.0	68 6.0	231 20.3	185 16.2	570 50.0	120 10.5	412 36.1	44 3.9	10 0.9	22	0
1960	264 100.0	53 20.1	20 7.6	114 43.2	13 4.9	140 53.0	22 8.3	54 20.5	34 12.9	148 56.1	14 5.3	83 31.4	9 3.4	5 1.9	1	0
1970	295 100.0	79 26.8	34 11.5	107 36.3	14 4.7	137 46.4	18 6.1	88 23.1	52 17.8	147 49.8	22 7.5	112 38.0	9 3.1	1 0.3	4	0
1980	279 100.0	79 28.3	56 20.1	85 30.5	24 8.6	128 45.9	18 6.5	60 21.5	42 15.1	128 45.9	34 12.2	110 39.4	13 4.7	1 0.4	3	0
1985	299 100.0	87 29.1	45 15.1	86 28.8	26 8.7	108 36.1	9 3.0	49 16.4	57 19.1	146 48.8	49 16.4	107 35.8	13 4.3	3 1.0	14	0
不明	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表20 仕事における最終目標（MIT）

目標 年次	合計	高い収入 を得る	良い家 庭築く	経済的 安定	名声を 得る	世の中 のため	業務 拡大	社会的 影響力	人格 形成	仕事を 楽しむ	余暇を 楽しむ	仕事と 家庭	その他	特に ない	不明	非該当
全体	913 100.0	328 35.9	338 37.0	179 19.6	109 11.9	158 17.3	158 17.3	152 16.6	194 21.2	516 56.5	111 12.2	265 29.0	12 1.3	10 1.1	12	0
1960	169 100.0	83 37.3	55 32.5	35 20.7	17 10.1	27 16.0	41 24.3	24 14.2	28 16.6	99 58.6	18 10.7	37 21.9	2 1.2	1 0.6	6	0
1970	165 100.0	79 47.9	69 41.8	31 18.8	27 16.4	34 20.6	40 24.2	17 10.3	31 18.8	86 52.1	13 7.9	42 25.5	0 0	1 0.6	3	0
1980	275 100.0	99 36.0	106 38.5	50 18.2	32 11.6	48 17.5	40 14.5	46 16.7	57 20.7	152 55.3	33 12.0	86 31.3	5 1.8	8 2.2	2	0
1985	303 100.0	86 28.4	108 35.6	63 20.8	33 10.9	49 16.2	36 11.9	65 21.5	78 25.7	179 59.1	48 15.2	100 33.0	5 1.7	2 0.7	1	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表21 現在の仕事種類別仕事における最終目標（東大，東工大）

最終目標 仕事種類	合計	よい収 入得る	よい家 庭築く	経済的 安定	名声を 得る	世の中 のため	事業 拡大	社会的 影響力	人格 形成	仕事を 楽しむ	余暇を 楽しむ	仕事と 家庭	その他	特 に ない	不明	非該当
全体	1140 100.0	298 28.1	155 13.8	393 34.5	77 8.8	513 45.0	68 6.0	231 20.3	185 18.2	570 50.0	120 10.5	412 36.1	44 3.9	10 0.9	22	0
基礎研究	70 100.0	8 11.4	11 15.7	12 17.1	8 11.4	39 55.7	3 4.3	18 22.9	9 12.9	39 55.7	8 8.8	18 25.7	8 11.4	1 1.4	1	0
応用研究	118 100.0	30 25.9	10 8.8	43 37.1	10 8.8	48 41.4	7 6.0	20 17.2	15 12.9	65 58.0	18 13.8	36 31.0	7 8.0	1 0.8	1	0
製品開発	107 100.0	42 39.3	20 18.7	37 34.8	5 4.7	43 40.2	5 4.7	19 17.8	22 20.8	52 48.8	14 13.1	35 32.7	5 4.7	2 1.9	0	0
工程・プロ トタイプ開発	37 100.0	9 24.3	4 10.8	13 35.1	3 8.1	14 37.8	2 5.4	5 13.5	11 29.7	18 48.8	2 5.4	16 43.2	3 8.1	0 0.0	0	0
研究開発 企画・管理	73 100.0	12 16.4	15 20.5	26 35.6	2 2.7	43 58.9	6 8.2	11 15.1	10 13.7	43 58.9	5 6.8	25 34.2	1 1.4	0 0.0	0	0
設計(製品)	86 100.0	27 31.4	7 8.1	32 37.2	8 9.3	32 37.2	3 3.5	18 20.9	7 8.1	38 44.2	18 20.9	35 40.7	1 1.2	0 0.0	1	0
設計(工程 ・プロトタイプ)	34 100.0	12 35.3	8 23.5	12 35.3	1 2.9	10 29.4	1 2.9	4 11.8	8 17.8	17 50.0	5 14.7	17 50.0	1 2.9	0 0.0	0	0
生産管理 (現場)	79 100.0	24 30.4	15 19.0	34 43.0	4 5.1	31 39.2	4 5.1	15 19.0	14 17.7	27 34.2	8 7.6	41 51.9	1 1.3	0 0.0	0	0
生産管理 (現場外)	58 100.0	19 32.8	6 10.3	28 48.3	1 1.7	18 27.8	4 6.9	12 20.7	9 15.5	31 53.4	10 17.2	24 41.4	0 0.0	1 1.7	0	0
コンピューター プログラム	40 100.0	15 37.5	8 15.0	16 40.0	5 12.5	17 42.5	1 2.5	3 7.5	3 7.5	25 82.5	3 7.5	16 40.0	1 2.5	1 2.5	0	0
インフォメーション システム作成	21 100.0	10 47.8	5 23.8	8 28.8	2 9.5	11 52.4	0 0.0	3 14.3	5 23.8	10 47.8	1 4.8	5 23.8	1 4.8	0 0.0	0	0
技術 コンサルティング	48 100.0	11 23.9	5 10.9	18 34.8	2 4.3	23 50.0	0 0.0	9 19.8	9 19.8	23 50.0	5 10.9	15 32.8	0 0.0	1 2.2	0	0
技術関連 小計	787 100.0	219 28.6	112 14.6	275 35.9	51 6.8	327 42.8	38 4.7	135 17.8	120 15.8	388 50.8	91 11.9	283 36.9	29 3.8	7 0.9	3	0
経営関連 調査・企画	54 100.0	11 20.4	8 14.8	19 35.2	1 1.9	28 51.9	4 7.4	15 27.8	14 25.9	30 55.8	6 11.1	18 33.3	0 0.0	0 0.0	0	0
営業・ マーケティング	42 100.0	13 31.0	10 23.8	15 35.7	2 4.8	17 40.5	8 14.3	6 14.3	9 21.4	17 40.5	1 2.4	18 42.9	4 9.5	1 2.4	2	0
財務・経理	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
長期研修	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.8	2 28.8	3 42.9	0 0.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0	0
会社経営	58 100.0	17 29.3	4 6.9	19 32.8	1 1.7	24 41.4	15 25.9	21 38.2	11 19.0	27 48.8	2 3.4	17 29.3	2 3.4	0 0.0	1	0
会社内 ワーク	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	3 80.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0	0
行政事務・ 政策策定	58 100.0	7 12.1	10 17.2	14 24.1	3 5.2	33 58.9	0 0.0	14 24.1	10 17.2	28 44.8	10 17.2	28 44.8	3 5.2	1 1.7	0	0
教育(大学)	64 100.0	7 10.9	3 4.7	14 21.9	9 14.1	42 65.8	0 0.0	22 34.4	6 9.4	40 62.5	0 0.0	13 20.3	2 3.1	1 1.6	0	0
教育 (高校以下)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表21 現在の仕事種類別仕事における最終目標（東大，東工大）（続き）

最終目標 仕事種類	合計	よい収入 入得る	よい家庭 築く	経済的 安定	名声を 得る	世の中 のため	事業 拡大	社会的 影響力	人格 形成	仕事を 楽しむ	余暇を 楽しむ	仕事と 家庭	その他	特に ない	不明	非該当
医療関係	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
法律関係	4 100.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	63 100.0	17 27.0	4 6.3	27 42.9	5 7.9	25 39.7	3 4.8	13 20.8	11 17.5	28 41.3	8 9.5	23 36.5	4 8.3	0 0.0	1 1.6	0 0.0
非技術関連 小計	361 100.0	78 21.1	41 11.4	118 32.1	24 6.8	179 49.8	31 8.8	94 26.0	64 17.7	178 49.8	28 7.8	124 34.3	15 4.2	3 0.8	4 1.1	0 0.0
不明	12 100.0	3 25.0	2 18.7	2 18.7	2 18.7	7 58.3	1 8.3	2 18.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	5 41.7	0 0.0	0 0.0	15 125.0	0 0.0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

表22 現在の仕事種類別仕事における最終目標（M I T）

最終目標 仕事種類	合計	よい収入 入得る	よい家庭 築く	経済的 安定	名声を 得る	世の中 のため	事業 拡大	社会的 影響力	人格 形成	仕事を 楽しむ	余暇を 楽しむ	仕事と 家庭	その他	特に ない	不明	非該当
全体	913 100.0	328 35.9	338 37.0	179 19.8	109 11.9	158 17.3	158 17.3	152 16.6	194 21.2	518 56.5	111 12.2	285 29.0	12 1.3	10 1.1	12 1.3	0 0.0
基礎研究	36 100.0	6 16.7	14 38.9	9 25.0	12 33.3	7 19.4	1 2.8	7 19.4	11 30.8	24 88.7	3 8.3	10 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
応用研究	58 100.0	18 31.0	18 31.0	12 20.7	14 24.1	16 27.6	6 10.3	6 10.3	11 19.0	41 70.7	5 8.6	16 27.6	0 0.0	0 0.0	1 1.7	0 0.0
製品開発	72 100.0	29 40.3	25 34.7	13 18.1	4 5.6	14 19.4	8 11.1	13 18.1	18 22.2	38 52.8	12 18.7	26 36.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
工程開発	33 100.0	12 36.4	11 33.3	7 21.2	2 6.1	5 15.2	3 9.1	8 18.2	8 18.2	19 57.6	10 30.3	11 33.3	0 0.0	1 3.0	0 0.0	0 0.0
研究開発 企画・管理	44 100.0	17 38.6	18 36.4	10 22.7	5 11.4	8 13.6	9 20.5	7 15.9	9 20.5	29 65.9	4 9.1	14 31.8	1 2.3	0 0.0	2 4.5	0 0.0
製品設計	42 100.0	17 40.5	17 40.5	7 16.7	2 4.8	8 19.0	7 16.7	9 21.4	9 21.4	22 52.4	7 18.7	5 11.9	0 0.0	0 0.0	1 2.4	0 0.0
工程設計	17 100.0	5 29.4	7 41.2	2 11.8	1 5.9	4 23.5	1 5.9	2 11.8	8 47.1	11 84.7	3 17.8	8 35.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生産管理 (現場)	26 100.0	9 34.6	10 38.5	6 23.1	0 0.0	3 11.5	11 42.3	3 11.5	7 26.9	13 50.0	2 7.7	9 34.6	1 3.8	0 0.0	1 3.8	0 0.0
生産管理 (オフィス)	17 100.0	8 47.1	4 23.5	4 23.5	3 17.8	4 23.5	8 35.3	3 17.8	4 23.5	8 35.3	4 23.5	3 17.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
コンピューター 作成	100 100.0	37 37.0	32 32.0	20 20.0	14 14.0	9 9.0	14 14.0	22 22.0	17 17.0	56 56.0	17 17.0	33 33.0	0 0.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0
情報システム 作成	18 100.0	7 43.8	8 37.5	4 25.0	2 12.5	3 18.8	3 18.8	3 18.8	5 31.3	10 82.5	1 8.3	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
技術コンサル tant	50 100.0	20 40.0	24 48.0	13 28.0	8 12.0	10 20.0	4 8.0	7 14.0	7 14.0	29 58.0	11 22.0	11 22.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0
技術関連 小計	447 100.0	159 35.8	168 37.1	97 21.7	60 13.4	79 17.7	83 14.1	78 17.0	93 20.8	280 58.2	61 13.8	130 29.1	2 0.4	3 0.7	5 1.1	0 0.0

表22 現在の仕事種類別仕事における最終目標(MIT) (続き)

最終目標 仕事種類	合計	よい収 入得る	よい家 庭築く	経済的 安定	名声を 得る	世の中 のため	事業 拡大	社会的 影響力	人格 形成	仕事を 楽しむ	余暇を 楽しむ	仕事と 家庭	その他	特に ない	不明	非該当
経営関連 調査・企画	38 100.0	16 42.1	15 39.5	5 13.2	8 21.1	5 13.2	2 5.3	8 15.8	13 34.2	26 68.4	4 10.5	8 21.1	1 2.8	0 0.0	0	0
営業・ マーケティング	46 100.0	23 50.0	19 41.3	8 13.0	0 0.0	2 4.3	9 19.8	8 13.0	12 26.1	25 54.3	5 10.9	18 34.8	1 2.2	0 0.0	2	0
財務・経理	28 100.0	15 57.7	8 23.1	7 28.9	1 3.8	3 11.5	7 28.9	0 0.0	8 30.8	12 46.2	3 11.5	7 28.9	1 3.8	1 3.8	1	0
長期研修	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
会社経営	46 100.0	18 39.1	21 45.7	5 10.9	1 2.2	4 8.7	18 39.1	4 8.7	5 10.9	24 52.2	5 10.9	18 39.1	0 0.0	0 0.0	0	0
会社マネ ジメント	82 100.0	22 35.5	22 35.5	9 14.5	3 4.8	5 8.1	22 35.5	17 27.4	12 19.4	27 43.5	6 9.7	18 25.8	1 1.8	0 0.0	1	0
行政事務・ 政策策定	8 100.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	3 37.5	5 62.5	1 12.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0	2	0
教育(大学)	30 100.0	4 13.3	11 38.7	1 3.3	9 30.0	12 40.0	1 3.3	7 23.3	9 30.0	18 63.3	2 8.7	7 23.3	0 0.0	2 8.7	1	0
教育 (高校以下)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
医療関係	26 100.0	9 34.8	10 38.5	4 15.4	4 15.4	9 34.8	2 7.7	4 15.4	6 19.2	17 65.4	4 15.4	8 30.8	1 3.8	0 0.0	1	0
法律関係	35 100.0	12 34.3	14 40.0	8 17.1	8 17.1	3 8.8	8 17.1	3 8.8	9 25.7	20 57.1	4 11.4	6 17.1	1 2.9	3 8.8	0	0
その他	66 100.0	22 33.3	26 39.4	13 19.7	2 3.0	14 21.2	9 13.8	10 15.2	18 24.2	40 60.8	8 12.1	20 30.3	2 3.0	0 0.0	1	0
非技術関連 小計	374 100.0	142 38.0	138 38.9	56 15.0	34 9.1	59 15.8	77 20.8	59 15.8	90 24.1	208 55.1	43 11.5	103 27.5	8 2.1	6 1.8	6	0
不明	78 100.0	23 29.5	27 34.8	17 21.8	11 14.1	18 20.5	15 19.2	15 19.2	11 14.1	44 58.4	12 15.4	27 34.8	0 0.0	0 0.0	2	0
非該当	51 100.0	18 35.3	21 41.2	13 25.5	10 19.8	10 19.8	9 17.8	8 15.7	11 21.8	27 52.9	2 3.9	13 25.5	2 3.9	1 2.0	0	0

(注)MITは仕事種類の選択において一部の者が複数回答を行っている。

表23 性別仕事における最終目標（東大，東工大）

目標 性別	合計	よい収 入得る	よい家 庭築く	経済的 安定	名声を 得る	世の中 のため	事業 拡大	社会的 影響力	人格 形成	仕事を 楽しむ	余暇を 楽しむ	仕事と 家庭	その他	持に ない	不明	非該当
全体	1140 100.0	298 26.1	155 13.6	393 34.5	77 8.8	513 45.0	88 8.0	231 20.3	185 16.2	570 50.0	120 10.5	412 36.1	44 3.9	10 0.9	22	0
男	1132 100.0	296 26.1	155 13.7	393 34.7	75 6.8	512 45.2	88 8.0	228 20.1	182 16.1	565 49.9	120 10.6	410 36.2	44 3.9	10 0.9	20	0
女	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2	0
不明	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表24 性別仕事における最終目標（MIT）

目標 性別	合計	よい収 入得る	よい家 庭築く	経済的 安定	名声を 得る	世の中 のため	事業 拡大	社会的 影響力	人格 形成	仕事を 楽しむ	余暇を 楽しむ	仕事と 家庭	その他	持に ない	不明	非該当
全体	913 100.0	328 35.9	338 37.0	179 19.6	109 11.9	158 17.3	158 17.3	152 18.6	194 21.2	516 56.5	111 12.2	265 29.0	12 1.3	10 1.1	12	0
男	795 100.0	297 37.4	295 37.1	156 19.6	97 12.2	137 17.2	151 19.0	126 15.8	159 20.0	441 55.5	93 11.7	217 27.3	10 1.3	10 1.3	12	0
女	117 100.0	31 26.5	42 35.9	23 19.7	12 10.3	21 17.9	7 8.0	26 22.2	35 29.9	74 63.2	18 15.4	47 40.2	2 1.7	0 0.0	0	0
不明	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表25 現在希望するキャリアパス(東大, 東工大)

キャリアパス 卒業年次	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にない	不明	非該当
全体	1124 100.0	452 40.2	117 10.4	124 11.0	293 26.1	50 4.4	88 7.8	38	0
1960	257 100.0	92 35.8	34 13.2	32 12.5	60 23.3	13 5.1	26 10.1	8	0
1970	288 100.0	132 45.8	30 10.4	30 10.4	63 21.9	13 4.5	20 6.9	11	0
1980	279 100.0	113 40.5	24 8.8	31 11.1	78 28.0	12 4.3	21 7.5	3	0
1985	297 100.0	114 38.4	29 9.8	29 9.8	92 31.0	12 4.0	21 7.1	16	0
不明	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)現在とは1991年2月時点のことである

表26 現在希望するキャリアパス(MIT)

キャリアパス 卒業年次	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にない	不明	非該当
全体	900 100.0	198 22.0	231 25.7	119 13.2	197 21.9	72 8.0	83 9.2	25	0
1980	171 100.0	28 16.4	40 23.4	23 13.5	51 29.8	18 10.5	11 6.4	4	0
1970	160 100.0	42 26.3	33 20.6	25 15.6	35 21.9	9 5.6	18 10.0	8	0
1980	289 100.0	82 28.4	71 24.4	28 10.4	57 21.2	20 7.4	31 11.5	8	0
1985	299 100.0	65 21.7	87 29.1	43 14.4	54 18.1	25 8.4	25 8.4	5	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)現在とは1991年4月時点のことである

表27 現在組織種類別現在希望するキャリア（東大，東工大）

キャリア 組織種類	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 イニシアチブ	その他	特にな い	不明	非該当
全体	1124 100.0	452 40.2	117 10.4	124 11.0	293 26.1	50 4.4	88 7.8	38	0
行政機関	83 100.0	27 42.9	4 8.3	7 11.1	10 15.9	4 8.3	11 17.5	2	0
国公立試験 研究機関	28 100.0	7 25.0	1 3.8	8 28.6	4 14.3	2 7.1	8 21.4	2	0
大学	84 100.0	2 2.4	4 4.8	83 75.0	3 3.8	8 9.5	4 4.8	2	0
公益法人	13 100.0	4 30.8	1 7.7	2 15.4	4 30.8	2 15.4	0 0.0	0	0
公共関連 小計	188 100.0	40 21.3	10 5.3	80 42.8	21 11.2	18 8.5	21 11.2	8	0
コンピューター並 付属機器	108 100.0	47 43.5	6 5.8	11 10.2	34 31.5	2 1.9	8 7.4	0	0
家電製品	24 100.0	14 58.3	3 12.5	0 0.0	8 25.0	0 0.0	1 4.2	0	0
上記以外 電気機械	87 100.0	37 42.5	8 9.2	6 8.9	27 31.0	4 4.8	5 5.7	1	0
非電気機械	71 100.0	31 43.7	8 11.3	2 2.8	23 32.4	2 2.8	5 7.0	1	0
自動車並 関連機器	50 100.0	27 54.0	2 4.0	1 2.0	15 30.0	0 0.0	5 10.0	1	0
航空・宇宙 関連産業	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他 輸送機器	18 100.0	10 55.8	0 0.0	0 0.0	7 38.9	0 0.0	1 5.8	2	0
金属素材・ 金属製品	93 100.0	40 43.0	11 11.8	6 6.5	32 34.4	0 0.0	4 4.3	4	0
非鉄金属	30 100.0	11 38.7	4 13.3	1 3.3	9 30.0	2 8.7	3 10.0	0	0
食品工業	7 100.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	112 100.0	61 54.5	7 8.3	0 0.0	30 28.8	3 2.7	11 9.8	1	0
医療品	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
防衛関連 産業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他 製造業	38 100.0	18 44.4	3 8.3	2 5.8	8 22.2	2 5.8	5 13.9	0	0
製造業小計	843 100.0	301 48.8	53 8.2	29 4.5	197 30.8	15 2.3	48 7.5	10	0

表27 現在組織種類別現在希望するキャリアパス（東大，東工大）（様式）

キャリアパス 組織種類	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にない	不明	非該当
鉱業	7 100.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	3 42.9	0 0.0	1 14.3	1	0
建設業	77 100.0	25 32.5	7 9.1	5 6.5	34 44.2	5 6.5	1 1.3	2	0
通信業	25 100.0	9 36.0	2 8.0	4 16.0	8 24.0	1 4.0	3 12.0	1	0
公共関連 事業	48 100.0	32 66.7	1 2.1	0 0.0	12 25.0	2 4.2	1 2.1	1	0
運輸業	18 100.0	9 50.0	6 33.3	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0	0
金融・保険 (証券含む)	12 100.0	6 50.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0	0
不動産業	8 100.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0	0
コンピューター ソフト	15 100.0	4 26.7	5 33.3	0 0.0	2 13.3	1 6.7	3 20.0	1	0
技術 コンサルタント	20 100.0	4 20.0	6 30.0	0 0.0	8 40.0	2 10.0	2 10.0	0	0
経営 コンサルタント	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0	0
医療	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0	0
法律	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1	0
その他	49 100.0	18 36.7	14 28.6	3 6.1	6 12.2	6 12.2	4 8.2	0	0
非製造業 小計	283 100.0	109 38.5	49 17.3	14 4.9	73 25.8	19 6.7	19 6.7	7	0
不明	10 100.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	15	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表28 現在組織種類別現在希望するキャリアパス(MIT)

キャリアパス 組織種類	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にな い	不明	非該当
全体	900 100.0	198 22.0	231 25.7	119 13.2	197 21.9	72 8.0	83 9.2	25	0
行政機関	27 100.0	10 37.0	4 14.8	2 7.4	3 11.1	4 14.8	4 14.8	2	0
国立試験 研究機関	58 100.0	12 21.4	7 12.5	14 25.0	16 28.8	3 5.4	4 7.1	3	0
大学(教育, 研究)	57 100.0	1 1.8	3 5.3	48 84.2	5 8.8	0 0.0	0 0.0	1	0
大学 (研究)	6 100.0	0 0.0	0 0.0	4 68.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0	0
その他 公益法人	13 100.0	2 15.4	1 7.7	3 23.1	2 15.4	3 23.1	2 15.4	0	0
軍事サービス	18 100.0	5 27.8	2 11.1	1 5.6	5 27.8	4 22.2	1 5.6	1	0
公共関連 小計	171 100.0	29 17.0	16 9.4	70 40.9	32 18.7	12 7.0	12 7.0	7	0
コンピューター並 付属機器	104 100.0	24 23.1	38 36.5	4 3.8	18 15.4	11 10.6	11 10.6	7	0
家電製品	8 100.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0	0
上記以外 電気機械	38 100.0	9 25.0	10 27.8	1 2.8	6 16.7	4 11.1	6 16.7	1	0
非電気機械	9 100.0	4 44.4	2 22.2	0 0.0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0	0
自動車並 関連機器	10 100.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0	0
航空・宇宙 関連産業	60 100.0	25 41.7	5 8.3	7 11.7	14 23.3	5 8.3	4 6.7	2	0
その他 輸送機器	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金属素材・ 金属製品	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	48 100.0	24 50.0	8 16.7	1 2.1	7 14.6	4 8.3	4 8.3	0	0
医薬品	14 100.0	4 28.6	6 42.9	0 0.0	2 14.3	2 14.3	0 0.0	1	0
その他 製造業	50 100.0	12 24.0	18 32.0	1 2.0	12 24.0	6 12.0	3 6.0	2	0
製造業 小計	342 100.0	107 31.3	94 27.5	16 4.7	62 18.1	32 9.4	31 9.1	13	0

表28 現在組織種類別現在希望するキャリアパス(MIT) (続き)

キャリアパス 組織種類	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 マーケット	その他	特にな い	不明	非該当
建設業	10 100.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0	0	0
通信業	16 100.0	4 25.0	4 25.0	2 12.5	4 25.0	0 0.0	2 12.5	0	0
公共関連 事業	10 100.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	0	0
運輸業	10 100.0	4 40.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	0	0
金融・保険	30 100.0	6 20.0	18 63.3	0 0.0	3 10.0	3 10.0	2 8.7	0	0
不動産業	8 100.0	0 0.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 18.7	0	0
コンピ ュータ サービス	77 100.0	20 26.0	30 39.0	1 1.3	16 20.6	2 2.6	8 10.4	0	0
技術 コンサルタント	58 100.0	11 19.8	14 25.0	1 1.8	28 48.4	3 5.4	1 1.8	3	0
経営 コンサルタント	24 100.0	1 4.2	13 54.2	1 4.2	6 25.0	1 4.2	2 8.3	1	0
医療	27 100.0	1 3.7	1 3.7	4 14.8	14 51.9	5 18.5	2 7.4	0	0
法律	30 100.0	4 13.3	8 26.7	1 3.3	10 33.3	3 10.0	4 13.3	0	0
その他 非製造業	31 100.0	3 9.7	13 41.9	4 12.9	8 25.8	2 8.5	1 3.2	0	0
非製造業 小計	312 100.0	58 18.6	103 33.0	14 4.5	87 27.9	20 6.4	30 9.8	4	0
合計 防衛除く	800 100.0	183 23.8	208 28.0	94 11.8	176 22.0	83 7.9	70 8.8	24	0
防衛関連	118 100.0	34 29.3	18 13.8	18 13.8	31 28.7	11 9.5	8 8.9	7	0
不明	100 100.0	9 9.0	23 23.0	25 25.0	21 21.0	9 9.0	13 13.0	1	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)MITの組織種類について複数選択が可能になっている。

表29 現在仕事種別別現在希望するキャリアパス（東大、東工大）

キャリアパス 仕事種別	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にない	不明	非該当
全体	1124 100.0	452 40.2	117 10.4	124 11.0	293 26.1	50 4.4	88 7.8	38	0
基礎研究	70 100.0	18 25.7	3 4.3	26 37.1	13 18.6	4 5.7	6 8.6	1	0
応用研究	116 100.0	42 36.2	6 5.2	16 13.8	44 37.9	2 1.7	8 5.2	1	0
製品開発	107 100.0	54 50.5	9 8.4	1 0.9	30 28.0	5 4.7	8 7.5	0	0
工程・プロセス 開発	37 100.0	11 29.7	3 8.1	4 10.8	15 40.5	1 2.7	3 8.1	0	0
研究開発 企画・管理	89 100.0	31 44.9	4 5.8	7 10.1	17 24.8	2 2.9	8 11.8	4	0
設計(製品)	86 100.0	37 43.5	8 9.4	3 3.5	30 35.3	3 3.5	4 4.7	2	0
設計(工程 ・プロセス)	34 100.0	17 50.0	3 8.8	0 0.0	11 32.4	1 2.9	2 5.9	0	0
製造管理 (現場)	78 100.0	55 70.5	3 3.8	0 0.0	16 20.5	0 0.0	4 5.1	1	0
製造管理 (現場外)	58 100.0	33 56.9	3 5.2	3 5.2	14 24.1	0 0.0	5 8.6	0	0
コンピュータ プログラム作成	40 100.0	11 27.5	4 10.0	1 2.5	19 47.5	0 0.0	5 12.5	0	0
インフォメーション システム作成	20 100.0	10 50.0	1 5.0	1 5.0	5 25.0	3 15.0	0 0.0	1	0
技術 コンサルティング	48 100.0	7 15.2	7 15.2	1 2.2	28 60.9	2 4.3	1 2.2	0	0
技術関連 小計	780 100.0	326 42.9	54 7.1	83 8.3	242 31.8	23 3.0	52 8.8	10	0
経営関連 調査・企画	53 100.0	27 50.9	8 15.1	3 5.7	8 15.1	2 3.8	5 9.4	1	0
営業・ マーケティング	42 100.0	23 54.8	10 23.8	0 0.0	5 11.9	1 2.4	3 7.1	2	0
財務・経理	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
長期研修	7 100.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0	0
会社経営	57 100.0	20 35.1	21 36.8	1 1.8	4 7.0	5 8.8	6 10.5	2	0
会社内 キャリア	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
行政事務・ 政策策定	57 100.0	22 38.6	6 10.5	5 8.8	10 17.5	4 7.0	10 17.5	1	0
教育(大学)	82 100.0	1 1.8	2 3.2	48 74.2	3 4.8	7 11.3	3 4.8	2	0
教育 (高校以下)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表29 現在仕事種類別現在希望するキャリアパス(東大, 東工大) (続き)

キャリアパス 仕事種類	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にない	不明	非該当
医療関係	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0	0
法律関係	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2	0
その他	61 100.0	22 36.1	7 11.5	3 4.9	13 21.3	8 13.1	8 13.1	3	0
非技術関連 小計	352 100.0	121 34.4	81 17.3	80 17.0	47 13.4	27 7.7	38 10.2	13	0
不明	12 100.0	5 41.7	2 16.7	1 8.3	4 33.3	0 0.0	0 0.0	15	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表30 現在仕事種類別現在希望するキャリアパス(MIT)

キャリアパス 仕事種類	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にない	不明	非該当
全体	900 100.0	198 22.0	231 25.7	119 13.2	197 21.9	72 8.0	83 9.2	25	0
基礎研究	35 100.0	0 0.0	2 5.7	20 57.1	7 20.0	2 5.7	4 11.4	1	0
応用研究	57 100.0	9 15.8	6 10.5	18 28.1	15 26.3	5 8.8	6 10.5	2	0
製品開発	69 100.0	20 29.0	18 23.2	4 5.8	12 17.4	10 14.5	7 10.1	3	0
工程・プロ セス開発	33 100.0	9 27.3	9 27.3	3 9.1	7 21.2	2 6.1	3 9.1	0	0
研究開発 企画・管理	41 100.0	12 29.3	5 12.2	4 9.8	10 24.4	1 2.4	9 22.0	5	0
製品設計	41 100.0	11 26.8	18 39.0	2 4.9	7 17.1	1 2.4	4 9.8	2	0
工程・プロ セス設計	17 100.0	4 23.5	8 35.3	0 0.0	3 17.6	1 5.9	3 17.6	0	0
生産管理 (現場)	26 100.0	11 42.3	8 30.8	0 0.0	2 7.7	1 3.8	4 15.4	1	0
生産管理 (現場外)	17 100.0	7 41.2	5 29.4	1 5.9	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0	0
コンピュータ の開発	98 100.0	19 19.4	24 24.5	9 9.2	30 30.8	8 8.1	10 10.2	2	0
情報システムの 作成	18 100.0	5 31.3	5 31.3	1 6.3	1 6.3	3 18.8	1 8.3	0	0
技術コンサル タ	50 100.0	14 28.0	14 28.0	2 4.0	18 32.0	2 4.0	2 4.0	1	0
技術関連 小計	438 100.0	107 24.6	93 21.3	58 13.3	104 23.9	32 7.3	42 9.6	18	0

表30 現在仕事種類別現在希望するキャリアパス(MIT) (続き)

キャリアパス 仕事種類	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にない	不明	非該当
経営関連 調査・企画	36 100.0	5 13.9	13 38.1	3 8.3	12 33.3	2 5.8	1 2.8	2	0
営業・ マーケティング	47 100.0	18 38.3	13 27.7	3 6.4	2 4.3	5 10.6	8 12.8	1	0
財務・経理	27 100.0	8 29.8	11 40.7	1 3.7	3 11.1	1 3.7	3 11.1	0	0
長期研修	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
会社経営	45 100.0	20 44.4	13 28.9	0 0.0	4 8.9	4 8.9	4 8.9	1	0
会社オーナー	63 100.0	1 1.6	48 73.0	1 1.6	13 20.8	1 1.6	1 1.6	0	0
行政事務・ 政策策定	10 100.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	0	0
教育 (大学)	30 100.0	0 0.0	2 8.7	27 90.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	1	0
教育 (高校以下)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
医療関係	27 100.0	0 0.0	1 3.7	4 14.8	18 68.7	2 7.4	2 7.4	0	0
法律関係	35 100.0	5 14.3	7 20.0	2 5.7	11 31.4	6 17.1	4 11.4	0	0
その他	85 100.0	18 27.7	10 15.4	3 4.6	18 24.8	11 18.9	7 10.8	2	0
非技術関連 小計	373 100.0	74 19.8	115 30.8	41 11.0	80 21.4	33 8.8	30 8.0	7	0
不明	77 100.0	11 14.3	21 27.3	19 24.7	12 15.8	5 8.5	9 11.7	3	0
非該当	51 100.0	8 15.7	14 27.5	11 21.8	10 19.8	4 7.8	4 7.8	0	0

(注)MITの仕事種類において複数選択が可能になっている。

表31 学位別 現在希望するキャリアパス(東大, 東工大)

キャリアパス 学位	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 起業家	その他	特にな い	不明	非該当
全体	1124 100.0	452 40.2	117 10.4	124 11.0	293 26.1	50 4.4	88 7.8	38	0
学士	568 100.0	252 44.3	71 12.5	13 2.3	155 27.2	27 4.7	51 9.0	12	0
修士(学部 時代学科)	272 100.0	119 43.8	24 8.8	22 8.1	83 30.5	6 2.2	18 6.6	13	0
修士(学部 時代外理工)	63 100.0	27 42.9	5 7.9	6 9.5	19 30.2	3 4.8	3 4.8	2	0
MBA	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
MBA以外 文科系学科	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0	0
その他	5 100.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1	0
修士小計	346 100.0	153 44.2	30 8.7	29 8.4	103 29.8	9 2.6	22 6.4	18	0
博士(学部 時代学科)	132 100.0	23 17.4	9 8.8	67 50.8	17 12.9	9 8.8	7 5.3	7	0
博士(学部 時代外理工)	21 100.0	4 19.0	3 14.3	9 42.9	1 4.8	1 4.8	3 14.3	0	0
博士 (経営学)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
経営学以外 文科系学科	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
医学	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
博士小計	157 100.0	28 17.8	12 7.6	79 50.3	18 11.5	10 6.4	10 6.4	7	0
不明	52 100.0	19 38.5	4 7.7	3 5.8	17 32.7	4 7.7	5 9.6	3	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)学士：修士及び博士をもっていない、学士のみもっている人

(注2)修士：博士をもっていない、修士のみもっている人

(注3)博士：博士をもっている人

表32 学位別現在希望するキャリアパス(MIT)

キャリアパス 学位	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	特にない	不明	非該当
全体	900 100.0	198 22.0	231 25.7	119 13.2	197 21.9	72 8.0	83 9.2	25	0
学士	254 100.0	58 22.8	80 31.5	15 5.9	58 22.0	23 9.1	22 8.7	5	0
修士(学部 時代学科)	223 100.0	56 25.1	51 22.9	22 9.9	48 21.5	22 9.9	24 10.8	12	0
修士(学部 時代外理工)	40 100.0	12 30.0	7 17.5	2 5.0	9 22.5	5 12.5	5 12.5	1	0
MBA	129 100.0	43 33.3	49 38.0	4 3.1	18 14.0	7 5.4	8 6.2	2	0
その他	12 100.0	1 8.3	2 16.7	3 25.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1	0
修士小計	404 100.0	112 27.7	109 27.0	31 7.7	78 19.3	35 8.7	39 9.7	18	0
博士(学部 時代学科)	107 100.0	15 14.0	21 19.8	40 37.4	19 17.8	4 3.7	8 7.5	2	0
博士(学部 時代外理工)	44 100.0	5 11.4	2 4.5	18 40.9	14 31.8	1 2.3	4 9.1	2	0
文科系学科	4 100.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0	0
博士 (経営学)	7 100.0	0 0.0	3 42.9	3 42.9	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0	0
医学博士	31 100.0	1 3.2	1 3.2	6 19.4	19 61.3	2 6.5	2 6.5	0	0
法学	33 100.0	5 15.2	8 24.2	2 6.1	8 24.2	8 18.2	4 12.1	0	0
その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
博士小計	229 100.0	27 11.8	36 15.7	72 31.4	60 26.2	14 8.1	20 8.7	4	0
不明	13 100.0	1 7.7	6 46.2	1 7.7	3 23.1	0 0.0	2 15.4	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)学士：修士及び博士をもっていない、学士のみもっている人

(注2)修士：博士をもっていない、修士のみもっている人

(注3)博士：博士をもっている人

表33 性別現在希望するキャリアパス（東大，東工大）

キャリアパス 性別	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	待にない	不明	非該当
全体	1124 100.0	452 40.2	117 10.4	124 11.0	293 26.1	50 4.4	88 7.8	38	0
男	1116 100.0	451 40.4	116 10.4	124 11.1	288 25.8	49 4.4	88 7.9	38	0
女	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	3 80.0	1 20.0	0 0.0	2	0
不明	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 88.7	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表34 性別現在希望するキャリアパス（MIT）

キャリアパス 性別	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育研究	独立技術者 スタート	その他	待にない	不明	非該当
全体	900 100.0	198 22.0	231 25.7	119 13.2	197 21.9	72 8.0	83 9.2	25	0
男	786 100.0	174 22.1	218 27.7	102 13.0	165 21.0	58 7.1	71 9.0	21	0
女	113 100.0	24 21.2	12 10.6	17 15.0	32 28.3	16 14.2	12 10.6	4	0
不明	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表35 学部卒業時に希望したキャリアパス(東大, 東工大)

キャリアパス 卒業年次	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学教授	独立技術者 起業家	その他	特にない	不明	非該当
全体	1131 100.0	578 51.1	58 5.1	93 8.2	292 25.8	18 1.4	94 8.3	31	0
1980	260 100.0	158 60.8	9 3.5	13 5.0	87 25.8	3 1.2	10 3.8	5	0
1970	292 100.0	142 48.6	18 6.2	28 9.6	77 26.4	5 1.7	22 7.5	7	0
1980	279 100.0	141 50.5	10 3.6	23 8.2	71 25.4	4 1.4	30 10.8	3	0
1985	297 100.0	138 45.8	21 7.1	27 9.1	77 25.9	4 1.3	32 10.8	18	0
不明	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表36 学部卒業時に希望したキャリアパス(MIT)

キャリアパス 卒業年次	合計	既存企業 で出世	会社設立	大学で 教育, 研究	独立技術者 起業家	その他	特にない	不明	非該当
全体	908 100.0	338 37.2	131 14.4	118 13.0	100 11.0	45 5.0	176 19.4	17	0
1980	170 100.0	75 44.1	21 12.4	20 11.8	20 11.8	7 4.1	27 15.9	5	0
1970	184 100.0	54 32.9	21 12.8	28 17.1	19 11.8	8 4.9	34 20.7	4	0
1980	272 100.0	106 39.0	34 12.5	25 9.2	32 11.8	13 4.8	82 22.8	6	0
1985	301 100.0	102 33.9	55 18.3	45 15.0	29 9.6	17 5.8	53 17.8	3	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表37 現在希望する仕事（東大，東工大）

仕事年次\	合計	基礎研究	応用研究	製品開発	工程開発	研究企画	研究開発小計	設計(製品)	設計(工程)	生産管理(現場)	生産管理(現場外)	コンピュータプログラム	情報システム作成	技術コンサルティング	技術関連小計
全体	1134 100.0	94 8.3	127 11.2	105 9.3	35 3.1	84 7.4	445 39.2	54 4.8	14 1.2	35 3.1	55 4.9	19 1.7	30 2.8	82 7.2	734 64.7
1960	282 100.0	11 4.2	12 4.8	14 5.3	4 1.5	24 9.2	85 24.8	11 4.2	0 0.0	14 5.3	18 8.9	1 0.4	1 0.4	29 11.1	139 53.1
1970	293 100.0	13 4.4	24 8.2	25 8.5	7 2.4	23 7.8	92 31.4	14 4.8	5 1.7	10 3.4	19 8.5	5 1.7	15 5.1	23 7.8	183 82.5
1980	279 100.0	25 9.0	42 15.1	32 11.5	13 4.7	19 6.8	131 47.0	12 4.3	2 0.7	8 2.2	14 6.0	8 2.2	11 3.9	12 4.3	194 89.5
1985	297 100.0	45 15.2	49 16.5	33 11.1	11 3.7	17 5.7	155 52.2	17 5.7	7 2.4	5 1.7	4 1.3	7 2.4	3 1.0	18 8.1	216 72.7
不明	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	2 88.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 88.7
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

仕事年次\	経営企画	営業	財務・経理	長期研修	会社経営	会社マネー	行政	教育(大学)	教育(高校以下)	医療関係	法律関係	その他	不明	非該当
全体	99 8.7	28 2.5	3 0.3	8 0.5	95 8.4	22 1.9	48 4.1	53 4.7	5 0.4	5 0.4	4 0.4	34 3.0	28	0
1960	21 8.0	7 2.7	0 0.0	0 0.0	55 21.0	10 3.8	3 1.1	16 8.1	0 0.0	0 0.0	1 0.4	10 3.8	3	0
1970	27 9.2	6 2.0	1 0.3	0 0.0	23 7.8	6 2.0	11 3.8	18 5.5	3 1.0	4 1.4	1 0.3	12 4.1	8	0
1980	24 8.8	6 2.2	1 0.4	1 0.4	12 4.3	4 1.4	20 7.2	12 4.3	1 0.4	0 0.0	0 0.0	4 1.4	3	0
1985	27 9.1	9 3.0	1 0.3	5 1.7	5 1.7	2 0.7	12 4.0	8 2.7	1 0.3	1 0.3	2 0.7	8 2.7	18	0
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)現在とは1991年2月の時点のことである。

表38 現在希望する仕事 (MIT)

仕事年次	合計	基礎研究	応用研究	製品開発	工程開発	研究企画	研究開発小計	設計(製品)	設計(工程)	生産管理(現場)	生産管理(現場外)	コンピュータプログラム	情報システム作成	技術コンサルティング	技術関連小計
全体	880 100.0	44 5.0	71 8.0	54 6.1	18 2.0	50 5.7	237 26.9	38 4.4	5 0.5	22 2.4	13 1.5	82 7.0	8 0.9	39 4.5	423 48.1
1960	164 100.0	8 4.6	8 4.9	11 6.7	1 0.8	16 9.5	43 26.3	7 4.0	1 0.3	5 2.8	1 0.6	7 4.5	1 0.8	6 3.6	70 42.8
1970	159 100.0	7 4.6	13 8.2	9 5.6	3 1.6	11 8.8	43 26.7	7 4.4	0 0.0	1 0.8	3 1.6	10 6.0	1 0.8	11 8.8	74 48.5
1980	261 100.0	16 6.0	19 7.1	14 5.2	6 2.4	12 4.6	66 25.3	9 3.4	2 0.9	7 2.7	7 2.7	18 6.7	4 1.3	11 4.3	124 47.3
1985	295 100.0	13 4.5	31 10.6	20 6.6	8 2.8	12 4.0	84 28.4	16 5.3	2 0.8	9 3.1	3 0.8	27 9.3	2 0.8	12 4.0	154 52.3

仕事年次	経営企画	営業	財務・経理	長期研修	会社経営	会社オーナー	行政	教育(大学)	教育(高校以下)	医療関係	法律関係	その他
全体	30 3.4	26 2.9	18 2.1	0 0.0	87 9.9	114 13.0	10 1.1	58 6.4	10 1.1	28 3.2	28 3.2	50 5.6
1960	9 5.5	2 1.2	2 1.4	0 0.0	28 17.1	20 12.2	3 1.8	12 7.2	2 0.9	2 0.9	4 2.4	11 6.4
1970	8 4.7	1 0.6	5 3.1	0 0.0	20 12.6	20 12.3	0 0.2	15 9.1	2 1.3	4 2.7	7 4.4	4 2.5
1980	6 2.2	11 4.1	6 2.3	0 0.0	26 9.9	40 15.3	2 0.8	11 4.3	3 1.0	10 3.9	8 3.1	18 5.9
1985	8 2.7	12 4.2	5 1.7	0 0.0	14 4.6	35 11.8	5 1.5	18 6.2	4 1.4	12 4.0	9 3.1	20 6.6

(注1)東大・東工大は単数回答、MITは複数回答のため、MITは補正を行った。  
 (注2)現在とは1991年4月の時点のことである。

表39 学部卒業時に希望した仕事（東大，東工大）

＼仕事 年次＼	合計	基礎 研究	応用 研究	製品 開発	工程 開発	研究 企画	研究開発 小計	設計 (製品)	設計 (工程)	生産管理 (現場)	生産管理 (現場外)	コンピ ュータ プログラ ム作成	情報シ ステム 作成	技術コン サルテ ィング	技術関 連小計
全体	1133 100.0	150 13.2	197 17.4	149 13.2	55 4.9	28 2.3	577 50.9	131 11.8	51 4.5	92 8.1	32 2.8	25 2.2	9 0.8	23 2.0	940 83.0
1960	264 100.0	20 7.6	36 13.6	39 14.8	18 6.8	2 0.8	115 43.6	44 16.7	19 7.2	40 15.2	9 3.4	1 0.4	0 0.0	4 1.5	232 87.9
1970	293 100.0	38 13.0	44 15.0	35 11.9	19 6.5	3 1.0	139 47.4	33 11.3	15 5.1	22 7.5	11 3.8	10 3.4	3 1.0	9 3.1	242 82.8
1980	277 100.0	37 13.4	54 19.5	34 12.3	10 3.6	7 2.5	142 51.3	29 10.5	9 3.2	20 7.2	10 3.8	6 2.2	3 1.1	4 1.4	223 80.5
1985	296 100.0	55 18.6	63 21.3	39 13.2	8 2.7	14 4.7	179 60.5	25 8.4	8 2.7	10 3.4	2 0.7	8 2.7	3 1.0	6 2.0	241 81.4
不明	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15- 15-
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15- 0.0

＼仕事 年次＼	経営 企画	営業	財務・ 経理	長期 研修	会社 経営	会社 マネ	行政	教育 (大学)	教育(高 校以下)	医療 関係	法律 関係	その他	不明	非該当
全体	31 2.7	18 1.6	0 0.0	1 0.1	25 2.2	3 0.3	58 5.1	23 2.0	3 0.3	1 0.1	0 0.0	30 2.6	29	0
1960	4 1.5	1 0.4	0 0.0	0 0.0	15 5.7	1 0.4	4 1.5	2 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 1.9	1	0
1970	8 2.7	2 0.7	0 0.0	0 0.0	7 2.4	1 0.3	13 4.4	9 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 3.8	6	0
1980	13 4.7	4 1.4	0 0.0	0 0.0	2 0.7	1 0.4	23 8.3	5 1.8	1 0.4	0 0.0	0 0.0	5 1.8	5	0
1985	6 2.0	11 3.7	0 0.0	1 0.3	1 0.3	0 0.0	18 6.1	6 2.0	2 0.7	1 0.3	0 0.0	9 3.0	17	0
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表40 学部卒業時に希望した仕事 (MIT)

\仕事 年次\	合計	基礎 研究	応用 研究	製品 開発	工程 開発	研究 企画	研究開発 小計	設計 (製品)	設計 (工程)	生産管理 (現場)	生産管理 (現場外)	コンピ ュータ プログラ ム	情報シ ステム 作成	技術コン タクト	技術関 連小計
全体	869 100.0	81 7.0	182 18.6	106 12.2	52 6.0	23 2.6	402 46.3	95 11.0	30 3.4	26 3.0	6 0.7	61 7.0	5 0.8	28 3.2	654 75.2
1960	160 100.0	10 6.4	40 25.2	29 18.0	6 3.4	9 5.3	94 58.4	16 10.0	10 5.9	4 2.5	2 1.3	2 1.3	0 0.0	2 0.9	129 80.3
1970	159 100.0	8 4.7	35 21.7	16 9.7	7 4.4	3 1.9	68 42.5	18 11.3	2 1.3	3 1.9	2 1.3	12 7.5	1 0.6	8 5.0	114 71.4
1980	257 100.0	20 7.7	30 11.7	35 13.6	22 8.6	8 3.1	115 44.7	21 8.0	10 3.8	12 4.5	2 0.9	22 8.4	4 1.6	12 4.8	197 78.8
1985	292 100.0	23 7.9	57 19.4	25 8.7	17 5.9	3 1.0	125 42.9	41 14.0	9 2.9	8 2.8	0 0.0	26 8.7	0 0.1	6 2.1	214 73.3

\仕事 年次\	経営 企画	営業	財務・ 経理	長期 研修	会社 経営	会社 マネ	行政	教育 (大学)	教育(高 校以下)	医療 関係	法律 関係	その他
全体	21 2.4	8 0.9	8 0.9	3 0.3	24 2.8	32 3.6	12 1.4	25 2.9	8 0.9	18 2.1	20 2.3	37 4.3
1960	0 0.0	2 1.3	0 0.0	0 0.0	5 3.1	9 5.3	1 0.6	4 2.5	2 0.9	1 0.3	3 1.9	6 3.8
1970	5 3.1	1 0.3	3 1.9	0 0.0	5 3.1	6 3.5	3 1.9	10 6.0	4 2.5	0 0.0	4 2.5	6 3.8
1980	9 3.3	2 0.8	2 0.6	1 0.4	10 3.9	7 2.7	4 1.6	4 1.7	0 0.0	8 3.0	5 1.9	9 3.5
1985	8 2.6	3 1.0	4 1.2	2 0.7	4 1.4	11 3.8	4 1.4	8 2.6	2 0.7	10 3.4	8 2.7	16 5.5

(注)東大・東工大は単数回答、MITは複数回答のため、MITは補正を行った。

表41 現在希望の仕事の選択理由（東大，東工大）

理由 卒業年次	合計	面白い	創造的	よい 経験	給料が よい	昇進し やすい	学ぶ事 生かす	労働条 件よい	職場立 地よい	社会 貢献	結果が 見える	人と関 われる	独立 できる	その他	不明	非該当
全体	1131 100.0	883 58.6	807 53.7	181 18.0	44 3.9	24 2.1	132 11.7	48 4.1	48 4.1	311 27.5	350 30.9	218 19.3	213 18.8	55 4.9	31	0
1960	263 100.0	152 57.8	125 47.5	30 11.4	10 3.8	2 0.8	19 7.2	7 2.7	10 3.8	95 38.1	79 30.0	58 21.3	89 28.2	23 8.7	2	0
1970	282 100.0	162 55.5	154 52.7	31 10.6	13 4.5	11 3.8	29 9.9	9 3.1	14 4.8	79 27.1	103 35.3	81 20.9	54 18.5	14 4.8	7	0
1980	276 100.0	168 80.4	151 54.9	65 20.0	14 5.1	8 2.2	35 12.7	14 5.1	13 4.7	78 27.8	81 29.5	49 17.8	47 17.1	8 2.8	7	0
1985	298 100.0	182 81.1	175 58.7	65 21.8	7 2.3	5 1.7	49 16.4	16 5.4	9 3.0	81 20.5	88 28.9	52 17.4	42 14.1	10 3.4	15	0
不明	3 100.0	1 33.3	2 88.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注) 3つ以内の複数選択

表42 現在希望の仕事の選択理由（MIT）

理由 卒業年次	合計	面白い	創造的	よい 経験	給料が よい	昇進し やすい	学ぶ事 生かす	労働条 件よい	職場立 地よい	社会 貢献	結果が 見える	人と関 われる	独立 できる	その他	不明	非該当
全体	908 100.0	876 74.8	328 38.0	82 8.8	281 31.0	102 11.3	83 9.2	135 14.9	47 5.2	190 21.0	217 24.0	139 15.3	214 23.8	45 5.0	19	0
1960	172 100.0	132 78.7	88 39.5	0 0.0	51 29.7	10 5.8	17 9.9	20 11.8	15 8.7	33 19.2	42 24.4	22 12.8	42 24.4	10 5.8	3	0
1970	165 100.0	120 72.7	70 42.4	1 0.8	68 41.2	15 9.1	15 9.1	19 11.5	8 3.8	38 21.8	40 24.2	18 10.9	49 29.7	5 3.0	3	0
1980	289 100.0	208 77.3	88 32.0	29 8.8	85 31.8	31 11.5	26 9.7	46 18.7	10 3.7	57 21.2	85 24.2	46 16.7	60 22.3	14 5.2	8	0
1985	299 100.0	215 71.9	101 33.8	38 12.7	78 25.4	48 15.4	25 8.4	51 17.1	18 5.4	84 21.4	70 23.4	54 18.1	83 21.1	16 5.4	5	0
不明	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注) 3つ以内の複数選択

表43 性別現在希望する仕事の選択理由（東大，東工大）

理由 卒業年次	合計	面白い	創造的	よい 経験	給料が よい	昇進し やすい	学ぶ事 生かす	労働条 件よい	職場立 地よい	社会 貢献	結果が 見える	人と関 われる	独立 できる	その他	不明	非該当
全体	1131 100.0	883 58.8	807 53.7	181 18.0	44 3.9	24 2.1	132 11.7	48 4.1	48 4.1	311 27.5	350 30.9	218 19.3	213 18.8	55 4.9	31	0
男	1123 100.0	858 58.8	805 53.9	181 18.1	44 3.9	24 2.1	130 11.8	44 3.9	48 4.1	310 27.8	347 30.9	218 19.2	210 18.7	53 4.7	29	0
女	5 100.0	3 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2	0
不明	3 100.0	2 86.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)3つ以内の複数選択

表44 性別現在希望する仕事の選択理由（MIT）

理由 卒業年次	合計	面白い	創造的	よい 経験	給料が よい	昇進し やすい	学ぶ事 生かす	労働条 件よい	職場立 地よい	社会 貢献	結果が 見える	人と関 われる	独立 できる	その他	不明	非該当
全体	908 100.0	878 74.8	328 36.0	82 8.8	281 31.0	102 11.3	83 9.2	135 14.9	47 5.2	190 21.0	217 24.0	139 15.3	214 23.6	45 5.0	19	0
男	791 100.0	591 74.7	300 37.9	53 6.7	283 33.2	87 11.0	72 9.1	108 13.4	39 4.9	181 20.4	195 24.7	105 13.3	187 23.8	37 4.7	18	0
女	114 100.0	84 73.7	28 22.8	9 7.9	18 15.8	15 13.2	11 9.8	28 24.8	8 7.0	29 25.4	22 19.3	34 29.8	28 22.8	8 7.0	3	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)3つ以内の複数選択

表45 現在の仕事に対する希望度（東大，東工大）

希望度 卒業年次	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	1137 100.0	194 17.1	660 58.0	194 17.1	89 7.8	25	0
1980	281 100.0	47 18.0	128 48.3	80 23.0	28 10.7	4	0
1970	294 100.0	47 18.0	188 83.3	45 15.3	18 5.4	5	0
1980	279 100.0	51 18.3	187 59.9	42 15.1	19 6.8	3	0
1985	300 100.0	48 18.0	180 80.0	48 15.3	28 8.7	13	0
不明	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表46 現在の仕事への希望程度（MIT）

希望度 卒業年次	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	913 100.0	550 80.2	307 33.8	29 3.2	27 3.0	12	0
1980	174 100.0	113 84.9	51 29.3	8 3.4	4 2.3	1	0
1970	184 100.0	101 61.8	53 32.3	5 3.0	5 3.0	4	0
1980	274 100.0	155 56.6	100 36.5	8 2.9	11 4.0	3	0
1985	300 100.0	180 80.0	103 34.3	10 3.3	7 2.3	4	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表47 学科別現在の仕事に対する希望度（東大，東工大）

希望度 学科	合計	大変 希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	1137 100.0	194 17.1	660 58.0	194 17.1	89 7.8	25	0
金属工学	80 100.0	9 15.0	31 51.7	13 21.7	7 11.7	0	0
金属材料	20 100.0	3 15.0	10 50.0	4 20.0	3 15.0	1	0
無機材料	21 100.0	2 9.5	13 81.9	5 23.8	1 4.8	0	0
有機材料	21 100.0	4 19.0	12 57.1	4 19.0	1 4.8	0	0
材料・金属 工学系小計	122 100.0	18 14.8	68 54.1	28 21.3	12 9.8	1	0
高分子工学	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0	0
化学工学	87 100.0	10 14.9	44 85.7	9 13.4	4 8.0	1	0
工業化学	32 100.0	2 8.3	20 82.5	8 25.0	2 8.3	0	0
合成化学	13 100.0	3 23.1	8 81.5	1 7.7	1 7.7	0	0
反応化学	17 100.0	3 17.8	12 70.8	2 11.8	0 0.0	1	0
化学工学系 小計	132 100.0	19 14.4	85 84.4	21 15.9	7 5.3	2	0
機械工学	195 100.0	23 17.0	78 58.3	20 14.8	18 11.9	2	0
生産機械 工学	20 100.0	2 10.0	11 55.0	5 25.0	2 10.0	0	0
産業機械 工学	21 100.0	2 9.5	10 47.8	9 42.9	0 0.0	0	0
船用機械 工学	18 100.0	0 0.0	18 88.9	1 5.8	1 5.8	2	0
精密機械 工学	39 100.0	5 12.8	27 89.2	8 15.4	1 2.8	0	0
機械物理 工学	20 100.0	3 15.0	12 80.0	3 15.0	2 10.0	0	0
機械工学系 小計	253 100.0	35 13.8	152 80.1	44 17.4	22 8.7	4	0
電気電子 工学	132 100.0	19 14.4	80 80.8	23 17.4	10 7.8	2	0
電子物理 工学	15 100.0	3 20.0	8 53.3	4 28.7	0 0.0	0	0
情報工学	14 100.0	3 21.4	8 57.1	2 14.3	1 7.1	0	0
物理工学	23 100.0	8 34.8	10 43.5	4 17.4	1 4.3	2	0
計数工学	38 100.0	9 25.0	21 58.3	4 11.1	2 5.8	1	0
制御工学	38 100.0	9 23.7	23 80.5	4 10.5	2 5.3	0	0
電気工学系 小計	258 100.0	51 19.8	150 58.1	41 15.9	18 8.2	5	0
船舶海洋 工学	47 100.0	4 8.5	31 88.0	10 21.3	2 4.3	1	0
航空工学	33 100.0	7 21.2	18 54.5	7 21.2	1 3.0	2	0
原子力工学	28 100.0	3 11.5	18 81.5	4 15.4	3 11.5	3	0
資源開発 工学	20 100.0	8 30.0	7 35.0	6 30.0	1 5.0	0	0
土木工学	83 100.0	12 14.5	50 80.2	13 15.7	8 9.8	0	0
建築学	82 100.0	24 29.3	40 48.8	10 12.2	8 9.8	5	0
土木工学系 小計	185 100.0	42 22.7	97 52.4	29 15.7	17 9.2	5	0
社会工学	35 100.0	4 11.4	23 65.7	5 14.3	3 8.8	1	0
都市工学	33 100.0	10 30.3	18 48.5	4 12.1	3 9.1	1	0
経営工学	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他系 小計	89 100.0	14 20.3	40 58.0	9 13.0	8 8.7	2	0
その他	12 100.0	1 8.3	5 41.7	3 25.0	3 25.0	0	0
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表4B 学科別現在の仕事への希望度 (MIT)

希望度 学科	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	913 100.0	550 80.2	307 33.6	29 3.2	27 3.0	12	0
航空・ 宇宙工学	105 100.0	74 70.5	22 21.0	4 3.8	5 4.8	2	0
化学工学	157 100.0	90 57.3	58 36.9	2 1.3	7 4.5	4	0
土木工学	49 100.0	24 49.0	18 36.7	4 8.2	3 6.1	2	0
電気工学・ コンピュータ	353 100.0	218 81.2	118 33.4	13 3.7	8 1.7	3	0
材料・金属 工学	60 100.0	28 58.0	19 38.0	2 4.0	1 2.0	1	0
機械工学	168 100.0	100 80.2	58 34.9	4 2.4	4 2.4	0	0
原子力工学	8 100.0	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0	0
海洋工学	15 100.0	8 40.0	8 53.3	0 0.0	1 6.7	0	0
その他	10 100.0	6 50.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0	0
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表49 組織種類別現在の仕事に対する希望度（東大，東工大）

希望度 組織種類	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	1137	194	660	194	89	25	0
行政機関	83	10	40	8	5	2	0
国公立試験 研究機関	29	5	17	7	0	1	0
大学	86	22	54	4	8	0	0
公益法人	13	3	5	2	3	0	0
公共関連 小計	191	40	116	21	14	3	0
コンピューター並 付属機器	107	24	59	17	7	1	0
家電製品	24	2	14	8	2	0	0
上記以外 電気機械	88	17	47	15	9	0	0
非電気機械	72	9	49	9	5	0	0
自動車並 関連機器	50	3	35	8	4	1	0
航空・宇宙 関連産業	5	2	2	1	0	0	0
その他 輸送機器	20	2	13	4	1	0	0
金属素材・ 金属製品	96	12	54	18	12	1	0
非鉄金属	30	2	20	5	3	0	0
食品工業	7	0	4	1	2	0	0
化学製品	112	13	66	28	5	1	0
医療品	2	2	0	0	0	0	0
防衛関連 産業	0	0	0	0	0	0	0
その他 製造業	35	6	20	7	2	1	0
製造業小計	848	94	383	119	52	5	0

希望度 組織種類	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
鉱業	8	2	3	3	0	0	0
建設業	78	20	43	10	5	1	0
通信業	28	3	14	8	1	0	0
公共関連 事業	49	5	27	11	8	0	0
運輸業	18	2	10	3	1	0	0
金融・保険 (証券含む)	12	3	7	2	0	0	0
不動産業	8	2	4	2	0	0	0
コンピュータ 情報処理	18	3	10	2	1	0	0
技術 コンサルタント	19	6	8	3	2	1	0
経営 コンサルタント	4	2	2	0	0	0	0
医療	2	0	1	1	0	0	0
法律	1	0	0	0	1	0	0
その他	49	11	27	7	4	0	0
非製造業 小計	288	59	158	52	21	2	0
不明	10	1	5	2	2	15	0
非該当	0	0	0	0	0	0	0

表50 組織種類別現在の仕事に対する希望度 (MIT)

希望度 組織種類	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	913 100.0	550 60.2	307 33.8	29 3.2	27 3.0	12	0
行政機関	29 100.0	18 55.2	11 37.9	1 3.4	1 3.4	0	0
国公立試験 研究機関	59 100.0	32 54.2	26 44.1	1 1.7	0 0.0	0	0
大学(教育, 研究)	56 100.0	42 75.0	13 23.2	0 0.0	1 1.8	2	0
大学(研究)	8 100.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0	0
その他 公益法人	13 100.0	8 61.5	3 23.1	0 0.0	2 15.4	0	0
軍事・ヒス	19 100.0	10 52.8	5 26.3	4 21.1	0 0.0	0	0
公共関連 小計	176 100.0	110 82.5	57 32.4	5 2.8	4 2.3	2	0
コンピューター並 付属機器	111 100.0	89 82.2	39 35.1	2 1.8	1 0.9	0	0
家電製品	8 100.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0	0
上記以外 電気機械	37 100.0	23 82.2	12 32.4	2 5.4	0 0.0	0	0
非電気機械	9 100.0	5 55.8	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0	0
自動車並び 関連機器	10 100.0	7 70.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0	0
航空・宇宙 関連産業	82 100.0	39 82.9	23 37.1	0 0.0	0 0.0	0	0
その他 輸送機器	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金属素材・ 金属製品	3 100.0	0 0.0	2 88.7	1 33.3	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	5 100.0	2 40.0	3 80.0	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	48 100.0	22 45.8	24 50.0	1 2.1	1 2.1	0	0
医薬品	15 100.0	9 80.0	4 28.7	1 8.7	1 8.7	0	0
その他 製造業	52 100.0	25 48.1	22 42.3	4 7.7	1 1.9	0	0
製造業 小計	355 100.0	208 58.6	129 38.3	13 3.7	5 1.4	0	0

希望度 組織種類	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
建設業	10 100.0	6 80.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0	0
通信業	18 100.0	9 58.3	5 31.3	1 8.3	1 8.3	0	0
公共関連 事業	10 100.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0	0
運輸業	10 100.0	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金融・保険	30 100.0	15 50.0	12 40.0	0 0.0	3 10.0	0	0
不動産業	6 100.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0	0
コンピューター ・ヒス	77 100.0	49 63.8	20 26.0	2 2.6	6 7.8	0	0
技術 コンサルタント	58 100.0	35 80.3	20 34.5	2 3.4	1 1.7	1	0
経営 コンサルタント	25 100.0	18 84.0	8 32.0	0 0.0	1 4.0	0	0
医療	27 100.0	21 77.8	5 18.5	0 0.0	1 3.7	0	0
法律	30 100.0	18 53.3	14 46.7	0 0.0	0 0.0	0	0
その他 非製造業	31 100.0	19 81.3	8 25.8	3 9.7	1 3.2	0	0
非製造業 小計	315 100.0	191 80.8	102 32.4	9 2.9	13 4.1	1	0
合計(防衛 関連除く)	821 100.0	494 60.2	280 34.1	27 3.3	20 2.4	3	0
防衛に 関わるもの	123 100.0	70 58.9	48 39.0	3 2.4	2 1.8	0	0
不明	92 100.0	58 80.9	27 29.3	2 2.2	7 7.8	9	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)MITは組織種類について複数選択可能となっている。

表51 仕事種類別現在の仕事に対する希望度（東大、東工大）

希望度 仕事種類	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	1137 100.0	194 17.1	680 58.0	194 17.1	89 7.8	25	0
基礎研究	70 100.0	17 24.3	42 60.0	10 14.3	1 1.4	1	0
応用研究	117 100.0	21 17.9	72 61.5	20 17.1	4 3.4	0	0
製品開発	107 100.0	17 15.9	58 54.2	25 23.4	7 6.5	0	0
工程・ソフト 開発	37 100.0	4 10.8	23 62.2	8 18.2	4 10.8	0	0
研究開発 企画・管理	72 100.0	10 13.9	43 59.7	12 16.7	7 9.7	1	0
設計(製品)	88 100.0	19 22.1	52 60.5	8 9.3	7 8.1	1	0
設計(工程 ・ソフト)	34 100.0	3 8.8	22 64.7	4 11.8	5 14.7	0	0
生産管理 (現場)	78 100.0	10 12.8	47 60.3	15 19.2	6 7.7	1	0
生産管理 (現場外)	58 100.0	9 15.5	28 48.3	17 29.3	4 6.9	0	0
コンピュータ プログラム作成	40 100.0	5 12.5	24 60.0	8 20.0	3 7.5	0	0
インフォメーション システム作成	21 100.0	3 14.3	11 52.4	4 19.0	3 14.3	0	0
技術 コンサルティング	45 100.0	7 15.6	29 64.4	7 15.6	2 4.4	1	0
技術関連 小計	765 100.0	125 16.3	451 59.0	138 17.8	53 6.9	5	0
経営関連 調査・企画	63 100.0	11 20.8	27 50.9	9 17.0	6 11.3	1	0
営業・マーケ ティング	44 100.0	8 13.8	27 61.4	7 15.9	4 9.1	0	0
財務・経理	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0	0
長期研修	8 100.0	0 0.0	5 62.5	0 0.0	1 12.5	1	0
会社経営	58 100.0	15 25.9	30 51.7	10 17.2	3 5.2	1	0
会社オーナー	5 100	4 80	1 20	0 0	0 0	0	0
行政事務・ 政策策定	58 100.0	9 15.5	38 62.1	9 15.5	4 6.9	0	0
教育(大学)	84 100.0	15 23.4	40 82.5	3 4.7	6 9.4	0	0
教育 (高校以下)	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0

希望度 仕事種類	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
医療関係	2 10.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0	0
法律関係	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0	0
その他	64 100.0	9 14.1	30 46.9	18 25.0	9 14.1	0	0
非技術関連 小計	382 100.0	69 19.1	202 55.8	57 15.7	34 9.4	3	0
不明	10 100.0	0 0.0	7 70.0	1 10.0	2 20.0	17	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表52 仕事種類別現在の仕事に対する希望度 (MIT)

希望度 仕事種類	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	913 100.0	550 60.2	307 33.8	29 3.2	27 3.0	12	0
基礎研究	38 100.0	29 80.8	7 19.4	0 0.0	0 0.0	0	0
応用研究	57 100.0	38 88.7	19 33.3	0 0.0	0 0.0	2	0
製品開発	71 100.0	47 88.2	22 31.0	2 2.8	0 0.0	1	0
工程・プロ セス開発	32 100.0	16 50.0	18 50.0	0 0.0	0 0.0	1	0
研究開発 企画・管理	45 100.0	28 57.8	18 40.0	1 2.2	0 0.0	1	0
製品設計	43 100.0	27 82.8	13 30.2	2 4.7	1 2.3	0	0
工程・プロ セス設計	18 100.0	8 50.0	8 50.0	0 0.0	0 0.0	1	0
生産管理 (現場)	27 100.0	18 59.3	10 37.0	1 3.7	0 0.0	0	0
生産管理 (現場外)	17 100.0	13 78.5	3 17.8	1 5.9	0 0.0	0	0
コンピ ュータ ソフト	100 100.0	68 88.0	29 29.0	1 1.0	4 4.0	0	0
情報システム 作成	18 100.0	5 31.3	9 58.3	1 6.3	1 6.3	0	0
技術 コンサルティング	51 100.0	31 80.8	20 39.2	0 0.0	0 0.0	0	0
技術関連 小計	448 100.0	275 81.7	158 35.0	9 2.0	8 1.3	8	0
経営関連 調査・企画	37 100.0	20 54.1	15 40.5	1 2.7	1 2.7	1	0
営業・ マーケティング	47 100.0	19 40.4	24 51.1	3 8.4	1 2.1	1	0
財務・経理	27 100.0	12 44.4	11 40.7	0 0.0	4 14.8	0	0
長期研修	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
会社経営	48 100.0	32 89.8	13 28.3	1 2.2	0 0.0	0	0
会社内 ワーク	83 100.0	46 73.0	14 22.2	0 0.0	3 4.8	0	0
行政事務・ 政策策定	10 100.0	9 90.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0	0
教育(大学)	31 100.0	25 80.8	8 19.4	0 0.0	0 0.0	0	0
教育 (高校以下)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

希望度 仕事種類	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
医療関係	27 100.0	20 74.1	4 14.8	0 0.0	3 11.1	0	0
法律関係	34 100.0	15 44.1	17 50.0	0 0.0	2 6.9	1	0
その他	86 100.0	36 54.5	20 30.3	8 12.1	2 3.0	1	0
非技術関連 小計	378 100.0	224 59.8	122 32.4	13 3.5	17 4.5	4	0
不明	78 100.0	50 84.1	18 23.1	6 7.7	4 5.1	2	0
非該当	51 100.0	31 80.8	19 37.3	1 2.0	0 0.0	0	0

(注)MITは仕事種類について複数選択が可能となっている。

表53 学位別現在の仕事に対する希望度（東大，東工大）

希望度 学位	合計	大変 希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	1137 100.0	194 17.1	880 68.0	194 17.1	89 7.8	25	0
学士	575 100.0	88 15.0	333 57.9	111 19.3	45 7.8	8	0
修士(学部 時代学科)	275 100.0	50 18.2	188 81.1	37 13.5	20 7.3	10	0
修士(学部 時代外理工)	84 100.0	14 21.9	32 50.0	9 14.1	9 14.1	1	0
MBA	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
MBA以外 文科系学科	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	2	0
修士 小計	349 100.0	64 18.3	208 59.6	48 13.8	29 8.3	13	0
博士(学部 時代学科)	138 100.0	30 22.1	81 59.6	18 11.8	9 8.8	3	0
博士(学部 時代外理工)	21 100.0	5 23.8	12 57.1	4 19.0	0 0.0	0	0
博士 (経営学)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
経営学以外 文科系学科	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
医学	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0	0
博士小計	161 100.0	36 22.4	95 59.0	20 12.4	10 6.2	3	0
不明	52 100.0	8 15.4	24 48.2	15 28.8	5 9.8	3	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)学士：修士及び博士をもっていない，学士のみもっている人

(注2)修士：博士をもっていない，修士のみもっている人

(注3)博士：博士をもっている人

表54 学位別現在の仕事に対する希望度（MIT）

希望度 学位	合計	大変 希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	913 100.0	550 60.2	307 33.8	29 3.2	27 3.0	12	0
学士	258 100.0	159 61.8	81 31.4	11 4.3	7 2.7	1	0
修士(学部 の学科)	231 100.0	130 58.3	87 37.7	8 2.8	8 3.5	4	0
修士(学部 以外理工)	41 100.0	21 51.2	17 41.5	3 7.3	0 0.0	0	0
MBA	130 100.0	78 58.5	44 33.8	5 3.8	5 3.8	1	0
その他	13 100.0	8 48.2	5 38.5	1 7.7	1 7.7	0	0
修士小計	416 100.0	233 58.1	153 38.9	15 3.8	14 3.4	5	0
博士(学部 の学科)	106 100.0	76 71.7	29 27.4	0 0.0	1 0.9	3	0
博士(学部 以外理工)	45 100.0	29 64.4	14 31.1	1 2.2	1 2.2	1	0
博士(文科 系学科)	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0	0
経営学博士 DBA	7 100.0	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0	0
医学博士	30 100.0	20 88.7	7 23.3	0 0.0	3 10.0	1	0
法学	32 100.0	15 48.9	18 50.0	0 0.0	1 3.1	1	0
その他	3 100.0	2 88.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0	0
博士小計	227 100.0	151 66.5	89 30.4	1 0.4	6 2.8	6	0
不明	13 100.0	7 53.8	4 30.8	2 15.4	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)学士：修士及び博士をもっていない，学士のみもっている人

(注2)修士：博士をもっていない，修士のみもっている人

(注3)博士：博士をもっている人

表55 職業目標別現在の仕事に対する希望度（東大，東工大）

希望度 職業目標	合計	大変 希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	1137 100.0	194 17.1	660 58.0	194 17.1	89 7.8	25	0
高い収入を 得る	297 100.0	40 13.5	174 58.8	64 21.6	19 8.4	1	0
良い家庭を 築く	154 100.0	20 13.0	88 57.1	32 20.8	14 9.1	1	0
安定した生 活を送る	389 100.0	50 12.9	226 58.1	78 20.1	35 9.0	4	0
名声を得る	76 100.0	12 15.8	52 88.4	10 13.2	2 2.8	1	0
世の中の ためになる	509 100.0	100 19.6	287 56.4	81 15.9	41 8.1	4	0
事業拡大	67 100.0	17 25.4	38 53.7	12 17.9	2 3.0	1	0
社会的影響 力をもつ	229 100.0	52 22.7	134 58.5	27 11.8	18 7.0	2	0
人格形成	182 100.0	33 18.1	107 58.8	25 13.7	17 9.3	3	0
仕事を楽し む	568 100.0	107 18.8	331 58.3	90 15.8	40 7.0	2	0
余暇活動を 楽しむ	118 100.0	22 18.8	83 53.4	24 20.3	9 7.6	2	0
仕事と家庭 バランスとる	409 100.0	60 14.7	247 60.4	64 15.6	38 9.3	3	0
その他	43 100.0	11 25.8	20 48.5	5 11.8	7 16.3	1	0
特にな い	10 100.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0	0	0
不明	7 100.0	0 0.0	6 85.7	0 0.0	1 14.3	15	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)職業目標とは仕事の最終目標のことである

表56 職業目標別現在の仕事に対する希望度（MIT）

希望度 最終目標	合計	大変 希望	希望	選択肢な い	その他	不明	非該当
全体	913 100.0	550 60.2	307 33.8	29 3.2	27 3.0	12	0
高い収入を 得る	325 100.0	194 59.7	112 34.5	11 3.4	8 2.5	3	0
良い家庭を 築く	338 100.0	209 60.4	117 34.8	10 3.0	6 1.8	2	0
安定した生 活を送る	179 100.0	105 58.7	64 35.8	5 2.8	5 2.8	0	0
名声を得る	108 100.0	72 87.9	28 24.5	3 2.8	5 4.7	3	0
世の中の ためになる	155 100.0	102 65.8	43 27.7	4 2.6	8 3.9	3	0
事業拡大	158 100.0	98 62.0	52 32.9	4 2.5	4 2.5	0	0
社会的影響 力をもつ	148 100.0	98 64.9	40 27.0	3 2.0	9 6.1	4	0
人格形成	192 100.0	123 64.1	60 31.3	4 2.1	5 2.8	2	0
仕事を楽し む	509 100.0	303 59.5	180 35.4	11 2.2	15 2.9	7	0
余暇活動を 楽しむ	111 100.0	59 53.2	42 37.8	4 3.8	6 5.4	0	0
仕事と家庭 バランスとる	281 100.0	150 57.5	98 38.8	8 2.3	9 3.4	4	0
その他	12 100.0	8 50.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	0	0
特にな い	10 100.0	2 20.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0	0	0
不明	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	2	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)職業目標とは仕事の最終目標のことである

表57 望んでいるキャリア別現在の仕事に対する希望度（東大，東工大）

希望度 キャリア別	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	1137 100.0	194 17.1	680 58.0	194 17.1	89 7.8	25	0
既存企業で 出世	448 100.0	70 15.8	287 64.1	83 14.1	28 6.3	4	0
会社設立	118 100.0	26 22.4	55 47.4	26 22.4	9 7.8	1	0
大学教授	123 123.0	31 31.0	88 88.0	18 18.0	8 8.0	1	0
独立技術者	290 100.0	48 15.9	188 57.2	51 17.8	27 9.3	3	0
その他	50 100.0	13 26.0	20 40.0	7 14.0	10 20.0	0	0
待らない	88 100.0	7 8.0	49 55.7	28 31.8	4 4.5	0	0
不明	22 100.0	1 4.5	15 88.2	3 13.6	3 13.6	18	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表58 望んでいるキャリア別現在の仕事に対する希望度（MIT）

希望度 キャリア別	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	913 100.0	550 60.2	307 33.8	29 3.2	27 3.0	12	0
既存企業で 出世	198 100.0	118 58.8	72 38.4	5 2.5	5 2.5	0	0
会社設立	230 100.0	150 65.2	87 29.1	8 3.5	5 2.2	1	0
大学で教育 研究	116 100.0	78 88.1	38 31.3	2 1.7	1 0.9	4	0
独立技術者	194 100.0	113 58.2	65 33.5	8 4.1	8 4.1	3	0
その他	89 100.0	40 58.0	19 27.5	3 4.3	7 10.1	3	0
待らない	82 100.0	42 51.2	38 46.3	1 1.2	1 1.2	1	0
不明	25 100.0	13 52.0	10 40.0	2 8.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表59 性別現在の仕事に対する希望度（東大，東工大）

希望度 性別	合計	大変希望	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	1137 100.0	194 17.1	680 58.0	194 17.1	89 7.8	25	0
男	1130 100.0	194 17.2	654 57.9	193 17.1	89 7.8	22	0
女	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	3	0
不明	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表60 性別現在の仕事に対する希望度（MIT）

希望度 性別	合計	大変希	希望	選択肢 なし	その他	不明	非該当
全体	913 100.0	550 60.2	307 33.8	29 3.2	27 3.0	12	0
男	797 100.0	488 61.0	259 32.5	27 3.4	25 3.1	10	0
女	116 100.0	83 54.8	48 41.7	2 1.7	2 1.7	2	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0



表82 現在組織選択理由 (MIT)

選択理由 卒業年次	合計	面白い	創造的	よい経験 になる	給料が よい	昇進し やすい	学んだ事 生かせる	労働条件 がよい	職場立地 がよい	社会貢献	仕事が見える	人と関 われる	独立 できる
全体	755 100.0	427 58.8	121 16.0	175 23.2	109 14.4	88 11.7	87 11.5	73 9.7	211 27.9	60 8.8	48 8.4	27 3.8	27 3.8
1960	124 100.0	82 86.1	23 18.5	17 13.7	21 16.9	16 12.9	15 12.1	9 7.3	29 23.4	10 8.1	8 8.5	5 4.0	8 4.8
1970	128 100.0	85 50.8	28 21.9	27 21.1	19 14.8	14 10.9	15 11.7	11 8.8	41 32.0	10 7.8	7 5.5	1 0.8	7 5.5
1980	244 100.0	137 56.1	36 14.8	57 23.4	33 13.5	33 13.5	32 13.1	23 9.4	77 31.8	14 5.7	15 6.1	7 2.9	5 2.0
1985	258 100.0	142 55.0	34 13.2	74 28.7	38 14.0	25 9.7	25 9.7	30 11.6	83 24.4	18 8.2	17 6.8	14 5.4	9 3.5
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

理由 卒業年次	経営姿勢 が好き	処遇が よい	技術先端 を走る	安定性 がある	組織が 有名	教授に 勧められ	能力向上 に適す	人材育成 環境あり	選択余地 なし	その他	不明	非該当
全体	97 12.8	37 4.9	112 14.8	44 5.8	70 9.3	9 1.2	28 3.7	69 9.1	58 7.7	84 8.5	28	142
1960	10 8.1	3 2.4	21 16.9	10 8.1	10 8.1	2 1.8	3 2.4	10 8.1	10 8.1	2 1.8	2	49
1970	14 10.9	10 7.8	17 13.3	9 7.0	13 10.2	2 1.6	0 0.0	14 10.9	11 8.6	8 8.3	4	38
1980	40 16.4	12 4.9	36 14.8	12 4.9	24 9.8	2 0.8	8 3.3	27 11.1	18 8.6	27 11.1	6	27
1985	33 12.8	12 4.7	38 14.7	13 5.0	23 8.9	3 1.2	17 6.8	18 7.0	21 8.1	27 10.5	18	30
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表8 職業種別別所在職業選択理由(寛大、寛工大)

選択理由	合計	幅広い	創造的	よい経験	給与が高い	昇進しやすい	学ぶ機会が多い	労働環境が良い	職場が立地が良い	社会貢献	仕事が見える	人と関われる	独立できる	昇進が早い	給与が高い	技術が深まる	安定性	職名が有名	教養が豊か	体力向上	人材育成	選択余地なし	その他	不明	非該当
全体	1141	472	274	93	116	27	343	75	191	239	111	75	85	71	53	177	322	55	149	9	55	41	81	21	0
	100.0	41.4	24.0	8.2	10.3	2.4	30.8	6.6	18.7	20.9	9.7	6.6	7.4	6.2	4.8	15.5	28.2	4.8	13.1	0.8	4.8	3.6	7.1		
行政機関	64	35	15	5	0	1	19	8	9	38	3	10	1	1	4	3	8	3	4	0	4	3	2	1	0
	100.0	54.7	23.4	7.8	0.0	1.6	29.7	12.5	14.1	59.4	4.7	15.8	1.8	1.8	8.3	4.7	12.5	4.7	8.3	0.0	8.3	4.7	3.1		
国立試験 研究機関	30	9	7	4	0	0	10	2	8	7	1	0	2	0	0	8	8	1	3	0	3	4	2	0	0
	100.0	30.0	23.3	13.3	0.0	0.0	33.3	6.7	26.7	23.3	3.3	0.0	6.7	0.0	26.7	29.0	3.3	10.0	0.0	10.0	13.3	8.7			
大学	88	38	44	6	1	2	17	8	2	25	14	3	32	1	0	4	2	2	28	0	5	4	3	0	0
	100.0	41.9	51.2	6.8	1.2	2.3	19.6	9.0	2.3	29.1	16.3	3.5	37.2	1.2	0.0	4.7	2.3	2.3	30.2	0.0	5.6	4.7	3.5		
公益法人	13	4	3	2	0	0	4	0	0	8	2	1	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0
	100.0	30.8	23.1	15.4	0.0	0.0	30.8	0.0	0.0	48.2	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8		
公共機関 小計	193	84	69	18	1	3	50	18	19	76	20	14	38	2	5	15	20	8	33	0	12	11	11	1	0
	100.0	43.5	35.8	9.3	0.5	1.8	25.3	9.3	9.8	39.4	10.4	7.3	18.7	1.0	2.8	7.8	10.4	4.1	17.1	0.0	6.2	5.7	5.7		
コンビニ+並 付店舗	107	67	32	10	9	1	25	8	17	10	7	5	0	12	7	41	38	8	11	1	3	1	3	1	0
	100.0	53.3	29.9	9.3	8.4	0.9	23.4	7.5	15.9	9.3	6.5	4.7	0.0	11.2	6.5	38.3	33.8	5.8	10.3	0.9	2.8	0.9	2.8		
家電製品	24	12	8	2	3	0	8	4	4	5	1	2	0	4	0	5	5	1	5	1	2	0	0	0	0
	100.0	50.0	33.3	8.3	12.5	0.0	25.0	16.7	16.7	20.8	4.2	8.3	0.0	16.7	0.0	20.8	20.8	4.2	20.8	4.2	2.8	0.0	0.0		
上記以外 電気関係	87	42	19	11	8	1	24	8	21	11	2	5	4	8	3	18	27	3	10	0	4	3	3	1	0
	100.0	48.3	21.8	12.6	9.2	1.1	27.6	9.2	24.1	12.6	2.3	5.7	4.8	9.2	3.4	18.4	31.0	3.4	11.5	0.0	4.8	3.4	3.4		
非電気関係	72	28	14	6	3	0	28	3	17	12	7	4	1	8	8	15	18	6	12	1	1	4	10	0	0
	100.0	38.9	19.4	8.3	4.2	0.0	38.9	4.2	23.8	16.7	9.7	5.8	1.4	8.3	11.1	20.9	25.0	8.3	12.7	1.4	1.4	5.8	13.9		
自動車正 副運転席	51	24	10	8	2	0	12	3	17	5	3	1	0	2	9	18	8	2	1	3	1	4	4	0	0
	100.0	47.1	19.6	11.8	3.9	0.0	23.5	5.9	33.3	9.8	5.9	2.0	2.0	11.8	3.9	17.6	35.3	11.8	3.9	2.0	5.9	2.0	7.8		
航空・宇宙 関連産業	5	5	1	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他 輸送関係	20	10	4	1	0	1	13	1	4	4	1	1	2	2	4	4	4	1	1	0	1	0	0	0	0
	100.0	50.0	20.0	5.0	0.0	5.0	65.0	5.0	20.0	20.0	5.0	5.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0		
金属素材・ 金属製品	37	23	14	8	2	1	45	1	21	20	8	8	2	4	4	3	39	5	10	0	2	4	9	0	0
	100.0	23.9	14.4	8.2	2.8	1.0	48.4	1.0	21.8	20.8	8.2	8.2	2.1	4.1	4.1	3.3	40.2	5.2	10.3	0.0	2.1	4.1	9.3		
非鉄金属	30	7	1	3	1	3	17	1	7	1	2	1	1	2	2	5	13	1	8	0	0	2	3	0	0
	100.0	23.3	3.3	10.0	3.3	10.0	56.7	3.3	23.3	3.3	6.7	3.3	3.3	6.7	6.7	18.7	43.3	3.3	20.0	0.0	0.0	6.7	10.0		
食品工業	7	2	2	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0	2	4	0	1	0	1	0	0	0	0
	100.0	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	57.1	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0		
化学製品	113	41	18	4	15	1	54	10	14	11	10	3	3	9	5	21	52	9	25	0	8	1	4	0	0
	100.0	36.3	14.2	3.5	13.3	0.8	47.8	8.8	12.4	9.7	8.8	2.7	2.7	8.0	4.4	18.6	46.0	8.0	22.1	0.0	8.0	0.9	7.5		
医薬品	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
訪問介護 産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他 製造業	38	13	7	4	3	2	8	0	7	8	3	1	3	2	2	8	12	2	5	0	4	2	2	0	0
	100.0	38.1	19.4	11.1	8.3	5.8	18.7	0.0	18.4	18.7	8.3	2.8	8.3	5.8	5.8	18.7	33.3	5.8	13.9	0.0	11.1	5.8	5.8		
製造業 小計	851	271	129	62	71	11	231	39	131	87	48	29	18	58	35	138	228	39	90	4	30	18	44	2	0
	100.0	41.8	19.8	8.0	10.3	1.7	35.5	6.0	20.1	13.4	7.1	4.5	2.5	8.3	5.4	20.9	35.0	9.0	13.8	0.8	4.8	2.8	8.9		
紙業	8	4	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0
	100.0	50.0	12.5	0.0	25.0	0.0	67.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0		
建設業	78	25	27	8	8	3	30	3	4	9	22	8	6	3	3	10	13	3	12	1	6	3	4	1	0
	100.0	32.1	34.8	10.3	10.3	3.8	38.5	3.8	5.1	11.5	28.2	7.7	8.4	3.8	3.8	12.8	16.7	3.8	16.4	1.3	8.4	3.8	5.1		
通信業	28	9	9	1	4	4	5	0	3	8	1	0	2	0	3	10	10	3	0	3	1	1	0	0	0
	100.0	34.8	34.8	3.8	15.4	15.4	19.2	0.0	11.5	23.1	3.8	0.0	7.7	0.0	11.5	38.5	38.5	11.5	0.0	11.5	3.8	3.8	0.0		
公共関連 事業	49	8	3	2	8	1	8	6	18	34	4	3	1	0	2	0	30	1	4	0	0	4	0	0	0
	100.0	18.4	8.1	4.1	12.2	2.0	16.3	12.2	36.7	69.4	8.2	8.1	2.0	0.0	4.1	0.0	61.2	2.0	8.2	0.0	0.0	0.0	4.0		
運輸業	18	9	1	1	1	2	5	0	2	8	0	2	0	0	3	1	0	2	0	2	0	1	1	0	0
	100.0	52.3	8.3	8.3	12.5	31.3	0.0	12.5	37.5	0.0	12.5	0.0	18.8	8.3	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	8.3	6.9		
金融・保険 (証券含む)	12	7	0	2	7	0	0	2	2	1	0	3	0	1	0	3	2	0	0	0	1	0	4	0	0
	100.0	58.3	0.0	16.7	58.3	0.0	0.0	16.7	16.7	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	25.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	13.3			
不動産業	8	4	3	0	1	0	2	0	2	2	0	2	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	50.0	37.5	0.0																					

表4 産業種類別現在雇用者数(単位:千人)

産業種類	合計	農林	漁業	建設	製造業	卸売業	小売業	飲食業	宿泊業	運輸業	情報業	金融業	保険業	不動産業	教育業	医療業	福祉業	その他	不明	合計					
全体	755	427	121	175	109	88	87	73	211	50	48	27	27	97	37	112	44	70	9	28	89	58	84	28	142
行政機関	28	20	4	5	2	4	4	6	9	8	2	1	1	3	1	2	2	7	0	0	0	3	1	0	1
国公立機関	57	33	12	8	10	1	10	9	18	8	2	0	1	4	0	10	3	10	0	7	1	5	7	0	2
研究機関	100.0	57.9	21.1	14.0	17.5	1.8	17.5	15.8	31.6	10.5	3.5	0.0	1.6	7.0	0.0	17.5	5.3	17.5	0.0	12.3	1.8	8.8	12.3		
大学(教育、研究)	53	34	14	8	2	2	11	8	12	5	3	2	7	4	0	14	0	12	0	1	3	3	3	1	4
100.0	84.2	28.4	15.1	3.8	3.8	20.8	15.1	22.8	9.4	5.7	3.8	13.2	7.5	0.0	28.4	0.0	22.8	0.0	1.9	5.7	5.7	5.7			
大学(研究)	8	5	3	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	83.3	50.0	18.7	0.0	0.0	0.0	18.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.7	0.0	18.7	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の公益法人	13	7	2	2	0	0	3	1	5	4	0	2	1	2	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0
100.0	53.8	15.4	15.4	0.0	0.0	23.1	7.7	38.5	30.8	0.0	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0			
軍事関係	19	8	0	3	0	0	1	0	0	2	1	3	0	0	0	2	2	1	0	3	0	0	14	0	0
100.0	31.8	0.0	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	10.5	5.3	15.8	0.0	0.0	0.0	10.5	10.5	5.3	0.0	15.8	0.0	0.0	14	0	0	
公共調整	170	102	35	27	14	7	27	25	43	21	7	7	10	14	2	29	8	33	0	12	5	11	22	1	7
100.0	80.0	20.8	15.9	8.2	4.1	15.9	14.7	25.3	12.4	4.1	4.1	5.9	8.2	1.2	17.1	4.7	19.4	0.0	7.1	2.9	5.5	12.3			
コンピューター・ソフトウェア	99	48	19	25	12	12	11	7	22	1	8	4	2	14	9	15	9	9	1	2	20	8	7	0	12
100.0	48.5	19.2	25.3	12.1	12.1	11.1	7.1	22.2	1.0	8.1	4.0	2.0	14.1	9.1	15.2	9.1	9.1	1.0	2.0	20.2	8.1	7.1			
家電製品	8	4	2	1	3	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
100.0	88.7	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	18.7	0.0	18.7	0.0	0.0	18.7	18.7	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	18.7	18.7	0.0	0.0		
上記以外	34	19	8	9	3	3	3	1	14	2	3	1	1	8	3	2	0	1	0	1	8	4	0	0	3
100.0	55.3	23.5	28.5	8.8	8.8	8.8	2.9	41.2	5.9	8.8	2.9	2.9	23.5	8.8	5.9	0.0	2.9	0.0	2.9	23.5	11.8	0.0			
非電気機械	9	8	1	4	1	1	2	2	5	0	1	1	0	1	1	1	2	1	0	1	2	1	0	0	0
100.0	88.7	11.1	44.4	11.1	11.1	22.2	22.2	55.8	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0			
自動車・航空機	10	8	2	5	1	1	2	1	2	1	1	0	0	2	1	2	0	1	0	1	1	1	0	0	0
100.0	80.0	20.0	50.0	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0			
航空・宇宙	80	37	11	10	8	9	11	2	27	4	2	0	0	8	8	13	3	1	2	1	1	3	1	1	1
100.0	81.7	18.3	13.3	15.0	18.3	3.3	45.0	8.7	3.3	0.0	0.0	10.0	10.0	21.7	5.0	1.7	3.3	1.7	1.7	5.0	1.7				
その他	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
金属製材	3	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0		
非鉄金属	3	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	88.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.7	0.0	0.0			
食品工業	4	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1
100.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0		
化学製品	48	27	8	17	11	11	4	4	12	1	4	4	0	3	7	4	4	1	1	0	0	2	4	0	2
100.0	58.7	13.0	23.9	23.9	8.7	8.7	2.2	8.7	8.7	0.0	13.0	15.2	8.7	8.7	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	4.3	8.7				
医薬品	13	10	3	3	0	1	2	3	0	5	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	2	0	2
100.0	78.9	23.1	23.1	0.0	7.7	15.4	23.1	0.0	38.5	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7	15.4			
その他	42	25	5	8	11	7	2	3	11	4	5	0	1	8	0	5	3	2	1	2	8	3	2	0	10
100.0	59.5	11.9	19.0	29.2	18.7	4.8	7.1	28.2	9.5	11.9	0.0	2.4	19.0	0.0	11.9	7.1	4.8	2.4	4.8	14.3	7.1	4.8			
製造業	322	184	58	79	51	45	37	23	93	17	28	11	5	48	27	42	22	15	5	8	43	23	17	1	32
100.0	57.1	18.0	24.5	15.8	14.0	11.5	7.1	28.9	5.3	8.1	3.4	1.8	14.3	9.4	13.0	8.8	4.7	1.8	2.5	13.4	7.1	5.3			
建設業	8	8	0	2	1	0	1	3	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	2	
100.0	75.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5			
通信業	14	7	2	8	1	0	3	2	3	1	0	0	0	2	0	2	1	3	1	0	0	0	0	0	2
100.0	50.0	14.3	42.9	7.1	0.0	21.4	14.3	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
公共調整	10	8	0	2	0	0	2	0	8	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
100.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0			
運輸業	9	8	1	4	3	1	3	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
100.0	88.9	11.1	44.4	33.3	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1			
金融・保険	25	14	1	9	7	7	0	2	4	1	3	2	2	5	1	0	5	1	0	0	3	3	2	0	5
100.0	58.0	4.0	38.0	28.0	28.0	0.0	8.0	18.0	4.0	12.0	8.0	8.0	20.0	4.0	0.0	20.0	4.0	0.0	0.0	12.0	12.0	8.0			
不動産業	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4
100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0		
コンピューター・ソフトウェア	82	39	10	13	8	8	3	12	21	0	5	1	2	8	7	17	1	8	0	1	14	8	2	0	15
100.0	82.9	18.1	21.0	9.7	9.7	4.8	19.4	33.9	0.0	8.1	1.8	3.2	12.9	11.3	27.4	1.8	8.0	0.0	1.8	22.6	9.7	3.2			
技術サービス	37	21	8	9	8	3	2																		

表85 昇進に及ぼす学位の影響—工学士（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1111	53	252	728	89	9	51	0
	100.0	4.8	22.7	65.5	8.2	0.8		
1980	255	19	77	143	14	2	10	0
	100.0	7.5	30.2	56.1	5.5	0.8		
1970	283	17	73	182	10	1	16	0
	100.0	8.0	25.8	64.3	3.5	0.4		
1980	275	10	58	185	21	3	7	0
	100.0	3.6	20.4	67.3	7.6	1.1		
1985	295	7	45	216	24	3	18	0
	100.0	2.4	15.3	73.2	8.1	1.0		
不明	3	0	1	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表88 昇進に及ぼす学位の影響—工学修士（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1104	28	268	753	47	10	58	0
	100.0	2.5	24.1	68.2	4.3	0.9		
1980	248	13	83	158	13	1	17	0
	100.0	5.2	25.4	63.7	5.2	0.4		
1970	282	5	84	203	9	1	17	0
	100.0	1.8	22.7	72.0	3.2	0.4		
1980	278	5	73	183	12	3	8	0
	100.0	1.8	26.4	66.3	4.3	1.1		
1985	295	5	88	208	13	5	18	0
	100.0	1.7	22.4	69.8	4.4	1.7		
不明	3	0	0	3	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表87 昇進に及ぼす学位の影響—工学博士（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1105	81	288	819	94	23	57	0
	100.0	7.3	26.1	73.0	8.5	2.1		
1980	250	24	86	138	22	3	15	0
	100.0	9.6	28.0	64.4	8.8	1.2		
1970	282	20	88	171	22	3	17	0
	100.0	7.1	23.4	60.8	7.8	1.1		
1980	275	18	78	146	27	8	7	0
	100.0	8.5	28.4	53.1	9.8	2.2		
1985	295	19	78	164	23	11	18	0
	100.0	8.4	28.4	55.8	7.8	3.7		
不明	3	0	1	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表88 昇進に及ぼす学位の影響—工学士+MBA（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1079	82	300	848	33	38	83	0
	100.0	5.7	27.8	78.9	3.1	3.5		
1980	238	15	80	144	9	8	29	0
	100.0	8.4	25.4	61.0	3.8	3.4		
1970	278	13	73	177	7	8	21	0
	100.0	4.7	26.3	63.7	2.5	2.9		
1980	271	18	82	152	9	10	11	0
	100.0	8.8	30.3	56.1	3.3	3.7		
1985	292	18	84	172	8	12	21	0
	100.0	5.5	28.8	58.9	2.7	4.1		
不明	2	0	1	1	0	0	1	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表89 昇進に及ぼす学位の影響—文系学士+MBA（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1078	84	282	847	44	39	88	0
	100.0	5.9	26.2	80.1	4.1	3.8		
1980	238	17	68	138	10	7	29	0
	100.0	7.2	28.0	57.8	4.2	3.0		
1970	278	14	71	171	10	10	23	0
	100.0	5.1	25.7	62.0	3.6	3.6		
1980	271	19	88	183	12	11	11	0
	100.0	7.0	24.4	60.1	4.4	4.1		
1985	291	13	78	177	12	11	22	0
	100.0	4.5	28.8	60.8	4.1	3.8		
不明	2	1	1	0	0	0	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表70 昇進に及ぼす学位の影響—法学士（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1070	68	218	709	48	39	92	0
	100.0	5.4	20.4	68.3	4.3	3.8		
1980	234	15	87	141	8	5	31	0
	100.0	8.4	28.8	60.3	2.8	2.1		
1970	275	18	57	181	11	8	24	0
	100.0	8.5	20.7	65.8	4.0	2.9		
1980	270	13	62	181	14	10	12	0
	100.0	4.8	19.3	67.0	5.2	3.7		
1985	289	12	40	208	15	18	24	0
	100.0	4.2	13.8	71.3	5.2	5.5		
不明	2	0	2	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表71 昇進に及ぼす学位の影響-工学士 (MIT)

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	798	415	213	150	10	10	127	0
	100.0	52.0	28.7	18.8	1.3	1.3		
1980	151	84	48	19	2	0	24	0
	100.0	55.8	30.5	12.8	1.3	0.0		
1970	148	78	34	32	2	2	22	0
	100.0	52.1	23.3	21.9	1.4	1.4		
1980	238	130	60	41	3	4	39	0
	100.0	54.8	25.2	17.2	1.3	1.7		
1985	282	125	73	57	3	4	42	0
	100.0	47.7	27.9	21.8	1.1	1.5		
不明	1	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表72 昇進に及ぼす学位の影響-工学修士 (MIT)

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	788	229	300	223	10	6	167	0
	100.0	29.8	39.1	29.0	1.3	0.8		
1980	142	52	58	33	1	0	33	0
	100.0	38.8	39.4	23.2	0.7	0.0		
1970	142	37	52	51	2	0	28	0
	100.0	26.1	38.8	35.9	1.4	0.0		
1980	229	59	94	71	3	2	48	0
	100.0	25.8	41.0	31.0	1.3	0.9		
1985	254	81	97	88	4	4	50	0
	100.0	31.9	38.2	26.8	1.6	1.6		
不明	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表73 昇進に及ぼす学位の影響-工学博士 (MIT)

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	772	170	217	305	71	9	153	0
	100.0	22.0	28.1	39.5	9.2	1.2		
1980	145	35	48	51	10	1	30	0
	100.0	24.1	33.1	35.2	8.9	0.7		
1970	144	32	38	82	13	1	24	0
	100.0	22.2	25.0	43.1	9.0	0.7		
1980	230	54	55	98	21	2	47	0
	100.0	23.5	23.9	42.6	9.1	0.9		
1985	252	49	78	94	28	5	52	0
	100.0	19.4	31.0	37.3	10.3	2.0		
不明	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表74 昇進に及ぼす学位の影響-工学士+MBA (MIT)

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	751	270	279	174	21	7	174	0
	100.0	38.0	37.2	23.2	2.8	0.9		
1980	134	41	58	30	5	0	41	0
	100.0	30.6	43.3	22.4	3.7	0.0		
1970	145	49	59	34	3	0	23	0
	100.0	33.8	40.7	23.4	2.1	0.0		
1980	228	88	81	52	5	2	51	0
	100.0	38.1	35.8	23.0	2.2	0.9		
1985	245	93	81	58	8	5	59	0
	100.0	38.0	33.1	23.7	3.3	2.0		
不明	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表75 昇進に及ぼす学位の影響-文系学士+MBA (MIT)

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	713	48	251	248	158	11	212	0
	100.0	8.5	35.2	34.5	22.3	1.5		
1980	124	9	38	49	28	0	51	0
	100.0	7.3	30.8	39.5	22.6	0.0		
1970	133	7	48	45	34	1	35	0
	100.0	5.3	34.8	33.8	25.8	0.8		
1980	218	11	80	88	53	4	61	0
	100.0	5.1	37.0	31.5	24.5	1.9		
1985	239	19	88	84	44	8	65	0
	100.0	7.9	38.0	35.1	18.4	2.5		
不明	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表76 昇進に及ぼす学位の影響-法学士 (MIT)

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	701	47	110	388	160	28	224	0
	100.0	8.7	15.7	52.2	21.4	4.0		
1980	120	11	17	58	33	1	55	0
	100.0	9.2	14.2	48.3	27.5	0.8		
1970	132	8	22	85	33	8	38	0
	100.0	4.5	16.7	49.2	25.0	4.5		
1980	213	15	34	104	50	10	84	0
	100.0	7.0	16.0	48.8	23.5	4.7		
1985	235	15	37	139	34	10	89	0
	100.0	8.4	15.7	59.1	14.5	4.3		
不明	1	0	0	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表77 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響—工学士（東大，東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1111 100.0	53 4.8	252 22.7	728 65.5	69 6.2	9 0.8	51	0
行政機関	63 100.0	4 6.3	14 22.2	37 58.7	8 12.7	0 0.0	2	0
国公立研究機関	30 100.0	0 0.0	9 30.0	17 56.7	4 13.3	0 0.0	0	0
大学	87 100.0	10 14.9	1 1.5	30 44.8	22 32.8	4 6.0	19	0
公益法人	13 100.0	0 0.0	4 30.8	8 61.5	1 7.7	0 0.0	0	0
公共関連小計	173 100.0	14 8.1	28 16.2	92 53.2	35 20.2	4 2.3	21	0
コンピュータ付属機器	106 100.0	2 1.9	21 19.8	76 71.7	7 8.8	0 0.0	2	0
家電製品	24 100.0	1 4.2	2 8.3	20 83.3	0 0.0	1 4.2	0	0
上記以外電気機械	86 100.0	5 5.8	16 18.8	64 74.4	1 1.2	0 0.0	2	0
非電気機械	72 100.0	3 4.2	21 29.2	47 65.3	1 1.4	0 0.0	0	0
自動車並関連機器	50 100.0	0 0.0	11 22.0	37 74.0	1 2.0	1 2.0	1	0
航空宇宙関連産業	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1	0
その他輸送機器	19 100.0	0 0.0	7 36.8	12 63.2	0 0.0	0 0.0	1	0
金属素材金属製品	95 100.0	5 5.3	19 20.0	65 68.4	8 8.3	0 0.0	2	0
非鉄金属	30 100.0	0 0.0	10 33.3	18 60.0	2 6.7	0 0.0	0	0
食品工業	7 100.0	0 0.0	1 14.3	5 71.4	1 14.3	0 0.0	0	0
化学製品	113 100.0	7 6.2	25 22.1	76 67.3	5 4.4	0 0.0	0	0
医療品	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0	0
防衛関連産業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他製造業	38 100.0	2 5.8	10 27.8	22 61.1	2 5.8	0 0.0	0	0
製造業小計	844 100.0	25 3.9	144 22.4	448 69.3	28 4.0	3 0.5	9	0

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
鉱業	7 100.0	0 0.0	4 57.1	3 42.9	0 0.0	0 0.0	1	0
建設業	78 100.0	7 9.0	28 35.9	42 53.8	1 1.3	0 0.0	1	0
通信業	28 100.0	0 0.0	5 19.2	17 60.7	3 10.7	1 3.6	0	0
公共関連事業	49 100.0	2 4.1	13 26.5	34 69.4	0 0.0	0 0.0	0	0
運輸業	16 100.0	1 6.3	7 43.8	7 43.8	1 6.3	0 0.0	0	0
金融保険（証券含）	12 100.0	0 0.0	2 16.7	10 83.3	0 0.0	0 0.0	0	0
不動産業	8 100.0	0 0.0	3 37.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0	0
情報処理	15 100.0	0 0.0	4 26.7	10 66.7	1 6.7	0 0.0	1	0
技術コンサルタント	19 100.0	1 5.3	8 31.6	11 57.9	0 0.0	1 5.3	1	0
経営コンサルタント	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
医療	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
法律	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他	48 100.0	0 0.0	6 12.5	40 83.3	2 4.2	0 0.0	1	0
非製造業小計	285 100.0	12 4.2	78 27.4	185 64.9	8 2.8	2 0.7	5	0
不明	9 100.0	2 22.2	2 22.2	5 55.6	0 0.0	0 0.0	18	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表78 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響－工学修士（東大，東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1104	28	288	753	47	10	58	0
	100.0	2.5	24.1	68.2	4.3	0.9		
行政機関	83	1	10	44	8	0	2	0
	100.0	1.8	15.9	69.8	12.7	0.0		
国公立研究機関	30	0	10	17	3	0	0	0
	100.0	0.0	33.3	56.7	10.0	0.0		
大学	88	10	7	30	18	3	20	0
	100.0	15.2	10.8	45.5	24.2	4.5		
公益法人	13	0	3	10	0	0	0	0
	100.0	0.0	23.1	76.9	0.0	0.0		
公共関連小計	172	11	30	101	27	3	22	0
	100.0	8.4	17.4	58.7	15.7	1.7		
コンピュータ 付属機器	108	2	32	71	1	0	2	0
	100.0	1.9	30.2	67.0	0.9	0.0		
家電製品	24	0	3	20	0	1	0	0
	100.0	0.0	12.5	83.3	0.0	4.2		
上記以外 電気機械	85	1	19	63	1	1	3	0
	100.0	1.2	22.4	74.1	1.2	1.2		
非電気 機械	71	2	28	43	0	0	1	0
	100.0	2.8	36.6	60.6	0.0	0.0		
自動車並 関連機器	50	0	18	32	1	1	1	0
	100.0	0.0	32.0	64.0	2.0	2.0		
航空宇宙 関連産業	5	0	0	5	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
その他 輸送機器	19	0	7	11	1	0	1	0
	100.0	0.0	36.8	57.9	5.3	0.0		
金属素材 金属製品	94	2	18	71	5	0	3	0
	100.0	2.1	17.0	75.5	5.3	0.0		
非鉄金属	29	1	11	16	0	1	1	0
	100.0	3.4	37.9	55.2	0.0	3.4		
食品工業	7	0	1	6	0	0	0	0
	100.0	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0		
化学製品	112	2	29	79	2	0	1	0
	100.0	1.8	25.9	70.5	1.8	0.0		
医薬品	2	0	0	1	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0		
防衛関連 産業	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他 製造業	38	2	7	25	2	0	0	0
	100.0	5.8	19.4	89.4	5.8	0.0		
製造業 小計	840	12	187	443	13	5	13	0
	100.0	1.9	28.1	89.2	2.0	0.8		
鉱業	8	0	2	6	0	0	0	0
	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0		
建設業	78	2	19	55	2	0	1	0
	100.0	2.6	24.4	70.5	2.6	0.0		
通信業	26	0	7	18	0	1	0	0
	100.0	0.0	26.9	89.2	0.0	3.8		
公共関連 事業	49	0	12	35	2	0	0	0
	100.0	0.0	24.5	71.4	4.1	0.0		
運輸業	16	0	8	9	1	0	0	0
	100.0	0.0	37.5	56.3	6.3	0.0		
金融保険 (証券含)	12	0	2	10	0	0	0	0
	100.0	0.0	18.7	83.3	0.0	0.0		
不動産業	7	0	2	4	1	0	1	0
	100.0	0.0	28.8	57.1	14.3	0.0		
情報処理	14	1	3	10	0	0	2	0
	100.0	7.1	21.4	71.4	0.0	0.0		
技術 コンサルタント	19	0	7	11	0	1	1	0
	100.0	0.0	36.8	57.9	0.0	5.3		
経営 コンサルタント	4	0	0	4	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
医療	2	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
法律	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	48	1	8	38	1	0	1	0
	100.0	2.1	16.7	78.2	2.1	0.0		
非製造業 小計	284	5	68	202	7	2	6	0
	100.0	1.8	23.9	71.1	2.5	0.7		
不明	8	0	1	7	0	0	17	0
	100.0	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表79 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響—工学博士（東大，東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当	影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1105	81	288	819	94	23	57	0	鉱業	7	0	1	6	0	0	1	0
	100.0	7.3	26.1	58.0	8.5	2.1				100.0	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0		
行政機関	62	2	6	40	13	1	3	0	建設業	78	2	19	47	8	2	1	0
	100.0	3.2	9.7	64.5	21.0	1.6				100.0	2.6	24.4	60.3	10.3	2.6		
国公立研究機関	30	3	18	10	0	1	0	0	通信業	28	3	9	10	2	2	0	0
	100.0	10.0	53.3	33.3	0.0	3.3				100.0	11.5	34.8	38.5	7.7	7.7		
大学	72	33	22	12	2	3	14	0	公共関連事業	49	1	13	28	9	0	0	0
	100.0	45.8	30.8	18.7	2.8	4.2				100.0	2.0	26.5	53.1	18.4	0.0		
公益法人	13	0	4	9	0	0	0	0	運輸業	18	0	4	9	2	1	0	0
	100.0	0.0	30.8	69.2	0.0	0.0				100.0	0.0	25.0	56.3	12.5	8.3		
公共関連小計	177	38	48	71	15	5	17	0	金融保険（証券含）	12	0	1	10	1	0	0	0
	100.0	21.5	27.1	40.1	8.5	2.8				100.0	0.0	8.3	83.3	8.3	0.0		
コンピュータ付属機器	106	3	45	52	5	1	2	0	不動産業	7	0	2	3	2	0	1	0
	100.0	2.8	42.5	49.1	4.7	0.9				100.0	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0		
家電製品	24	0	5	18	0	1	0	0	情報処理	14	2	3	9	0	0	2	0
	100.0	0.0	20.8	75.0	0.0	4.2				100.0	14.3	21.4	64.3	0.0	0.0		
上記以外電気機械	84	3	24	48	8	1	4	0	技術コンサルタント	19	1	6	11	0	1	1	0
	100.0	3.6	28.6	57.1	9.5	1.2				100.0	5.3	31.6	57.9	0.0	5.3		
非電気機械	71	5	22	39	5	0	1	0	経営コンサルタント	4	0	0	4	0	0	0	0
	100.0	7.0	31.0	54.9	7.0	0.0				100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
自動車並関連機器	49	3	10	27	7	2	2	0	医療	2	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	6.1	20.4	55.1	14.3	4.1				100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
航空宇宙関連産業	5	1	1	3	0	0	0	0	法律	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0				100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他輸送機器	19	0	7	11	1	0	1	0	その他	47	5	4	32	5	1	2	0
	100.0	0.0	38.8	57.9	5.3	0.0				100.0	10.8	8.5	68.1	10.8	2.1		
金属素材金属製品	94	3	18	62	13	0	3	0	非製造業小計	282	15	82	189	29	7	8	0
	100.0	3.2	17.0	68.0	13.8	0.0				100.0	5.3	22.0	59.9	10.3	2.5		
非鉄金属	29	2	14	10	2	1	1	0	不明	8	1	1	4	2	0	17	0
	100.0	6.9	48.3	34.5	6.9	3.4				100.0	12.5	12.5	50.0	25.0	0.0		
食品工業	7	0	1	5	1	0	0	0	非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
化学製品	112	5	22	78	4	3	1	0									
	100.0	4.5	19.6	69.6	3.8	2.7											
医療品	2	0	1	1	0	0	0	0									
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0											
防衛関連産業	0	0	0	0	0	0	0	0									
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
その他製造業	36	2	9	21	2	2	0	0									
	100.0	5.8	25.0	58.3	5.8	5.8											
製造業小計	838	27	177	375	48	11	15	0									
	100.0	4.2	27.7	58.8	7.5	1.7											

表80 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響－工学士＋MBA（東大，東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当	影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1079	82	300	648	33	38	83	0	鉱業	7	1	1	5	0	0	1	0
	100.0	5.7	27.8	59.9	3.1	3.5				100.0	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0		
行政機関	62	0	8	48	8	0	3	0	建設業	78	4	23	46	2	3	1	0
	100.0	0.0	12.9	74.2	12.9	0.0				100.0	5.1	29.5	59.0	2.8	3.8		
国公立研究機関	29	0	3	22	3	1	1	0	通信業	25	4	8	13	0	2	1	0
	100.0	0.0	10.3	75.9	10.3	3.4				100.0	18.0	24.0	52.0	0.0	8.0		
大学	61	2	10	32	12	5	25	0	公共関連事業	49	2	21	25	0	1	0	0
	100.0	3.3	16.4	52.5	19.7	8.2				100.0	4.1	42.9	51.0	0.0	2.0		
公益法人	13	0	2	11	0	0	0	0	運輸業	18	2	5	8	1	0	0	0
	100.0	0.0	15.4	84.8	0.0	0.0				100.0	12.5	31.3	50.0	6.3	0.0		
公共関連小計	165	2	23	111	23	6	29	0	金融保険(証券含)	12	3	2	7	0	0	0	0
	100.0	1.2	13.9	67.3	13.9	3.8				100.0	25.0	16.7	58.3	0.0	0.0		
コンピュータ付風機器	105	6	28	85	0	8	3	0	不動産業	7	2	1	3	1	0	1	0
	100.0	5.7	26.7	81.9	0.0	5.7				100.0	28.8	14.3	42.9	14.3	0.0		
家電製品	23	0	8	18	0	1	1	0	情報処理	14	2	3	9	0	0	2	0
	100.0	0.0	26.1	69.6	0.0	4.3				100.0	14.3	21.4	64.3	0.0	0.0		
上記以外電気機械	84	1	31	48	1	3	4	0	技術コンサルト	19	3	3	11	0	2	1	0
	100.0	1.2	36.9	57.1	1.2	3.8				100.0	15.8	15.8	57.9	0.0	10.5		
非電気機械	68	6	22	38	1	1	4	0	経営コンサルト	4	0	1	3	0	0	0	0
	100.0	8.8	32.4	55.9	1.5	1.5				100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0		
自動車並関連機器	49	8	10	30	1	2	2	0	医療	2	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	12.2	20.4	61.2	2.0	4.1				100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
航空宇宙関連産業	4	0	0	3	0	1	1	0	法律	0	0	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他輸送機器	19	2	8	9	0	0	1	0	その他	47	8	14	25	1	1	2	0
	100.0	10.5	42.1	47.4	0.0	0.0				100.0	12.8	29.8	53.2	2.1	2.1		
金属素材金属製品	91	2	31	54	1	3	8	0	非製造業小計	280	29	80	157	5	9	10	0
	100.0	2.2	34.1	59.3	1.1	3.3				100.0	10.4	28.6	56.1	1.8	3.2		
非鉄金属	28	1	13	12	0	2	2	0	不明	8	0	2	8	0	0	17	0
	100.0	3.6	46.4	42.9	0.0	7.1				100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0		
食品工業	7	0	2	5	0	0	0	0	非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
化学製品	110	4	32	71	0	3	3	0									
	100.0	3.6	29.1	64.5	0.0	2.7											
医療品	2	0	1	1	0	0	0	0									
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0											
防衛関連産業	0	0	0	0	0	0	0	0									
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
その他製造業	38	3	11	20	1	1	0	0									
	100.0	8.3	30.6	55.6	2.8	2.8											
製造業小計	828	31	195	372	5	23	27	0									
	100.0	5.0	31.2	59.4	0.8	3.7											

表8] 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響－文系学士+MBA（東大、東工大）

影響 組織	合計	大変 有利	有利	影響 なし	不利	その他	不明	非該当	影響 組織	合計	大変 有利	有利	影響 なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1076 100.0	64 5.9	282 26.2	647 60.1	44 4.1	39 3.6	86	0	鉱業	7 10.0	1 1.4	0 0.0	6 8.8	0 0.0	0 0.0	1	0
行政 機関	62 100.0	4 8.5	17 27.4	39 82.9	2 3.2	0 0.0	3	0	建設業	77 100.0	5 8.5	18 20.8	48 82.3	3 3.9	5 6.5	2	0
国公立 研究機関	29 100.0	1 3.4	2 8.9	21 72.4	4 13.8	1 3.4	1	0	通信業	25 100.0	1 4.0	7 28.0	15 80.0	0 0.0	2 8.0	1	0
大学	59 100.0	1 1.7	2 3.4	38 64.4	10 18.9	8 13.8	27	0	公共関連 事業	49 100.0	4 8.2	21 42.9	23 48.9	0 0.0	1 2.0	0	0
公益法人	13 100.0	0 0.0	2 15.4	9 69.2	2 15.4	0 0.0	0	0	運輸業	18 100.0	3 18.8	4 25.0	9 56.3	0 0.0	0 0.0	0	0
公共関連 小計	183 100.0	8 3.7	23 14.1	107 65.6	18 11.0	9 5.5	31	0	金融保険 (証券含)	12 100.0	3 25.0	3 25.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	0	0
コピエタ 付風機器	105 100.0	3 2.9	19 18.1	89 85.7	9 8.8	5 4.8	3	0	不動産業	7 100.0	2 28.8	2 28.8	3 42.9	0 0.0	0 0.0	1	0
家電製品	23 100.0	0 0.0	6 28.1	18 89.8	0 0.0	1 4.3	1	0	情報処理	14 100.0	0 0.0	5 35.7	9 84.3	0 0.0	0 0.0	2	0
上記以外 電気機械	84 100.0	1 1.2	22 26.2	54 64.3	5 8.0	2 2.4	4	0	技術 コンサルタント	19 100.0	2 10.5	5 28.3	9 47.4	1 5.3	2 10.5	1	0
非電気 機械	68 100.0	5 7.4	18 23.5	43 63.2	2 2.9	2 2.9	4	0	経営 コンサルタント	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
自動車並 関連機器	49 100.0	1 2.0	10 20.4	35 71.4	2 4.1	1 2.0	2	0	医療	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
航空宇宙 関連産業	4 100.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1	0	法律	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1	0
その他 輸送機器	18 100.0	2 11.1	8 33.3	9 50.0	1 5.8	0 0.0	2	0	その他	47 100.0	3 8.4	15 31.9	27 57.4	1 2.1	1 2.1	2	0
金属素材 金属製品	92 100.0	12 13.0	35 38.0	42 45.7	0 0.0	3 3.3	5	0	非製造業 小計	279 100.0	24 8.8	78 28.0	161 57.7	5 1.8	11 3.9	11	0
非鉄金属	27 100.0	0 0.0	13 48.1	14 51.9	0 0.0	0 0.0	3	0	不明	8 100.0	1 12.5	1 12.5	5 82.5	1 12.5	0 0.0	17	0
食品工業	7 100.0	0 0.0	4 67.1	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0	0	非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	111 100.0	8 5.4	35 31.5	88 81.3	0 0.0	2 1.8	2	0									
医薬品	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0	0									
防衛関連 産業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0									
その他 製造業	38 100.0	3 8.3	14 38.9	18 50.0	0 0.0	1 2.8	0	0									
製造業 小計	626 100.0	33 5.3	180 28.8	374 59.7	20 3.2	19 3.0	27	0									

表82 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響－法学士（東大、東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1070	58	218	709	48	39	92	0
	100.0	5.4	20.4	66.3	4.3	3.8		
行政機関	81	13	17	30	1	0	4	0
	100.0	21.3	27.9	49.2	1.6	0.0		
国公立研究機関	29	0	4	20	4	1	1	0
	100.0	0.0	13.8	69.0	13.8	3.4		
大学	59	1	0	39	11	8	27	0
	100.0	1.7	0.0	66.1	18.8	13.8		
公益法人	13	1	5	8	1	0	0	0
	100.0	7.7	38.5	46.2	7.7	0.0		
公共関連小計	182	15	28	95	17	9	32	0
	100.0	9.3	16.0	58.8	10.5	5.8		
コンピュータ付属機器	105	0	11	77	11	8	3	0
	100.0	0.0	10.5	73.3	10.5	5.7		
家電製品	23	0	1	21	0	1	1	0
	100.0	0.0	4.3	91.3	0.0	4.3		
上記以外電気機械	84	2	11	85	3	3	4	0
	100.0	2.4	13.1	77.4	3.8	3.8		
非電気機械	67	2	14	44	4	3	5	0
	100.0	3.0	20.9	65.7	6.0	4.5		
自動車並関連機器	48	0	5	41	1	1	3	0
	100.0	0.0	10.4	85.4	2.1	2.1		
航空宇宙関連産業	4	0	0	2	1	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0		
その他輸送機器	19	0	7	10	2	0	1	0
	100.0	0.0	38.8	52.8	10.5	0.0		
金属素材金属製品	92	10	34	48	0	2	5	0
	100.0	10.9	37.0	50.0	0.0	2.2		
非鉄金属	25	0	7	17	0	1	5	0
	100.0	0.0	28.0	68.0	0.0	4.0		
食品工業	7	0	4	3	0	0	0	0
	100.0	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0		
化学製品	111	8	30	74	0	1	2	0
	100.0	5.4	27.0	66.7	0.0	0.9		
医療品	2	0	0	1	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0		
防衛関連産業	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他製造業	38	5	10	21	0	0	0	0
	100.0	13.9	27.8	58.3	0.0	0.0		
製造業小計	623	25	134	422	22	20	30	0
	100.0	4.0	21.5	67.7	3.5	3.2		

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
鉱業	7	1	1	5	0	0	1	0
	100.0	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0		
建設業	78	2	14	52	4	4	3	0
	100.0	2.8	18.4	68.4	5.3	5.3		
通信業	25	0	4	18	1	2	1	0
	100.0	0.0	16.0	72.0	4.0	8.0		
公共関連事業	48	7	11	30	0	0	1	0
	100.0	14.6	22.9	62.5	0.0	0.0		
運輸業	16	8	2	8	0	0	0	0
	100.0	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0		
金融保険(証券含)	12	1	3	8	0	0	0	0
	100.0	8.3	25.0	68.7	0.0	0.0		
不動産業	7	0	5	2	0	0	1	0
	100.0	0.0	71.4	28.8	0.0	0.0		
情報処理	14	0	2	12	0	0	2	0
	100.0	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0		
技術コンサルタント	19	0	3	13	1	2	1	0
	100.0	0.0	15.8	68.4	5.3	10.5		
経営コンサルタント	4	0	1	3	0	0	0	0
	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0		
医療	2	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
法律	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	47	0	12	33	0	2	2	0
	100.0	0.0	25.5	70.2	0.0	4.3		
非製造業小計	277	17	58	188	6	10	13	0
	100.0	6.1	20.9	67.1	2.2	3.8		
不明	8	1	0	8	1	0	17	0
	100.0	12.5	0.0	75.0	12.5	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表83 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響—工学士（MIT）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	798	415	213	150	10	10	127	0
	100.0	52.0	28.7	18.8	1.3	1.3		
行政機関	28	13	9	6	1	0	1	0
	100.0	48.4	32.1	17.9	3.6	0.0		
国公立 研究機関	52	34	8	8	3	1	7	0
	100.0	65.4	11.5	15.4	5.8	1.9		
大学(教育 研究)	37	21	5	10	1	0	21	0
	100.0	58.8	13.5	27.0	2.7	0.0		
大学 (研究)	2	1	0	1	0	0	4	0
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
その他 公益法人	12	7	2	3	0	0	1	0
	100.0	58.3	18.7	25.0	0.0	0.0		
軍事 サービス	18	5	8	4	0	1	1	0
	100.0	27.8	44.4	22.2	0.0	5.8		
公共関連 小計	143	78	30	28	6	2	35	0
	100.0	54.5	21.0	19.8	3.5	1.4		
コンピュータ 付属機器	102	58	27	18	1	0	9	0
	100.0	54.9	28.5	17.8	1.0	0.0		
家電製品	8	5	3	0	0	0	0	0
	100.0	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0		
上記以外 電気機械	34	25	7	2	0	0	3	0
	100.0	73.5	20.8	5.9	0.0	0.0		
非電気 機械	9	6	1	2	0	0	0	0
	100.0	68.7	11.1	22.2	0.0	0.0		
自動車並 関連機器	10	3	4	3	0	0	0	0
	100.0	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0		
航空宇宙 関連産業	80	45	8	8	0	1	2	0
	100.0	75.0	13.3	10.0	0.0	1.7		
その他 輸送機器	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
金属素材 金属製品	3	1	0	2	0	0	0	0
	100.0	33.3	0.0	68.7	0.0	0.0		
非鉄金属	3	0	2	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	68.7	33.3	0.0	0.0		
食品工業	5	1	2	2	0	0	0	0
	100.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0		
化学製品	47	27	11	8	1	0	1	0
	100.0	57.4	23.4	17.0	2.1	0.0		
医療品	13	9	1	3	0	0	2	0
	100.0	69.2	7.7	23.1	0.0	0.0		
その他 製造業	52	21	22	8	0	1	0	0
	100.0	40.4	42.3	15.4	0.0	1.9		
製造業 小計	338	193	88	53	2	2	17	0
	100.0	57.1	28.0	15.7	0.8	0.8		

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	10	7	2	1	0	0	0	0
	100.0	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0		
通信業	14	9	3	2	0	0	2	0
	100.0	64.3	21.4	14.3	0.0	0.0		
公共関連 事業	9	8	1	0	0	0	1	0
	100.0	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0		
運輸業	10	8	3	1	0	0	0	0
	100.0	80.0	30.0	10.0	0.0	0.0		
金融保険	27	5	13	9	0	0	3	0
	100.0	18.5	48.1	33.3	0.0	0.0		
不動産業	5	1	0	4	0	0	1	0
	100.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0		
コンピュータ サービス	70	29	22	17	1	1	7	0
	100.0	41.4	31.4	24.3	1.4	1.4		
技術 コンサルタント	52	38	7	5	0	2	7	0
	100.0	73.1	13.5	9.6	0.0	3.8		
経営 コンサルタント	23	5	10	7	0	1	2	0
	100.0	21.7	43.6	30.4	0.0	4.3		
医療	20	1	5	14	0	0	7	0
	100.0	5.0	25.0	70.0	0.0	0.0		
法律	29	13	9	7	0	0	1	0
	100.0	44.8	31.0	24.1	0.0	0.0		
その他 非製造業	27	8	10	9	0	0	4	0
	100.0	29.6	37.0	33.3	0.0	0.0		
非製造業 小計	282	125	80	72	1	4	34	0
	100.0	44.3	28.4	25.5	0.4	1.4		
合計	739	385	194	144	8	8	85	0
防衛除く	100.0	52.1	26.3	19.5	1.1	1.1		
防衛関連	114	88	28	18	3	1	9	0
	100.0	59.6	22.8	14.0	2.6	0.9		
不明	59	30	19	6	2	2	42	0
	100.0	50.8	32.2	10.2	3.4	3.4		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注)MITの組織種類は複数選択になっている。

表84 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響—工学修士（MIT）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	788 100.0	229 29.8	300 39.1	223 29.0	10 1.3	8 0.8	157	0
行政機関	27 100.0	8 29.6	12 44.4	5 18.5	2 7.4	0 0.0	2	0
国公立 研究機関	52 100.0	31 59.6	12 23.1	8 11.5	2 3.8	1 1.9	7	0
大学(教 育研究)	36 100.0	19 52.8	5 13.9	11 30.6	1 2.8	0 0.0	22	0
大学 (研究)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5	0
その他 公益法人	10 100.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	3	0
軍事 サービス	18 100.0	7 38.9	8 44.4	3 16.7	0 0.0	0 0.0	1	0
公共関連 小計	138 100.0	67 48.8	40 29.0	25 18.1	5 3.6	1 0.7	40	0
コンピュ ータ 付属機器	103 100.0	28 27.2	49 47.6	25 24.3	1 1.0	0 0.0	8	0
家電製品	7 100.0	5 71.4	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1	0
上記以外 電気機械	34 100.0	10 29.4	18 47.1	8 23.5	0 0.0	0 0.0	3	0
非電気 機械	9 100.0	2 22.2	3 33.3	4 44.4	0 0.0	0 0.0	0	0
自動車並 関連機器	9 100.0	2 22.2	3 33.3	4 44.4	0 0.0	0 0.0	1	0
航空宇宙 関連産業	57 100.0	22 38.6	27 47.4	8 14.0	0 0.0	0 0.0	5	0
その他 輸送機器	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金属素材 金属製品	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	5 100.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	45 100.0	12 26.7	18 40.0	14 31.1	1 2.2	0 0.0	3	0
医薬品	13 100.0	4 30.8	3 23.1	6 46.2	0 0.0	0 0.0	2	0
その他 製造業	51 100.0	12 23.5	21 41.2	18 31.4	1 2.0	1 2.0	1	0
製造業 小計	331 100.0	98 29.0	142 42.9	89 26.9	3 0.9	1 0.3	24	0

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	10 100.0	2 20.0	8 80.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0	0
通信業	12 100.0	4 33.3	7 58.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	4	0
公共関連 事業	8 100.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	2	0
運輸業	10 100.0	3 30.0	3 30.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金融保険	25 100.0	3 12.0	5 20.0	17 68.0	0 0.0	0 0.0	5	0
不動産業	5 100.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1	0
コンピ ュ ータ サービス	88 100.0	15 22.1	35 51.5	18 23.5	1 1.5	1 1.5	8	0
技術 コンサルタント	51 100.0	20 39.2	28 54.9	3 5.9	0 0.0	0 0.0	8	0
経営 コンサルタント	21 100.0	2 9.5	7 33.3	11 52.4	0 0.0	1 4.8	4	0
医療	18 100.0	2 11.1	1 5.6	14 77.8	0 0.0	1 5.6	9	0
法律	28 100.0	2 7.7	9 34.6	15 57.7	0 0.0	0 0.0	4	0
その他 非製造業	25 100.0	5 20.0	9 36.0	11 44.0	0 0.0	0 0.0	8	0
非製造業 小計	285 100.0	58 21.1	108 40.8	97 38.8	1 0.4	3 1.1	51	0
合計 防衛除く	711 100.0	210 29.5	282 39.7	205 28.8	9 1.3	5 0.7	113	0
防衛関連	113 100.0	52 46.0	44 38.9	15 13.3	2 1.8	0 0.0	10	0
不明	57 100.0	19 33.3	18 31.6	18 31.8	1 1.8	1 1.8	44	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)MITの組織種類は複数選択になっている。

表85 組織種別昇進に及ぼす学位の影響－工学博士（MIT）

影響 組織	合計	大変 有利	有利	影響 なし	不利	その他	不明	非該当	影響 組織	合計	大変 有利	有利	影響 なし	不利	その他	不明	非該当
全体	772	170	217	305	71	9	153	0	建設業	9	0	2	5	2	0	1	0
	100.0	22.0	28.1	39.5	9.2	1.2				100.0	0.0	22.2	55.6	22.2	0.0		
行政機関	27	8	9	9	3	0	2	0	通信業	14	4	5	5	0	0	2	0
	100.0	22.2	33.3	33.3	11.1	0.0				100.0	28.6	35.7	35.7	0.0	0.0		
国公立 研究機関	55	28	17	11	0	1	4	0	公共関連 事業	8	0	2	6	0	0	2	0
	100.0	47.3	30.9	20.0	0.0	1.8				100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0		
大学(教 育研究)	46	32	7	5	0	2	12	0	運輸業	10	3	2	4	1	0	0	0
	100.0	69.6	15.2	10.9	0.0	4.3				100.0	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0		
大学 (研究)	4	3	1	0	0	0	2	0	金融保険	23	4	3	12	4	0	7	0
	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0				100.0	17.4	13.0	52.2	17.4	0.0		
その他 公益法人	10	4	3	3	0	0	3	0	不動産業	5	0	0	5	0	0	1	0
	100.0	40.0	30.0	30.0	0.0	0.0				100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
軍事 サービス	18	2	8	8	2	0	1	0	コンピ ュータ サービス	70	14	21	30	4	1	7	0
	100.0	11.1	33.3	44.4	11.1	0.0				100.0	20.0	30.0	42.9	5.7	1.4		
公共関連 小計	154	72	42	32	5	3	24	0	技術 コンサルタント	49	13	14	20	2	0	10	0
	100.0	46.8	27.3	20.8	3.2	1.9				100.0	26.5	28.6	40.8	4.1	0.0		
コンピ ュータ 付属機器	104	16	34	44	9	1	7	0	経営 コンサルタント	20	3	2	8	8	1	5	0
	100.0	15.4	32.7	42.3	8.7	1.0				100.0	15.0	10.0	40.0	30.0	5.0		
家電製品	6	1	2	2	1	0	2	0	医療	18	2	4	11	0	1	9	0
	100.0	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0				100.0	11.1	22.2	61.1	0.0	5.6		
上記以外 電気機械	31	1	13	10	7	0	6	0	法律	26	2	8	15	1	0	4	0
	100.0	3.2	41.9	32.3	22.6	0.0				100.0	7.7	30.8	57.7	3.8	0.0		
非電気 機械	9	2	2	4	1	0	0	0	その他 非製造業	24	2	8	12	4	0	7	0
	100.0	22.2	22.2	44.4	11.1	0.0				100.0	8.3	25.0	50.0	16.7	0.0		
自動車並 関連機器	9	3	1	4	1	0	1	0	非製造業 小計	283	40	68	128	24	3	53	0
	100.0	33.3	11.1	44.4	11.1	0.0				100.0	15.2	25.9	48.7	9.1	1.1		
航空宇宙 関連産業	55	7	20	20	7	1	7	0	合計	716	149	205	286	68	8	108	0
	100.0	12.7	36.4	36.4	12.7	1.8			防衛除く	100.0	20.8	28.6	39.9	9.5	1.1		
その他 輸送機器	1	0	0	1	0	0	0	0	防衛関連	113	31	37	35	9	1	10	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0				100.0	27.4	32.7	31.0	8.0	0.9		
金属素材 金属製品	3	0	0	3	0	0	0	0	不明	58	21	12	19	3	1	45	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0				100.0	37.5	21.4	33.9	5.4	1.8		
非鉄金属	3	0	1	1	1	0	0	0	非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
食品工業	5	0	0	3	2	0	0	0									
	100.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0											
化学製品	44	7	17	15	5	0	4	0									
	100.0	15.9	38.6	34.1	11.4	0.0											
医療品	13	1	5	5	2	0	2	0									
	100.0	7.7	38.5	38.5	15.4	0.0											
その他 製造業	49	9	11	23	5	1	3	0									
	100.0	18.4	22.4	46.9	10.2	2.0											
製造業 小計	323	48	104	131	39	3	32	0									
	100.0	14.2	32.2	40.8	12.1	0.9											

(注)MITの組織種別は複数選択になっている。

表86 組織種別昇進に及ぼす学位の影響－工学士＋MBA（MIT）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	751 100.0	270 36.0	279 37.2	174 23.2	21 2.8	7 0.9	174	0
行政機関	25 100.0	6 24.0	10 40.0	8 32.0	1 4.0	0 0.0	4	0
国公立 研究機関	48 100.0	11 22.9	15 31.3	18 33.3	5 10.4	1 2.1	11	0
大学(教 育研究)	35 100.0	1 2.9	11 31.4	17 48.8	6 17.1	0 0.0	23	0
大学 (研究)	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5	0
その他 公益法人	10 100.0	3 30.0	3 30.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	3	0
軍事 サービス	18 100.0	7 38.9	5 27.8	6 33.3	0 0.0	0 0.0	1	0
公共関連 小計	131 100.0	28 19.8	44 33.8	48 38.8	12 9.2	1 0.8	47	0
コンピ ュータ 付属機器	100 100.0	41 41.0	37 37.0	20 20.0	1 1.0	1 1.0	11	0
家電製品	7 100.0	2 28.6	4 57.1	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1	0
上記以外 電気機械	32 100.0	13 40.8	12 37.5	7 21.9	0 0.0	0 0.0	5	0
非電気 機械	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1	0
自動車並 関連機器	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2	0
航空宇宙 関連産業	58 100.0	22 39.3	25 44.8	7 12.5	1 1.8	1 1.8	6	0
その他 輸送機器	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金属素材 金属製品	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	5 100.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	45 100.0	23 51.1	17 37.8	4 8.9	1 2.2	0 0.0	3	0
医薬品	13 100.0	10 78.9	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2	0
その他 製造業	48 100.0	18 37.5	19 39.6	9 18.8	1 2.1	1 2.1	4	0
製造業 小計	321 100.0	137 42.7	128 39.3	50 15.6	5 1.6	3 0.9	34	0

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	9 100.0	2 22.2	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0 0.0	1	0
通信業	15 100.0	8 40.0	4 28.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0	1	0
公共関連 事業	9 100.0	4 44.4	3 33.3	2 22.2	0 0.0	0 0.0	1	0
運輸業	10 100.0	4 40.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金融保険	27 100.0	17 63.0	10 37.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3	0
不動産業	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1	0
コンピ ュータ サービス	69 100.0	25 36.2	29 42.0	13 18.8	1 1.4	1 1.4	8	0
技術 コンサルタント	47 100.0	10 21.3	22 46.8	15 31.9	0 0.0	0 0.0	12	0
経営 コンサルタント	23 100.0	17 73.9	5 21.7	1 4.3	0 0.0	0 0.0	2	0
医療	18 100.0	4 22.2	3 16.7	9 50.0	1 5.6	1 5.6	9	0
法律	28 100.0	3 11.5	8 23.1	15 57.7	2 7.7	0 0.0	4	0
その他 非製造業	23 100.0	5 21.7	10 43.5	7 30.4	1 4.3	0 0.0	8	0
非製造業 小計	269 100.0	93 34.6	97 36.1	72 26.8	5 1.9	2 0.7	47	0
合計 防衛除く	701 100.0	251 35.8	258 36.8	185 23.5	21 3.0	8 0.9	123	0
防衛関連	109 100.0	33 30.3	43 39.4	28 25.7	4 3.7	1 0.9	14	0
不明	50 100.0	19 38.0	21 42.0	9 18.0	0 0.0	1 2.0	51	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)MITの組織種別は複数選択になっている。

表87 組織種類別昇進に及ぼす学位の影響—文系学士+MBA (MIT)

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	713 100.0	46 6.5	251 35.2	248 34.5	159 22.3	11 1.5	212	0
行政機関	24 100.0	2 8.3	6 25.0	9 37.5	6 25.0	1 4.2	5	0
国公立 研究機関	48 100.0	1 2.1	10 20.8	13 27.1	23 47.9	1 2.1	11	0
大学(教 育研究)	31 100.0	0 0.0	8 19.4	18 51.8	8 25.8	1 3.2	27	0
大学 (研究)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	5	0
その他 公益法人	9 100.0	0 0.0	3 33.3	6 66.7	0 0.0	0 0.0	4	0
軍事 サービス	18 100.0	3 16.7	5 27.8	8 33.3	4 22.2	0 0.0	1	0
公共関連 小計	125 100.0	8 4.8	28 22.4	48 38.4	40 32.0	3 2.4	53	0
コンピ ュータ 付属機器	100 100.0	4 4.0	37 37.0	35 35.0	23 23.0	1 1.0	11	0
家電製品	6 100.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	2	0
上記以外 電気機械	30 100.0	2 6.7	9 30.0	11 36.7	7 23.3	1 3.3	7	0
非電気 機械	9 100.0	0 0.0	2 22.2	3 33.3	4 44.4	0 0.0	0	0
自動車並 関連機器	9 100.0	1 11.1	3 33.3	2 22.2	3 33.3	0 0.0	1	0
航空宇宙 関連産業	53 100.0	1 1.9	18 34.0	15 28.3	17 32.1	2 3.8	9	0
その他 輸送機器	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0	0
金属素材 金属製品	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0	0
化学製品	41 100.0	1 2.4	18 43.9	12 29.3	10 24.4	0 0.0	7	0
医薬品	13 100.0	1 7.7	7 53.8	2 15.4	3 23.1	0 0.0	2	0
その他 製造業	48 100.0	1 2.2	26 58.5	12 28.1	6 13.0	1 2.2	6	0
製造業 小計	310 100.0	12 3.9	127 41.0	95 30.8	71 22.9	5 1.6	45	0

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	9 100.0	0 0.0	4 44.4	4 44.4	1 11.1	0 0.0	1	0
通信業	13 100.0	1 7.7	4 30.8	3 23.1	5 38.5	0 0.0	3	0
公共関連 事業	9 100.0	1 11.1	4 44.4	2 22.2	2 22.2	0 0.0	1	0
運輸業	10 100.0	4 40.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0	0
金融保険	23 100.0	5 21.7	13 58.5	2 8.7	3 13.0	0 0.0	7	0
不動産業	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1	0
コンピ ュータ サービス	65 100.0	4 6.2	28 43.1	23 35.4	9 13.8	1 1.5	12	0
技術 コンサルタント	47 100.0	1 2.1	11 23.4	18 38.3	18 34.0	1 2.1	12	0
経営 コンサルタント	20 100.0	3 15.0	12 60.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0	5	0
医療	18 100.0	2 12.5	2 12.5	9 58.3	2 12.5	1 6.3	11	0
法律	24 100.0	0 0.0	5 20.8	14 58.3	5 20.8	0 0.0	6	0
その他 非製造業	23 100.0	1 4.3	12 52.2	7 30.4	3 13.0	0 0.0	8	0
非製造業 小計	251 100.0	24 9.6	93 37.1	85 33.9	46 18.3	3 1.2	65	0
合計 防衛除く	665 100.0	41 8.2	241 36.2	223 33.5	150 22.8	10 1.5	159	0
防衛関連	106 100.0	5 4.7	33 31.1	35 33.0	30 28.3	3 2.8	17	0
不明	48 100.0	5 10.4	10 20.8	23 47.9	9 18.8	1 2.1	53	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)MITの組織種類は複数選択が可能となっている。

表88 組織種類別異議に及ぼす学位の影響—法学士(MIT)

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	701 100.0	47 8.7	110 15.7	388 55.2	150 21.4	28 4.0	224	0
行政機関	25 100.0	0 0.0	4 16.0	14 56.0	8 24.0	1 4.0	4	0
国公立 研究機関	47 100.0	0 0.0	4 8.5	23 48.9	17 36.2	3 6.4	12	0
大学(教 育研究)	30 100.0	1 3.3	4 13.3	14 46.7	11 36.7	0 0.0	28	0
大学 (研究)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	5	0
その他 公益法人	9 100.0	0 0.0	3 33.3	4 44.4	2 22.2	0 0.0	4	0
軍事 サービス	18 100.0	1 5.8	4 22.2	9 50.0	3 16.7	1 5.8	1	0
公共関連 小計	124 100.0	2 1.8	18 14.5	81 49.2	38 30.8	5 4.0	54	0
コンピ ュータ 付属機器	94 100.0	4 4.3	11 11.7	53 56.4	25 26.8	1 1.1	17	0
家電製品	6 100.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	2	0
上記以外 電気機械	28 100.0	0 0.0	1 3.6	18 64.3	8 28.6	1 3.6	9	0
非電気 機械	8 100.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	1	0
自動車並 関連機器	7 100.0	0 0.0	1 14.3	6 85.7	0 0.0	0 0.0	3	0
航空宇宙 関連産業	51 100.0	1 2.0	9 17.8	25 49.0	13 25.5	3 5.9	11	0
その他 輸送機器	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0	0
金属素材 金属製品	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0	0
化学製品	42 100.0	2 4.8	8 19.0	28 66.7	4 9.5	2 4.8	6	0
医薬品	12 100.0	0 0.0	5 41.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	3	0
その他 製造業	45 100.0	1 2.2	4 8.9	28 62.2	12 26.7	2 4.4	7	0
製造業 小計	297 100.0	9 3.0	41 13.8	184 61.9	72 24.2	11 3.7	58	0

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	9 100.0	1 11.1	1 11.1	5 55.8	2 22.2	0 0.0	1	0
通信業	12 100.0	0 0.0	3 25.0	6 50.0	3 25.0	0 0.0	4	0
公共関連 事業	9 100.0	2 22.2	4 44.4	2 22.2	1 11.1	0 0.0	1	0
運輸業	10 100.0	2 20.0	3 30.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0	0
金融保険	23 100.0	1 4.3	12 52.2	7 30.4	3 13.0	0 0.0	7	0
不動産業	5 100.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1	0
コンピ ュータ サービス	81 100.0	1 1.8	9 14.8	33 54.1	18 26.2	2 3.3	16	0
技術 コンサルタント	48 100.0	0 0.0	3 8.5	28 58.5	14 30.4	3 8.5	13	0
経営 コンサルタント	18 100.0	2 11.1	3 16.7	8 33.3	5 27.8	2 11.1	7	0
医療	17 100.0	1 5.9	4 23.5	10 58.8	1 5.9	1 5.9	10	0
法律	29 100.0	25 86.2	1 3.4	0 0.0	0 0.0	3 10.3	1	0
その他 非製造業	23 100.0	0 0.0	3 13.0	15 65.2	5 21.7	0 0.0	8	0
非製造業 小計	250 100.0	33 13.2	46 18.4	114 45.8	48 18.4	11 4.4	88	0
合計 防衛除く	652 100.0	44 6.7	101 15.5	332 50.9	148 22.7	27 4.1	172	0
防衛関連	104 100.0	2 1.9	15 14.4	53 51.0	29 27.9	5 4.8	19	0
不明	49 100.0	3 8.1	9 18.4	34 69.4	2 4.1	1 2.0	52	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)MITの組織種類は複数選択が可能になっている。

表89 給料に及ぼす学位の影響－工学士（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1128	30	233	808	48	9	34	0
	100.0	2.7	20.7	71.8	4.3	0.8		
1960	257	11	80	153	11	2	8	0
	100.0	4.3	31.1	59.5	4.3	0.8		
1970	292	9	69	205	8	1	7	0
	100.0	3.1	23.6	70.2	2.7	0.3		
1980	278	5	47	213	10	3	4	0
	100.0	1.8	16.9	78.8	3.6	1.1		
1985	299	5	38	238	19	3	14	0
	100.0	1.7	12.0	78.9	6.4	1.0		
不明	2	0	1	1	0	0	1	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表90 給料に及ぼす学位の影響－工学修士（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1118	15	319	739	38	9	44	0
	100.0	1.3	28.5	68.1	3.2	0.8		
1980	251	4	85	153	7	2	14	0
	100.0	1.6	33.9	61.0	2.8	0.8		
1970	289	5	74	200	9	1	10	0
	100.0	1.7	25.8	69.2	3.1	0.3		
1980	278	3	71	193	8	3	4	0
	100.0	1.1	25.5	69.4	2.9	1.1		
1985	298	3	88	193	11	3	15	0
	100.0	1.0	29.5	64.8	3.7	1.0		
不明	2	0	1	0	1	0	1	0
	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表91 給料に及ぼす学位の影響－工学博士（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1120	63	351	652	38	16	42	0
	100.0	5.6	31.3	58.2	3.4	1.4		
1980	253	20	87	137	7	2	12	0
	100.0	7.9	34.4	54.2	2.8	0.8		
1970	288	15	77	185	8	3	11	0
	100.0	5.2	26.7	64.2	2.8	1.0		
1980	278	11	84	168	11	4	4	0
	100.0	4.0	30.2	60.4	4.0	1.4		
1985	298	17	101	162	11	7	15	0
	100.0	5.7	33.9	54.4	3.7	2.3		
不明	3	0	2	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表92 給料に及ぼす学位の影響－工学士＋MBA（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1089	28	241	750	23	47	73	0
	100.0	2.6	22.1	68.9	2.1	4.3		
1980	238	9	60	155	7	7	27	0
	100.0	3.8	25.2	61.1	2.9	2.9		
1970	282	8	60	197	4	13	17	0
	100.0	2.8	21.3	69.8	1.4	4.6		
1980	273	4	58	194	5	12	9	0
	100.0	1.5	21.2	71.1	1.8	4.4		
1985	294	7	62	203	7	15	19	0
	100.0	2.4	21.1	69.0	2.4	5.1		
不明	2	0	1	1	0	0	1	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表93 給料に及ぼす学位の影響－文系学士＋MBA（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1089	28	213	780	21	47	73	0
	100.0	2.6	19.6	71.8	1.9	4.3		
1980	238	9	58	160	5	6	27	0
	100.0	3.8	24.4	67.2	2.1	2.5		
1970	282	9	53	202	8	12	17	0
	100.0	3.2	18.8	71.8	2.1	4.3		
1980	273	4	61	202	4	12	9	0
	100.0	1.5	22.3	74.0	1.5	4.4		
1985	294	8	60	215	8	17	19	0
	100.0	2.7	20.4	73.1	2.7	5.8		
不明	2	0	1	1	0	0	1	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表94 給料に及ぼす学位の影響－法学士（東大，東工大）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1078	28	176	820	18	36	84	0
	100.0	2.6	16.3	78.1	1.7	3.3		
1980	238	10	62	158	3	6	27	0
	100.0	4.2	26.1	68.4	1.3	2.1		
1970	278	9	48	208	8	8	23	0
	100.0	3.3	17.3	74.6	2.9	2.9		
1980	272	4	33	222	4	9	10	0
	100.0	1.5	12.1	81.6	1.5	3.3		
1985	290	5	31	233	6	18	23	0
	100.0	1.7	10.7	80.3	2.1	6.2		
不明	2	0	1	1	0	0	1	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表95 給料に及ぼす学位の影響－工学士（MIT）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	777	310	259	180	13	15	148	0
	100.0	39.9	33.3	23.2	1.7	1.9		
1980	136	87	48	19	2	0	39	0
	100.0	49.3	35.3	14.0	1.5	0.0		
1970	145	55	45	37	5	3	23	0
	100.0	37.9	31.0	25.5	3.4	2.1		
1980	238	97	80	51	4	8	39	0
	100.0	40.8	33.8	21.4	1.7	2.5		
1985	257	91	85	73	2	6	47	0
	100.0	35.4	33.1	28.4	0.8	2.3		
不明	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表98 給料に及ぼす学位の影響－工学修士（MIT）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	756	210	329	202	6	9	169	0
	100.0	27.8	43.5	26.7	0.8	1.2		
1980	132	42	51	38	1	0	43	0
	100.0	31.8	38.8	28.8	0.8	0.0		
1970	140	38	84	37	2	1	28	0
	100.0	25.7	45.7	26.4	1.4	0.7		
1980	233	55	111	82	2	3	44	0
	100.0	23.8	47.8	28.6	0.9	1.3		
1985	250	77	102	85	1	5	54	0
	100.0	30.8	40.8	28.0	0.4	2.0		
不明	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表97 給料に及ぼす学位の影響－工学博士（MIT）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	780	230	278	224	19	11	165	0
	100.0	30.3	36.3	29.5	2.5	1.4		
1980	139	45	64	34	5	1	38	0
	100.0	32.4	38.8	24.5	3.6	0.7		
1970	144	38	54	48	2	2	24	0
	100.0	26.4	37.5	33.3	1.4	1.4		
1980	228	87	74	78	8	3	49	0
	100.0	29.4	32.5	33.3	3.5	1.3		
1985	248	80	93	88	4	5	56	0
	100.0	32.3	37.5	28.8	1.8	2.0		
不明	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表98 給料に及ぼす学位の影響－工学士+MBA（MIT）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	727	216	272	213	14	12	198	0
	100.0	28.7	37.4	29.3	1.9	1.7		
1980	122	32	54	32	4	0	53	0
	100.0	26.2	44.3	26.2	3.3	0.0		
1970	141	35	82	39	4	1	27	0
	100.0	24.8	44.0	27.7	2.8	0.7		
1980	224	88	85	84	3	4	53	0
	100.0	30.4	37.9	28.8	1.3	1.8		
1985	239	80	71	78	3	7	85	0
	100.0	33.5	29.7	32.6	1.3	2.9		
不明	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表99 給料に及ぼす学位の影響－文系学士+MBA（MIT）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	698	39	270	257	115	17	227	0
	100.0	5.6	38.7	36.8	16.5	2.4		
1980	115	5	48	31	30	1	80	0
	100.0	4.3	41.7	27.0	26.1	0.9		
1970	133	8	47	63	23	4	35	0
	100.0	4.5	35.3	38.8	17.3	3.0		
1980	214	12	83	83	31	5	83	0
	100.0	5.8	38.8	38.8	14.5	2.3		
1985	235	15	92	90	31	7	89	0
	100.0	8.4	39.1	38.3	13.2	3.0		
不明	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表100 給料に及ぼす学位の影響－法学士（MIT）

影響年次	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	885	81	141	333	94	38	240	0
	100.0	11.8	20.8	48.6	13.7	5.3		
1980	114	12	28	49	25	2	81	0
	100.0	10.5	22.8	43.0	21.9	1.8		
1970	131	11	24	89	19	8	37	0
	100.0	8.4	18.3	52.7	14.5	8.1		
1980	210	32	48	90	28	14	87	0
	100.0	15.2	22.9	42.9	12.4	8.7		
1985	229	28	43	125	24	11	75	0
	100.0	11.4	18.8	54.6	10.5	4.8		
不明	1	0	0	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表101 組織種別別給料に及ぼす学位の影響—工学士（東大，東工大）

影響組織	合計	大要有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1128 100.0	30 2.7	233 20.7	808 71.8	48 4.3	9 0.8	34	0
行政機関	65 100.0	2 3.1	11 16.9	49 75.4	3 4.6	0 0.0	0	0
国公立研究機関	30 100.0	0 0.0	5 18.7	23 78.7	2 6.7	0 0.0	0	0
大学	75 100.0	8 8.0	4 5.3	44 58.7	18 24.0	3 4.0	11	0
公益法人	13 100.0	0 0.0	5 38.5	8 61.5	0 0.0	0 0.0	0	0
公共関連小計	183 100.0	8 4.4	25 13.7	124 67.8	23 12.6	3 1.6	11	0
コンピュータ 付属機器	108 100.0	0 0.0	18 14.8	84 77.8	8 5.8	2 1.9	0	0
家電製品	24 100.0	0 0.0	3 12.5	18 75.0	2 8.3	1 4.2	0	0
上記以外 電気機械	87 100.0	3 3.4	17 19.5	65 74.7	2 2.3	0 0.0	1	0
非電気 機械	72 100.0	0 0.0	21 29.2	49 68.1	1 1.4	1 1.4	0	0
自動車並 関連機器	51 100.0	1 2.0	8 15.7	41 80.4	1 2.0	0 0.0	0	0
航空宇宙 関連産業	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1	0
その他 輸送機器	20 100.0	1 5.0	5 25.0	14 70.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金属素材 金属製品	98 100.0	4 4.2	19 19.8	70 72.9	3 3.1	0 0.0	1	0
非鉄金属	30 100.0	0 0.0	8 26.7	21 70.0	1 3.3	0 0.0	0	0
食品工業	7 100.0	0 0.0	2 28.8	5 71.4	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	112 100.0	4 3.8	31 27.7	75 67.0	2 1.8	0 0.0	1	0
医療品	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
防衛関連 産業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他 製造業	36 100.0	1 2.8	11 30.8	20 55.6	3 8.3	1 2.8	0	0
製造業 小計	849 100.0	14 2.2	142 21.9	467 72.0	21 3.2	5 0.8	4	0

影響組織	合計	大要有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
鉱業	7 100.0	0 0.0	3 42.9	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1	0
建設業	78 100.0	5 6.4	13 16.7	59 75.6	1 1.3	0 0.0	1	0
通信業	28 100.0	0 0.0	10 38.5	15 57.7	1 3.8	0 0.0	0	0
公共関連 事業	49 100.0	1 2.0	18 32.7	32 65.3	0 0.0	0 0.0	0	0
運輸業	18 100.0	1 8.3	4 25.0	11 68.8	0 0.0	0 0.0	0	0
金融保険 (証券含)	12 100.0	0 0.0	1 8.3	11 91.7	0 0.0	0 0.0	0	0
不動産業	8 100.0	0 0.0	3 37.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0	0
情報処理	18 100.0	0 0.0	3 18.8	12 75.0	1 6.3	0 0.0	0	0
技術 コンサルタント	19 100.0	0 0.0	4 21.1	14 73.7	0 0.0	1 5.3	1	0
経営 コンサルタント	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
医療	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
法律	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他	48 100.0	0 0.0	8 12.5	41 85.4	1 2.1	0 0.0	1	0
非製造業 小計	288 100.0	7 2.4	83 22.0	211 73.8	4 1.4	1 0.3	4	0
不明	10 100.0	1 10.0	3 30.0	8 60.0	0 0.0	0 0.0	15	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表102 組織種別給料に及ぼす学位の影響－工学修士（東大、東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当	影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1118 100.0	15 1.3	319 28.5	739 66.1	36 3.2	9 0.8	44	0	鉱業	8 100.0	1 12.5	2 25.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0	0
行政機関	65 100.0	0 0.0	7 10.8	51 78.5	7 10.8	0 0.0	0	0	建設業	78 100.0	1 1.3	17 21.8	68 74.4	2 2.6	0 0.0	1	0
国公立研究機関	30 100.0	0 0.0	3 10.0	25 83.3	2 6.7	0 0.0	0	0	通信業	28 100.0	0 0.0	9 34.8	18 61.5	1 3.8	0 0.0	0	0
大学	75 100.0	4 5.3	13 17.3	43 57.3	12 16.0	3 4.0	11	0	公共関連事業	49 100.0	0 0.0	16 32.7	32 65.3	1 2.0	0 0.0	0	0
公益法人	13 100.0	0 0.0	4 30.8	7 53.8	2 15.4	0 0.0	0	0	運輸業	18 100.0	0 0.0	4 25.0	12 75.0	0 0.0	0 0.0	0	0
公共関連小計	183 100.0	4 2.2	27 14.8	128 68.9	23 12.8	3 1.8	11	0	金融保険(証券含)	12 100.0	0 0.0	2 16.7	10 83.3	0 0.0	0 0.0	0	0
コンピュータ付属機器	107 100.0	1 0.9	37 34.8	68 61.7	1 0.9	2 1.9	1	0	不動産業	7 100.0	0 0.0	3 42.9	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1	0
家電製品	24 100.0	1 4.2	8 33.3	14 58.3	0 0.0	1 4.2	0	0	情報処理	14 100.0	0 0.0	6 35.7	8 57.3	0 0.0	0 0.0	2	0
上記以外電気機械	88 100.0	1 1.2	28 30.2	58 67.4	1 1.2	0 0.0	2	0	技術コンサルタント	19 100.0	0 0.0	2 10.5	18 84.2	0 0.0	1 5.3	1	0
非電気機械	71 100.0	2 2.8	28 39.4	38 53.5	2 2.8	1 1.4	1	0	経営コンサルタント	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
自動車並関連機器	51 100.0	0 0.0	21 41.2	30 58.8	0 0.0	0 0.0	0	0	医療	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
航空宇宙関連産業	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1	0	法律	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他輸送機器	20 100.0	0 0.0	7 35.0	13 65.0	0 0.0	0 0.0	0	0	その他	47 100.0	1 2.1	11 23.4	34 72.3	1 2.1	0 0.0	2	0
金属材料金属製品	95 100.0	1 1.1	22 23.2	70 73.7	2 2.1	0 0.0	2	0	非製造業小計	283 100.0	3 1.1	71 25.1	203 71.7	5 1.8	1 0.4	7	0
非鉄金属	29 100.0	0 0.0	14 48.3	15 51.7	0 0.0	0 0.0	1	0	不明	9 100.0	0 0.0	0 0.0	9 100.0	0 0.0	0 0.0	18	0
食品工業	7 100.0	0 0.0	4 57.1	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0	0	非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	111 100.0	1 0.9	38 34.2	72 64.9	0 0.0	0 0.0	2	0									
医薬品	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0									
防衛関連産業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0									
その他製造業	38 100.0	1 2.8	15 41.7	17 47.2	2 5.8	1 2.8	0	0									
製造業小計	843 100.0	8 1.2	221 34.4	401 82.4	8 1.2	5 0.8	10	0									

表103 組織種類別給料に及ぼす学位の影響—工学博士（東大，東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1120	83	351	852	38	18	42	0
	100.0	5.8	31.3	58.2	3.4	1.4		
行政機関	84	0	5	51	8	0	1	0
	100.0	0.0	7.8	79.7	12.5	0.0		
国公立研究機関	30	1	10	17	2	0	0	0
	100.0	3.3	33.3	56.7	6.7	0.0		
大学	81	16	34	28	1	2	5	0
	100.0	19.8	42.0	34.8	1.2	2.5		
公益法人	13	0	3	8	2	0	0	0
	100.0	0.0	23.1	61.5	15.4	0.0		
公共関連小計	188	17	52	104	13	2	8	0
	100.0	9.0	27.7	55.3	6.9	1.1		
コンピュータ付属機器	107	8	44	50	2	3	1	0
	100.0	7.5	41.1	46.7	1.8	2.8		
家電製品	24	2	10	10	0	2	0	0
	100.0	8.3	41.7	41.7	0.0	8.3		
上記以外電気機械	86	5	29	50	1	1	2	0
	100.0	5.8	33.7	58.1	1.2	1.2		
非電気機械	70	6	28	35	2	1	2	0
	100.0	8.6	37.1	50.0	2.9	1.4		
自動車並関連機器	50	4	18	25	3	0	1	0
	100.0	8.0	36.0	50.0	6.0	0.0		
航空宇宙関連産業	5	0	3	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0		
その他輸送機器	20	1	7	12	0	0	0	0
	100.0	5.0	35.0	60.0	0.0	0.0		
金属素材金属製品	95	4	25	62	4	0	2	0
	100.0	4.2	26.3	65.3	4.2	0.0		
非鉄金属	29	2	14	13	0	0	1	0
	100.0	6.9	48.3	44.8	0.0	0.0		
食品工業	7	0	3	3	1	0	0	0
	100.0	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0		
化学製品	110	3	35	70	1	1	3	0
	100.0	2.7	31.8	63.6	0.9	0.9		
医療品	2	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
防衛関連産業	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他製造業	38	2	18	13	2	1	0	0
	100.0	5.8	50.0	38.1	5.8	2.8		
製造業小計	641	37	232	347	18	9	12	0
	100.0	5.8	36.2	54.1	2.5	1.4		
鉱業	7	0	2	5	0	0	1	0
	100.0	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0		
建設業	78	1	15	59	1	2	1	0
	100.0	1.3	19.2	75.8	1.3	2.8		
通信業	26	2	7	16	1	0	0	0
	100.0	7.7	26.9	61.5	3.8	0.0		
公共関連事業	49	1	18	27	4	1	0	0
	100.0	2.0	32.7	55.1	8.2	2.0		
運輸業	16	0	4	11	0	1	0	0
	100.0	0.0	25.0	68.8	0.0	6.3		
金融保険（証券含）	12	0	1	11	0	0	0	0
	100.0	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0		
不動産業	7	0	2	4	1	0	1	0
	100.0	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0		
情報処理	14	1	6	7	0	0	2	0
	100.0	7.1	42.9	50.0	0.0	0.0		
技術コンサルタント	19	0	4	14	0	1	1	0
	100.0	0.0	21.1	73.7	0.0	5.3		
経営コンサルタント	4	0	0	4	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
医療	2	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
法律	1	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
その他	47	4	9	33	1	0	2	0
	100.0	8.5	19.1	70.2	2.1	0.0		
非製造業小計	282	9	88	194	8	5	8	0
	100.0	3.2	23.4	68.8	2.8	1.8		
不明	9	0	1	7	1	0	16	0
	100.0	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表104 組織種類別給料に及ぼす学位の影響—工学士+MBA（東大、東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当	影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1089 100.0	28 2.8	241 22.1	750 68.9	23 2.1	47 4.3	73	0	鉱業	7 100.0	1 14.3	1 14.3	5 71.4	0 0.0	0 0.0	1	0
行政機関	84 100.0	0 0.0	4 6.3	52 61.3	7 10.9	1 1.8	1	0	建設業	78 100.0	1 1.3	15 19.2	58 71.8	2 2.8	4 5.1	1	0
国公立研究機関	29 100.0	0 0.0	2 6.9	25 86.2	0 0.0	2 6.9	1	0	通信業	25 100.0	0 0.0	8 24.0	17 68.0	0 0.0	2 8.0	1	0
大学	85 100.0	1 1.5	8 9.2	42 64.8	10 15.4	6 9.2	21	0	公共関連事業	49 100.0	2 4.1	13 26.5	33 67.3	0 0.0	1 2.0	0	0
公益法人	13 100.0	0 0.0	3 23.1	10 76.9	0 0.0	0 0.0	0	0	運輸業	18 100.0	1 6.3	4 25.0	11 68.8	0 0.0	0 0.0	0	0
公共関連小計	171 100.0	1 0.6	15 8.8	129 75.4	17 9.9	9 5.3	23	0	金融保険(証券含)	12 100.0	0 0.0	1 8.3	11 91.7	0 0.0	0 0.0	0	0
コンピュータ付属機器	108 100.0	1 0.9	22 20.8	78 71.7	0 0.0	7 6.6	2	0	不動産業	7 100.0	0 0.0	3 42.9	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1	0
家電製品	23 100.0	0 0.0	7 30.4	14 60.9	0 0.0	2 8.7	1	0	情報処理	14 100.0	2 14.3	4 28.6	8 57.1	0 0.0	0 0.0	2	0
上記以外電気機械	85 100.0	2 2.4	22 25.9	59 69.4	0 0.0	2 2.4	3	0	技術コンサルタント	19 100.0	1 5.3	3 15.8	14 73.7	0 0.0	1 5.3	1	0
非電気機械	67 100.0	3 4.5	19 28.4	43 64.2	0 0.0	2 3.0	5	0	経営コンサルタント	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
自動車並関連機器	50 100.0	1 2.0	18 32.0	28 56.0	1 2.0	4 8.0	1	0	医療	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
航空宇宙関連産業	4 100.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	1	0	法律	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1	0
その他輸送機器	20 100.0	1 5.0	6 30.0	13 65.0	0 0.0	0 0.0	0	0	その他	48 100.0	2 4.3	9 19.8	33 71.7	0 0.0	2 4.3	3	0
金属素材金属製品	93 100.0	2 2.2	28 28.0	60 64.5	0 0.0	5 5.4	4	0	非製造業小計	279 100.0	10 3.8	59 21.1	198 71.0	2 0.7	10 3.6	11	0
非鉄金属	28 100.0	3 10.7	6 21.4	19 67.9	0 0.0	0 0.0	2	0	不明	9 100.0	0 0.0	0 0.0	9 100.0	0 0.0	0 0.0	18	0
食品工業	7 100.0	0 0.0	2 28.8	4 57.1	0 0.0	1 14.3	0	0	非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	109 100.0	1 0.9	31 28.4	75 68.8	0 0.0	2 1.8	4	0									
医療品	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0									
防衛関連産業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0									
その他製造業	38 100.0	3 8.3	10 27.8	18 50.0	3 8.3	2 5.8	0	0									
製造業小計	830 100.0	17 2.7	187 28.5	414 65.7	4 0.8	28 4.4	23	0									

表105 組織種類別給料に及ぼす学位の影響 一文系学士+MBA (東大, 東工大)

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当	影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1089	28	213	780	21	47	73	0	鉱業	7	1	0	8	0	0	1	0
	100.0	2.8	19.8	71.6	1.9	4.3				100.0	14.3	0.0	85.7	0.0	0.0		
行政機関	64	2	8	51	4	1	1	0	建設業	78	2	11	80	1	4	1	0
	100.0	3.1	9.4	79.7	6.3	1.6				100.0	2.6	14.1	78.9	1.3	5.1		
国公立研究機関	29	0	1	25	1	2	1	0	通信業	25	0	4	19	0	2	1	0
	100.0	0.0	3.4	86.2	3.4	6.9				100.0	0.0	16.0	78.0	0.0	8.0		
大学	64	1	2	46	9	6	22	0	公共関連事業	49	3	13	32	0	1	0	0
	100.0	1.6	3.1	71.9	14.1	9.4				100.0	6.1	26.5	65.3	0.0	2.0		
公益法人	13	0	2	11	0	0	0	0	運輸業	18	3	3	10	0	0	0	0
	100.0	0.0	15.4	84.6	0.0	0.0				100.0	18.8	18.8	62.5	0.0	0.0		
公共関連小計	170	3	11	133	14	9	24	0	金融保険(証券含)	12	0	1	11	0	0	0	0
	100.0	1.8	6.5	78.2	8.2	5.3				100.0	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0		
コンピュータ付属機器	108	1	17	78	3	7	2	0	不動産業	7	1	2	4	0	0	1	0
	100.0	0.9	16.0	73.6	2.8	6.6				100.0	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0		
家電製品	23	0	6	14	0	3	1	0	情報処理	14	1	3	10	0	0	2	0
	100.0	0.0	26.1	60.9	0.0	13.0				100.0	7.1	21.4	71.4	0.0	0.0		
上記以外電気機械	85	1	18	64	0	2	3	0	技術コンサルタント	19	1	3	14	0	1	1	0
	100.0	1.2	21.2	75.3	0.0	2.4				100.0	5.3	15.8	73.7	0.0	5.3		
非電気機械	87	3	14	48	0	2	5	0	経営コンサルタント	4	0	0	4	0	0	0	0
	100.0	4.5	20.9	71.6	0.0	3.0				100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
自動車並関連機器	50	1	14	31	1	3	1	0	医療	2	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	2.0	28.0	62.0	2.0	6.0				100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
航空宇宙関連産業	4	0	0	3	0	1	1	0	法律	0	0	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他輸送機器	20	1	5	14	0	0	0	0	その他	48	0	9	35	0	2	3	0
	100.0	5.0	25.0	70.0	0.0	0.0				100.0	0.0	19.6	76.1	0.0	4.3		
金属素材金属製品	93	2	24	62	0	5	4	0	非製造業小計	279	12	49	207	1	10	11	0
	100.0	2.2	25.8	66.7	0.0	5.4				100.0	4.3	17.8	74.2	0.4	3.6		
非鉄金属	28	0	9	19	0	0	2	0	不明	9	0	0	8	1	0	18	0
	100.0	0.0	32.1	67.9	0.0	0.0				100.0	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0		
食品工業	7	0	2	4	0	1	0	0	非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	28.6	57.1	0.0	14.3				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
化学製品	110	1	34	73	0	2	3	0									
	100.0	0.9	30.9	68.4	0.0	1.8											
医療品	2	0	0	2	0	0	0	0									
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0											
防衛関連産業	0	0	0	0	0	0	0	0									
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
その他製造業	38	3	10	20	1	2	0	0									
	100.0	8.3	27.8	55.8	2.8	5.8											
製造業小計	631	13	153	432	5	28	22	0									
	100.0	2.1	24.2	68.5	0.8	4.4											

表108 組織種類別給料に及ぼす学位の影響—法学士（東大，東工大）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	1078 100.0	28 2.8	178 18.3	820 78.1	18 1.7	36 3.3	84	0
行政機関	84 100.0	5 7.8	5 7.8	53 82.8	1 1.8	0 0.0	1	0
国公立研究機関	29 100.0	0 0.0	1 3.4	25 86.2	1 3.4	2 6.9	1	0
大学	84 100.0	1 1.8	0 0.0	47 73.4	10 15.8	8 9.4	22	0
公益法人	13 100.0	0 0.0	4 30.8	9 69.2	0 0.0	0 0.0	0	0
公共関連小計	170 100.0	8 3.5	10 5.9	134 78.8	12 7.1	8 4.7	24	0
コンピュータ 付属機器	105 100.0	0 0.0	11 10.5	85 81.0	2 1.9	7 6.7	3	0
家電製品	23 100.0	0 0.0	3 13.0	18 69.6	1 4.3	3 13.0	1	0
上記以外 電気機械	85 100.0	2 2.4	13 15.3	67 78.8	1 1.2	2 2.4	3	0
非電気 機械	64 100.0	2 3.1	10 15.6	50 78.1	0 0.0	2 3.1	8	0
自動車並 関連機器	48 100.0	0 0.0	8 16.7	39 81.3	0 0.0	1 2.1	3	0
航空宇宙 関連産業	4 100.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	1	0
その他 輸送機器	20 100.0	0 0.0	5 25.0	15 75.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金属素材 金属製品	92 100.0	5 5.4	19 20.7	64 69.6	0 0.0	4 4.3	5	0
非鉄金属	28 100.0	0 0.0	6 21.4	22 78.8	0 0.0	0 0.0	2	0
食品工業	7 100.0	0 0.0	2 28.6	5 71.4	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	110 100.0	3 2.7	29 26.4	77 70.0	0 0.0	1 0.9	3	0
医薬品	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
防衛関連 産業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
その他 製造業	38 100.0	1 2.8	11 30.8	22 81.1	1 2.8	1 2.8	0	0
製造業 小計	824 100.0	13 2.1	117 18.8	487 74.8	5 0.8	22 3.5	29	0

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
鉱業	7 100.0	1 14.3	2 28.6	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1	0
建設業	78 100.0	1 1.3	11 14.5	62 81.8	0 0.0	2 2.6	3	0
通信業	25 100.0	0 0.0	8 24.0	17 68.0	0 0.0	2 8.0	1	0
公共関連 事業	48 100.0	2 4.2	14 29.2	32 66.7	0 0.0	0 0.0	1	0
運輸業	16 100.0	4 25.0	3 18.8	9 56.3	0 0.0	0 0.0	0	0
金融保険 (証券含)	11 100.0	0 0.0	1 9.1	10 90.9	0 0.0	0 0.0	1	0
不動産業	7 100.0	0 0.0	5 71.4	2 28.8	0 0.0	0 0.0	1	0
情報処理	14 100.0	0 0.0	2 14.3	12 85.7	0 0.0	0 0.0	2	0
技術 コンサルタント	19 100.0	0 0.0	2 10.5	16 84.2	0 0.0	1 5.3	1	0
経営 コンサルタント	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
医療	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
法律	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1	0
その他	46 100.0	0 0.0	3 6.5	42 91.3	0 0.0	1 2.2	3	0
非製造業 小計	275 100.0	8 2.9	49 17.8	212 77.1	0 0.0	6 2.2	15	0
不明	9 100.0	1 11.1	0 0.0	7 77.8	1 11.1	0 0.0	18	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

表107 組織種類別給料に及ぼす学位の影響－工学士（MIT）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	777	310	259	180	13	15	148	0
行政機関	28	14	6	6	0	0	3	0
国公立研究機関	53	25	15	11	2	0	6	0
大学(教育研究)	33	12	3	18	2	0	25	0
大学(研究)	2	1	0	1	0	0	4	0
その他公益法人	12	3	4	5	0	0	1	0
軍事サービス	18	2	3	11	0	2	1	0
公共関連小計	138	58	31	45	4	2	40	0
コンピュータ付属機器	105	46	39	17	2	1	6	0
家電製品	8	3	5	0	0	0	0	0
上記以外電気機械	33	20	11	2	0	0	4	0
非電気機械	9	4	3	2	0	0	0	0
自動車並関連機器	10	2	5	3	0	0	0	0
航空宇宙関連産業	58	34	18	4	1	1	4	0
その他輸送機器	1	1	0	0	0	0	0	0
金属素材金属製品	3	1	1	1	0	0	0	0
非鉄金属	3	2	1	0	0	0	0	0
食品工業	4	0	3	1	0	0	1	0
化学製品	46	16	20	7	2	1	2	0
医薬品	13	3	9	1	0	0	2	0
その他製造業	50	15	22	11	1	1	2	0
製造業小計	334	142	135	47	8	4	21	0
建設業	10	4	5	1	0	0	0	0
通信業	13	7	4	2	0	0	3	0
公共関連事業	10	8	2	0	0	0	0	0
運輸業	8	3	5	0	0	0	2	0
金融保険	25	3	10	11	1	0	5	0
不動産業	4	1	0	3	0	0	2	0
コンピュータサービス	89	24	28	18	0	1	8	0
技術コンサルタント	52	34	8	8	0	2	7	0
経営コンサルタント	22	5	8	9	1	1	3	0
医療	19	1	2	16	0	0	8	0
法律	28	8	8	10	0	2	2	0
その他非製造業	27	8	6	13	0	0	4	0
非製造業小計	273	101	78	86	2	6	43	0
合計防衛除く	721	291	238	170	12	12	103	0
防衛関連	112	51	35	22	3	1	11	0
不明	58	19	23	10	1	3	45	0
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)MITの組織種類は複数選択が可能になっている。

表108 組織種類別給料に及ぼす学位の影響－工学修士（MIT）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	756 100.0	210 27.8	329 43.5	202 28.7	6 0.8	9 1.2	189	0
行政機関	25 100.0	8 32.0	10 40.0	7 28.0	0 0.0	0 0.0	4	0
国公立研究機関	54 100.0	24 44.4	23 42.8	8 11.1	1 1.9	0 0.0	5	0
大学(教育研究)	31 100.0	10 32.3	5 18.1	14 45.2	2 6.5	0 0.0	27	0
大学(研究)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5	0
その他公益法人	10 100.0	3 30.0	3 30.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	3	0
軍事サービス	18 100.0	4 22.2	2 11.1	10 55.8	0 0.0	2 11.1	1	0
公共関連小計	133 100.0	49 38.8	43 32.3	38 27.1	3 2.3	2 1.5	45	0
コンピュータ付属機器	105 100.0	38 34.8	48 45.7	19 18.1	1 1.0	1 1.0	8	0
家電製品	7 100.0	4 57.1	2 28.8	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1	0
上記以外電気機械	34 100.0	11 32.4	21 81.8	2 5.9	0 0.0	0 0.0	3	0
非電気機械	9 100.0	1 11.1	8 88.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
自動車並関連機器	9 100.0	1 11.1	6 66.7	2 22.2	0 0.0	0 0.0	1	0
航空宇宙関連産業	58 100.0	24 41.4	25 43.1	9 15.5	0 0.0	0 0.0	4	0
その他輸送機器	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金属素材金属製品	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1	0
化学製品	45 100.0	8 17.8	22 48.9	13 28.9	1 2.2	1 2.2	3	0
医薬品	13 100.0	3 23.1	8 81.5	2 15.4	0 0.0	0 0.0	2	0
その他製造業	49 100.0	11 22.4	24 49.0	13 28.5	0 0.0	1 2.0	3	0
製造業小計	331 100.0	99 29.9	168 50.2	61 18.4	2 0.6	3 0.9	24	0

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	10 100.0	2 20.0	6 80.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0	0
通信業	12 100.0	7 58.3	3 25.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	4	0
公共関連事業	9 100.0	2 22.2	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0 0.0	1	0
運輸業	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2	0
金融保険	25 100.0	2 8.0	9 36.0	13 52.0	1 4.0	0 0.0	5	0
不動産業	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	2	0
コンピュータサービス	68 100.0	13 19.1	39 57.4	15 22.1	0 0.0	1 1.5	9	0
技術コンサルタント	52 100.0	25 48.1	22 42.3	5 9.8	0 0.0	0 0.0	7	0
経営コンサルタント	20 100.0	2 10.0	7 35.0	10 50.0	0 0.0	1 5.0	5	0
医療	17 100.0	1 5.9	2 11.8	14 82.4	0 0.0	0 0.0	10	0
法律	25 100.0	0 0.0	6 24.0	19 76.0	0 0.0	0 0.0	5	0
その他非製造業	25 100.0	3 12.0	9 38.0	13 52.0	0 0.0	0 0.0	6	0
非製造業小計	261 100.0	57 21.8	103 39.5	98 37.5	1 0.4	2 0.8	55	0
合計防衛除く	702 100.0	197 28.1	301 42.9	191 27.2	6 0.9	7 1.0	122	0
防衛関連	113 100.0	47 41.8	43 38.1	21 18.6	1 0.9	1 0.9	10	0
不明	54 100.0	13 24.1	28 51.9	11 20.4	0 0.0	2 3.7	47	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)MITの組織種類は複数選択が可能となっている。

表109 組織種類別給料に及ぼす学位の影響－工学博士（MIT）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当	影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	760	230	276	224	19	11	185	0	建設業	10	2	1	4	2	1	0	0
	100.0	30.3	36.3	29.5	2.5	1.4				100.0	20.0	10.0	40.0	20.0	10.0		
行政機関	25	7	8	10	0	0	4	0	通信業	14	7	5	2	0	0	2	0
	100.0	28.0	32.0	40.0	0.0	0.0				100.0	50.0	35.7	14.3	0.0	0.0		
国公立 研究機関	56	34	17	5	0	0	3	0	公共関連 事業	8	0	5	3	0	0	2	0
	100.0	60.7	30.4	8.9	0.0	0.0				100.0	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0		
大学(教 育研究)	44	28	6	8	0	2	14	0	運輸業	8	3	2	3	0	0	2	0
	100.0	63.6	13.6	18.2	0.0	4.5				100.0	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0		
大学 (研究)	3	3	0	0	0	0	3	0	金融保険	22	4	5	12	1	0	8	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0				100.0	18.2	22.7	54.5	4.5	0.0		
その他 公益法人	10	5	2	3	0	0	3	0	不動産業	4	0	0	4	0	0	2	0
	100.0	50.0	20.0	30.0	0.0	0.0				100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
軍事 サービス	18	2	3	10	1	2	1	0	コンピュータ サービス	88	21	21	23	2	1	9	0
	100.0	11.1	16.7	55.8	5.6	11.1				100.0	30.9	30.9	33.8	2.9	1.5		
公共関連 小計	150	78	38	31	1	4	28	0	技術 コンサルタント	50	13	24	13	0	0	9	0
	100.0	52.0	24.0	20.7	0.7	2.7				100.0	28.0	48.0	28.0	0.0	0.0		
コンピュータ 付属機器	105	28	44	28	3	2	6	0	経営 コンサルタント	20	3	3	10	3	1	5	0
	100.0	26.7	41.9	26.7	2.9	1.9				100.0	15.0	15.0	50.0	15.0	5.0		
家電製品	6	2	1	3	0	0	2	0	医療	17	1	3	13	0	0	10	0
	100.0	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0				100.0	5.9	17.6	76.5	0.0	0.0		
上記以外 電気機械	31	11	12	4	4	0	6	0	法律	25	1	8	17	1	0	5	0
	100.0	35.5	38.7	12.9	12.9	0.0				100.0	4.0	24.0	68.0	4.0	0.0		
非電気 機械	9	3	3	3	0	0	0	0	その他 非製造業	24	4	6	13	1	0	7	0
	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0				100.0	16.7	25.0	54.2	4.2	0.0		
自動車並 関連機器	9	5	2	2	0	0	1	0	非製造業 小計	257	51	80	113	10	3	59	0
	100.0	55.6	22.2	22.2	0.0	0.0				100.0	19.8	31.1	44.0	3.9	1.2		
航空宇宙 関連産業	57	20	26	10	1	0	5	0	合計	708	208	258	212	19	9	118	0
	100.0	35.1	45.8	17.5	1.8	0.0			防衛除く	100.0	29.5	36.5	30.0	2.7	1.3		
その他 輸送機器	1	0	0	1	0	0	0	0	防衛関連	113	48	41	21	2	1	10	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0				100.0	42.5	36.3	18.6	1.8	0.9		
金属素材 金属製品	3	0	2	1	0	0	0	0	不明	54	22	18	12	0	2	47	0
	100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0				100.0	40.7	33.3	22.2	0.0	3.7		
非鉄金属	3	1	2	0	0	0	0	0	非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
食品工業	4	0	2	2	0	0	1	0									
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0											
化学製品	45	13	25	7	0	0	3	0									
	100.0	28.9	55.6	15.6	0.0	0.0											
医薬品	13	2	9	2	0	0	2	0									
	100.0	15.4	69.2	15.4	0.0	0.0											
その他 製造業	48	12	18	15	0	1	8	0									
	100.0	28.1	39.1	32.8	0.0	2.2											
製造業 小計	323	94	146	72	8	3	32	0									
	100.0	29.1	45.2	22.3	2.5	0.9											

(注)MITの組織種類は複数選択になっている。

表110 組織種類別給料に及ぼす学位の影響－工学士＋MBA（M I T）

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	727	216	272	213	14	12	198	0
	100.0	29.7	37.4	29.3	1.9	1.7		
行政機関	24	4	8	12	0	0	5	0
	100.0	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0		
国公立研究機関	48	8	18	19	3	0	11	0
	100.0	16.7	37.5	39.8	6.3	0.0		
大学(教育研究)	32	3	7	18	6	0	28	0
	100.0	9.4	21.9	50.0	18.8	0.0		
大学(研究)	1	0	1	0	0	0	5	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
その他公益法人	10	1	4	5	0	0	3	0
	100.0	10.0	40.0	50.0	0.0	0.0		
軍事サービス	18	2	4	10	0	2	1	0
	100.0	11.1	22.2	55.6	0.0	11.1		
公共関連小計	127	18	41	57	9	2	51	0
	100.0	14.2	32.3	44.9	7.1	1.6		
コンピュータ付属機器	101	30	45	24	0	2	10	0
	100.0	29.7	44.6	23.8	0.0	2.0		
家電製品	7	3	3	1	0	0	1	0
	100.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0		
上記以外電気機械	29	10	11	8	0	0	8	0
	100.0	34.5	37.9	27.6	0.0	0.0		
非電気機械	9	5	4	0	0	0	0	0
	100.0	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0		
自動車並関連機器	9	3	5	1	0	0	1	0
	100.0	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0		
航空宇宙関連産業	58	18	22	14	1	1	6	0
	100.0	32.1	39.3	25.0	1.8	1.8		
その他輸送機器	1	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
金属材料金属製品	3	1	2	0	0	0	0	0
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0		
非鉄金属	3	1	2	0	0	0	0	0
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0		
食品工業	4	2	2	0	0	0	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		
化学製品	45	18	20	6	0	1	3	0
	100.0	40.0	44.4	13.3	0.0	2.2		
医療品	13	6	7	0	0	0	2	0
	100.0	46.2	53.8	0.0	0.0	0.0		
その他製造業	48	12	18	15	0	1	8	0
	100.0	28.1	39.1	32.6	0.0	2.2		
製造業小計	317	108	137	68	1	5	38	0
	100.0	33.4	43.2	21.5	0.3	1.6		

影響組織	合計	大変有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	10	3	4	2	1	0	0	0
	100.0	30.0	40.0	20.0	10.0	0.0		
通信業	13	4	5	4	0	0	3	0
	100.0	30.8	38.5	30.8	0.0	0.0		
公共関連事業	9	2	7	0	0	0	1	0
	100.0	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0		
運輸業	8	2	5	1	0	0	2	0
	100.0	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0		
金融保険	27	12	13	2	0	0	3	0
	100.0	44.4	48.1	7.4	0.0	0.0		
不動産業	4	1	1	2	0	0	2	0
	100.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0		
コンピュータサービス	87	24	24	18	0	1	10	0
	100.0	35.8	35.8	28.9	0.0	1.5		
技術コンサルタント	47	14	14	19	0	0	12	0
	100.0	29.8	29.8	40.4	0.0	0.0		
経営コンサルタント	22	15	5	2	0	0	3	0
	100.0	68.2	22.7	9.1	0.0	0.0		
医療	17	2	3	11	1	0	10	0
	100.0	11.8	17.8	64.7	5.9	0.0		
法律	24	2	5	14	2	1	6	0
	100.0	8.3	20.8	58.3	8.3	4.2		
その他非製造業	23	4	8	11	0	0	8	0
	100.0	17.4	34.8	47.8	0.0	0.0		
非製造業小計	258	77	90	85	4	2	58	0
	100.0	29.8	34.9	32.9	1.6	0.8		
合計防衛除く	880	197	258	202	14	9	144	0
	100.0	29.0	37.9	29.7	2.1	1.3		
防衛関連	105	24	36	39	4	2	18	0
	100.0	22.9	34.3	37.1	3.8	1.9		
不明	47	19	14	11	0	3	54	0
	100.0	40.4	29.8	23.4	0.0	6.4		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注)MITの組織種類は複数選択になっている。

表111 組織種類別給料に及ぼす学位の影響—文系学士（MIT）

影響 組織	合計	大変 有利	有利	影響 なし	不利	その他	不明	非該当
全体	698	39	270	257	115	17	227	0
	100.0	5.6	38.7	36.8	16.5	2.4		
行政機関	24	1	5	13	4	1	5	0
	100.0	4.2	20.8	54.2	16.7	4.2		
国公立 研究機関	47	3	8	21	15	0	12	0
	100.0	6.4	17.0	44.7	31.9	0.0		
大学(教 育研究)	28	0	6	13	7	2	30	0
	100.0	0.0	21.4	46.4	25.0	7.1		
大学 (研究)	1	0	0	1	0	0	5	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
その他 公益法人	9	0	3	4	2	0	4	0
	100.0	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0		
軍事 サービス	18	1	4	11	0	2	1	0
	100.0	5.6	22.2	61.1	0.0	11.1		
公共関連 小計	121	5	25	58	28	5	57	0
	100.0	4.1	20.7	47.9	23.1	4.1		
コンピ ュータ 付属機器	99	2	45	32	17	3	12	0
	100.0	2.0	45.5	32.3	17.2	3.0		
家電製品	5	1	2	1	1	0	3	0
	100.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0		
上記以外 電気機械	28	3	9	10	8	0	9	0
	100.0	10.7	32.1	35.7	21.4	0.0		
非電気 機械	8	1	4	2	1	0	1	0
	100.0	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0		
自動車並 関連機器	9	1	5	2	1	0	1	0
	100.0	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0		
航空宇宙 関連産業	52	1	20	18	10	3	10	0
	100.0	1.9	38.5	34.8	19.2	5.8		
その他 輸送機器	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
金属素材 金属製品	3	0	3	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
非鉄金属	3	0	2	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0		
食品工業	4	1	1	1	1	0	1	0
	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0		
化学製品	41	1	21	10	8	1	7	0
	100.0	2.4	51.2	24.4	19.5	2.4		
医薬品	13	2	7	2	2	0	2	0
	100.0	15.4	53.8	15.4	15.4	0.0		
その他 製造業	45	1	19	19	5	1	7	0
	100.0	2.2	42.2	42.2	11.1	2.2		
製造業 小計	303	14	136	95	50	8	52	0
	100.0	4.6	44.9	31.4	16.5	2.6		

影響 組織	合計	大変 有利	有利	影響 なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	10	0	8	3	1	0	0	0
	100.0	0.0	80.0	30.0	10.0	0.0		
通信業	11	1	3	3	4	0	5	0
	100.0	9.1	27.3	27.3	36.4	0.0		
公共関連 事業	9	0	8	2	1	0	1	0
	100.0	0.0	88.7	22.2	11.1	0.0		
運輸業	8	1	6	1	0	0	2	0
	100.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0		
金融保険	23	3	14	4	2	0	7	0
	100.0	13.0	60.8	17.4	8.7	0.0		
不動産業	4	1	1	1	1	0	2	0
	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0		
コンピ ュータ サービス	63	2	28	25	8	2	14	0
	100.0	3.2	44.4	39.7	9.5	3.2		
技術 コンサルタント	48	2	14	17	13	0	13	0
	100.0	4.3	30.4	37.0	28.3	0.0		
経営 コンサルタント	21	5	12	3	1	0	4	0
	100.0	23.8	57.1	14.3	4.8	0.0		
医療	17	1	3	10	3	0	10	0
	100.0	5.9	17.6	58.8	17.8	0.0		
法律	23	0	5	14	4	0	7	0
	100.0	0.0	21.7	60.9	17.4	0.0		
その他 非製造業	23	0	12	9	2	0	8	0
	100.0	0.0	52.2	39.1	8.7	0.0		
非製造業 小計	248	18	101	92	35	2	70	0
	100.0	6.5	41.1	37.4	14.2	0.8		
合計 防衛除く	851	35	254	239	109	14	173	0
	100.0	5.4	39.0	36.7	18.7	2.2		
防衛関連	105	5	32	43	21	4	18	0
	100.0	4.8	30.5	41.0	20.0	3.8		
不明	47	4	18	18	6	3	64	0
	100.0	8.5	34.0	38.3	12.8	6.4		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注)MITの組織種類は複数選択が可能となっている。

表112 組織種類別給料に及ぼす学位の影響－法学士（MIT）

影響組織	合計	大塚有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
全体	885 100.0	81 11.8	141 20.8	333 48.8	94 13.7	38 5.3	240	0
行政機関	23 100.0	2 8.7	5 21.7	12 52.2	3 13.0	1 4.3	8	0
国公立研究機関	47 100.0	3 8.4	3 8.4	24 51.1	15 31.9	2 4.3	12	0
大学(教育研究)	28 100.0	1 3.8	5 17.9	14 50.0	8 21.4	2 7.1	30	0
大学(研究)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	5	0
その他公益法人	9 100.0	0 0.0	3 33.3	4 44.4	2 22.2	0 0.0	4	0
軍事サービス	18 100.0	2 11.1	1 5.8	13 72.2	0 0.0	2 11.1	1	0
公共関連小計	120 100.0	8 6.7	18 13.3	83 52.5	26 21.7	7 5.8	58	0
コンピュータ付属機器	98 100.0	9 9.4	21 21.9	49 51.0	15 15.8	2 2.1	15	0
家電製品	6 100.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	2	0
上記以外電気機械	26 100.0	0 0.0	5 19.2	15 57.7	3 11.5	3 11.5	11	0
非電気機械	8 100.0	1 12.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1	0
自動車並関連機器	8 100.0	1 12.5	0 0.0	7 87.5	0 0.0	0 0.0	2	0
航空宇宙関連産業	51 100.0	4 7.8	14 27.5	21 41.2	8 15.7	4 7.8	11	0
その他輸送機器	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0	0
金属素材金属製品	3 100.0	0 0.0	2 88.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	4 100.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1	0
化学製品	40 100.0	5 12.5	13 32.5	15 37.5	3 7.5	4 10.0	8	0
医薬品	12 100.0	2 16.7	2 16.7	3 25.0	2 16.7	3 25.0	3	0
その他製造業	42 100.0	8 14.3	8 14.3	24 57.1	4 9.5	2 4.8	10	0
製造業小計	292 100.0	28 9.8	89 23.8	138 47.3	38 13.0	19 6.5	83	0

影響組織	合計	大塚有利	有利	影響なし	不利	その他	不明	非該当
建設業	10 100.0	0 0.0	3 30.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	0	0
通信業	11 100.0	0 0.0	4 36.4	5 45.5	2 18.2	0 0.0	5	0
公共関連事業	9 100.0	2 22.2	4 44.4	2 22.2	1 11.1	0 0.0	1	0
運輸業	8 100.0	1 12.5	8 75.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2	0
金融保険	23 100.0	4 17.4	9 39.1	8 34.8	2 8.7	0 0.0	7	0
不動産業	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	2	0
コンピュータサービス	80 100.0	1 1.7	11 18.3	39 85.0	7 11.7	2 3.3	17	0
技術コンサルタント	46 100.0	3 6.5	4 8.7	25 54.3	12 28.1	2 4.3	13	0
経営コンサルタント	18 100.0	2 11.1	7 38.9	8 33.3	2 11.1	1 5.6	7	0
医療	17 100.0	1 5.9	4 23.5	11 64.7	1 5.9	0 0.0	10	0
法律	28 100.0	26 92.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.1	2	0
その他非製造業	23 100.0	1 4.3	4 17.4	13 56.5	5 21.7	0 0.0	8	0
非製造業小計	245 100.0	38 15.5	54 22.0	115 46.9	30 12.2	8 3.3	71	0
合計防衛除く	638 100.0	73 11.4	133 20.8	308 48.3	91 14.3	33 5.2	188	0
防衛関連	103 100.0	8 5.8	19 18.4	52 50.5	21 20.4	5 4.9	20	0
不明	47 100.0	8 17.0	8 17.0	25 53.2	3 6.4	3 6.4	54	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)MITの組織種類は複数選択が可能になっている。

表113 理工系出身者の地位（東大，東工大）

地位 卒業年次	合計	理工系の 地位高い	理工系の 地位低い	同じ	分からない	その他	不明	非該当
全体	1141 100.0	308 26.8	242 21.2	478 41.9	82 7.2	33 2.9	21	0
1960	262 100.0	81 23.3	58 22.1	130 49.6	3 1.1	10 3.8	3	0
1970	297 100.0	81 27.3	64 21.5	128 42.4	22 7.4	4 1.3	2	0
1980	280 100.0	80 28.8	60 21.4	102 36.4	23 8.2	15 5.4	2	0
1985	299 100.0	84 28.1	58 19.4	119 39.8	34 11.4	4 1.3	14	0
不明	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)理工系出身者の地位を文科系出身者のそれと比較している

表114 理工系出身者の地位（MIT）

地位 卒業年次	合計	理工系の 地位高い	理工系の 地位低い	同じ	わからない	その他	不明	非該当
全体	882 100.0	663 75.2	22 2.5	124 14.1	53 6.0	20 2.3	43	0
1960	184 100.0	126 78.8	5 3.0	19 11.8	8 4.9	6 3.7	11	0
1970	156 100.0	120 78.9	3 1.9	23 14.7	7 4.5	3 1.9	12	0
1980	265 100.0	211 79.6	7 2.6	35 13.2	10 3.8	2 0.8	12	0
1985	298 100.0	205 69.3	7 2.4	47 15.9	28 9.5	9 3.0	8	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)理工系出身者の地位を文科系出身者のそれと比較している

表115 組織別理工系出身者の地位（東大，東工大）

地位 組織	合計	理工系 地位高	理工系 地位低	同じ	分から ない	その他	不明	非該当
全体	1141	308	242	478	82	33	21	0
	100.0	28.8	21.2	41.9	7.2	2.9		
行政機関	65	3	39	19	4	0	0	0
	100.0	4.6	60.0	29.2	6.2	0.0		
国公立 研究機関	30	12	5	7	4	2	0	0
	100.0	40.0	16.7	23.3	13.3	6.7		
大学	83	20	2	39	10	12	3	0
	100.0	24.1	2.4	47.0	12.0	14.5		
公益法人	13	4	2	7	0	0	0	0
	100.0	30.8	15.4	53.8	0.0	0.0		
公共関連 小計	191	39	48	72	18	14	3	0
	100.0	20.4	25.1	37.7	9.4	7.3		
コンピ ュータ 付属機器	108	57	5	37	9	0	0	0
	100.0	52.8	4.8	34.3	8.3	0.0		
家電製品	24	8	2	12	2	0	0	0
	100.0	33.3	8.3	50.0	8.3	0.0		
上記以外 電気機械	87	29	7	41	10	0	1	0
	100.0	33.3	8.0	47.1	11.5	0.0		
非電気 機械	72	28	8	28	5	3	0	0
	100.0	38.9	11.1	38.9	6.9	4.2		
自動車並 関連機器	51	18	2	28	2	3	0	0
	100.0	31.4	3.9	54.9	3.9	5.9		
航空宇宙 関連産業	5	3	0	1	1	0	0	0
	100.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0		
その他 輸送機器	20	12	1	7	0	0	0	0
	100.0	60.0	5.0	35.0	0.0	0.0		
金属素材 金属製品	97	12	49	31	4	1	0	0
	100.0	12.4	50.5	32.0	4.1	1.0		
非鉄金属	30	2	5	22	1	0	0	0
	100.0	8.7	16.7	73.3	3.3	0.0		
食品工業	7	0	6	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0		
化学製品	113	15	35	52	10	1	0	0
	100.0	13.3	31.0	46.0	8.8	0.9		
医療品	2	1	0	1	0	0	0	0
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
防衛関連 産業	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他 製造業	38	2	9	20	4	1	0	0
	100.0	5.8	25.0	55.8	11.1	2.8		
製造業 小計	652	185	129	281	48	9	1	0
	100.0	28.4	19.8	43.1	7.4	1.4		

地位 組織	合計	理工系 地位高	理工系 地位低	同じ	分から ない	その他	不明	非該当
鉱業	8	2	4	2	0	0	0	0
	100.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0		
建設業	79	47	4	23	3	2	0	0
	100.0	59.5	5.1	29.1	3.8	2.5		
通信業	28	8	8	11	1	0	0	0
	100.0	30.8	23.1	42.3	3.8	0.0		
公共関連 事業	49	0	26	18	4	1	0	0
	100.0	0.0	53.1	36.7	8.2	2.0		
運輸業	16	0	10	6	0	0	0	0
	100.0	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0		
金融保険 (証券含)	12	0	2	8	1	1	0	0
	100.0	0.0	16.7	66.7	8.3	8.3		
不動産業	8	0	2	5	1	0	0	0
	100.0	0.0	25.0	62.5	12.5	0.0		
コンピ ュータ ソフト	16	4	0	12	0	0	0	0
	100.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0		
技術 コンサルタント	20	8	3	7	1	3	0	0
	100.0	30.0	15.0	35.0	5.0	15.0		
経営 コンサルタント	4	0	0	4	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
医療	2	1	0	1	0	0	0	0
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
法律	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	48	10	6	26	4	2	1	0
	100.0	20.8	12.5	54.2	8.3	4.2		
非製造業 小計	289	79	63	123	15	9	1	0
	100.0	27.3	21.8	42.6	5.2	3.1		
不明	9	3	2	2	1	1	18	0
	100.0	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表118 組織種類別理工系出身者の地位(MIT)

地位 組織	合計	理工系 地位高	理工系 地位低	同じ	わから ない	その他	不明	非該当
全体	882 100.0	663 75.2	22 2.5	124 14.1	53 6.0	20 2.3	43	0
行政機関	27 100.0	20 74.1	2 7.4	3 11.1	1 3.7	1 3.7	2	0
国公立 研究機関	57 100.0	50 87.7	0 0.0	5 8.8	1 1.8	1 1.8	2	0
大学(教 育,研究)	54 100.0	38 68.7	2 3.7	13 24.1	3 5.8	0 0.0	4	0
大学 (研究)	5 100.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1	0
その他 公益法人	13 100.0	8 46.2	0 0.0	5 38.5	2 15.4	0 0.0	0	0
軍事 サービス	19 100.0	8 42.1	0 0.0	8 42.1	0 0.0	3 15.8	0	0
公共関連 小計	169 100.0	121 71.8	4 2.4	32 18.9	8 4.7	4 2.4	9	0
コンピ ュータ 付属機器	111 100.0	93 83.8	1 0.9	13 11.7	3 2.7	1 0.9	0	0
家電製品	8 100.0	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
上記以外 電器	37 100.0	27 73.0	1 2.7	2 5.4	6 16.2	1 2.7	0	0
非電気 機械	9 100.0	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
自動車並 関連機器	10 100.0	7 70.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0	0
航空宇宙 関連産業	60 100.0	59 98.3	0 0.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	2	0
その他 輸送機器	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
金属素材 金属製品	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0	0
非鉄金属	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
食品工業	5 100.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0	0
化学製品	48 100.0	48 95.8	1 2.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0	0
医薬品	15 100.0	14 93.3	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0	0
その他 製造業	52 100.0	36 69.2	2 3.8	8 15.4	3 5.8	3 5.8	0	0
製造業 小計	353 100.0	300 85.0	4 1.1	28 7.9	15 4.2	8 2.3	2	0

地位 組織	合計	理工系 地位高	理工系 地位低	同じ	わから ない	その他	不明	非該当
建設業	10 100.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0	0
通信業	18 100.0	15 93.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0	0
公共関連 事業	10 100.0	9 90.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0	0
運輸業	10 100.0	4 40.0	0 0.0	4 40.0	2 20.0	0 0.0	0	0
金融保険	29 100.0	15 51.7	2 6.9	7 24.1	5 17.2	0 0.0	1	0
不動産業	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	2	0
コンピ ュータ サービス	75 100.0	58 74.7	1 1.3	10 13.3	3 4.0	5 6.7	2	0
技術 コンサルタント	58 100.0	47 83.9	0 0.0	4 7.1	3 5.4	2 3.6	3	0
経営 コンサルタント	25 100.0	11 44.0	2 8.0	10 40.0	2 8.0	0 0.0	0	0
医療	24 100.0	11 45.8	1 4.2	8 33.3	4 16.7	0 0.0	3	0
法律	29 100.0	18 55.2	2 6.9	7 24.1	3 10.3	1 3.4	1	0
その他 非製造業	28 100.0	15 53.8	0 0.0	8 28.6	3 10.7	2 7.1	3	0
非製造業 小計	302 100.0	196 64.9	8 2.8	80 19.9	27 8.9	11 3.6	14	0
合計 防衛除く	799 100.0	599 75.0	16 2.0	118 14.8	47 5.9	19 2.4	25	0
防衛関連	119 100.0	101 84.9	2 1.7	8 6.7	3 2.5	5 4.2	4	0
不明	83 100.0	64 77.1	6 7.2	6 7.2	6 7.2	1 1.2	18	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)理工系出身者の地位を文科系出身者のそれと比較している。  
(注2)MITの組織種類は複数選択が可能になっている。

表117 会社規模別理工系出身者の地位（東大，東工大）

地位 卒業年次	合計	理工系の 地位高い	理工系の 地位低い	同じ	分からない	その他	不明	非該当
全体	1141 100.0	306 28.8	242 21.2	478 41.9	82 7.2	33 2.9	21	0
1～299	101 100.0	33 32.7	11 10.9	46 45.5	4 4.0	7 6.9	1	0
300～999	53 100.0	13 24.5	9 17.0	28 52.8	3 5.7	0 0.0	0	0
1000～2999	84 100.0	18 19.0	20 23.8	42 50.0	6 7.1	0 0.0	1	0
3000～9999	197 100.0	43 21.8	44 22.3	90 45.7	17 8.8	3 1.5	0	0
10000～	512 100.0	157 30.7	112 21.9	198 38.7	35 8.8	10 2.0	0	0
不明	194 100.0	44 22.7	48 23.7	74 38.1	17 8.8	13 6.7	19	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)理工系出身者の地位を文科系出身者のそれと比較している

(注2)会社規模とは従業員数のことである

表118 会社規模別理工系出身者の地位（MIT）

地位 会社規模	合計	理工系の 地位高い	理工系の 地位低い	同じ	わからない	その他	不明	非該当
全体	882 100.0	663 75.2	22 2.5	124 14.1	53 6.0	20 2.3	43	0
1～299	214 100.0	149 69.8	5 2.3	32 15.0	18 7.5	12 5.8	5	0
300～999	63 100.0	42 66.7	1 1.8	13 20.8	8 9.5	1 1.8	0	0
1000～2999	80 100.0	67 83.8	3 3.8	8 10.0	0 0.0	2 2.5	1	0
3000～9999	78 100.0	58 78.3	1 1.3	10 13.2	7 9.2	0 0.0	0	0
10000～	237 100.0	200 84.4	8 2.5	21 8.9	8 3.4	2 0.8	3	0
不明	212 100.0	147 69.3	6 2.8	40 18.9	18 7.5	3 1.4	34	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)理工系出身者の地位を文科系出身者のそれと比較している

(注2)会社規模とは従業員数のことである

表119 生産現場技術者の社会的地位（東大，東工大）

地位 卒業年次	合計	現場技術者		同じ	分からない	その他	不明	非該当
		地位高い	地位低い					
全体	1134 100.0	180 15.9	313 27.6	487 42.9	129 11.4	25 2.2	28	0
1960	280 100.0	58 22.3	48 18.5	131 50.4	21 8.1	2 0.8	5	0
1970	293 100.0	42 14.3	81 27.8	138 47.1	25 8.5	7 2.4	6	0
1980	280 100.0	42 15.0	90 32.1	102 36.4	39 13.9	7 2.5	2	0
1985	298 100.0	37 12.4	94 31.5	114 38.3	44 14.8	9 3.0	15	0
不明	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)生産現場に従事している技術者の社会的地位を研究開発に従事している技術者のそれと比較している

表120 生産現場技術者の社会的地位（MIT）

地位 卒業年次	合計	現場技術者		同じ	わからない	その他	不明	非該当
		地位高い	地位低い					
全体	845 100.0	57 8.8	378 58.3	117 18.1	73 11.3	22 3.4	280	0
1960	128 100.0	19 14.8	65 50.8	24 18.8	17 13.3	3 2.3	47	0
1970	119 100.0	10 8.4	78 85.5	20 18.8	7 5.9	4 3.4	49	0
1980	198 100.0	18 9.2	117 59.7	35 17.9	19 9.7	7 3.6	81	0
1985	201 100.0	10 5.0	116 57.7	37 18.4	30 14.9	8 4.0	103	0
不明	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注)生産現場に従事している技術者の社会的地位を研究開発に従事している技術者のそれと比較している

表121 組織別生産現場技術者の社会的地位（東大，東工大）

地位 組織	合計	現場の 地位高	現場の 地位低	同じ	分から ない	その他	不明	非該当
全体	1134	180	313	487	129	25	28	0
	100.0	15.9	27.6	42.9	11.4	2.2		
行政機関	63	7	21	14	19	2	2	0
	100.0	11.1	33.3	22.2	30.2	3.2		
国公立 研究機関	29	0	8	9	9	3	1	0
	100.0	0.0	27.6	31.0	31.0	10.3		
大学	80	12	22	24	18	4	6	0
	100.0	15.0	27.5	30.0	22.5	5.0		
公益法人	13	2	4	3	3	1	0	0
	100.0	15.4	30.8	23.1	23.1	7.7		
公共関連 小計	185	21	65	50	49	10	9	0
	100.0	11.4	29.7	27.0	26.5	5.4		
コンピュ ータ 付属機器	108	10	35	53	9	1	0	0
	100.0	9.3	32.4	49.1	8.3	0.9		
家電製品	24	3	11	9	1	0	0	0
	100.0	12.5	45.8	37.5	4.2	0.0		
上記以外 電気機械	87	8	28	44	8	1	1	0
	100.0	9.2	32.2	50.6	8.9	1.1		
非電気 機械	72	9	23	34	8	0	0	0
	100.0	12.5	31.9	47.2	8.3	0.0		
自動車並 関連機器	51	2	17	28	3	1	0	0
	100.0	3.9	33.3	54.9	5.9	2.0		
航空宇宙 関連産業	5	0	2	3	0	0	0	0
	100.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0		
その他 輸送機器	20	5	3	12	0	0	0	0
	100.0	25.0	15.0	60.0	0.0	0.0		
金属素材 金属製品	97	41	12	41	3	0	0	0
	100.0	42.3	12.4	42.3	3.1	0.0		
非鉄金属	29	4	8	18	1	0	1	0
	100.0	13.8	27.8	55.2	3.4	0.0		
食品工業	7	2	2	3	0	0	0	0
	100.0	28.8	28.6	42.9	0.0	0.0		
化学製品	113	17	31	61	4	0	0	0
	100.0	15.0	27.4	54.0	3.5	0.0		
医薬品	2	0	1	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0		
防衛関連 産業	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他 製造業	36	5	10	17	3	1	0	0
	100.0	13.9	27.8	47.2	8.3	2.8		
製造業 小計	851	108	183	322	38	4	2	0
	100.0	18.3	28.1	49.5	5.5	0.8		

地位 組織	合計	現場の 地位高	現場の 地位低	同じ	分から ない	その他	不明	非該当
鉱業	8	0	2	4	2	0	0	0
	100.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0		
建設業	79	23	19	21	11	5	0	0
	100.0	29.1	24.1	28.6	13.9	6.3		
通信業	28	3	7	15	1	0	0	0
	100.0	11.5	28.9	57.7	3.8	0.0		
公共関連 事業	49	12	10	25	2	0	0	0
	100.0	24.5	20.4	51.0	4.1	0.0		
運輸業	18	1	7	8	2	0	0	0
	100.0	8.3	43.8	37.5	12.5	0.0		
金融保険 (証券含)	11	0	5	1	4	1	1	0
	100.0	0.0	45.5	9.1	38.4	9.1		
不動産業	8	1	4	1	2	0	0	0
	100.0	12.5	50.0	12.5	25.0	0.0		
コンピュ ータ ソフト	18	3	4	7	2	0	0	0
	100.0	18.8	25.0	43.8	12.5	0.0		
技術 コンサルタント	20	3	2	10	4	1	0	0
	100.0	15.0	10.0	50.0	20.0	5.0		
経営 コンサルタント	4	0	1	2	1	0	0	0
	100.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0		
医療	1	0	0	1	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
法律	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
その他	48	5	12	14	13	4	1	0
	100.0	10.4	25.0	29.2	27.1	8.3		
非製造業 小計	287	51	74	107	44	11	3	0
	100.0	17.8	25.8	37.3	15.3	3.8		
不明	11	2	1	8	0	0	14	0
	100.0	18.2	9.1	72.7	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表122 組織種別別生産現場技術者の社会的地位 (MIT)

地位 組織	合計	現場の 地位高	現場の 地位低	同じ	わから ない	その他	不明	非該当
全体	845	57	378	117	73	22	280	0
	100.0	8.8	58.3	18.1	11.3	3.4		
行政機関	4	0	0	1	3	0	25	0
	100.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0		
国公立 研究機関	21	1	13	3	3	1	38	0
	100.0	4.8	81.9	14.3	14.3	4.8		
大学(教 育,研究)	11	0	9	0	2	0	47	0
	100.0	0.0	81.8	0.0	18.2	0.0		
大学 (研究)	1	0	0	0	1	0	5	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
その他 公益法人	2	0	2	0	0	0	11	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
軍事 サービス	3	0	2	0	1	0	18	0
	100.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0		
公共関連 小計	41	1	25	4	10	1	137	0
	100.0	2.4	81.0	9.8	24.4	2.4		
コンピュータ 付属機器	110	9	70	23	8	0	1	0
	100.0	8.2	63.6	20.9	7.3	0.0		
家電製品	7	0	5	1	0	1	1	0
	100.0	0.0	71.4	14.3	0.0	14.3		
上記以外 電器	37	0	26	5	6	0	0	0
	100.0	0.0	70.3	13.5	16.2	0.0		
非電気 機械	9	0	7	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0		
自動車並 関連機器	10	1	5	2	1	1	0	0
	100.0	10.0	50.0	20.0	10.0	10.0		
航空宇宙 関連産業	59	4	40	9	4	2	3	0
	100.0	6.8	87.8	15.3	8.8	3.4		
その他 輸送機器	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
金属素材 金属製品	3	1	1	1	0	0	0	0
	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0		
非鉄金属	3	0	2	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0		
食品工業	5	0	2	2	1	0	0	0
	100.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0		
化学製品	48	12	20	11	4	1	0	0
	100.0	25.0	41.7	22.9	8.3	2.1		
医薬品	15	1	8	4	2	0	0	0
	100.0	8.7	53.3	26.7	13.3	0.0		
その他 製造業	49	3	31	9	4	2	3	0
	100.0	8.1	63.3	18.4	8.2	4.1		
製造業 小計	347	32	212	89	28	8	8	0
	100.0	9.2	81.1	19.9	8.1	1.7		

地位 組織	合計	現場の 地位高	現場の 地位低	同じ	わから ない	その他	不明	非該当
建設業	8	1	5	0	2	0	2	0
	100.0	12.5	62.5	0.0	25.0	0.0		
通信業	12	0	9	3	0	0	4	0
	100.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0		
公共関連 事業	9	6	2	0	0	1	1	0
	100.0	66.7	22.2	0.0	0.0	11.1		
運輸業	9	0	2	3	3	1	1	0
	100.0	0.0	22.2	33.3	33.3	11.1		
金融保険	22	2	9	4	8	1	8	0
	100.0	9.1	40.9	18.2	27.3	4.5		
不動産業	3	0	1	0	1	1	3	0
	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3		
コンピュータ サービス	70	3	43	14	6	4	7	0
	100.0	4.3	81.4	20.0	8.6	5.7		
技術 コンサルタント	49	4	26	7	9	3	10	0
	100.0	8.2	53.1	14.3	18.4	6.1		
経営 コンサルタント	19	4	13	1	0	1	6	0
	100.0	21.1	88.4	5.3	0.0	5.3		
医療	7	0	3	3	1	0	20	0
	100.0	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0		
法律	12	1	7	2	1	1	18	0
	100.0	8.3	58.3	16.7	8.3	8.3		
その他 非製造業	21	1	10	5	5	0	10	0
	100.0	4.8	47.6	23.8	23.8	0.0		
非製造業 小計	229	22	123	39	32	13	87	0
	100.0	9.6	53.7	17.0	14.0	5.7		
合計 防衛除く	598	54	348	109	67	20	228	0
	100.0	9.0	58.2	18.2	11.2	3.3		
防衛関連	84	5	57	14	7	1	39	0
	100.0	6.0	67.9	16.7	8.3	1.2		
不明	47	3	28	8	8	2	54	0
	100.0	8.4	59.6	17.0	12.8	4.3		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注1)生産現場に従事している技術者の社会的地位を研究開発に従事している技術者のそれと比較している。  
(注2)MITの組織種別は複数選択が可能になっている。

表123 仕事種類別生産現場技術者の社会的地位（東大，東工大）

地位 仕事	合計	現場の 地位高	現場の 地位低	同じ	分から ない	その他	不明	非該当
全体	1134	180	313	487	129	25	28	0
	100.0	15.9	27.8	42.9	11.4	2.2		
基礎研究	69	15	13	29	9	3	2	0
	100.0	21.7	18.8	42.0	13.0	4.3		
応用研究	115	17	33	49	14	2	2	0
	100.0	14.8	28.7	42.6	12.2	1.7		
製品開発	107	11	25	61	9	1	0	0
	100.0	10.3	23.4	57.0	8.4	0.9		
工程・プ ログの開発	37	11	12	12	2	0	0	0
	100.0	29.7	32.4	32.4	5.4	0.0		
研究開発 企画管理	73	9	18	43	2	1	0	0
	100.0	12.3	24.7	58.9	2.7	1.4		
設計 (製品)	87	12	35	34	4	2	0	0
	100.0	13.8	40.2	39.1	4.6	2.3		
設計(工 程ソフト)	34	9	4	20	1	0	0	0
	100.0	26.5	11.8	58.8	2.9	0.0		
生産管理 (現場)	79	21	18	33	7	2	0	0
	100.0	26.8	20.3	41.8	8.9	2.5		
生産管理 (現場外)	58	9	17	29	3	0	0	0
	100.0	15.5	29.3	50.0	5.2	0.0		
コンピ ュータ プログラ ム	40	5	11	16	8	0	0	0
	100.0	12.5	27.5	40.0	20.0	0.0		
情報シ ステム 作成	21	3	8	9	1	0	0	0
	100.0	14.3	38.1	42.9	4.8	0.0		
技術コン テンツ 開発	46	5	14	21	6	0	0	0
	100.0	10.9	30.4	45.7	13.0	0.0		
技術関連 小計	788	127	208	358	88	11	4	0
	100.0	16.8	28.9	48.5	8.8	1.4		
経営関連 調査企画	54	10	20	16	7	1	0	0
	100.0	18.5	37.0	29.8	13.0	1.9		
営業・ マーケティング	43	7	14	14	7	1	1	0
	100.0	16.3	32.8	32.6	16.3	2.3		
財務経理	2	0	1	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0		
長期研修	7	2	1	3	1	0	0	0
	100.0	28.6	14.3	42.9	14.3	0.0		
会社経営	57	12	11	28	5	1	2	0
	100.0	21.1	19.3	49.1	8.8	1.8		
会社パー ナー	5	0	3	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0		
行政事務 政策策定	57	4	22	13	16	2	1	0
	100.0	7.0	38.6	22.8	28.1	3.5		
教育 (大学)	61	9	17	18	14	3	3	0
	100.0	14.8	27.9	29.5	23.0	4.9		

地位 仕事	合計	現場の 地位高	現場の 地位低	同じ	分から ない	その他	不明	非該当
教育 (高校以 下)	2	0	1	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0		
医療関係	1	0	0	1	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
法律関係	3	0	1	1	1	0	1	0
	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0		
その他	64	8	15	28	10	3	0	0
	100.0	12.5	23.4	43.8	15.8	4.7		
非技術関 小計	358	52	108	124	62	12	9	0
	100.0	14.6	29.8	34.8	17.4	3.4		
不明	12	1	1	7	1	2	15	0
	100.0	8.3	8.3	58.3	8.3	16.7		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注)生産現場に従事している技術者の社会的地位を研究開発に従事している技術者のそれと比較している

表124 仕事種類別生産現場技術者の社会的地位 (MIT)

地位 仕事	合計	現場の 地位高	現場の 地位低	同じ わからない	わから ない	その他	不明	非該当
全体	645 100.0	57 8.8	376 58.3	117 18.1	73 11.3	22 3.4	280	0
基礎研究	11 100.0	0 0.0	8 72.7	2 18.2	1 9.1	0 0.0	25	0
応用研究	34 100.0	2 5.9	25 73.5	2 5.9	5 14.7	0 0.0	25	0
製品開発	67 100.0	4 6.0	43 64.2	12 17.9	6 9.0	2 3.0	5	0
工程・プ ロセス開発	31 100.0	4 12.9	19 61.3	4 12.9	3 9.7	1 3.2	2	0
研究開発 企画管理	35 100.0	6 14.3	22 62.9	5 14.3	3 8.8	0 0.0	11	0
製品設計	40 100.0	3 7.5	23 57.5	9 22.5	4 10.0	1 2.5	3	0
工程・プ ロセス設計	16 100.0	1 6.3	10 62.5	4 25.0	1 6.3	0 0.0	1	0
生産管理 (現場)	27 100.0	7 25.9	14 51.9	4 14.8	1 3.7	1 3.7	0	0
生産管理 (オフィス)	13 100.0	1 7.7	8 61.5	2 15.4	2 15.4	0 0.0	4	0
コンピ ュータ ソフト 作成	89 100.0	3 3.4	54 60.7	17 19.1	12 13.5	3 3.4	11	0
情報シ ステム 作成	11 100.0	2 18.2	6 54.5	0 0.0	2 18.2	1 9.1	5	0
技術コン ファ レンス	38 100.0	4 10.5	17 44.7	8 21.1	8 15.8	3 7.9	13	0
技術関連 小計	354 100.0	31 8.8	218 61.8	60 16.9	34 9.6	11 3.1	98	0
経営関連 調査企画	31 100.0	3 9.7	19 61.3	7 22.6	2 6.5	0 0.0	7	0
営業・マ ーケティング	44 100.0	8 18.2	21 47.7	7 15.9	8 13.8	2 4.5	4	0
財務経理	21 100.0	4 19.0	8 28.6	4 19.0	5 23.8	2 9.5	6	0
長期研修	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
会社経営	37 100.0	2 5.4	22 59.5	8 21.8	4 10.8	1 2.7	9	0
会社イン ター	51 100.0	2 3.9	28 51.0	11 21.6	10 19.8	2 3.9	12	0
行政事務 政策策定	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10	0
教育 (大学)	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	28	0

地位 仕事	合計	現場の 地位高	現場の 地位低	同じ わからない	わから ない	その他	不明	非該当
教育(高 校以下)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1	0
医療関係	5 100.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	22	0
法律関係	13 100.0	1 7.7	6 48.2	4 30.8	1 7.7	1 7.7	22	0
その他	38 100.0	2 5.3	23 60.5	5 13.2	6 15.8	2 5.3	29	0
非技術 関連小計	240 100.0	21 8.8	128 53.3	47 19.6	34 14.2	10 4.2	140	0
不明	40 100.0	3 7.5	29 72.5	4 10.0	3 7.5	1 2.5	40	0
非該当	37 100.0	3 8.1	20 54.1	7 18.9	7 18.9	0 0.0	14	0

(注1)生産現場に従事している技術者の社会的地位を研究開発に従事している技術者のそれと比較している。  
(注2)MITの仕事種類は複数選択が可能になっている。

表125 会社規模別生産現場技術者の社会的地位（東大，東工大）

地位 会社規模	合計	現場技術者 地位高い	現場技術者 地位低い	同じ	分からない	その他	不明	非該当
全体	1134 100.0	180 15.9	313 27.6	487 42.9	129 11.4	25 2.2	28	0
1～299	100 100.0	11 11.0	24 24.0	43 43.0	19 19.0	3 3.0	2	0
300～999	53 100.0	14 26.4	9 17.0	20 37.7	7 13.2	3 5.7	0	0
1000～2999	85 100.0	11 12.9	27 31.8	38 44.7	9 10.8	0 0.0	0	0
3000～9999	197 100.0	28 14.2	51 25.9	95 48.2	19 9.6	4 2.0	0	0
10000～	511 100.0	98 18.8	146 28.6	237 46.4	28 5.5	4 0.8	1	0
不明	188 100.0	20 10.6	58 29.8	54 28.7	47 25.0	11 5.9	25	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)生産現場に従事している社会的地位を研究開発に従事している技術者のそれと比較している

(注2)会社規模とは従業員数のことである

表126 会社規模別生産現場技術者の社会的地位（MIT）

地位 会社規模	合計	現場技術者 地位高い	現場技術者 地位低い	同じ	わからない	その他	不明	非該当
全体	845 100.0	57 8.8	376 58.3	117 18.1	73 11.3	22 3.4	280	0
1～299	199 100.0	10 5.0	99 49.7	48 24.1	31 15.6	11 5.5	20	0
300～999	54 100.0	7 13.0	31 57.4	9 18.7	6 11.1	1 1.9	9	0
1000～2999	73 100.0	9 12.3	43 58.9	9 12.3	8 11.0	4 5.5	8	0
3000～9999	72 100.0	7 9.7	47 65.3	9 12.5	7 9.7	2 2.8	4	0
10000～	238 100.0	24 10.2	150 63.8	40 18.9	19 8.1	3 1.3	4	0
不明	11 100.0	0 0.0	8 54.5	2 18.2	2 18.2	1 9.1	235	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)生産現場に従事している技術者の社会的地位を研究開発に従事している技術者のそれと比較している

(注2)会社規模とは従業員数のことである

表127 組織における地位（東大，東工大）

＼地位 年次＼	合計	部下 なし	中間 管理職	組織 責任有	マネ ジャー	その他	不明	非該当
全体	1138	459	507	104	20	48	24	0
	100.0	40.3	44.6	9.1	1.8	4.2		
1960	282	30	120	86	8	18	3	0
	100.0	11.5	45.8	32.8	3.1	6.9		
1970	294	26	232	12	8	16	5	0
	100.0	8.8	78.9	4.1	2.7	5.4		
1980	280	123	139	4	4	10	2	0
	100.0	43.9	49.6	1.4	1.4	3.6		
1985	299	278	15	2	0	4	14	0
	100.0	93.0	5.0	0.7	0.0	1.3		
不明	3	2	1	0	0	0	0	0
	100.0	86.7	33.3	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表128 組織における地位（MIT）

＼地位 年次＼	合計	部下 なし	チーフ リーダー	シニア マネージャー	シニア マネージャー	マネ ジャー	その他	不明	非該当
全体	899	282	248	112	98	116	45	26	0
	100.0	31.4	27.4	12.5	10.9	12.9	5.0		
1980	173	25	25	23	47	47	8	2	0
	100.0	14.5	14.5	13.3	27.2	27.2	3.5		
1970	182	27	27	33	34	30	11	6	0
	100.0	16.7	18.7	20.4	21.0	18.5	8.8		
1980	272	88	93	40	14	22	17	5	0
	100.0	31.8	34.2	14.7	5.1	8.1	6.3		
1985	291	143	101	18	3	17	11	13	0
	100.0	49.1	34.7	5.5	1.0	5.8	3.8		
不明	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表129 部下の数（東大，東工大）

＼部下 年次＼	合計	1～9	10～99	100～ 999	1000～	不明	非該当
全体	646	343	224	72	7	33	483
	100.0	53.1	34.7	11.1	1.1		
1960	222	72	89	54	7	10	33
	100.0	32.4	40.1	24.3	3.2		
1970	255	124	115	16	0	13	31
	100.0	48.6	45.1	6.3	0.0		
1980	147	128	17	2	0	10	125
	100.0	87.1	11.6	1.4	0.0		
1985	21	19	2	0	0	0	292
	100.0	90.5	9.5	0.0	0.0		
不明	1	0	1	0	0	0	2
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表130 部下の人数（MIT）

＼部下 年次＼	合計	1～9	10～99	100～ 999	1000～	不明	非該当
全体	578	358	179	35	8	39	308
	100.0	81.9	31.0	6.1	1.0		
1960	138	82	54	17	5	10	27
	100.0	44.9	39.1	12.3	3.8		
1970	128	52	60	13	1	9	33
	100.0	41.3	47.8	10.3	0.8		
1980	175	129	41	5	0	11	91
	100.0	73.7	23.4	2.9	0.0		
1985	139	115	24	0	0	9	158
	100.0	82.7	17.3	0.0	0.0		
不明	0	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表131 学位別分布（東大，東工大）

学位 年次	合計	1学士 のみ	2学部時 の学科	3学部時 外理工	4MBA	5MBA外 文科系	6その他	修士の み小計	7学部時 の学科	8学部時 外理工	9経営学	10経営学 外文科	11医学	12その 他	博士 小計	不明	非該当
全体	1107 100.0	581 52.5	285 25.7	85 5.9	5 0.5	1 0.1	6 0.5	382 32.7	139 12.8	21 1.9	0 0.0	1 0.1	2 0.2	1 0.1	164 14.8	55	0
1960	247 100.0	188 75.3	9 3.8	3 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 4.9	42 17.0	7 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	49 19.8	18	0
1970	280 100.0	159 56.8	46 16.4	11 3.9	3 1.1	1 0.4	2 0.7	63 22.5	51 18.2	5 1.8	0 0.0	1 0.4	1 0.4	0 0.0	58 20.7	19	0
1980	272 100.0	122 44.9	85 31.3	28 9.8	2 0.7	0 0.0	3 1.1	118 42.8	25 9.2	8 2.9	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	34 12.5	10	0
1985	306 100.0	114 37.3	145 47.4	25 8.2	0 0.0	0 0.0	1 0.3	171 55.9	19 6.2	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	21 6.9	7	0
不明	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)学士のみとは修士及び博士を持っていない人  
 (注2)修士のみとは博士を持っていない人(2~6の合計)  
 (注3)博士(7~12の合計)

表132 学位別分布（MIT）

学位 年次	合計	1学士 のみ	2学部時 の学科	3学部時 外理工	4MBA	5その他	修士の み小計	6学部時 の学科	7学部時 外理工	8文科系 学科	9DBA	10医学	11法学	12その 他	博士 小計	不明	非該当
全体	912 100.0	259 28.4	235 25.8	41 4.5	131 14.4	13 1.4	420 46.1	109 12.0	46 5.0	4 0.4	7 0.8	31 3.4	33 3.8	3 0.3	233 25.5	13	0
1960	170 100.0	27 15.9	43 25.3	10 5.9	22 12.9	4 2.4	79 46.5	36 21.2	17 10.0	0 0.0	2 1.2	2 1.2	6 3.5	1 0.8	64 37.6	5	0
1970	167 100.0	25 15.0	41 24.8	8 3.6	29 17.4	2 1.2	78 46.7	30 18.0	12 7.2	1 0.6	4 2.4	8 4.8	7 4.2	2 1.2	64 38.3	1	0
1980	276 100.0	83 30.1	65 23.8	14 5.1	53 19.2	2 0.7	134 48.6	25 9.1	11 4.0	1 0.4	1 0.4	9 3.3	12 4.3	0 0.0	59 21.4	1	0
1985	298 100.0	123 41.3	86 28.9	11 3.7	27 9.1	5 1.7	128 43.3	18 6.0	8 2.0	2 0.7	0 0.0	12 4.0	8 2.7	0 0.0	48 15.4	8	0
不明	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)学士のみとは修士及び博士を持っていない人  
 (注2)修士のみとは博士を持っていない人(2~5の計)  
 (注3)博士(6~12の計)

表133 性別学位別分布（東大，東工大）

学位 年次	合計	1学士 のみ	2学部時 の学科	3学部時 外理工	4MBA	5MBA外 文系	6その他	修士の み小計	7学部時 の学科	8学部時 外理工	9経営学	10経営学 外文系	11医学	12その 他	博士 小計	不明	非該当
全体	1107 100.0	581 52.5	285 25.7	85 5.9	5 0.5	1 0.1	8 0.5	382 32.7	139 12.6	21 1.9	0 0.0	1 0.1	2 0.2	1 0.1	184 14.8	55	0
男	1097 100.0	578 52.5	281 25.8	85 5.9	5 0.5	1 0.1	8 0.5	358 32.6	138 12.6	21 1.9	0 0.0	1 0.1	2 0.2	1 0.1	183 14.9	55	0
女	7 100.0	3 42.9	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0	0
不明	3 100.0	2 68.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)学士のみとは修士及び博士を持っていない人  
 (注2)修士のみとは博士を持っていない人(2～8の合計)  
 (注3)博士(7～12の合計)

表134 性別学位別分布（MIT）

学位 年次	合計	1学士 のみ	2学部時 の学科	3学部時 外理工	4MBA	5その他	修士の み小計	8学部時 の学科	7学部時 外理工	8文科系 学科	9DBA	10医学	11法学	12その 他	博士 小計	不明	非該当
全体	912 100.0	259 28.4	235 25.8	41 4.5	131 14.4	13 1.4	420 48.1	109 12.0	48 5.0	4 0.4	7 0.8	31 3.4	33 3.8	3 0.3	233 25.5	13	0
男	795 100.0	224 28.2	199 25.0	38 4.5	115 14.5	11 1.4	381 45.4	101 12.7	44 5.5	4 0.5	7 0.9	22 2.8	29 3.8	3 0.4	210 26.4	12	0
女	118 100.0	35 30.2	38 31.0	5 4.3	15 12.9	2 1.7	58 50.0	8 8.9	2 1.7	0 0.0	0 0.0	9 7.8	4 3.4	0 0.0	23 19.8	1	0
不明	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0
非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0

(注1)学士のみとは修士及び博士を持っていない人  
 (注2)修士のみとは博士を持っていない人(2～5の計)  
 (注3)博士(8～12の計)

表135 性別学位別分布(1960年卒 MIT)

学位 性別	合計	1学士 のみ	2学部時 の学科	3学部時 外理工	4MBA	5その他	修士の み小計	6学部時 の学科	7学部時 外理工	8文科系 学科	9DBA	10医学	11法学	12その 他	博士 小計	不明	非該当
全体	170	27	43	10	22	4	79	38	17	0	2	2	6	1	64	5	0
	100.0	15.9	25.3	5.9	12.9	2.4	46.5	21.2	10.0	0.0	1.2	1.2	3.5	0.6	37.8		
男	168	27	43	10	22	4	79	35	17	0	2	2	5	1	82	5	0
	100.0	16.1	25.6	6.0	13.1	2.4	47.0	20.8	10.1	0.0	1.2	1.2	3.0	0.6	38.9		
女	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0		
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表136 性別学位別分布(1970年卒 MIT)

学位 性別	合計	1学士 のみ	2学部時 の学科	3学部時 外理工	4MBA	5その他	修士の み小計	6学部時 の学科	7学部時 外理工	8文科系 学科	9DBA	10医学	11法学	12その 他	博士 小計	不明	非該当
全体	167	25	41	6	29	2	78	30	12	1	4	8	7	2	84	1	0
	100.0	15.0	24.6	3.6	17.4	1.2	46.7	18.0	7.2	0.6	2.4	4.8	4.2	1.2	38.3		
男	160	24	37	5	28	2	72	30	12	1	4	8	7	2	84	1	0
	100.0	15.0	23.1	3.1	17.5	1.3	45.0	18.8	7.5	0.6	2.5	5.0	4.4	1.3	40.0		
女	6	1	4	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
不明	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表137 性別学位別分布(1980年卒 MIT)

学位 性別	合計	1学士 のみ	2学部時 の学科	3学部時 外理工	4MBA	5その他	修士の み小計	6学部時 の学科	7学部時 外理工	8文科系 学科	9DBA	10医学	11法学	12その 他	博士 小計	不明	非該当
全体	278	83	85	14	53	2	134	25	11	1	1	9	12	0	59	1	0
	100.0	30.1	23.6	5.1	19.2	0.7	48.6	9.1	4.0	0.4	0.4	3.3	4.3	0.0	21.4		
男	232	73	51	12	44	1	108	22	9	1	1	7	11	0	51	1	0
	100.0	31.5	22.0	5.2	19.0	0.4	46.6	9.5	3.9	0.4	0.4	3.0	4.7	0.0	22.0		
女	44	10	14	2	9	1	26	3	2	0	0	2	1	0	8	0	0
	100.0	22.7	31.8	4.5	20.5	2.3	59.1	6.8	4.5	0.0	0.0	4.5	2.3	0.0	18.2		
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

表138 性別学位別分布(1985年卒 MIT)

学位 性別	合計	1学士 のみ	2学部時 の学科	3学部時 外理工	4MBA	5その他	修士の み小計	6学部時 の学科	7学部時 外理工	8文科系 学科	9DBA	10医学	11法学	12その 他	博士 小計	不明	非該当
全体	298	123	86	11	27	5	129	18	8	2	0	12	8	0	48	8	0
	100.0	41.3	28.9	3.7	9.1	1.7	43.3	6.0	2.0	0.7	0.0	4.0	2.7	0.0	15.4		
男	234	99	68	9	21	4	102	14	8	2	0	5	6	0	33	5	0
	100.0	42.3	29.1	3.8	9.0	1.7	43.6	6.0	2.8	0.9	0.0	2.1	2.6	0.0	14.1		
女	64	24	18	2	6	1	27	4	0	0	0	7	2	0	13	1	0
	100.0	37.5	28.1	3.1	9.4	1.6	42.2	6.3	0.0	0.0	0.0	10.9	3.1	0.0	20.3		
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注1)学士のみとは修士及び博士を持っていない人  
(注2)修士のみとは博士を持っていない人(2~5の計)

(注3)博士(6~12の計)

